





貝塚	小松 眞一 考誌二二ノ二〇(大二〇)	「ガ」顔面把手「ジ」獸形把手ヲモ見ヨ	梅原 末治 鳥取有史 一(大一一)
— 下所在石器時代遺蹟概観	柄木報二ノ一(昭二)	鳥取縣 — 下に於ける有史以前の遺蹟	清水元太郎 人誌一七ノ四(昭三四)
— 下發見遺物	柄木報二ノ三(昭二)	「イ」因幡 「ハ」伯耆ヲモ見ヨ	史誌一三ノ六(昭三五)
— 發見石器時代勾玉地名表	柄木報二ノ五(昭二)	鳥居龍藏 — 氏より通信	史誌一九ノ七(昭四一)
「シ」下野國ヲモ見ヨ	坪井正五郎 人誌 六ノ六(昭二二)	— 君の千鳥石器時代論に付て	史誌一九ノ七(昭四一)
凸字石器 — の用	沼田 頼輔 人誌一三ノ三(昭三〇)	— 君の大鳥探検報告に就て	史誌一九ノ七(昭四一)
把手 — の分類	沼田 頼輔 人誌一六ノ二(昭三三)	桑原 — 兩氏の通信	史誌一九ノ七(昭四一)
石器時代土器 — の分類	八木英三郎 考古研究 卷(昭三八)	— 氏より通信	史誌一九ノ七(昭四一)
土器 — の特徴と其變化	中村 七徳 考古研究 卷(昭三八)	— 氏より通信	史誌一九ノ七(昭四一)
豐井貞幹氏著「好古日録」所載ア	鳥居 龍藏 有史日本 高(大七)	— 氏より通信	史誌一九ノ七(昭四一)
イヌ派土器 —	柴田 常惠 日本考古 一(大二三)	— 氏より通信	史誌一九ノ七(昭四一)
牛角形 —	— 考古圖一ノ二七(大二三)	— 氏より通信	史誌一九ノ七(昭四一)
土器 —	鳥居 龍藏 諏訪史一ノ二六(大二三)	— 氏より通信	史誌一九ノ七(昭四一)
厚手土器 —	鳥居 龍藏 諏訪史一ノ二七(大二三)	— 氏より通信	史誌一九ノ七(昭四一)
厚手土器獸形 —	鳥居 龍藏 諏訪史一ノ二八(大二三)	— 氏より通信	史誌一九ノ七(昭四一)
薄手派土器 —	鳥居 龍藏 諏訪史一ノ二九(大二三)	— 氏より通信	史誌一九ノ七(昭四一)
彌生式土器 —	鳥居 龍藏 諏訪史一ノ三〇(大二三)	— 氏より通信	史誌一九ノ七(昭四一)
— 類	八木英三郎 日本考古 一(大二五)	— 氏より通信	史誌一九ノ七(昭四一)
— 型土器	杉山壽榮男 日本工藝 二(大二五)	— 氏より通信	史誌一九ノ七(昭四一)
雪目鏡の紋様ある —	赤星 直忠 考誌一七ノ五(昭二)	— 氏より通信	史誌一九ノ七(昭四一)
相模勝坂發見一般 —	大山 柏 史前報一ノ四(昭二)	— 氏より通信	史誌一九ノ七(昭四一)
付鉢形土器	濱田 耕作 鐘秀土器 五(昭二)	— 氏より通信	史誌一九ノ七(昭四一)

神道談話會に於ける — 博士の講演	小松 眞一 人誌三八ノ三九(大一一)	子持曲玉に就て — 周智郡山梨村發見	大野 雲外 人誌二一ノ三五(昭三八)
— 博士の有史以前に於ける我祖先とアイヌとの關係に就いて	— 史誌三五ノ九(大一一)	— 國營田郡西貝村貝塚	中根 清平 人誌二七ノ五九(昭四四)
澁川の — 博士大講演	— 上毛一〇四ノ五(大一一)	— 遠州濱名湖畔先住民の遺蹟	本山 彦一 人誌三〇ノ三三(大四)
伊豆の上代文化相と — 博士鳥形土器 —	後藤 蕭堂 中史 三ノ五(大一一)	— 國營田郡西貝村貝塚	清野 謙次 日本原人 一五(大一一)
— (宮莊)貝塚 河内國府肥後 — にて發掘せる人骨に就て報じ併せて石器時代の住民に及ぶ	杉山壽榮男 原始文様 五(大一一)	— 遠近地方土器	杉山壽榮男 日本工藝 一(大一一)
肥後國宇土郡 — 發掘報告	濱田 耕作 鐘秀土器 一五(昭二)	— 經筒の發見地と石器時代の遺蹟	高山 建吉 考誌一七ノ三(昭二)
肥後國宇土郡 — 人骨報告	— 山田藏太郎 武相 二ノ三(大一一)	— 小笠郡青野ヶ原	高山 建吉 考誌一七ノ三(昭二)
利根灣 — と多摩灣	— 若林 勝邦 人誌 七ノ三(昭二)	— 遠南白羽村に於ける石器時代遺物發見の概要	高山 建吉 考誌一七ノ三(昭二)
遠江 — の遺物	— 國數知郡入野村貝塚	「シ」貝塚 靜岡縣ヲモ見ヨ	小山 眞夫 考誌一七ノ三(昭二)
— 清水貞吉氏より人類學會へ寄送に係る石棒由來 — 國豐田郡熊村	— 三宅 長策 人誌 七ノ三(昭二)	— 巴形銅器 信濃國武石村出土の「シ」貝塚	坪井正五郎 人誌 五ノ四(昭二)
— に於ける石器時代の遺物	— 三宅 彦六 人誌 八ノ三(昭二)	— 巴紋 アイヌと —	坪井正五郎 人誌 一〇ノ二(昭二)
— 長上郡有玉村の遺跡及び遺物	— 三宅 長策 人誌 八ノ三(昭二)	— アイヌ紋様と — との關係	見學 生 人誌三三ノ三(大七)
— 周智郡氣多村の石器	— 土屋 彦六 人誌 八ノ五(昭二)	— 富山縣 — 下新發見の遺蹟調査	— 境洞窟ヲモ見ヨ
		— 豊島地方 — の古代	— 豊島地方 — の古代
		— の古代民族	— の古代民族
		— の古墳及び石器時代遺跡	— の古墳及び石器時代遺跡
		— の石器時代住民	— の石器時代住民
		「七」攝津ヲモ見ヨ	「七」攝津ヲモ見ヨ
		— 内石塚貝塚	— 内石塚貝塚
		— 豊橋市	— 豊橋市
		— 豊田伊三美 人誌三八ノ三(大一一)	— 豊田伊三美 人誌三八ノ三(大一一)

内にてける貝塚発見報告  
ドルメン 日本内地に純粹の  
ありや

信濃國諏訪郡本郷村——類似の  
遺跡に就て  
本郷村立澤——類似遺跡

ナ

名「メ」名稱ヲ見ヨ

内面紋様 厚手派土器の——  
直夏石器時代文化研究所——の  
開設

長崎縣 立石貝塚

—— 柳山貝塚

—— 貝塚の發掘貝類に就て

—— 下に於ける遺跡分布

「イ」登岐「ツ」對馬「ヒ」肥前ヲ  
モ見ヨ

長崎市 城山貝塚に就て——

長形土器 ——

長門 —— の石斧

美濃國豊浦郡先史時代遺跡地名表

豊田伊三美 歴地四二ノ三三(天二二)

鳥居 龍藏 人誌三二ノ二五(天二六)

八幡 一郎 人誌三七ノ三五(天二二)

鳥居 龍藏 諏訪史一ノ三六(天二二)

鳥居 龍藏 諏訪史一ノ三六(天二二)

歴地四七ノ三〇(天一五)

内山 芳郎 長崎報一ノ二二(天二二)

内山 芳郎 長崎報一ノ二二(天二二)

加藤喜八郎 長考一ノ二(天二四)

杉山壽榮男 日工藝概 九(天一五)

富松 正雄 長考一ノ二〇(天一五)

杉山壽榮男 日工藝概 四(天一五)

丘 淺次郎 人誌一ノ二〇(前二八)

防長志要 五(前四〇)

考古遺跡概説

長野縣 「シ」信濃ヲ見ヨ

長野市 —— に於ける彌生式土器  
の發見

—— で見た彌生式土器

有史以前の——

中高皿 陸奥田名部類——

七尾灣 —— の一瞥

七つ鉢 ——

浪岡 —— 太古の陶器石器發見

南部 「テ」朝鮮ヲ見ヨ

南部 雷槌奥の——の産

舊記に著れたる——領内石器時  
代遺物

南方文化 石器時代末期に於ける  
の輸入に就て

行方半島 —— 探検記

「ヒ」常陸國行方郡ヲモ見ヨ

奈夏縣 グスタフ・アドルフ殿下  
に奉呈した——遺跡寫真に就  
て

「ヤ」大和ヲモ見ヨ

奈夏朝 —— 時代の考古學的思想

三宅 宗悅 山高報一ノ一(天一四)

蒔田鎗次郎 人誌一七ノ二五(前三四)

玉置 繁雄 人誌一九ノ二八(前三六)

長野市史 一(天一四)

淡 人誌 三ノ二二(前二〇)

赤星 直忠 考誌一七ノ二七(前二二)

秋田 喜一 考誌一五ノ二五(天一四)

岩崎 長思 長野報五ノ七(天一五)

阿部 文助 浪岡名所 三(前三五)

木内 石亭 雲根志三ノ五(天和二)

伊能 嘉矩 人誌三二ノ三三(天二六)

直真 信夫 歴地四六ノ三〇(天一四)

江見 水隆 地中の誌 一七(前四二)

上田 三平 考誌一七ノ三二(前二二)

中澤 澄男 日本考古 三(前三九)

八木英三郎 日本考古 三(前三九)

成興野型石棒 —— 又は石劍分布

鳴神貝塚 紀伊海草郡鳴神村十磨

紀伊海草郡鳴神村惣垣の石器

近畿唯一の——

紀伊——の發見と其研究

紀州の貝類

紀州——の遺物

鳴門 —— 海中發見の石劍

ニ

西ヶ原貝塚——探究報告

人類學者の初陣——

—— に関する新事實

王子——を見るの記

——の鹿角製裝飾品

西谷珠雄 故——君

日用器具 ——

日用骨器 ——

鳥居 龍藏 諏訪史一ノ二五(天二二)

玉置 繁雄 人誌一八ノ二九(前三五)

玉置 繁雄 人誌一八ノ二九(前三五)

鳥居 龍藏 有史日本 四(天七)

鳥居 龍藏 有史日本 五(天七)

鳥居 龍藏 有史日本 一八(天二四)

鳥居 龍藏 有史日本 一八(天二四)

勝田貞太郎 和歌報六ノ一(前二二)

雜 業 生 考界 三ノ三三(前三六)

坪井正五郎 人誌 九ノ二〇(前二七)

宮澤甚三郎 人誌一ノ二七(前二八)

山田 生 名家二五ノ一(前二二)

彌生 庵 人誌一六ノ二七(前三三)

—— 考誌 三ノ三六(前四五)

江見 水隆 地中の誌 二六(前四二)

八木英三郎 日本考古 一〇六(天一五)

八木英三郎 日本考古 一〇六(天一五)

八木英三郎 日本考古 一〇六(天一五)

「コ」骨器ヲモ見ヨ

日用石器 ——

「セ」石器ヲモ見ヨ

日用土器 —— 附廢物利用

「ド」土器ヲモ見ヨ

日用品 ——

日韓古史斷 —— に載せたる古器  
物評

日光 —— 二荒山神社什物石器

—— 華嚴瀑布の石斧に就て

日鮮 石器時代から始まる——の  
人種的關係

—— 兩民族同系論

石器時代の朝鮮民族と日本民族  
との遺物

有史以前の——關係

日本海 —— 方面の貝塚

—— 海岸に於ける砂丘上の遺跡

—— 沿岸石器時代遺跡の地理學  
的考察

—— 海岸に於ける石器時代遺跡  
の型式

日本海灣 —— と貝塚の分布

日本原住民族 骨格の觀察を基礎

八木英三郎 日本考古 三(天一五)

八木英三郎 日本考古 三(天一五)

八木英三郎 日本考古 三(天一五)

八木 冬嶺 考界 一ノ二〇(前三四)

山崎 直方 人誌 一ノ二九(前一九)

鳥居 龍藏 人誌一六ノ二五(前三三)

鳥居 龍藏 有史日本 四(天七)

喜田 貞吉 民歴 六ノ一三(天二〇)

鳥居 龍藏 北鮮石器 三(天二三)

鳥居 龍藏 有史日本 三七(天二四)

吉田 文俊 人誌三二ノ二六(天二六)

梅原 末治 地球 三ノ二六(天二三)

小牧 實繁 史林 一一ノ二五(天一五)

後藤 守一 考誌一七ノ二七(前二二)

清野 謙次 日本原人 五(天二四)

とせる——研究に關する余が  
 豫定計劃  
 化石病理學特に——の骨疾病に  
 就て  
 「ゲ」原人「セ」石器時代人ヲモ  
 見ヨ  
 清野 謙次 京大報五ノ二九(天九)  
 星島 壽 日微一六ノ四ノ一(天二)  
 日本考古學 外人の——に關する  
 研究  
 桑野 禮治 考會 一ノ二九(前二九)  
 八木英三郎 考古一ノ二九(前三三)  
 中村 士徳 考界 四ノ七七(前三七)  
 三宅 米吉 考誌 七ノ七三(天五)  
 有坂 鋁藏 人誌三八ノ二五(天二)  
 「カ」考古學ヲモ見ヨ  
 日本人種 ——は蝦夷人種なりと  
 云説を辨す  
 概説  
 黒川 眞頼 皇講八四ノ一(一)  
 小林庄次郎 龍誌二二七ノ一(一)  
 鳥居邦太郎 日考提要 二六(前二二)  
 無量却道人 史海三六ノ一(前二九)  
 井上哲次郎 東光三ノ一〇(前四一)  
 坪井正五郎 東光三ノ七(前四二)  
 沼田 頼輔 歴と 三ノ二八(天八)  
 吉田 十一 日本旅行 四(前二)

「ジ」人種「ニ」日本民族ヲモ見  
 ヲ  
 日本人類學 ——の發達  
 「ジ」人類學ヲモ見ヨ  
 鳥居 龍藏 科畫九ノ六ノ三(前二)  
 日本石器時代「セ」石器時代ヲ見  
 ヲ  
 日本石器時代人民「セ」石器時代  
 人民ヲ見ヨ  
 日本石器時代人民遺物發見地名表  
 「チ」地名表ヲ見ヨ  
 日本住民 本邦太古人民に就ての  
 想像説  
 太古の——につきて  
 日本民族 太古と雖も日本種族の  
 石器を實用に供したる證據無  
 し  
 ——の起原に關する考證  
 古代——移住發達の経路  
 ——は石器を使用せざりしか  
 ——石器時代渡來説  
 古代の——  
 有史以前研究に基く古代——  
 ——史の研究に就て  
 古代に於ける——  
 坪井正五郎 東光一六ノ二五(前三三)  
 井上哲次郎 史誌二ノ二二(前四三)  
 鳥居 龍藏 歴地二八ノ五五(天五)  
 鳥居 龍藏 有史日本 二〇(天七)  
 鳥居 龍藏 有史日本 三三(天七)  
 鳥居 龍藏 有史日本 三三(天七)  
 神原信一郎 自然神代 九(天八)  
 原 勝郎 民歴二ノ一(天九)  
 大野 雲外 歴と 六ノ一六(天九)

の成立  
 ——石器時代渡來説  
 石器時代の朝鮮民族と——との  
 遺物  
 陸中岩手郡一方井村——竪穴  
 原始——  
 ——あつて日本人種なし  
 「コ」固有日本人・吾人祖先「セ」  
 石器時代日本人「ヤ」彌生式民  
 族ヲモ見ヨ  
 二條公爵家 ——の陳列館  
 ——陳列の石棒石劍  
 新潟縣 「エ」越後「サ」佐渡ヲ見ヨ  
 新潟圖書館 ——と史料書目  
 人形石器 ——發見  
 「セ」石偶ヲモ見ヨ  
 乳兒 日本石器時代に於ける——  
 を甕中に入れて埋葬した風習  
 と石器時代の甕棺  
 乳棒狀石器 武藏安行の——  
 石臼及——  
 ニュギニー 大陸より寧——に類  
 似せる石器時代アイヌの遺物  
 喜田 貞吉 民歴 五ノ三三(天一〇)  
 阿部榮之助 瀧飛通史 三(天二)  
 鳥居 龍藏 北鮮石器 三(天二)  
 柴田 常惠 石器住居 九(前二)  
 小暮 秀夫 武藏見玉 七(前二)  
 吉田 十一 日本旅行 四(前二)  
 松村 瞭 人誌二五ノ二七(前四二)  
 考界 八ノ五五(前四三)  
 池田 雨工 越後古代 三(天二四)  
 星 野 考誌 七ノ七三(天五)  
 清野 謙次 日本原人 二五(天二四)  
 瓶堂 居士 人誌一三ノ六(前三〇)  
 鳥居 龍藏 諏訪史一ノ二六(天二)  
 鳥居 龍藏 有史日本 一六(天七)

又  
 沼津 ——地方考古學的研究要項  
 「ス」駿河ヲモ見ヨ  
 鈴木 嘉昭 歴と 六ノ二(天九)  
 根津武香 ——氏の藏品圖説  
 ——君小傳  
 故——氏所藏の古器物  
 根室園 ——花咲郡沖邊村土壘  
 「ホ」北海道ヲモ見ヨ  
 根室半島 ——の遺跡  
 年代 日本に於ける石器使用の最  
 終時期  
 貝塚土器と彌生式土器の古きに  
 就て  
 九州北部に於ける銅劍銅鉞及彌  
 生式土器と伴出せる古鏡の——  
 絲底ある土器の——  
 大野 雲外 人誌一八ノ五三(前三五)  
 柴田 常惠 人誌一八ノ五三(前三五)  
 柴田 常惠 人誌一八ノ五三(前三五)  
 東壽二〇ノ二七(前三六)  
 松浦武四郎 納紗日誌 二五(安政六)  
 伊藤初太郎 北教 五ノ一(天二五)  
 瓶 堂 博誌 八ノ四(前三三)  
 中山平次郎 考誌 八ノ五五(天六)  
 富岡 謙藏 考誌 八ノ五二(天六)  
 喜田 貞吉 歴地三〇ノ二九(天六)

二(二) 新人・乳・ニ 又(沼) 木(根・年)





貝塚——記事  
肥前國有喜貝塚——報告  
モールス先生——の大森貝塚の位置  
備後太田貝塚の——  
北海道に於ける貝塚の——  
雪中の——  
の價值  
用器具  
の方法  
發掘具  
石器時代に於ける土器の發達  
明とその推移——  
披——日本石器時代人に上犬齒を抜き去る風習ありしことに就て  
上齶外切齒を缺く貝塚頭蓋  
石器時代人の——に就て  
二三石器時代古式遺蹟に於ける——風習の有無及様式に就て

津雲貝塚及國府石器時代人骨の——並に齶齒の關係  
津雲貝塚人の——風習に就て  
「シ」齒牙變形ヲモ見ヨ  
花水川——流域の遺蹟を観る  
墳形概観——  
墳形概説 大野雲外氏の——に就て  
大野氏の——を讀む  
「ヤ」彌生式ヲモ見ヨ  
墳形土器——の種類に就て  
——に就て  
——と彌生式土器との區別  
——の名稱と其遺蹟に就て  
神宮境内發見の土器と——との關係  
渦形押付紋様の——を見て  
「ヤ」彌生式土器ヲモ見ヨ  
蛤 北海道の介塚に——あり  
濱田耕作 コロボツクル論に關する——氏の疑問に就て  
再び石器時代人民に關する——氏の間に就て  
遺名湖 遠州——畔先住民の遺蹟

大串菊太郎 民歴 三ノ四九(天九)  
宮本 博人 人誌四〇ノ六七(天一四)  
石野 瑛 武相考古 二(天一五)  
大野 雲外 人誌二七ノ五七(前四四)  
藤田 鎗次郎 人誌一七ノ五九(前二四)  
マンロー 人誌二二ノ四八(前三九)  
大野 雲外 人誌一七ノ七〇(前三四)  
大野 雲外 人誌一七ノ五九(前三四)  
藤田 鎗次郎 人誌一九ノ八六(前三六)  
大野 雲外 人誌二二ノ五六(前三九)  
大野 雲外 人誌二四ノ八四(前四一)  
大野 雲外 人誌三三ノ三三(天七)  
柴田 常惠 日本考古 一九(天一三)  
松本彦七郎 動誌三〇ノ三五(天七)  
坪井正五郎 人誌一七ノ四二(前三四)  
坪井正五郎 人誌一八ノ三二(前三五)  
木山 彦一 人誌三〇ノ五二(天四)

蠻人 本邦先住の——  
汎太平洋學術會議——見學旅行  
加曾利行  
羣民族 彌生式土器は——系統の民族の遺物  
アイヌ族と——との領分  
彌生式土器使用の民族は——  
機噐——にて黒曜石の石鏃發見  
國遺物遺跡概報  
國掛保郡太田村の石器時代遺跡  
姫路貝塚の發見  
大貝塚發見——飾磨郡四郷村  
明田  
但馬——發見のアイヌ式遺物に就て  
姫路の貝塚  
國明石郡垂水村山田大蔵山遺跡  
燧火 備中津雲貝塚置石及——に關する考按  
「ヤ」埋葬ヲモ見ヨ

中村徳五郎 日本開闢 二(前四三)  
人誌四一ノ五六(天一五)

喜田 真吉 武相史論 四(天六)  
喜田 真吉 攝津史論 二五(天八)  
喜田 真吉 攝津史論 二五(天八)  
原田 正彦 人誌一三ノ五八(前三〇)  
和田 千吉 北人 三ノ七(前三二)

人誌二六ノ三二(前四三)  
小西孝四郎 人誌三一ノ五九(天五)  
古澤 省三 考誌 九ノ六六(天七)  
直良 信夫 中史九ノ二五(天一三)  
柴田 常惠 日本考古 一七三(天一三)  
直良 信夫 石器日本一ノ二(天一五)  
清野 謙次 京大報五ノ一(天九)

ヒ・ビ

非アイヌ説 アイヌ説——の並存  
非コロボツクル論——  
非機噐時代 赤鐵及金滓と——  
日向——大隅古跡古物  
——にも亦石器時代の痕跡あり  
の石器  
——に於ける先史原史の古物遺跡  
跡  
國の遺物  
の古物遺跡  
高千穂の石器  
の遺跡  
に於て始めて發見された貝塚  
——に於ける有史以前の遺跡に就て  
年代を知る希望ある彌生式土器包含地  
彌生式土器の築址——  
古墳調査報告旅行の概要・

柴田 常惠 日本考古 一九(天一三)  
河野 常吉 札博 二ノ二二(前四〇)  
佐藤初太郎 人誌一三ノ五八(前三〇)  
田中 芳男 人誌 三ノ七(前二〇)  
若林 勝邦 人誌 七ノ二五(前二四)  
羽柴 雄輔 人誌一三ノ四四(前三〇)  
坪井正五郎 人誌一四ノ九二(前三一)  
考會 三ノ九(前三一)  
坪井正五郎 史誌一〇ノ六三(前三一)  
坪井正五郎 集古 六(前三一)  
坪井正五郎 學會 (——)  
三浦 敏 人誌一七ノ二五(前三四)  
鳥居 龍藏 人誌三二ノ二五(天六)  
喜田 真吉 歴地三〇ノ四七(天六)  
喜田 真吉 歴地三〇ノ四七(天六)



有史以前の遺跡  
青島驛附近の石器時代遺跡  
—— 發見石鐮の或様式  
—— 國發見磨製石鐮  
高千穂附近の石器時代遺物  
石劍—— 兒湯郡川南村  
—— に於ける先住民族の遺跡の概要  
日高見國 —— と日高見川  
蝦夷の住む ——  
庄内と ——  
日野川 —— 流域の先史時代原史  
時代に於ける遺跡に就て  
比較研究 紋様の ——  
比重 日本及朝鮮發見玉製勾玉  
—— 測定表  
肥後 —— 旅行談  
石鐮 —— 球磨郡湯山  
—— に於ける石器時代遺跡調査報告  
石器製作地の發見 ——  
阿蘇火山中の石器時代遺跡  
—— 國字土郡花園村岩古層字會

鳥居 龍藏 宮崎報三ノ一(天七)  
宮崎調一ノ二六(天二)  
小松 真一 人誌三九ノ三六(天二)  
鳥居 龍藏 諏訪史一ノ三六(天二)  
宮崎調三ノ二二(天三)  
宮崎調四ノ二八(天四)  
河井田政喜 歴史四七ノ三五(天一五)  
喜田 貞吉 歴史 九ノ七(前四〇)  
喜田 貞吉 社史 九ノ二五(天二)  
喜田 貞吉 社史 九ノ二五(天二)  
内藤 岩雄 山史二ノ一ノ四(天一五)  
大野 雲外 人誌二九ノ四三(天三)  
大野 雲外 土中日本三六(天三)  
濱田 耕作 京大報一〇ノ附(前二)  
島田 貞彦 人誌 五ノ二九(前二)  
若林 勝邦 人誌 五ノ二九(前二)  
江藤 正澄 人誌 五ノ二九(前二)  
若林 勝邦 東藝二〇ノ二六(前二)  
人誌二九ノ五〇(天三)  
佐藤 傳藏 地誌二六ノ八九(天三)

畑貝塚の土器  
介塚時代頭骨復成標本 —— 當  
尾貝塚  
—— 國下益城郡當尾貝塚  
—— 國字土郡花園村岩古層曾畑  
—— 貝塚附貝輪の用途  
—— 球磨郡免田村字木目發掘彌  
—— 生式土器  
—— 國上益城郡六嘉村上六嘉字  
—— カキワラ貝塚  
—— 國下益城郡當尾村大野貝塚  
—— 國字土郡不知火村貝塚  
有明八代灣沿岸の貝塚  
—— 砂取附近の遺物包含層  
「ア」阿高貝塚「ト」轟貝塚をも  
見よ  
肥後人種 —— の系統及び變遷  
肥前 —— 大村朝追岳にて掘得し  
劍石  
—— に於ける石器發見地  
—— 國平戸附近石世期遺蹟及び  
—— 遺物  
彌生式土器關係の部落跡と墓地

中山平次郎 考誌 八ノ三七(天六)  
鈴木文太郎 人誌三四ノ七(天八)  
島田 貞彦 考誌一三ノ四九(天二)  
清野 謙次 歴史四三ノ二七(天一三)  
日本原人 五(天一四)  
清野 謙次 日本原人 五(天一四)  
清野 謙次 日本原人 五(天一四)  
平野 流香 肥後史談 三六(前二)  
平野 流香 肥後史談 三六(前二)  
平野 流香 肥後史談 三六(前二)  
木内 石亭 雲根志後四ノ三(安永二)  
佐藤 傳藏 人誌一四ノ七七(前二)  
清水元太郎 人誌一八ノ四(前三五)  
中山平次郎 歴史三〇ノ三三(天六)

石器の發掘された古墳 ——  
東松浦郡呼子村  
大村灣南方海岸にて石鐮發見  
北高來郡に於ける史蹟  
—— 御厨貝塚發見報告  
—— 國發見磨製石鐮  
—— 平戸大垣石器發見報告  
北松浦郡に於ける先住民族の遺蹟  
—— 東嶺野遺跡發見報告  
大野原及び嬉野地方先住民の遺跡を尋ねて  
—— 國御厨貝塚發見報告  
「サ」佐賀縣「ナ」長崎縣「ユ」有  
—— 嬉貝塚、雪の浦ヲモ見ヨ  
圓形土器 ——  
丹波熊野郡海部發見の ——  
美術 本邦石器使用人民の —— 思想  
アイヌの —— 思想と石器時代土  
器  
原史 —— 時代  
「ゲ」藝術ヲモ見ヨ

後藤 守一 考誌一三ノ三四(天二)  
佐藤 眞藏 考誌一四ノ三六(天二)  
内山 芳郎 長崎報四ノ二六(天二)  
前田 毅 人誌四〇ノ二九(天二)  
島田 貞彦 人誌四〇ノ四三(天二)  
勝沼 六郎 長考 一ノ一(天二)  
小 楠 長考 一ノ一(天二)  
勝沼 六郎 長考 一ノ一(天二)  
津田 繁二 長考 一ノ一(天二)  
佐藤 眞藏 長考 一ノ一(天二)  
T. M. 生考界 六ノ九(前三九)  
稻葉 東圃 人誌二五ノ三三(前四二)  
杉山壽榮男 原始文様 三(天二)  
大野延太郎 人誌二二ノ三四(前二九)  
下村三四吉 人誌二二ノ三四(前二九)  
喜田 貞吉 武相史論 三(天六)  
山本 淳 土佐美術 四(前二)

飛騨 —— 白河にて掘出神代石  
—— 阿多野山中にて穿得たる神  
代石  
—— 小八賀の産神代石  
—— 白川山にて穿得石  
—— 白川郷天生村所出石器  
—— 國高山所出石器  
—— の石器  
—— 高山長嘯亭所藏猪頭形石槌  
—— 國永田氏所藏石冠  
御物大石器に似たる石器 ——  
吉城郡神岡村  
—— の石器  
—— 石器  
石斧砥圖解 —— 高山  
—— の古石器  
—— 國各種石冠略圖說明  
第三十版圖解 —— 國石冠  
—— 國の貝塚土器  
—— 國の石皿  
—— 國石器時代遺跡發見  
—— 國石世期の遺跡  
—— 三頭雷斧圖解 —— 發見  
—— 國吉城郡國府村石器時代遺

木内 石亭 雲根志後四ノ三(安永二)  
木内 石亭 雲根志三ノ一(天和一)  
木内 石亭 雲根志三ノ一(天和一)  
藤井 貞幹 集古圖 一一(一)  
藤井 貞幹 集古圖 一一(一)  
岡 巖 人誌 三ノ四六(前二〇)  
神田 孝平 人誌 三ノ三三(前二〇)  
神田 孝平 人誌 三ノ三三(前二〇)  
淡 匡 人誌 四ノ三五(前二二)  
佐藤 泰福 人誌 四ノ四五(前二二)  
田中正太郎 人誌 四ノ三四(前二二)  
若林 勝邦 人誌 四ノ四三(前二二)  
淡 匡 人誌 四ノ四三(前二二)  
淡 匡 人誌 五ノ三五(前二二)  
淡 匡 人誌 五ノ三六(前二二)  
田中正太郎 人誌 六ノ二五(前三三)  
田中正太郎 人誌 六ノ二五(前三三)  
田中正太郎 人誌 六ノ二五(前三三)  
田中正太郎 人誌 六ノ二五(前三三)  
神田 孝平 人誌 六ノ三三(前二四)



常陸風土記	——に所謂「大人跡」	坪井正五郎 人誌 八ノ四〇(明二五)
跡	とは堅穴の事ならん	
大楠岡なる大人の尿穴及踐跡の大きさに就て		喜田 貞吉 人誌三〇ノ三四(天四)
磐附土版	——	江見 水隆 地中の秘 三〇(明四二)
ヒツト	札幌近傍——其他古跡の事	波瀾莊三郎 人誌 一ノ五(明一九)
「タ」堅穴ヲモ見ヨ		
此の國	固有日本人の——は亞細亞大陸	
琵琶湖	——湖底の遺跡	鳥居 龍藏 有史日本 四(天七)
底より土石器を發見		笠井 新也 人誌三一ノ九(天五)
底から發見された有史以前の遺物		柴田 常惠 人誌四〇ノ三(天二四)
近江	中から出た厚手派土器	鳥田 貞彦 歴と一五ノ五(天二四)
底發見繩紋土器		鳥居 龍藏 有史日本 二八(天二四)
氷見洞窟	「オ」大境(白山)洞窟ヲモ見ヨ	鳥田 貞彦 歴と一七ノ八(天五)
壺形土器	——	高橋 健自 考古學 三(天六)
壺形及	——	日考資料 三(一)
		杉山壽榮男 原始 三九三(天三)
		後藤 守一 日本考古 七(明二)
備後	考古資料——の貝塚	
廣島縣世羅郡西大田村の遺跡遺物		若林 勝邦 考會 一ノ五七(明二九)
——世羅郡西大田村發見の石斧		繁森 止一 人誌三二ノ三六(天六)
——國西大田村所在石器發見地について		繁森 止一 人誌三三ノ二四(天七)
——太田貝塚の發掘		繁森 止一 人誌三四ノ三九(天八)
清野博士の活動——太田貝塚の發掘		清野 謙次 人誌四一ノ三六(天一五)
——沼隈郡高須村太田竹の鼻貝塚と人骨		考誌一六ノ四二(天一五)
「ヒ」廣島ヲモ見ヨ		
備前	——邑久郡の貝塚	
三備地方に於ける石器時代の人民に關する材料		清野 謙次 民族 二ノ三六(明二)
國にて發見せる彌生式土器		人誌 七ノ三三(明二四)
岡山縣粒江種松山貝塚發見		
中國——備中の石器時代アイヌ派土器との類似		
國兒島郡磯の森貝塚特に爪形紋土器に就て		若林 勝邦 人誌一〇ノ二八(明二七)
國兒島郡粒江村厚崎貝塚		清野 謙次 考界 五ノ五七(明三八)
國兒島郡粒江村真蓋谷貝塚		藤原 音松 考誌 九ノ三三(天七)
備中の貝塚及古代史に於て		鳥居 龍藏 有史日本 五(天七)
		島田 貞彦 考誌一四ノ三六(天二)
		清野 謙次 日本原人 五(天二四)
		清野 謙次 日本原人 五(天二四)

吉備地方の主要なりし理由		清野 謙次 日本原人 四九(天二四)
小田郡掛平貝塚		清野 謙次 民族 二ノ三二(明二)
「フ」岡山縣ヲモ見ヨ		
備中	三備地方に於ける石器時代の人民に關する材料	若林 勝邦 人誌一〇ノ二八(明二七)
考古資料——の石鏡		若林 勝邦 考會 一ノ五七(明二九)
中國備前——の石器時代アイヌ派土器との類似		鳥居 龍藏 有史日本 五(天七)
發見の石器時代二土偶		鳥居 龍藏 人誌三七ノ二四(天二)
後藤守一氏の三河に於ける見聞と鳥居博士の——國發見の土偶記事に附記す		武藏周圍 七(天二四)
國淺口郡西大島村八幡下貝塚		清野 謙次 考誌一三ノ四七(天二)
國淺口郡船穂村北谷里木貝塚及船穂三貝塚		清野 謙次 日本原人 二四(天二四)
國都窪郡上庄村山地貝塚		清野 謙次 日本原人 二五(天二四)
國都窪郡菅生村西岡貝塚		清野 謙次 日本原人 二六(天二四)
國都窪郡中洲村酒津貝塚		清野 謙次 日本原人 二七(天二四)
備前——の貝塚及古代史に於て		清野 謙次 日本原人 二八(天二四)
吉備地方の重要なりし理由		清野 謙次 日本原人 四九(天二四)
小田郡大井村小井手貝塚		清野 謙次 民族 二ノ三〇(明二)
「フ」岡山縣「ツ」津雲貝塚ヲモ見ヨ		
備後	考古資料——の貝塚	
廣島縣世羅郡西大田村の遺跡遺物		若林 勝邦 考會 一ノ五七(明二九)
——世羅郡西大田村發見の石斧		繁森 止一 人誌三二ノ三六(天六)
——國西大田村所在石器發見地について		繁森 止一 人誌三三ノ二四(天七)
——太田貝塚の發掘		繁森 止一 人誌三四ノ三九(天八)
清野博士の活動——太田貝塚の發掘		清野 謙次 人誌四一ノ三六(天一五)
——沼隈郡高須村太田竹の鼻貝塚と人骨		考誌一六ノ四二(天一五)
「ヒ」廣島ヲモ見ヨ		
備前	——邑久郡の貝塚	
三備地方に於ける石器時代の人民に關する材料		清野 謙次 民族 二ノ三六(明二)
國にて發見せる彌生式土器		人誌 七ノ三三(明二四)
岡山縣粒江種松山貝塚發見		
中國——備中の石器時代アイヌ派土器との類似		
國兒島郡磯の森貝塚特に爪形紋土器に就て		若林 勝邦 人誌一〇ノ二八(明二七)
國兒島郡粒江村厚崎貝塚		清野 謙次 考界 五ノ五七(明三八)
國兒島郡粒江村真蓋谷貝塚		藤原 音松 考誌 九ノ三三(天七)
備中の貝塚及古代史に於て		鳥居 龍藏 有史日本 五(天七)
		島田 貞彦 考誌一四ノ三六(天二)
		清野 謙次 日本原人 五(天二四)
		清野 謙次 日本原人 五(天二四)
姫路貝塚	——の發見	小西孝四郎 人誌三一ノ五九(天五)
平壺形土器	——	柴田 常惠 日本考古 二五(天二三)
廣口壺形土器	——	杉山壽榮男 日工藝概 二六(天二五)
廣島	——附近の貝塚	杉山壽榮男 日本工藝 二七(天二五)
廣島縣「ヒ」備後ヲ見ヨ		杉山壽榮男 日本工藝 二八(天二五)
		後藤 守一 日本考古 七(明二)
		吉野 益見 考誌一五ノ三三(天一四)
		一六ノ三七〇(天一五)
フ・フ	石器時代宗教思想の一端——の痕跡	谷川 磐雄 考誌一三ノ五四(天二)
フアリシズム		谷川 磐雄 石器住居 五(明二)
風習	服飾及——考	中澤 澄男 日本考古 六(明三九)
日本石器時代人に上犬齒を抜き去る——ありしことに就て		小金井真精 人誌三三ノ三(天七)
日本石器時代人の齒牙を變形する——に就て		人誌三三ノ三(天七)
二三石器時代古式遺跡に於ける		小金井真精 人類研究 六(天一五)

拔齒——の有無及様式に就て  
日本石器時代の歯牙を變形する  
——に就て追加  
日本石器時代に於ける墓地の一  
部に入骨を盤狀に集め置く  
日本石器時代に於ける乳兒を産  
中に入れて埋葬した——と石  
器時代の甕棺  
「バ」拔齒 「マ」埋葬ヲモ見ヨ  
風俗 日本全國に散在する古物遺  
跡を基礎としてコロポツクル  
人種の——を追想す  
コロポツクル——考  
北海道に於ける先史住民の  
習慣  
日本民族變遷——の研究  
武器  
武山閣  
福井縣 石器時代

松本彦七郎 人誌三五ノ六 (大一九)  
小金井真精 人誌三八ノ三 (大二二)  
清野 謙次 日本原人 二五 (大二四)  
八木英三郎 日本考古 六 (大二五)

清野 謙次 日本原人 二五 (大二四)  
清野 謙次 日本原人 二五 (大二四)  
八木英三郎 日本考古 六 (大二五)

坪井正五郎 史誌 四ノ一五 (前二六)  
坪井正五郎 風畫九〇  
鹽田 弓吉 人誌三〇ノ二六 (大四)  
大野 雲外 遺物日本 二六 (大二五)  
田中 祐吉 日風俗 一 (前二二)  
大野 雲外 遺物日本 二六 (大二五)  
八木英三郎 日本考古 二二 (大二五)  
足立謙太郎 静岡報三ノ七 (前二二)  
細田美櫻男 若越小誌 四 (前四二)

「エ」越前ヲモ見ヨ  
福岡 城西大堀發見のアイヌ  
式土器片  
福岡縣 下に於ける貝塚に  
就て  
「ア」豊前「チ」筑前筑後ヲモ見  
ヨ  
福島縣 下諸遺跡  
の 小形石斧  
地方土器  
「ア」會津「イ」磐城「ウ」岩代ヲモ  
見ヨ  
福田 常陸國——村貝塚探査報告  
常陸 德林寺石器時代遺跡  
常陸 村貝塚第二回發掘報告  
常陸 常陸總北の遺跡  
常陸 貝塚に於ける土器石器  
の包含  
常陸國——貝塚發掘報告  
石器時代土瓶  
の貝塚  
赤塗土器の圖版  
常陸國稻敷郡——發見土盤  
常陸國稻敷郡——發見土偶

中山平次郎 考誌一六ノ七五 (大二五)  
高川 鐵馬 筑史 二ノ二五 (大四)

佐藤 傳藏 人誌 九ノ三六 (前二六)  
渡邊市太郎 考誌一〇ノ二六 (前二七)  
佐藤 傳藏 人誌一三ノ三五 (前三〇)  
中澤 澄男 人誌一四ノ四九 (前三一)  
大野延太郎 人誌一四ノ四五 (前三一)  
川角 寅吉 人誌一四ノ二八 (前三一)  
大野延太郎 人誌一四ノ三三 (前三一)  
瓶 堂 博誌 八ノ四 (前三一)  
水谷乙次郎 人誌二二ノ四三 (前三九)  
水谷乙次郎 人誌二二ノ四四 (前三九)

の二度目  
常陸——發見の石器時代土器  
常陸稻敷郡——貝塚發見土器  
常陸稻敷郡——貝塚發見の土器  
常陸國稻敷郡大須賀村字——貝  
塚發掘遺物  
常陸國——介塚窟  
棒狀耳飾を附せる石器時代土偶  
・發見  
服裝——  
服飾——の部  
副葬品 日本石器時代の——  
覆面 遮光器・假面——  
覆面土偶——  
首部  
富士山下民族 考古學上——分布  
論に就て

江見 水陸 地中の秘 〇 (前四二)  
柴田 常惠 人誌二七ノ五 (前四四)  
柴田 常惠 人誌二八ノ五七 (前四五)  
柴田 常惠 人誌二八ノ四三 (前四五)

日遺圖譜四ノ一 (一)  
高島多米治 人誌 三〇ノ三三 (大四)  
三〇ノ三六 (大五)  
三〇ノ三九 (大五)

小松 眞一 人誌三八ノ三 (大二二)  
早川 莊作 越中石器 三 (大二五)  
中澤 澄男 日本考古 六 (前三九)  
八木英三郎 日本考古 二二 (大二五)  
高橋 健自 考古學 四 (大六)

運美郡史 五 (大二二)  
柴田 常惠 日本考古 二二 (大二三)  
清野 謙次 民族 二ノ九六 (前二二)  
後藤 守一 日本考古 四 (前二二)  
中澤 澄男 日本考古 五 (前三九)  
八木英三郎 人誌一三ノ三六 (前三〇)  
大野 雲外 博誌 六ノ二四 (前三一)  
大野 雲外 人誌三八ノ三六 (大二二)

後藤 蕭堂 中史 二二ノ三三 (前二五)

部族——的生活  
有史以前アイヌの各——  
部落跡 彌生式土器關係の——と  
墓地  
蓋 本邦石器時代遺跡より發見せ  
る土製の——及——らしきも  
の  
本邦石世期に於ける容器的の  
に就きて  
土器の——  
福井真幹——氏著「好古日録」所  
載アイヌ派土器把持手  
藤貞幹に就て  
「カ」好古日録ヲモ見ヨ  
附着物 石器表面の——  
古物面上の——  
舟 土製——形寫真を觀る  
——形木製品  
當時文化としての石器骨器細工  
場——  
「セ」船舶「マ」獨木舟ヲモ見ヨ  
文化 日本上代の——  
我が石器時代の——

柴田 常惠 日本考古 二五 (大二三)  
島居 龍藏 有史日本 二五 (大二四)  
中山平次郎 歴地三〇ノ三三 (大六)

佐藤 傳藏 人誌一三ノ二七 (前三〇)  
島田増次郎 考界 二ノ六 (前三五)  
八木英三郎 日本考古 九 (大二五)

島居 龍藏 有史日本 二五 (大七)  
吉澤 義則 藝文一三ノ一三 (一)

佐藤 傳藏 人誌 八ノ四六 (前二五)  
坪井正五郎 東藝一三ノ九 (前二九)  
大野 雲外 遺物日本 二六 (大二五)  
柴田 常惠 日本考古 二二 (大二三)

島居 龍藏 武藏有史 一四 (大二四)  
八木英三郎 日本考古 二二 (大二五)

清原 貞雄 歴と一ノ一八 (大六)  
津田 敬武 神道起原 八 (大九)



石器時代民族の——  
 北海道に於ける土偶——  
 アイヌ族の——  
 彌生式土器の——  
 石器及縄紋土器の——  
 石器時代——概覽  
 石劍——の最東方  
 成興野型石棒——  
 遺跡遺物の垂直——  
 アイヌ及我祖先の石器時代遺跡  
 の地理的——  
 武蔵相模に於ける遺物遺跡の——  
 氣候と貝類の——とに就て長谷  
 部博士の御教示を願ふ  
 吾人祖先有史以前の地理學的  
 ——  
 注口土器の——に就て  
 畿内に於ける縄紋系遺物の水平  
 的——  
 伊豆に於ける彌生式民族の——  
 考古學上富士山下民族——論に  
 就て  
 ——  
 概覽石鏡發見地  
 遺物——による地方圈の設定

沼田 頼輔 日本人種 三(前三三)  
 小田桐銀二 人誌三二、三三(天六)  
 喜田 貞吉 攝津史論 三(天八)  
 上田 三平 福井報一、三(天九)  
 岡村 利平 飛騨史要 一(天一〇)  
 阿部榮之助 濃飛通史 七(天二二)  
 鳥居 龍藏 諏訪史一、二、三(天二二)  
 鳥居 龍藏 諏訪史一、二、三(天二二)  
 鳥居 龍藏 諏訪史一、二、三(天二二)  
 鳥居 龍藏 日本宗教 二七(天二二)  
 石野 瑛 武相文化 二五(天二二)  
 村本 信夫 考誌一五、五(天二四)  
 鳥居 龍藏 有史日本 二四(天二四)  
 中谷 善三 人誌四一、二四〇(天二五)  
 直良 信夫 考誌一六、三三(天二五)  
 後藤 肅堂 中史二、三、七(天二五)  
 後藤 肅堂 中史二、三、七(天二五)  
 後藤 肅堂 中史二、三、七(天二五)  
 後藤 肅堂 中史二、三、七(天二五)  
 中谷 善三 東大報一、四、八(天二二)

東北日本に於ける注口土器の  
 ——と地方圈の關係  
 特殊形注口土器の——に依て想  
 定されたる東部日本文化移動  
 様式  
 我國に於ける貝塚の——  
 「イ」遺跡分布「カ」貝塚分布ヲ  
 モ見ヨ  
 分布圖 陸奥に於ける石器時代の  
 遺跡散布圖略解  
 石器時代遺跡——  
 信濃石器時代遺跡——  
 先史及原史時代遺跡——  
 太古住民の遺跡——  
 朝鮮史前遺跡——  
 鳥取縣下に於ける石器時代遺跡  
 ——  
 武庫地方遺物遺跡——  
 石器時代遺跡——  
 下伊那遺跡——  
 諏訪地方先史遺跡——  
 遺跡——  
 彌生式遺跡——  
 貝塚——

土器形式——  
 長崎縣下遺跡——  
 東京地方遺跡高低——  
 注口土器の——  
 多摩地方遺跡——  
 栃木縣下遺跡——  
 七戸附近遺跡——  
 「チ」地圖ヲモ見ヨ  
 分布表 東京灣沿岸古代人類遺跡  
 遺跡遺物の——  
 北相馬・印旛・稻敷三郡に於ける  
 貝塚の淡鹹及び土器の厚薄  
 ——  
 「チ」地名表ヲモ見ヨ  
 分類 把手の——  
 石器時代土器把手の——  
 諸人種耳飾り——上日本石器時  
 代人民所用品の位置  
 土偶——  
 石器——  
 土器——

杉山壽榮男 日工藝概 三(天二五)  
 杉山壽榮男 日工藝概 九(天二五)  
 杉山壽榮男 日工藝概 附(天二五)  
 中谷 善三 東大報四、一(天二二)  
 田中 啓爾 多摩地誌 三(天二二)  
 杉山壽榮男 日工藝概 二(天二二)  
 佐々木新七 青森報三、二〇(天二二)

骨角器——  
 用途に依る遺物の——  
 石棒の——  
 土器型の——  
 陸奥是川出土千個に對する土器  
 土器形態の理論的——と實際的  
 ——  
 注口土器の——と其の地理的分  
 布  
 注口土器に伴ふ文様の——  
 「ケ」形式分類「チ」地方的分類  
 ヲモ見ヨ  
 分類圖 石棒——  
 注口土器の——  
 注口土器に伴ふ文様の——  
 分類表 日本産製石棒——  
 諏訪郡遺物——  
 磨製石斧——  
 石棒——  
 墳墓 陸奥國發見の石器時代——

に就て  
 石器時代の——に就て  
 古代アイヌ族の——  
 石器時代のケールン及人骨の發見  
 彌生式土器遺跡と——との關係  
 會寧發見の石器時代の——  
 石器時代人——  
 古代——  
 「ケルン」の「ポ」墓地「マ」埋葬ヲモ見ヨ  
 深紋——土偶の徳利  
 フラオニ氏——Geology of the Environs of Tokyo  
 古書——  
 フレイアイノ——  
 飄形土器「ヒ」瓢形土器ヲ見ヨ  
 表現派 厚手派土製品と現代——との類似  
 鳥居 龍藏 諏訪史一ノ三六(天二五)

表現法 文様の——  
 橋高 遺跡と——  
 兵庫縣 「ア」淡路「カ」神戸「セ」攝津「タ」但馬ヲ見ヨ  
 津「タ」但馬ヲ見ヨ  
 橋 茂 世北越奇談 二(文化八)  
 木内 石亭 雲根志後四ノ(安永二)  
 橋 茂 世北越奇談二ノ二(文化八)  
 黒田 齊清 本草啓蒙 六(一)  
 松浦竹四郎 十勝日誌 (萬延二)  
 「カ」カミナリノタイコノバチヲモ見ヨ  
 露石——  
 露石——  
 露石——  
 阿波國津田山に雷落たるあとに——あり  
 「ラ」雷ヲモ見ヨ  
 變化 石器時代土偶系統品と模様の——に就て  
 土器把手の特徴と其——  
 「シ」進化「タ」退化ヲモ見ヨ  
 變形瓢形土器——  
 鳥居 龍藏 先史上伊 三六(天二五)  
 橋川 正野洲郡史上 三(昭二)

變形注口土器  
 變形土器  
 變遷 我國原史時代及有史以前のある期間に於ける文明形式の——を論ず  
 日本發見土器手法——假想表  
 土器燒成の種類及——  
 隅田川流域の——  
 地形の——  
 歴史上より觀たる程ヶ谷の——  
 屬鐘型土器——  
 屬平片刃石斧「カ」片及石斧ヲ見ヨ  
 辨天崎洞窟——  
 饒輪土器 二個の原始的——と其の類例に就て  
 「タ」繪畫ヲモ見ヨ

ホ・ホ  
 貿易 石器時代人民の交通——  
 交通及——篇  
 坪井正五郎 史藝一八ノ三三(前三四)  
 中澤 澄男 日本考古 一六(昭三九)  
 八木英三郎 日本考古 一六(昭三九)

杉山壽榮男 日本工藝 二八(天二五)  
 杉山壽榮男 原始文様 六(天二五)  
 杉山壽榮男 日本工藝 二四(天二五)  
 原 秀四郎 東光四ノ三ノ七(前四二)  
 濱田 耕作 京大報二ノ三(天二七)  
 大山 柏 土器研究 四(天二二)  
 後藤 守一 南葛飾誌 二四(天二二)  
 阿部榮之助 濃飛通史 五(天二二)  
 沼田 頼輔 武藏八ノ一(天二五)  
 喜田 貞吉 民族 二ノ二七(昭二)

山崎 直方 地球 三ノ三(天二二)  
 島田 貞彦 歴と一三ノ三(天二二)

「カ」交通ヲモ見ヨ  
 棒狀耳飾——を附せる石器時代土偶  
 「ミ」耳飾ヲモ見ヨ  
 棒の神——  
 紡錘車 石器時代の——  
 封内風土記 遺物古跡探査——の遺物の記載  
 ホー氏——の日本史前遺品蒐集北海道 東蝦夷のチャシ  
 内耳飾・發火器  
 カムイチャシより雷斧石矢根石を出す  
 説  
 コロボツクル果して——に住みしや  
 コロボツクル——に住みしなるべし  
 柄を具せる石斧——發見  
 諸地方より出たる古器物上に在る異體文字  
 石器時代の遺物遺跡は何者の手に  
 小松 眞一 人誌三八ノ三(天二二)  
 後藤 守一 日本考古 六(昭二)  
 藤澤 齋彦 日傳北武 三(一)  
 八木英三郎 人誌一五ノ三(前三三)  
 布施 千造 人誌一六ノ六(前三三)  
 山内 清男 人誌四一ノ九(天二五)  
 立松 東作 東遊記下 (一)  
 松浦竹四郎 久摺日誌 一四(文久二)  
 松浦竹四郎 東蝦日誌三ノ〇(文久三)  
 重野 安釋 學院二〇ノ二(一)  
 M 人誌 二ノ七(前一九)  
 S 史海 二ノ七(前二六)  
 坪井正五郎 人誌 二ノ三(前一九)  
 史海 二ノ七(前二六)  
 羽柴 雄輔 人誌 二ノ五(前一九)  
 坪井正五郎 人誌 二ノ三(前一九)

に成たか・——に在る石器時代遺物の事	坪井正五郎 人誌 三ノ三三(前二〇)	チャシ即ち蝦夷之器	河野 常吉 札博 一ノ八一(前三八)
平野虎吉氏の所蔵石器・——に於けるアイヌ人種研究の急務と石器時代住民の分布	石川 貞治 人誌 四ノ三二(前二二)	上川中學校内石器展覧會	勝毛市五郎 人誌 二ノ三八(前四〇)
石器時代の遺跡に就て	小金井真精 人誌 五ノ三三(前二二)	石器採集日記	勝毛市五郎 人誌 二ノ三三(前四〇)
石器時代の遺跡に關する小金井良精氏の説を讀む	東野 正五郎 人誌 五ノ三三(前二二)	に於ける新發見の石器時代遺跡	—— 人誌 二ノ三三(前四〇)
上川原野の石器	武藤留之助 人誌 六ノ七(前二二)	に於ける新石器時代の遺跡	勝毛市五郎 人誌 二ノ三三(前四〇)
武藤留之助氏の——石器の報に就きて思ふ所を述ぶ	坪井正五郎 人誌 六ノ三三(前二二)	珍しき石器	佐山 郡司 地誌 二ノ三三(前四〇)
美國に古き跡尋る記	吉田 東伍 人誌 六ノ三三(前二二)	有珠村の貝塚	鹽田 弓吉 人誌 八ノ三三(前四五)
旅行中人類學上の見聞	中澤 澄男 人誌 一〇ノ九(前二七)	に於ける先史住民風俗習慣發見の土偶	鹽田 弓吉 人誌 三〇ノ三三(前四五)
石器時代土器と本州土器との類似	坪井正五郎 人誌 一ノ一五(前二八)	に於ける土偶の分布	大野 雲外 土中日本 二ノ三三(前二七)
旅行中の見聞記	大野延太郎 土中日本 二ノ三三(前二七)	のチャシ	小田桐樹 二 人誌 三二ノ三三(前二七)
利尻島發見の石器及び其碎屑の石質	佐藤 傳藏 人誌 一五ノ三三(前二七)	貝塚に關する私見	阿部 正巳 人誌 三三ノ三三(前二七)
利尻貝塚發見の海獸牙製の人形	坪井正五郎 人誌 一六ノ三三(前二七)	に類強生式土器	阿部 正巳 人誌 三三ノ三三(前二七)
水滴形貝塚土器・——か魚形の鏝石乎・—— 函館	羽柴 雄輔 考界 一ノ一五(前二四)	古代アイヌ族の墳墓・——に於ける古代アイヌ墳墓	喜田 貞吉 歴地 三二ノ三三(前二七)

先史時代遺物略解	北海道史 一ノ二六(大七)	國產振興博覽會北海道歴史館陳列品解説	河野 常吉 國博北歴 一(大二五)
石器土器廢止の時代	北海道史 一ノ二六(大七)	東北部に於ける人類學的探究紀行	清野 謙次 民族 二ノ二七(前二二)
に於けるツングース種族の遺跡遺物	阿部 正巳 人誌 三四ノ三三(大八)	の堅穴	柴田 常喜 石器住居 二(前二二)
の土城	阿部 正巳 人誌 三四ノ三三(大八)	「イ」膽振・石狩「オ」小樽「キ」北見「ク」釧路「コ」後志「サ」札幌「ト」渡島・十勝「ネ」根室「ム」室蘭「モ」見ヨ	—— 人誌 四一ノ三三(大二五)
石器時代資料目錄	八幡 一郎 人誌 三九ノ三三(大二三)	北海通獨土研究會——の設立	——
の磨石斧の一形式に就いて	八幡 一郎 人誌 三九ノ三三(大二三)	北群「テ」朝鮮ヲ見ヨ	坪井九馬三 考誌 一三ノ三三(大二二)
雙口土器に就いて	河野 常吉 北海報 一六(大二三)	北方移民 太古に於る——の文化	藤原 義鳴 相生集 三ノ二五(——)
根野田村遺物包含層	河野 常吉 北海報 一六(大二三)	北陸地方 北越處々山中に石鏃あり	崇山 居士 東藝 二ノ二九(前二六)
カイコ潭貝塚	河野 常吉 北海報 一六(大二三)	越地瑣談・——の遺事古跡記事	八木英三郎 人誌 一一ノ三三(前二八)
普江村の環狀石籠	清野 謙次 人誌 四〇ノ三三(大二四)	に於ける人類學上の所見	—— 人誌 一一ノ三三(前二八)
に於ける石器時代人骨	宮坂 光次 考誌 一五ノ三三(大二四)	遺物圖譜	—— 人誌 一一ノ三三(前二八)
の環狀石籠	鳥居 龍藏 武蔵有史 二六(大二四)	發見石器	—— 人誌 一一ノ三三(前二八)
武蔵野の大森と——の遺跡	鳥居 龍藏 有史 二六(大二四)	發見石器時代土器	—— 人誌 一一ノ三三(前二八)
ジョン・ミルン氏の——研究	清野 謙次 人誌 四一ノ三三(大二五)	素燧土器	—— 人誌 一一ノ三三(前二八)
貝塚發掘略記	清野 謙次 人誌 四一ノ三三(大二五)	古物遺跡に就て	大野 雲外 人誌 二七ノ三三(前四三)
國產博覽會	伊藤初太郎 北藝 五ノ三三(大二五)	古代民族の消長に就て	喜田 貞吉 歴地 三二ノ三三(前二七)
根室半島の遺跡	八木英三郎 日本考古 五(大二五)	——	——
に存する堅穴	杉山壽榮男 日本工藝 五(大二五)	——	——
蕨形・臺付土器	杉山壽榮男 日本工藝 五(大二五)	——	——
注口土器	小泉 秀雄 大雪山 九(大二五)	——	——
大雪山と石器時代	——	——	——



土器	「エ」越後・越前・越中「カ」加賀 「ノ」能登ヲモ見ヨ	杉山壽榮男 日本工藝 二二(大一一)
鉢	讃岐國高松海中所出 「シ」神代の矛ヲモ見ヨ	藤井 貞幹 集古圖 二〇(一)
優曇	「チ」チヤシヲ見ヨ	
落星石		
墓制	上代——の沿革	
墓地	彌生式土器關係の部落跡と	
	日本の貝塚と石器時代—— 日本石器時代に於ける——の 一部に人骨を盤狀に集め置く風 習	清野 謙次 日本原人 三三(大一一)
	——の位置及土中に於ける骨格 占位の位置	清野 謙次 日本原人 三三(大一一)
	「フ」墳墓「マ」埋葬ヲモ見ヨ	後藤 守一 日本考古 二〇(昭二)
墓標	——に利用したる石棒	後藤 守一 日本考古 二〇(昭二)
細浦(上の山)貝塚	陸前國氣仙郡	中村 七徳 人誌一七〇四三(昭三四)
末崎村——の貝類		鳥羽 源藏 人誌三四〇六(大八)
陸前國——の環狀列石		長谷部言人 先史研究 二二六(昭二)
上野外切齒を缺く貝塚頭蓋		
——發見		長谷部言人 先史研究 二二六(昭二)
陸前國氣仙郡——發見貝類追加		鳥羽 源藏 先史研究 二二六(昭二)
石器時代に外臚道骨殖の見らる		長谷部言人 先史研究 二二六(昭二)
ること附鼓上骨		梅原 末治 民歴八〇五五(大一一)
細形石類 丹後出土の珍しい		
「セ」石劔ヲモ見ヨ		
保土ヶ谷貝塚 神奈川縣保土ヶ谷		八幡 一郎 人誌三八〇三(大一一)
に於ける新貝塚の發掘		小松 眞一 人誌三八〇三(大一一)
——難記		小松 眞一 人誌三八〇三(大一一)
武藏國保土ヶ谷町帷子貝塚		石野 瑛 武相文化圖 二二(大一一)
——に於ける貝層		大野延太郎 土中日本 六(大一一)
最近の——		後藤 守一 考誌一三〇三(大一一)
武藏國橋本郡——出土物		大山 柏 人誌三八〇一(大一一)
保美(平城)貝塚 愛知縣下旅行調		宮坂 光次 人誌四〇〇三(大一一)
査報告		清野 謙次 日本原人 三三(大一一)
三河に於ける見聞——		松村 瞭 東大報三〇三(大一一)
愛知縣渥美郡福江町——發掘概		
報		
三河國——の調査		
三河國——に於ける人骨埋葬の		
状態		
三河國渥美郡福江町——		
哺乳類 琉球秋宮貝塚の——		

骨	「ジ」獸骨ヲモ見ヨ	大山 柏 琉球伊波 三三(大一一)
骨	「コ」骨殖ヲ見ヨ	
骨塚	——の實例	中澤 澄男 日本考古 三三(昭三九)
凡字形石器	——に就て	首藤 岩泉 武相 一〇、三、六(昭二)
關津 椎塚介塚發掘報告の——		佐藤 傳藏 人誌二〇〇四三(昭二九)
堀之内貝塚 下總國國分寺——景		人誌二〇〇七(昭三七)
下總國々分寺——所出の人骨に		
就て		
記念遺足——實査に就て		小金井良精 人誌二〇〇六(昭三七)
——の位置と形状		坪井正五郎 人誌二〇〇九(昭三七)
記念遺足會採集品中動物諸類に		山崎 直方 人誌二〇〇二〇(昭三七)
就て——		
發見の石角貝骨器の二三に		田中 茂穂 人誌二〇〇二二(昭三七)
就て		
國分寺村——の土器類		大野 雲外 人誌二〇〇二五(昭三七)
發見品目録		野中 完一 人誌二〇〇二七(昭三七)
下總——の人骨		吉田 文俊 人誌二〇〇二八(昭三七)
下總國東葛飾郡國分寺村——發		高島 唯峯 考界 八〇三七(前四二)
掘		
鴻之臺附近の貝塚		人誌三二〇三六(大六)
——に於ける新發見遺物		高橋 善吉 人誌三三〇二九(大七)
念須形土器——發見		上羽 真幸 人誌三四〇三三(大八)
		考古圖 二一九(大一一)
		二〇一
埋葬 人骨姿位の狀況		長谷部言人 先史研究 二二六(昭二)
宮戸島里濱人骨の——状態		松本彦七郎 現科七〇二二(大一一)
津雲貝塚及國府石器時代遺跡		大串菊太郎 民歴 三〇三三(大九)
——状態		
——状態より見たる津雲貝塚の		
意義		大串菊太郎 民歴 三〇三三(大九)
河内國府人骨存在の状态		濱田 耕作 京大報四〇四(大九)
備中津雲人骨各部の相互位置及		辰馬 悦藏 京大報四〇四(大九)
——方位		
日本石器時代の——状態		清野 謙次 京大報五〇五(大九)
日本石器時代に於ける乳兒を並		小金井良精 人誌三八〇三(大一一)
中に入れて——した風習と石		人誌三八〇三(大一一)
器時代の變相		
日本石器時代に於ける焼けたる		清野 謙次 日本原人 三三(大一一)
成人骨を並中に容れて——せ		
し例		
三河國保美貝塚に於ける人骨		
——の状态		
——法		
——状態		
宮坂 光次 人誌四〇〇三(大一一)		
大野 雲外 遺物日本 一〇三(大一一)		
岩手考古 三三(大一一)		

「カ」類「ク」屈「コ」骨格占位「シ」伸「ダ」抱「石」石見ヨ

曲玉(勾玉)

問答 三類 管玉の新説 用法考

池袋村貝塚より 類出でたり

の有無如何

か

か 似た物か

に就て

に關する羽柴三宅二氏の説

を讀み再び思ふ所を述べ

坪井君の 定義に就き默す

るを得ず

定義

坪井君の 定義に就き尙默す

ることを得ず

又々 の事

本邦石器時代の

琉球諸島女子現用のヘゲダマ及

び同地方掘出の

形状の比較

- 木内 石亭 雲根志三ノ五ノ一 (安永二)
- 木内 石亭 曲玉問答 一 (一)
- 好問 堂 就奇漫錄 三 (文政七)
- 羽柴 雄輔 人誌 一ノ二六〇 (前一九)
- 谷 千生 人誌 三ノ三五五 (前二〇)
- 關 保之助 人誌 四ノ七〇 (前二二)
- 神田 孝平 淡屋遺稿 三二 (前四三)
- 三宅 米吉 人誌 五ノ五 (前二二)
- 坪井正五郎 人誌 五ノ一八〇 (前二二)
- 羽柴 雄輔 人誌 五ノ二九 (前二二)
- 坪井正五郎 人誌 五ノ七〇 (前二二)
- 羽柴 雄輔 人誌 六ノ三 (前二二)
- 坪井正五郎 人誌 六ノ一九 (前二二)
- 鳥居 龍藏 人誌 九ノ三五 (前二六)
- 鳥居 龍藏 人誌 九ノ三五 (前二六)
- 鳥居 龍藏 人誌 一〇ノ三九 (前二七)

琉球諸島發見の 阿波國發見の

見の

石器時代の に就て

予が得たる石器時代

に就て

越後國三島郡竹森の 及石鏃

能美郡の 及石斧

歌骨製の

貝塚

製造法

朝鮮發見の

再び朝鮮を論ず

各種の

原始の研究

石器時代の に就て

石鏃と の發見

三河國平井貝塚發見

管玉考

管玉考・須玖岡本に於て發見せる角製管玉

大和磯城郡平野村の 出土の遺蹟について

- 中井伊與末 人誌一〇ノ三二 (前二七)
- 田中正太郎 人誌一〇ノ三三 (前二七)
- 林 若吉 人誌一ノ五〇四 (前二八)
- 大野延太郎 人誌一ノ二二三 (前二九)
- 土中日本 一 (前二九)
- 北人 一ノ元 (前二九)
- 北山 重正 北人 一ノ四 (前二九)
- 佐藤 傳藏 人誌一三ノ三〇 (前三〇)
- 野中 完一 人誌一四ノ二八 (前三〇)
- 八木獎三郎 人誌一五ノ二六 (前三一)
- 坪井正五郎 集會 五ノ二 (前三七)
- 八木獎三郎 人誌二九ノ二 (大三)
- 八木獎三郎 人誌三〇ノ三 (大四)
- 柴田 常惠 人誌三一ノ一 (大五)
- 大野 雲外 人誌三一ノ二 (大五)
- 高橋 健自 人誌三一ノ六 (大五)
- 林 魁一 考誌 八ノ四三 (大六)
- 中山平次郎 歴と 九ノ四五 (大六)
- 中山平次郎 筑史二七ノ一 (大六)
- 渥美郡史 三 (大六)
- 榎本 龜生 古研 一ノ七 (大六)

諸陵官所藏 管玉目錄

城東村の

石器時代の 發見地名表

「シ」珠玉、「タ」玉類ヲモ見ヨ

曲玉砥石 につきて

磨製 石器の 裂製に就て

磨製石器 「マ」磨製石劍・磨製石鏃・磨製石斧・磨石器時代等ヲ

見ヨ

磨製石劍 の年代

形式分類

に就て

「セ」石劍ヲモ見ヨ

日本の とグリーンランドの

坪井・羽柴兩氏の御參考に供す

豐後後の

みつき船

武藏國の

- 柴田 常惠 日本考古 四 (大二三)
- 小倉 勉 地誌三七ノ二六 (大二四)
- 杉山壽榮男 日工藝概 三 (大二五)
- 千葉 星定 南豆傳説 二 (大二五)
- 大道 弘雄 考界 八ノ四二 (前四二)
- 木村字太郎 考誌 六ノ三三 (大四)
- 喜田 貞吉 歴地三〇ノ七 (大六)
- 梅原 末治 鳥取有史 三 (大二二)
- 大野 雲外 民歴七ノ六 (大二二)
- 古代研究 七六 (大二四)
- 羽柴 雄輔 人誌 六ノ二二 (前二二)
- 坪井正五郎 人誌 六ノ七〇 (前二二)
- 新國 西賞 人誌 六ノ三六 (前二二)
- K W 人誌 六ノ四〇 (前二二)
- 羽柴 雄輔 人誌 七ノ六 (前二四)
- 鷹野 秀雄 人誌 八ノ四六 (前二五)
- 栗原保二郎 人誌 一三ノ三五 (前三〇)
- 考會 二ノ七四 (前三一)

曲玉

本邦石器時代の 及び角鏃に就きて

太刀洗飛行場發見の石劍附大川村出土の

慶州附近發見の 各種

に就て

日向發見石鏃の或様式

諏訪郡發見

本邦各地 發見地名表

日向國發見

伊勢氣多郡齊宮村の

日本發見 及石劍聚成表

磨製石斧 小形

佐久間象山發見の

美濃國發見 圖解

伊豫國温泉郡中村の

朝鮮の

- 大野延太郎 人誌一五ノ二六 (前三二)
- 島田増次郎 考界 一ノ五七 (前三四)
- 中山平次郎 考誌一ノ四二 (大九)
- 小泉 顯夫 朝鮮報 一ノ七 (大一一)
- 梅原 末治 朝鮮報 一ノ七 (大一一)
- 藤田 亮策 歴と 九ノ四 (大一一)
- 大野 雲外 古代研究 七〇 (大一一)
- 小松 眞一 人誌三九ノ二六 (大一一)
- 鳥居 龍藏 諏訪史一ノ二七 (大一一)
- 鳥居 龍藏 諏訪史一ノ三三 (大一一)
- 鳥居 龍藏 諏訪史一ノ三三 (大一一)
- 鳥居 龍藏 諏訪史一ノ三三 (大一一)
- 鳥居 龍藏 下伊那史四元 (大一一)
- 柴田 常惠 日本考古 一八 (大一一)
- 鳥居 龍藏 先史上伊一八 (大一一)
- 谷川 磐雄 考誌一七ノ三三 (前二二)
- 梅原 末治 京大報一〇附 (前二二)
- 島田 貞彦 日本考古 四 (前二二)
- 後藤 守一 日本考古 四 (前二二)
- 八木獎三郎 集會 四ノ八 (前二二)
- 坪井正五郎 集會 四ノ八 (前二二)
- 林 魁一 人誌一六ノ二五 (前三三)
- 玉置 繁雄 人誌一八ノ九 (前三五)
- 大野延太郎 先史圖譜 三 (前三七)
- 池田 盛岡 人誌三〇ノ三九 (大四)





及遺物

飛騨地方土器	林 魁一人誌四一ノ三八(大一五)	關ヶ原發見の石銅	島田 貞彦 歴と一八ノ六(大一五)
美濃加茂郡 石器時代遺跡	杉山壽榮男 日本工藝 二八(大一五)	の有史以前	不破郡史上一(大一五)
美濃國諸地方の古物遺跡	林 魁一人誌一三ノ二五(前三〇)	原住民遺跡と石器	不破郡史上一(大一五)
古跡案内	林 魁一人誌一五ノ二三(前三三)	美保の關	鳥居 龍藏 山史二ノ三、一(大一五)
富田伊深地方の古跡	林 魁一人誌一〇ノ六(前四三)	の先史時代と原史	
美濃太田町大塚發見各種の遺物	林 魁一人誌三〇ノ六(大四)	時代	
に就き	林 魁一人誌三一ノ三三(大五)	遺物	
河岐の石器時代遺跡	柴田 常惠 人誌三一ノ三三(大五)	演習日記摘要・石器	
古井村二つ塚近傍の石器時代遺跡及び遺物	林 魁一人誌三二ノ三七(大六)	箕虫老人 秋田縣下の古物に就きて	
美濃國太田町に於ける石器時代遺跡遺物	林 魁一人誌三三ノ三二(大七)	てよりの書簡	
太田町宮の内石器時代の遺跡に就て	林 魁一人誌三五ノ三〇(大九)	耳飾り 日本石器時代人民の諸人種	
美濃太田地方に於ける遺跡	林 魁一人誌三七ノ二四(大一一)	分類上日本石器時代人民所用品の位置	
片刃の磨製石斧	林 魁一人誌三九ノ二七(大一二)	及口邊鈕	
太田町及古井町の彌生式遺跡	林 魁一人誌四一ノ二七(大一三)	日本石器時代人民使用の種類及び相互の關係	
有孔石器及土器	林 魁一人誌四二ノ二七(大一四)	河内國府の新發掘に就て・石製石器時代	
美濃通信	林 魁一人誌四三ノ二七(大一五)	木邦古代	
美濃不破郡 美濃國赤坂金生燧石	林 魁一人誌四四ノ二七(大一六)	類	
亭天狗飯七を藏す	林 魁一人誌四五ノ二七(大一七)	漏斗形	
赤坂山より石斧出づ	林 魁一人誌四六ノ二七(大一八)		

並に口邊鈕

土製品	八木英三郎 日本考古 二六(大一一)	民族ニ日本民族ヤ彌生式民族等ヲモ見ヨ	八木英三郎 民族六ノ一、七(大一〇)
「ク」滑車形耳飾「ケ」珠・珠狀耳飾「セ」石製耳飾ヲモ見ヨ	杉山壽榮男 日本工藝 一八(大一一)	民族論 石器時代の土器と	後藤 守一 日本考古 二〇(大一一)
耳飾石環 河内發見	大野 雲外 民歴二ノ二、三(大八)	先史時代	
に就て	大野 雲外 古代研究 二二(大二四)	「ジ」人種論ヲモ見ヨ	
耳附注口土器 關東地方	大野 雲外 民歴七ノ一、二(大一一)	「リ」陸前ヲ見ヨ	
「テ」注口土器ヲモ見ヨ	大野 雲外 古代研究 二二(大二四)	宮崎縣「ヒ」日向ヲ見ヨ	
みづく土偶 假稱	杉山壽榮男 日本工藝 二五(大一一)	宮戸嶋	
民族 鹿兒島縣下土器分布と	坪井正五郎 人誌二二ノ三(前三九)	里濱介塚の分層的發掘成績	
移住の方向	山崎五十慶 考誌 八ノ四九(大六)	陸前	
彌生式土器は華人系統の遺物	喜田 貞吉 武相史論 四(大六)	の古人骨發掘につきて	
彌生式土器を遺したるの研究	大野 雲外 歴地三三ノ四九(大八)	先史住民遺跡概報	
遺物遺跡と	濱田 耕作 民歴一ノ二、三(大八)	里濱介塚人骨の埋葬狀態	
による土器の特徴	喜田 貞吉 攝津史論 一九(大八)	里濱介塚の土器に就て	
彌生式土器使用の	喜田 貞吉 攝津史論 二二(大八)	再び	
湖邊に於ける土器及	須田 字十 甲斐古蹟 五(大八)	の遺蹟に就て	
アイノ民族其起源並に他の關係	小金井長精 人誌四二ノ五九(前二)	里濱及氣仙郡彌生介塚の石器	
歴史家の觀たる我が	喜田 貞吉 齊報 二ノ一(前二)	里濱介塚試掘土器調査	
「コ」古代民族「セ」石器時代民		二三石器時代古式遺跡に於ける	
		披齒風習の有無及様式に就て	
		陸前國	
		里濱介塚發掘遺物	
		腰飾	
		發見	

ミルン・ミン(Mirun, John)

故—先生略傳  
—シボルト氏の日本考古學と  
—氏の日本石器時代に關する著書  
—の北海道研究  
—モールス氏と—氏の論争

大森 房吉 東藝三〇ノ四三(天二)

清野 謙次 民藝九ノ五三(天二二)  
鳥居 龍藏 日本原人 三三(天二四)  
鳥居 龍藏 有史日本 一七(天二四)  
鳥居 龍藏 武蔵有史 九(天二四)

ム

武庫地方 上代の—

石器時代の—

遺物分布圖

郷土史料目錄

「カ」神戸市、セ、攝津ヲモ見ヨ  
武相(武藏・相模) — 境界奥部

に於ける石器土器の分布に就て  
日本武尊東征以前の—事情  
—の石器時代遺蹟概観

考古資料集

に於ける遺物遺跡の分布

考古

北洲及南武の史蹟と勝地

考古關係の會  
—の復活に際し—  
の近狀を述ぶ

武蔵 城山麓諏訪明神の石劍

貝塚

石棒の比較研究

土版の事—

貝塚  
下總—相模に於ける貝塚の分布

二日の旅行

貝塚土器横穴所在地名表

に於ける貝塚横穴其他地名表

の石鏡

國の磨製石鏡

石器時代遺蹟調査遠足

に於ける片及の磨製石斧

上野—の古墳及び先史遺蹟

の土版

—東部低地に存する石器時代遺物に就て

—に於ける古物遺蹟研究略史

樂石雜筆

—に於ける先史住居址發見

石野 瑛 中史三ノ一〇四(昭二)

石野 瑛 武相 二ノ二(天一四)

齋藤 樵夫 武蔵野話 三(寛政六)

齋藤 長秋 江戸圖會五ノ三(天保二)

若林 勝邦 人誌 一ノ二四(前一九)

田中延太郎 人誌 二ノ二二(前一九)

若林 勝邦 人誌 四ノ二五(前二二)

若林 勝邦 人誌 七ノ三六(前二四)

鳥居 龍藏 人誌 八ノ三四(前二五)

下村三四吉 人誌 八ノ五三(前二五)

阿部 正功 人誌 九ノ四八(前二六)

阿部 正功 人誌 九ノ四八(前二六)

大野 雲外 人誌 一三ノ四六(前三〇)

大野 雲外 考會 二ノ五四(前三一)

林 五策 人誌 一六ノ三五(前三三)

野中 完一 人誌 一六ノ四六(前三三)

柴田 常惠 人誌 二ノ一〇(前三七)

八幡 一郎 武相 二ノ一(天一四)

大里 雄吉 歴地四六ノ三七(天一四)

大野 雲外 古代研究 三〇(天一四)

谷川 勢雄 考誌 一六ノ四六(天一五)

谷川 勢雄 人誌 四ノ二六(昭二)

貝塚の新舊を鑑定するの標準・

—上目黒介塚

貝塚七ヶ所の記—

—調布村下沼部貝塚

—調布村字千鳥久保遺蹟發掘

—香爐形土器に就て—馬込發見

見

—上沼部の土版

—馬込發見品

—調布村字峯發見の土偶に就て

—下沼部貝塚發見の顔面模形

—香爐形土器

—顔面付着香爐形土器に就て—

—下沼部

嶺の千鳥窪

馬籠と根方

—足付土器に就て—權現臺貝塚

—澁谷の有史以前

—狹様の石製品に就て—馬込發見

—目黒の上高地に於ける先史人類

「ア」荒川沿岸「タ」玉川「ト」東京「ム」武蔵各郡・武蔵野・武相ヲモ見ヨ

武蔵足立郡 貝塚村の村名古塚より起る

本郷村貝塚より貝殻出づ

本郷村貝塚

貝塚を貝塚村に探るの記

「ム」武蔵北足立郡ヲモ見ヨ

武蔵入間郡 石劔及石の船

の遺跡

埼玉縣入間郡鶴瀬村の貝塚

の有史以前

北部の石器

川越町附近に於ける石器時代の遺跡分布

高麗の原始時代の遺跡

武蔵荏原郡 鴉の森光明寺藏雷斧

駒場野の土器塚

土器塚考—上目黒

光明寺石の棒

上目黒村の石棒

代田村石棒

新編武蔵 (文政八)

古川古松軒 四神地名 四(寛政六)

有坂 鋳藏 人誌 二ノ三(前一九)

神風 山人 人誌 二ノ二九(前一九)

榎岸 武香 人誌 二ノ三二(前一九)

島村孝三郎 人誌 一三ノ三四(前三〇)

大徳 千龍 考誌 七ノ二九(天五)

安部 立郎 人誌 三二ノ三〇(天六)

新井 重晴 武蔵 一ノ三(天七)

古川古松軒 四神地名 一(寛政六)

齋藤 長秋 江戸圖會 (天保七)

坪井正五郎 東藝 一九ノ五六(前一六)

福家梅太郎 人誌 一ノ二二(前一九)

若林 勝邦 人誌 一ノ二二(前一九)

若林 勝邦 人誌 一ノ二九(前一九)

和田 千吉 人誌 四ノ三二(前二二)

人誌 四ノ三二(前二二)

遺跡遺物及文化の化學的考察  
 調布村上沼部貝塚  
 府下目黒に堅穴跡らしきもの、出現  
 東京府下調布村千鳥久保貝塚所見  
 目黒東山堅穴群  
 池上村久ヶ原に於ける彌生式土器遺跡  
 貝塚を掘る男の話・上沼部貝塚發掘豫報  
 下澁谷の堅穴  
 「オ」大森貝塚、「ゴ」權現臺貝塚  
 フモ見ヨ

武蔵北足立郡 埼玉縣下北足立郡  
 貝塚村の貝塚  
 大宮公園より出所の土器  
 貝塚村貝塚内部の状態  
 安行の石棒  
 安行村領家貝塚發見  
 水郷の有史以前  
 新郷村貝塚  
 小室村貝塚  
 菱村貝塚

村上喜久治 人誌 八ノ卷(前二五)  
 八木英三郎 人誌 八ノ卷(前二五)  
 島居 龍藏 人誌 九ノ卷(前二六)  
 瓶堂 居士 人誌 一三ノ卷(前二〇)  
 林 五策 人誌 一五ノ卷(前二二)  
 大里 雄吉 武藏 三ノ卷(天九)  
 武田 真助 埼玉報 一ノ卷(天二二)  
 武田 真助 埼玉報 三ノ卷(天二五)  
 武田 真助 埼玉報 三ノ卷(天二五)

真福寺發見遺物  
 「ム」武蔵北足立郡フモ見ヨ  
 武蔵北多摩郡 史前器所藏之原由  
 武蔵北多摩郡 史前器所藏之原由  
 三鷹村發見の石鏃  
 石器時代土器の把手・丸山  
 狭山一帯に於ける先史時代及原史時代の遺蹟  
 「シ」深大寺、「ム」武蔵國分寺フモ見ヨ

武蔵北多摩郡 中里村介塚  
 日暮里村の貝塚  
 小豆澤紀行  
 中里村貝塚取調報告  
 彌生式土器發見に付て・上駒込  
 志村中臺の遺跡  
 小豆澤村貝塚發見の端緒  
 片及の磨製石斧  
 三方寺池畔の石鏃  
 學習院建設地附近より貝塚土器破片發見報告  
 破片發見報告  
 片口形土器・日暮里

杉山嘉榮男 日本工藝 一七(天二五)  
 武田 真助 埼玉報 一ノ卷(天二二)  
 淡 匡 人誌 四ノ卷(前二二)  
 根本 榮 人誌 一四ノ卷(前三一)  
 上羽 貞幸 人誌 三〇ノ卷(天四)  
 島居 龍藏 人誌 三七ノ卷(天二一)  
 武蔵周園 二四(天二四)

白井光太郎 人誌 一ノ卷(前一九)  
 關 保之助 人誌 五ノ卷(前二二)  
 下村三四吉 人誌 八ノ卷(前二五)  
 佐藤 傳藏 人誌 九ノ卷(前二六)  
 島居 龍藏 人誌 一〇ノ卷(前二八)

藤田 鎭次郎 人誌 一ノ卷(前二八)  
 島村孝三郎 人誌 一三ノ卷(前三〇)  
 無名子 人誌 一五ノ卷(前三二)  
 彌生 庵 人誌 一六ノ卷(前三三)  
 考界 一ノ卷(前三四)

鈴木 辰造 考界 四ノ卷(前三七)  
 日考資料 一六(一)

瀧野川町貝塚  
 田端の遺物  
 荒川沿岸に於ける彌生式土器に就て  
 東京市外日暮里町谷中延命院貝塚發見土器  
 「イ」池袋貝塚、「シ」石神井、「ニ」西ヶ原、「ト」東京、「ム」武蔵豊島郡フモ見ヨ

武蔵久良岐郡 屏風ヶ浦岡村  
 貝塚發見報告  
 武蔵(北多摩)國分寺 石器時代遺跡  
 近傍石器時期遺跡の遠足探究  
 の堅穴發見  
 武蔵野に於ける先住民の遺跡  
 村發見の土器  
 顔面把手に就て・發見  
 先住民の遺跡  
 土器把手・發見  
 國分寺縣附近顔面把手

鳥居 龍藏 有史日本 三七(天七)  
 大野 雲外 武藏 五ノ卷(天二)  
 考古圖 一六二(天三三)

伊能 嘉矩 人誌 一四ノ卷(前三二)  
 石田 收藏 人誌 三一ノ卷(天五)  
 大野 雲外 武藏 一ノ卷(天七)  
 三輪善之助 人誌 三七ノ卷(天二二)  
 大野 雲外 人誌 三八ノ卷(天二二)  
 大野 雲外 土中日本 一(天三)  
 考古圖 一七二(天三三)  
 鳥居 龍藏 諏訪史 一ノ卷(天三三)

武蔵見玉郡 松久村地方の古物遺跡  
 誌の編纂と第一回の實地踏査  
 郡誌資料觀察雜記  
 見玉郡の有史以前  
 の先史原史時代概論  
 先史時代  
 遺跡遺物發見地名表  
 武蔵檜橋郡 加瀬貝塚の遺物  
 折本村の貝塚  
 谷本村の遺跡  
 原街夜話・向岡長尾石棒を燒く  
 中間土器の貝塚調査報告  
 南加瀬  
 本邦石器時代住民の頭蓋  
 三つ澤發見  
 コロボックルに就て  
 澤發見人骨  
 疑問の加瀬貝塚

柴田 常惠 石器住居 四(前二二)  
 大木臺二郎 人誌 一八ノ卷(前三五)  
 上毛 一〇(前二五)  
 岩澤 正作 上毛 一〇(前二五)  
 鳥居 龍藏 武藏 八ノ卷(天二五)  
 鳥居 龍藏 上代東京 二九(前二二)  
 小暮 秀夫 武蔵見玉 二二(前二二)  
 小暮 秀夫 武蔵見玉 二六(前二二)  
 島村孝三郎 人誌 一三ノ卷(前三〇)  
 瓶 堂 人誌 一三ノ卷(前三〇)  
 瓶 堂 人誌 一三ノ卷(前三〇)  
 沼田 頼輔 考古 一ノ卷(前三三)  
 八木英三郎 人誌 二二ノ卷(前三九)  
 足立文太郎 人誌 二二ノ卷(前三九)  
 マンロー 人誌 二三ノ卷(前四〇)  
 江見 水隆 地中の謎 四七(前四二)





武藏南埼玉郡 岩槻地方石器時代遺跡探險記  
 武藏南多摩郡 堺村に於て發見の石世期遺物並に古墳に就て  
 栗石雜筆・八王子附近の遺跡  
 八王子研究旅行に於ける一二の考古學的收穫  
 南村の遺物と板碑  
 陸奥 仙臺所出石器  
 國名取郡掘出五口瓶  
 アイノの遺跡の事  
 田名部顯中高皿  
 發見石器圖版  
 に於ける石器時代の遺跡散布圖略解  
 に於けるアイヌの紀念  
 地方旅行見聞録  
 發見石器時代遺物圖説  
 國發見の石器時代の墳墓に就て  
 古代アイヌ族の墳墓  
 日本石器時代遺物  
 地方産形石器

「ア」奥羽ヲモ見ヨ  
 陸奥上北郡 内耳鍋の話  
 アイノ澤遺跡探險記  
 の堅穴  
 地名に就て・アイノ澤  
 の貝塚  
 磨製石鏃・有戸收場  
 アイノ澤土器  
 貝塚村貝塚調査報告  
 七戸附近先住民族遺跡調査報告  
 陸奥北津輕郡 高野村秋館  
 高野村秋館石器  
 秋館  
 根内村より人骨發見  
 根内村の遺跡  
 陸奥三戸郡 地方に於ける石器時代遺物に就て  
 大館發見遺物  
 「コ」是川ヲモ見ヨ  
 陸奥式文様 原始文様に就て  
 陸奥津輕郡 太古之遺跡を尋ぬる

神田 孝平 人誌 二ノ二六 (前一九)  
 佐藤 重紀 人誌 五ノ三三 (前二二)  
 佐藤 重紀 人誌 五ノ三六 (前二二)  
 佐藤 重紀 人誌 五ノ三六 (前二二)  
 佐藤 重紀 人誌 五ノ三六 (前二二)  
 K 人誌 六ノ四三 (前二三)  
 佐藤 重紀 人誌 八ノ三三 (前二五)  
 若林 勝邦 東藝一〇ノ六五 (前二六)  
 佐々木新七 青森報三ノ一 (昭二)  
 佐藤 重紀 人誌 二ノ二八 (前一九)  
 佐藤 重紀 人誌 二ノ二八 (前一九)  
 外崎 覺 人誌 一五ノ二九 (前二三)  
 人誌 三九ノ四四 (大二三)  
 青森報一ノ三六 (大二三)  
 河村 末吉 人誌 一六ノ二七 (前二三)  
 帝博報 三 (大二四)  
 杉山壽榮男 考誌 一六ノ七〇 (大二五)

の記  
 湯口村奇器を出す  
 花巻村より出でたる大甕  
 花巻村發見大甕續報  
 磨り截りし痕を存する石斧  
 佐藤理學士の古跡調査  
 「ジ」十三湯「ツ」津輕「ム」陸奥  
 各津輕郡ヲモ見ヨ  
 陸奥中津輕郡 紙漣澤村遺跡  
 發掘報告  
 浮紋土偶の徳利  
 石器時代土製の猿  
 石器時代人形の新例  
 腰内  
 石器時代土製の猿・十面澤  
 瓢形土器  
 土版の一種  
 雙附土版  
 藤代村の遺跡  
 船澤村の遺跡  
 陸奥西津輕郡 城母層中石器時代の遺物  
 田小屋野  
 日本本州に於ける堅穴發見報

告 森田村  
 日本石器時代研究上二三の最新發見  
 森田村より發見されたる金洋様の物質に就て  
 に於ける土器石器の發見地  
 遺跡・古城址  
 大戸瀬村遺跡  
 「カ」龜岡「ト」床舞「モ」森田の堅穴ヲモ見ヨ  
 陸奥二戸郡 小島谷村石器時代の遺跡  
 陸奥東津輕郡 石器時代の遺跡探報告  
 石廬丁の類か  
 本州に残存するアイヌ  
 既村字鐵  
 三瓶發見の三角形石製品  
 陸奥南津輕郡 陸奥の珠玉  
 花巻村  
 花巻村より出でたる大甕  
 沖浦村の貝塚土器  
 土偶及土版  
 浪岡村  
 太古の陶器石器發見のこと

佐藤 傳藏 人誌 一三ノ二七 (前三〇)  
 地誌 一〇ノ二九 (前二二)  
 東藝 一五ノ二二 (前三二)  
 若林 勝邦 人誌 八ノ二九 (前二五)  
 角田 猛彦 人誌 六ノ三九 (前二三)  
 角田 猛彦 人誌 八ノ二四 (前二五)  
 柴田 常惠 歴地三〇ノ三二 (大六)  
 松村 瞭 人誌 四二ノ七一 (昭二)  
 工藤彦一 人誌 四ノ七五 (前二二)  
 佐藤 重紀 人誌 五ノ三九 (前二三)  
 若林 勝邦 人誌 五ノ三九 (前二三)  
 淡 屋 人誌 二ノ二九 (前一九)  
 阿部 文助 浪岡名勝 三 (前三五)





ヤ

矢石 — 吉城郡山間に拾ふ  
 矢尻石 — 長谷川忠崇 飛州志二ノ四 (明四二)  
 矢の根石 — 閉伊産物石類 (二) (保)  
 神鐵石 — 平賀 國倫 物類品類三ノ六 (二) (一)  
 神津矢根之説 — 佐久間義和 奥羽割賦 六 (享保四)  
 張 朱 麟 龍宮船一ノ三 (寶曆)  
 丸山 之純 越後名寄三ノ八 (寶曆八)  
 林 自見 市井雜談上 (寶曆四)  
 木内 石亭 雲根志後四ノ一 (安永二)  
 谷川 士清 倭訓栞 四 (安永六)  
 橋 茂世 北越奇談三ノ二〇 (文化八)  
 松平 定能 甲斐國志 二ノ三 (文化)  
 毛利 權藏 上野國志 一六 (安政四)  
 松浦竹四郎 納紗日誌 一五 (安政六)  
 松浦竹四郎 東蝦日誌三ノ二〇 (文久三)  
 黒田 齊清 本草啓蒙 六 (一)  
 伊藤 長胤 名物六帖一ノ六 (一)  
 藤原 義鳴 相生集 一五 (一)  
 菅江 眞澄 雪の出羽 七 (一)  
 田中 美清 佐渡志 一五 (明二二)  
 原 宏平 大洲三二ノ五 (明三二)

天然物ならんか  
 吉城郡高原山中に在り  
 大野郡桐山村にあり  
 「セ」石磐、石鑿、テ、天狗の鎌  
 ヲモ見ヨ  
 矢の根石降る「ア」飽海神軍「カ」  
 鹿伏神軍ヲ見ヨ  
 矢筈 弓並 —  
 館の址 — より矢の根を出す  
 焼米 — を出せる竪穴址  
 屋久島 大隅國 — の石斧  
 藥研形石皿 —  
 八重山島 沖繩縣 — 婦人頸飾珠  
 の説  
 — の石器時代の住民に就て  
 — の遺跡に就て  
 貝塚發見の石器土器と貝の  
 突器  
 琉球石器時代民と — 民  
 八代書 有明 — 沿岸の貝塚  
 野豬 石器時代の — に就て  
 「イ」猪ヲモ見ヨ  
 破止孔 石器時代土器の上にある

大橋小一耶 地誌 五ノ四六 (明二六)  
 中原 敬藏 越後傳説 四 (明四二)  
 長谷川忠崇 飛州志 三 (明四二)  
 桐山 力 飛驒遺業 一巻 (大七)

八木英三郎 日本考古 二四 (大一一五)  
 柳田 國男 遠野物語 六 (明四三)  
 中山平次郎 考誌 一四ノ二〇 (大一一)  
 佐藤 傳藏 人誌 一ノ三三 (明二八)  
 八木英三郎 人誌 一五ノ二六 (明三二)

田代 安定 人誌 一〇ノ二二 (明二七)  
 鳥居 龍藏 太陽 一ノ七 (明三八)  
 鳥居 龍藏 有史日本 三三 (大一一四)  
 鳥居 龍藏 有史日本 三三 (大一一四)

鳥居 龍藏 有史日本 三三 (大一一四)  
 鳥居 龍藏 有史日本 三三 (大一一四)  
 清野 謙次 日本原人 九 (大一一四)  
 長谷部 言人 先史研究 四 (明二二)

以外の採み孔

山形縣 — 下の彌生式土器に就て

山口縣 — 考古遺跡概説  
片山石器時代遺物散列地調査報告

山崎區方 — 畿内石器時代研究第一  
告

山城 — 京都岡崎村土中瓦器を掘出す

好古日録所載の土器  
及び駿河の石器時代遺物

の石鑿  
發見の石器  
國發掘の二大石棒  
國岡崎村發見土器  
近畿地方土器  
「キ」京都ヲモ見ヨ

坪井正五郎 集會 (一)  
八木英三郎 日本考古 九 (大一一五)  
阿部 正巳 人誌 三七ノ三六 (大一一)

ヤ(山・大)

三宅 宗悦 山高報 一 (大一一四)  
 山高報 三三 (大一一四)  
 鳥居 龍藏 有史日本 六 (大七)  
 藤井 貞幹 好古日録下 五 (寛政九)  
 藤井 貞幹 集古圖 二 (一)  
 山崎 直方 人誌 五ノ三六 (明三二)  
 山崎 直方 人誌 七ノ三三 (明三二)  
 清野 謙次 人誌 一九ノ四九 (明三六)  
 岩井 武俊 考界 五ノ三三 (明三八)  
 梅原 末治 歴地 三〇ノ二九 (大七)  
 鳥居 龍藏 有史日本 七 (大七)  
 鳥居 龍藏 有史日本 七 (大七)  
 杉山 齋榮男 日本工藝 一五 (大一一五)

山中笑 繩紋土器に關する — 氏の説を讀む  
 我が先輩 — 先生  
 山梨縣 「カ」甲斐ヲ見ヨ  
 山之神殿 —  
 大和 — 丹波市の野山に鑿石あり  
 神代手斧石 — 多武峰にて穿得たり  
 奇石 — 葛城山掘出  
 古壺 — 城上郡にて得  
 石廬丁 — さみだ  
 國石器時代遺跡  
 考古雜錄・石器時代の土器  
 考古雜錄・石器時代の遺跡  
 神武陵西發見の石器時代土器  
 南 — の石器時代遺跡  
 石斧 — 佐味田より發掘  
 関却されたる — 國  
 國新澤村一の彌生式土器遺跡  
 磯城郡唐古の石器時代遺跡  
 に就て  
 國高市郡新澤村一石器時代

坪井正五郎 人誌 五ノ三三 (明三二)  
 鳥居 龍藏 武藏八ノ二五 (大一一五)  
 藤澤 衛彦 日傳佐渡 二六 (大七)  
 木内 石亭 雲根志後四ノ一 (安永二)  
 木内 石亭 雲根志三ノ五八 (享保二)  
 梅 圓 耽奇漫錄 九 (文政七)  
 龍 球 耽奇漫錄 二〇 (文政七)  
 若林 勝邦 人誌 四ノ三三 (明二二)  
 高橋 健自 考會 一ノ三六 (明二九)  
 高橋 健自 考會 二ノ三三 (明三一)  
 高橋 健自 考會 一ノ三九 (明三四)  
 高橋 健自 考界 四ノ四二 (明三七)  
 山中 樞 考界 五ノ四五 (明三八)  
 黒川 眞頼 日本金工 三三 (明四三)  
 鳥居 龍藏 人誌 三二ノ二九 (大七)  
 鳥居 龍藏 有史日本 一 (大七)  
 上田 三平 歴地 三一ノ二二 (大七)  
 梅原 末治 人誌 三三ノ三七 (大七)

遺跡	畿内—の石器時代遺跡	高橋 健自 奈良報五ノ三(天七)
—石器類	鳥居 龍藏 有史日本 一四(天七)	榎口 清之 考誌一五ノ六九(天一四)
—三山は石器時代の堡砦	鳥居 龍藏 有史日本 一八(天七)	谷川 磐雄 考誌一五ノ七五(天一四)
—アイヌ的色彩に乏しき—の石器時代遺跡	鳥居 龍藏 有史日本 二五(天七)	森本 六爾 教書三〇ノ三六(天一四)
—神武西陵發見唯一のアイヌ派土器	鳥居 龍藏 有史日本 元(天七)	榎口 清之 人誌四一ノ四三(天一五)
—に於ける彌生式土器とアイヌ派土器	鳥居 龍藏 有史日本 七(天七)	榎口 清之 考誌一六ノ三〇(天一五)
—山邊郡二階堂村平等坊石器時代遺跡	鳥居 龍藏 有史日本 九(天七)	榎口 清之 考誌一七ノ三三(天一五)
—再び—唐古の遺跡に就て	佐藤 小吉 奈良報六ノ一(天八)	高橋 健自 日本繪畫 五(昭二)
—原始的繪畫を有する彌生式土器に就て—唐古	梅原 末治 人誌三八ノ二〇(天一三)	沼田 頼輔 日本人種 二四(昭三六)
—國字陀郡三本松村大野の石器時代遺跡に就て	森本 六爾 考誌一四ノ二六(天一三)	マンロー 考誌 六ノ二五(天四)
—大淀町の石器時代遺跡	猪狩 忠英 考誌一四ノ三三(天一三)	栗田 茂治 秋考一ノ三ノ二(天一五)
—に於ける石器時代遺物發見地名表	森本 六爾 歴と 二ノ二〇(天一三)	足立鐵太郎 靜岡資料二ノ四(昭二)
—に於ける史前の遺跡	森本 六爾 やま一ノ一ノ五(天一三)	坪井正五郎 東藝九一ノ一五(昭二)
—磯城郡平野村の勾玉出土の遺跡について	森本 六爾 考誌一四ノ二六(天一三)	佐藤 傳藏 人誌一ノ四八(昭二)
—新澤石器時代遺物圖集	榎本 龜生 古研 一ノ五(天一三)	藤田鎗次郎 人誌一八ノ三四(昭三五)
吉田字太郎 大和圖集 一(一)		

—三輪山麓の石器時代遺跡—  
 —に於けるアイヌ的の石器時代遺物の新例に就て—  
 日本石器時代の繪畫と其示現する生活—唐古の原始繪畫—  
 —發見の特殊石庖丁と石錐用石鏃—  
 —國發見の一石器に就て—  
 —雜報—  
 —磯城郡唐古發見彌生式土器の鹿圖—  
 —大和民族—石器時代の民族と—  
 —との關係—  
 太古の—と土蜘蛛—  
 上代奥羽に於ける—の發展—  
 —アイヌを征服す—  
 「コ」固有日本人「セ」石器時代日本人「ヤ」彌生式民族等ヲモ見ヨ  
 彌生式—帝國大學の隣地に貝塚の跡あり  
 —マライ説—  
 —に就て再び大野氏に質す—

關係文獻表	八木獎三郎 人誌二二ノ四(昭三五)
—と原史時代民衆の遺跡遺物との關係	鳥居 龍藏 讀史一ノ三六(天一三)
—の名稱	八木獎三郎 日本考古 二五(天一五)
—の考説	八木獎三郎 日本考古 二五(天一五)
—の墓棺	本山 彦一 山史三ノ一(昭二)
—「ハ」墳説ヲモ見ヨ	八木獎三郎 考古研究 二(昭三六)
彌生式(十器)遺跡	中村 七徳 日本考古 一八(昭三九)
—及發見地の狀態	中澤 澄男 日本考古 一八(昭三九)
—越前國東十鄉村河和田及び其附近の—に就て	八木獎三郎 日本考古 一八(昭三九)
—大宰府南方の—	上田 三平 歴地二九ノ二四(天六)
—彌生式土器關係の部落跡と墓地	中山平次郎 歴地三〇ノ三六(天六)
—銅鉾銅劍發見地と彌生式關係の遺跡	中山平次郎 歴地三〇ノ三二(天六)
—年代を知る希望ある彌生式土器包含地	中山平次郎 歴地三〇ノ四三(天六)
—小田原在久野村字諏訪原に於ける—に就て	喜田 貞吉 歴地三〇ノ四六(天六)
—銅鉾銅劍發見地と—	榎原 政職 考誌 九ノ三八(天七)
—鐵滓を出す—	中山平次郎 歴地三一ノ三(天七)
—越中水見郡大境洞窟内の—	中山平次郎 歴地三一ノ三(天七)
上田 三平 歴地三二ノ二五(天七)	

九州北部の—と支那古鏡—  
 —と墳墓との關係—  
 竹野郡深田村黒部—  
 彌生式土器及石器發見の遺跡—  
 —を留めたる先住民族—  
 信濃小縣郡彌生式土器發見地名表—  
 何鹿郡館—  
 美濃國加茂郡太田町及古井町の—  
 德島の—  
 井尻の—  
 石川縣江沼郡作見村片山津の—  
 —とアイヌ人遺跡との交渉—  
 河内國天見村彌生式土器發見地の地理的分布—  
 —主なる—  
 —の分布—  
 武藏國荏原郡池上村久ヶ原に於ける—

中山平次郎 筑史一八ノ一(天七)	喜田 貞吉 攝津史論 五三(天八)	山崎五十麿 考誌一〇ノ六(天八)	上田 三平 福井報一ノ五(天九)	鈴木 敏雄 三重報二ノ三(天九)	小山 眞夫 考誌一二ノ四(天二〇)	大村 正之 富山報二ノ一(天二〇)	京史報二ノ二(天九)	林 魁一 人誌三七ノ二(天二二)	森 敬介 人誌三八ノ二七(天二二)	中山平次郎 考誌一四ノ七三(天二二)	中谷 善三郎 人誌三九ノ六(天二三)	鳥居 龍藏 讀史一ノ三六(天一三)	清野 謙次 民族一ノ二六(天一四)	鳥居 龍藏 先史上伊一五(天一五)	鳥居 龍藏 先史上伊一五(天一五)	八木獎三郎 日本考古 一四(天一五)	八木獎三郎 日本考古 一五(天一五)	中根 君郎 考誌一七ノ六(昭二)
------------------	-------------------	------------------	------------------	------------------	-------------------	-------------------	------------	------------------	-------------------	--------------------	--------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	--------------------	--------------------	------------------





有孔高臺土器

有孔貝器

有史以前

我國原史時代及

東京灣附近に於ける

人遺跡

の固有日本人

の遺物遺跡

の野州郡

の長野

と現今アイヌとの關係

北千島アイヌと我國

アイヌの

朝鮮の

臺灣の

會津越後の

の遺跡とアイヌ

の續枝

「七」先史時代ヲモ見ヨ

有髻土偶 三河國發見の

八木契三郎 日本考古 六(大一五)

杉山壽榮男 日本工藝 一四〇(大一一五)

藤田鎗次郎 人誌一四ノ二五(前三一)

古谷 清 人誌一四ノ三四(前三一)

富士川 游 日本醫學 一(前四〇)

原 秀四郎 東光四ノ三ノ七(前四二)

福井坂井 四五(大一一)

吉田 文俊 人誌三二ノ二五(大六六)

鳥居 龍藏 有史日本 三七(大七)

鳥居 龍藏 宮崎報三ノ一(大七)

橋川 正 野洲郡史 一六(大一一)

長野市史 一(大一一)

鳥居 龍藏 有史日本 一五(大一一)

鳥居 龍藏 有史日本 一五(大一一)

鳥居 龍藏 有史日本 一五(大一一)

鳥居 龍藏 有史日本 一五(大一一)

鳥居 龍藏 有史日本 一五(大一一)

鳥居 龍藏 有史日本 一五(大一一)

曾川 壽吉 讚岐通史 一(大一一)

て

か

石器時代の

常陸飯出貝塚發見の所謂

其類品

余山の

に就て

坪井博士が江見君の

を否定せられし論文を讀む

の發見

有紋土器 臺灣石器時代の

「シ」繩紋土器「ド」土器ヲモ見

有文圖石土版 石偶化せる獨鈷石

と

U字形土器 常陸國陸平貝塚發見

の土器

雲の浦 石鍋・長崎縣

肥前國西彼杵郡 村の貝塚に

就て

肥前國 遺跡調査報告

長崎縣 貝塚の石器時代人骨

中村 士徳 考界 三ノ五二(前三六)

江見 水隆 考界 三ノ六一(前三六)

一土 偶人 考界 四ノ三三(前三七)

坪井正五郎 人誌二一ノ四五(前三八)

江見 水隆 地中の秘 九五(前四二)

江見 水隆 地中の秘 二九六(前四二)

大野 雲外 人誌二七ノ二六(前四四)

大野 雲外 土中日本 二〇五(大一一)

大野 雲外 人誌二八ノ六九(大一一)

大野 雲外 土中日本 二二七(大一一)

大野 雲外 渥美郡史 一三(大一一)

柴田 常惠 人誌一六ノ二〇(前三一)

石野 瑛 考誌一六ノ二六(大一一)

柴田 常惠 人誌二七ノ五七(前四四)

杉山壽榮男 原始文様 三(大一一)

喜田 貞吉 民歴四ノ六九(大九)

佐藤 眞穂 考誌一四ノ八元(大一一)

八重津輝勝 考誌一四ノ八元(大一一)

小川 啄治 地球 二ノ四四(大一一)

西彼杵郡 村に於ける史蹟

雲目鏡

湯島貝塚

京の文化

弓

弓張

由來 先住民アイヌ説

「キ」起源ヲモ見ヨ

ヨ

熔岩

伊豆大島

伊豆大島

伊豆大島

伊豆大島

伊豆大島

伊豆大島

伊豆大島

伊豆大島

伊豆大島

内山 芳郎 長崎報四ノ一(大一一)

赤星 直忠 考誌一七ノ五〇(前一一)

鳥居 龍藏 武藏有史 三三(大一一)

八木契三郎 日本考古 一四(大一一)

柴田 常惠 日本考古 一〇六(大一一)

柴田 常惠 日本考古 一〇七(大一一)

鳥居 龍藏 武藏有史 三三(大一一)

坪井正五郎 人誌一七ノ三六(前三四)

鳥居 龍藏 人誌一七ノ三六(前三四)

鳥居 龍藏 地誌一四ノ三七(前三五)

佐藤 傳藏 人誌一七ノ四三(前三四)

中澤 澄男 日本考古 二九(前三九)

八木契三郎 日本考古 二九(前三九)

柴田 常惠 日本考古 三三(大一一)

鳥居 龍藏 武藏周圍 二六(大一一)

流下の包含地

流下包含地

石器の

骨器の用を明示する貴重なる遺

物の發見

貝輪の

石冠の

石冠の

土偶の

彌生式土器の

「シ」使用ヲモ見ヨ

用法 曲玉

回みある石器の

を述ぶ

パリイ通信・石棒

臺灣見聞録・回みある石器の

を考ふべき一材料

橫濱 富士塚貝塚

市外子安町貝塚より人骨發

見

伊皿子の貝塚報告

池の阪貝塚

喪はれた

八幡 一郎 史蹟 七(大一一)

後藤 守一 日本考古 一四(前一一)

八木契三郎 日本考古 一五(大一一)

羽柴 雄輔 人誌 三ノ四三(前二〇)

坪井正五郎 東藝二ノ四六(前二八)

林 五策 人誌一六ノ五八(前三三)

寺田 貞次 考誌一三ノ三〇(大一一)

早川 莊作 考誌一三ノ三六(大一一)

柴田 常惠 日本考古 七八(大一一)

後藤 守一 日本考古 一三(前一一)

谷 千生 人誌 三ノ七五(前二〇)

羽柴 雄輔 人誌 四ノ五二(前二二)

坪井正五郎 人誌 五ノ二七(前二二)

田中正太郎 人誌 二ノ二七(前二五)

エス・ウエダ 人誌 二ノ二五(前一九)

藤枝隆太郎 武相 二ノ二(大一一)

山田 惇 武相 二ノ二(大一一)

石野 瑛 武相考古 三(大一一)







石類矢尻石  
 七月盛岡藩示達名石・雷斧  
 一にて石鏃石棒を得たり  
 水澤近傍發見の土器  
 發見紡錘車・小環石等  
 古物古跡探究叢  
 龜形土器——水澤  
 のチャシコツ?  
 粘土の入りたる石器時代土器  
 上閉伊郡土淵村  
 蝦夷の跡・石斧石刀出づ  
 上閉伊石器時代遺跡分布梗概  
 下閉伊地名表  
 一國大ヶ生發見石皿  
 男根形の珍しき土製品——江  
 刺郡人首  
 猿澤川筋大洞窟遺跡發見に就て  
 一佐倉河發見遺物  
 紫波郡の有史以前  
 紫波郡の石器と土器  
 紫波郡の蝦夷の堅穴  
 雫石峽石に於ける石器時代の遺  
 跡  
 東磐井郡長坂村堅穴

閉伊産物 (二〇保)  
 盛岡示達 (天明七)  
 神保 小虎 人誌 一ノ三九 (明一)  
 八木柴三郎 人誌 一五ノ八 (明三)  
 八木柴三郎 人誌 一五ノ三三 (明三)  
 布施 千造 人誌 一六ノ八 (明三)  
 更藝 一九ノ七〇 (明三五)  
 伊能 生 人誌 二二ノ九 (明三九)  
 伊能 喜矩 人誌 二三ノ二 (明四〇)  
 柳田 國男 遠野物語 一三 (明四三)  
 岩手下閉伊 (大一一)  
 岩手下閉伊 (大一一)  
 小笠原速宮 考誌 一四ノ七〇 (大一一)  
 小笠原速宮 人誌 三九ノ三六 (大一一)  
 鈴木 貞吉 考誌 一四ノ九七 (大一一)  
 帝博報 三 (大一一)  
 紫波郡誌 五 (大一一)  
 紫波郡誌 五 (大一一)  
 紫波郡誌 五 (大一一)  
 田中喜多美 中史 三ノ二〇七 (昭二)  
 柴田 常惠 石器住居 四 (昭二)

「イ」岩手縣ヲモ見ヨ  
 林相 石器時代に於ける——に就  
 て  
 雨頭石棒 日野の——  
 「セ」石棒ヲモ見ヨ  
 隆起裝飾帶 C型注口土器——の  
 種類  
 中谷治字二部 東大報四ノ三 (昭二)  
 直良 信夫 歴地 四八ノ七五 (大一一)  
 大野 雲外 人誌 一三ノ四六 (明三〇)  
 坪井正五郎 東藝 一三ノ二五 (明二九)  
 松本彦七郎 人誌 三三ノ三六 (大七)

類似土器 異地方の——  
 類彌生式土器 北海道に於ける  
 歴史 石鏃に關する——上の記載  
 一上よりの證明  
 遺物遺跡と——研究  
 彌生式人種調べと——の記載  
 「キ」記録・舊記「コ」古書「ア」  
 文献ヲモ見ヨ

歴史地理 ——と古物遺跡との關  
 係  
 製製 ——動物形石製品  
 石器の磨製と——に就て  
 「ダ」打製ヲモ見ヨ  
 列石 石鏃と——  
 鹽 「ギ」漁獵ヲ見ヨ  
 興文島 北見國——發掘の石器及  
 土器  
 の骨器  
 の石器時代遺跡  
 北海道北見國——の石器時代の  
 遺物  
 一個の——土器に就て  
 石鏃を附加する骨鏃——  
 發見の土石器  
 樺太土器

八木柴三郎 歴地 三ノ四三 (明三三)  
 坪井正五郎 人誌 二七ノ三三 (明四四)  
 木村宇太郎 考誌 六ノ二五 (大四)  
 谷川 磐雄 石器住居 五 (昭二)  
 代田龜次郎 人誌 五ノ三三 (明二二)  
 坪井正五郎 人誌 六ノ六 (明三三)  
 原 忠五郎 人誌 二〇ノ四三 (明三七)  
 八幡 一郎 人誌 三三ノ四四 (大一一)  
 鳥居 龍藏 人誌 三八ノ三九 (大一一)  
 武藏周圓 二二 (大一一)  
 八幡 一郎 人誌 三九ノ九 (大一一)  
 八幡 一郎 人誌 四〇ノ三 (大一一)  
 杉山善榮男 日本工藝 七 (大一一)  
 大村 正之 富山報六ノ一 (大一一)

するもの其一——  
 又は竈  
 と土器埋没  
 址  
 と石鏃  
 「カ」竈「ヒ」火焚き場ヲモ見ヨ  
 壙場層 ——中石器時代の遺物  
 鹿角器 三河國發見の——を見て  
 「カ」角器ヲモ見ヨ  
 鹿角製腰飾 陸前名取郡増田村下  
 増田經の塚出土鹿角刀裝具に  
 就て・附石器時代——  
 日本石器時代に於ける——  
 「コ」腰飾ヲモ見ヨ  
 鹿角製鋸頭 本輪西貝塚の——  
 「コ」骨鏃  
 鹿角製刀子柄 金海貝塚發見の

小田島藤郎 岩手報 九 (大一一)  
 八幡 一郎 先史遺跡 六〇 (大一一)  
 谷川 磐雄 石器住居 四 (昭二)  
 谷川 磐雄 石器住居 三 (昭二)  
 谷川 磐雄 石器住居 三 (昭二)  
 佐藤 傳藏 人誌 二ノ三〇 (明二九)  
 大野延太郎 人誌 一六ノ三三 (明三三)  
 土中日本 二九 (大一一)  
 長谷部言人 人誌 三九ノ四一 (大一一)  
 清野 謙次 日本原人 二七五 (大一一)  
 長谷部言人 人誌 四一ノ四七 (大一一)  
 先史研究 四六 (昭二)  
 藤田 亮策 朝鮮報 一ノ二 (大一一)  
 梅原 末治 朝鮮報 一ノ二 (大一一)  
 藤田 亮策 朝鮮報 一ノ二 (大一一)  
 梅原 末治 朝鮮報 一ノ二 (大一一)  
 小泉 顯夫 朝鮮報 一ノ二 (大一一)  
 館岡 虎三 人誌 七ノ三五 (明二四)  
 若林 勝邦 人誌 七ノ四三 (明二四)

レ(歴・製・列・獵・禮) □(・墟・鹿・六)

六頭雷斧 三頭雷斧・石環齒

車石用法考

の刃

坪井君の間に答ふ

につきて

「タ」多頭石斧ヲモ見ヨ

輪製 一の土器

論争 モールス氏とジョン・ミル

ン氏の

柴田 常惠 日本考古 二〇二 (大二三)

鳥居 龍藏 武藏有史 六 (大二四)

ワ

輪石 一に就き

「ク」環石ヲモ見ヨ

矮人 コロボツクルといふ一の

事を云ひて人類學者坪井正五

郎大人に戯る

コロボツクルといふ一の事を

云ひて人類學者坪井正五郎大

人に戯ると題する文を読む

宇文謙 一土器

若狭 考古時代

若林勝邦 一氏の龜岡行

石田 寛孝 人誌 七ノ四三 (明二四)

警新八 (明二三)

坪井正五郎 人誌 六ノ八九 (明二三)

杉山壽榮男 日本工藝 九〇 (大二五)

若狭遺物 一五 (大二二)

坪井正五郎 人誌 五ノ二六 (明二三)

故 君の起草目録

和歌山 附近に於ける先住民

の研究

市附近に於ける有史以前の

研究

「キ」紀伊ヲモ見ヨ

和田峠 出所の面白き石鏃

黒曜石分布想定圖

倭人 一とは何ぞや

縮形土器

人誌二〇ノ三四 (明三七)

鳥居 龍藏 太陽二ノ二六 (明三八)

鳥居 龍藏 有史日本 一八 (大二四)

人誌一八ノ八四 (明三五)

鳥居 龍藏 諏訪史一ノ二六 (大二三)

喜田 貞吉 筑史一九ノ一 (大七)

高橋 健自 考古學 三 (大六)

人名目録

相川之賀 伊勢崎郷土史料展覧會目錄	上毛 二七ノ二四 (昭二)	神奈川縣の遺跡	考誌一五ノ六 (大一四)
I生 石器時代遺物展覧會	人誌二二ノ六 (昭三九)	考古三事	考誌一五ノ三五 (大一四)
コロボツクル村の出版	人誌二三ノ三〇 (昭四〇)	相模鴨居の横穴	考誌一五ノ三六 (大一四)
會津藩地誌局 新編會津風土記	〔編纂〕	相模國新遺跡三個所	考誌一六ノ二九 (大一五)
青木昆陽 昆陽漫錄	〔著書〕 (前二七)	骨製品を發見す	考誌一七ノ五 (昭二)
青木純造 武相境界奥部に於ける石器土器の分布に就て 一一二	〔著書〕 (頁三)	三浦記	考誌一七ノ二七 (昭二)
青木純次郎 岩手縣江刺郡伊手村字熊野堂發見土偶	人誌一五ノ七〇 (昭三三)	赤松宗旦 利根川圖志	〔著書〕 (安政二)
青森縣 青森縣史蹟名勝天然記念物調査報告 第一—第二輯	人誌一七ノ三三 (昭三四)	秋岡武次郎 但馬國に於ける天日槍の遺跡	歴と 七ノ五 (大二〇)
七戸附近先住民族遺跡調査報告 (佐々木 新七)	〔編纂〕 (大三四)	秋田喜一 能登羽昨郡北莊村發見の石器	考誌一四ノ二七 (大一一)
明石史談會 明石史資料	〔編纂〕 (昭二)	七尾灣の一瞥	考誌一五ノ二五 (大一四)
赤星直忠 貝塚より古錢を發掘す	〔編纂〕 (大一四)	秋田縣 秋田縣史蹟天然記念物調査報告第一輯	〔編纂〕 (大一一)
鴨居洞穴の發掘	考誌一四ノ七七 (大一一)	秋山吉太郎 利根郡桃野村の石器時代遺跡及古墳	上毛八三ノ二七 (大一一)
其後の鴨居洞穴發見遺物	考誌一四ノ五九 (大一一)	秋山光條 伊豆國賀茂郡岩科村石劍	人誌 三ノ九 (昭二〇)
	考誌一四ノ八三 (大一一)	鮑海郡役所 鮑海郡誌(齋藤美澄)	〔編纂〕 (大四)
		淺井由章 神戸市附近の石器時代遺物	考會 二ノ八一 (昭三)
		麻植郡教育會 麻植郡誌(笠井新也)	〔編纂〕 (大一一)
		朝戸高山 越前の雷斧砥	人誌一一ノ二九 (昭二八)
		飛騨國石器時代の遺物	飛史 一ノ三 (大四)

ア(相・i・會・青・明・赤・秋・鮑・淺・麻・朝)

足利考古會 足利市内遺跡遺物案内 上毛九九ノ四〇(大二四)  
 足立獻太郎 南豆風土記(加茂郡教育會) [編纂] (大二三)  
 靜岡市を中心とした先史時代、原史時代 遺跡遺物の調査 靜岡報二 (大一五)  
 靜岡市史編纂資料 [編纂] (昭二二)  
 南豆の遺跡遺物につきて(堀田美櫻男共) 靜岡報 三ノ一(昭三二)  
 足立正 因幡伯耆石器發見地名表 人誌二五ノ三四(昭四二)  
 先史及原史時代の裏日本 山珠 一一六(大八)  
 山陰の史蹟と遺物(小松原重幸共) 山史二ノ二ノ一(大二五)  
 足立文太郎 人類學瑣談一―四 人誌一一ノ二八(昭二八)  
 日本石器時代人概論 東醫 九ノ一六(昭二八)  
 下總余山貝塚發見の人物 人誌二一ノ四六(昭三八)  
 本邦石器時代住民の頭蓋 人誌二二ノ五九(昭三九)  
 故坪井博士の研究法 人性 三ノ三九(昭四〇)  
 瀧美郡役所 渥美郡誌 人誌二八ノ六四(大二二)  
 阿部榮之助 濃飛兩國通史(岐阜縣教育會) [編纂] (大二三)  
 阿部憲吉 信濃國南佐久郡遺物遺跡概報 北人 二ノ三三(昭三二)  
 阿部正功 埼玉縣下の遺跡 人誌 八ノ四〇(昭二五)  
 貝塚・土器塚・横穴所在地名表 人誌 八ノ五三(昭二五)

武蔵に於ける貝塚・横穴其他地名表 人誌 九ノ四六(昭二六)  
 遺跡地名 人誌 九ノ四九(昭二六)  
 秩父地方に於ける人類學的旅行(島居龍藏・大野延太郎共) 人誌一〇ノ二九(昭二七)  
 阿部文助 浪岡名所舊跡考 [著書] (昭三五)  
 阿部正巳 北海道のチャシ 人誌三三ノ六(大七)  
 北海道貝塚に關する私見 人誌三三ノ九(大七)  
 石狩國の環狀石籬 人誌三三ノ四三(大七)  
 北海道に於けるツングース種族の遺跡遺物 人誌三三ノ四三(大七)  
 北海道の土城 人誌三四ノ四(大八)  
 山形縣飽海郡上郷村のチャシ 人誌三四ノ三五(大八)  
 羽後國飽海郡田澤村高畑の彌生式土器 考誌一〇ノ四八(大八)  
 石器時代の小櫛 人誌三五ノ三七(大九)  
 山形縣下の彌生式土器に就て 人誌三七ノ三六(大一一)  
 羽後國本莊町附近の石器時代遺跡(松田又彦共) 人誌三九ノ三三(大一一)  
 阿部余四男 越中水見洞窟の獸骨の一部 人誌三四ノ四四(大八)  
 日本石器時代の犬科動物私見 動誌三六ノ四四(大一一)  
 阿部立郎 入間郡誌 [著書] (大一一)

川越町附近に於ける石器時代の遺跡分布 人誌三二ノ三六(大五)  
 天野信景 瀧尻 [著書] (昭四〇)  
 安藤正次 原始時代の文化問題 中史六ノ一四九(大一一)

イ・キ

日本文化史・古代 〔著書〕 (大一一)  
 新居阿山 南鮮磨石器時代土器に就て 人誌三三ノ六(大七)  
 「ア」新居阿山ヲモ見ヨ  
 新居勝三郎 南鮮の石器發見及調査報告 人誌三〇ノ三七(大八)  
 南鮮に於ける磨石器時代遺跡に就て 人誌三〇ノ四八(大八)  
 朝鮮慶尙南道に於ける石器發見一覽表 人誌三三ノ二六(大七)  
 「ア」新居阿山ヲモ見ヨ  
 新井重晴 高麗の原始時代の遺跡 武蔵一ノ三二(大七)  
 新井白石 白石手簡 [著書] (一一)  
 白石神書 [著書] (一一)  
 荒澤雄太郎 網走の竪穴及び貝塚 考誌二一ノ二五(大一一)  
 有坂鉛藏 武蔵國足立郡本郷村貝塚 人誌 二ノ三三(昭一九)  
 日本考古學懷舊談 人誌三八ノ二八(大一一)  
 過去半世紀の土中 中史九ノ四二(大一一)  
 雪中の發掘 中史三ノ一六(大一一)  
 ある人 彌生式土器 歴地 六ノ一七(昭三七)

飯島魁 常州陸平介城報告(佐々木忠三郎共) 學志 六ノ九(昭一三)  
 呦々子 石器時代住民論と記録の研究 歴地 九ノ三六(昭四〇)  
 「キ」喜田貞吉「ロ」鹿鳴閑人ヲモ見ヨ  
 猪狩忠英 大和國宇陀郡三本松村大字大野の石器時代遺跡に就て 考誌一四ノ三三(大一一)  
 池上年 三河國幡豆郡西尾町貝塚に就きて 考誌一一ノ八九(大九)  
 貝塚式土器模様に就きて 一―二 考誌二一ノ七五(大一一)  
 池田雨工 越後古代史の研究 [著書] (大一一)  
 池田玄雷 弘采録 [著書] (一一)  
 池田壽 鴨湖畔の石器時代遺跡 佐史 二ノ四(昭二二)  
 池田盛國 朝鮮の磨石斧 人誌三〇ノ三九(大八)  
 石井研堂 石廬丁か 人誌一〇ノ二六(昭二七)  
 石井正義 神奈川縣下の古墳 古蹟 三ノ一(昭三八)  
 石井波路 全國名勝史蹟案内一第神奈川縣 [著書] (大五)  
 石川縣 加能紀要 [編纂] (昭四二)  
 石川縣史蹟名勝調査報告(上田三平) [編纂] (大一一)  
 石川耕治 信濃大地誌(小平高明共) [著書] (昭三八)

石川貞治 千島巡檢雜記 東地 三ノ (前二六)

北海道に於けるアイヌ人種研究の急務と  
石器時代住民の分布 人誌 四ノ三二 (前二二)

千島エトロフ島堅穴古器物發見地 人誌 六ノ七五 (前二三)

千島探檢雜記 地誌 八ノ三二 (前二九)

石上宣讓 卯花園漫錄 [著書] (文化六)

石田寛孝 輪石に就き 人誌 七ノ四三 (前二四)

石田收蔵 樺太發見石器時代遺物口繪に就いて 人誌 二二ノ五 (前三九)

動物の残り物 人誌 二二ノ二七 (前三九)

樺太貝塚に發見せられたる動物の殘物 人誌 二二ノ二七 (前三九)

東京人類學會第三回遠足會 人誌 二三ノ五 (前四〇)

樺太紀行 一―三 人誌 二三ノ三六 (前四〇)

南樺太に於ける土人 人誌 二五ノ五 (前四二)

石器時代遺物口繪説明 人誌 二九ノ四 (大 三)

下總國北相馬郡小文間村貝塚 人誌 三〇ノ七 (大 四)

下總國立木貝塚發掘土器 人誌 三〇ノ三六 (大 四)

最近發掘石器時代土器 人誌 三〇ノ三六 (大 四)

鳥居龍藏氏より通信 人誌 三〇ノ三六 (大 四)

下總國千葉郡加曾利貝塚發掘 人誌 三〇ノ三六 (大 四)

「日本遺跡遺物圖譜」紹介 人誌 三〇ノ四六 (大 四)

武藏國分寺の堅穴發見 人誌 三一ノ五七 (大 五)

石塚常彦 筑前古月の貝塚と遠賀川の舊河畔 筑史 三一ノ六 (大 一三)

石野瑛 先史時代前期に於ける武藏相模 武相 一ノ七 (大 二)

武相の古代文化 [著書] (大 一三)

最近發見した相模國中郡の遺物遺跡 考誌 一五ノ四七 (大 二四)

相模國中郡旭村萬田貝塚調査概記 考誌 一五ノ六五 (大 二四)

武相研究の復活に際して武相研究の近狀を述ぶ 武相 二ノ一 (大 二四)

中郡旭村萬田貝塚の踏査 神教 一四ノ四 (大 二四)

先史考古學に就て 朝陽 一四ノ三 (大 二四)

武相考古 [著書] (大 一五)

石偶化せる獨鈷石と有文圓石土版 考誌 一六ノ三六 (大 二五)

再び石偶化せる獨鈷石に就て 考誌 一六ノ三三 (大 二五)

武相考古 藝教 一六ノ四六 (大 二五)

五領ヶ臺貝塚の發掘に就て 中史 一三ノ一〇三 (大 二)

武相考古關係の會 [著書] (大 二)

横濱近郊文化史 人性 七ノ三 (前四四)

石巻夏夫 日本石器時代人民の争闘の一原因 遺跡遺物研究會 日本遺跡遺物圖譜 [圖録] (大 五)

磯部武者五郎 石塚其他 人誌 四ノ三四 (前二二)

信濃の石塚 人誌 五ノ五 (前二三)

板垣義彰 陸奥國西津輕郡に於ける十層石器の發見地(佐藤重敏共) 人誌 一七ノ二三 (前三四)

板澤武雄 圓山の貝塚 歴地 四三ノ三九 (大 一三)

一土偶人 石器時代の有髮土偶 考界 四ノ三三 (前三七)

一九文作 高松小學校の遺物採集 北人 二ノ四 (前三一)

井田堅蔵 中國人類學會設立趣意書(和田千吉共) 人誌 一一ノ二五 (前二八)

井出道貞 信濃奇勝錄 [著書] (天保五)

井上喜久治 埼玉縣下北足立郡貝塚村の貝塚 人誌 八ノ七 (前二五)

梅澤・横濱貝塚探見記(鳥居龍藏共) 人誌 八ノ七四 (前二五)

貝塚七ヶ所の記(鳥居龍藏共) 人誌 八ノ七四 (前二五)

貝塚百首 一―三 人誌 八ノ二九 (前二五)

上野櫻ヶ岡は石器時代の遺跡 人誌 八ノ四〇 (前二五)

鶴見川沿岸貝塚探見の記(鳥居龍藏共) 人誌 八ノ四〇 (前二五)

玉川沿岸遺跡探見の記 一―二 人誌 九ノ二二 (前二六)

井上哲次郎 日本人種の起原に就て 東光 三ノ〇一 (前四一)

日本人種の起原に關する考證 史誌 三ノ二二 (前四二)

井上眞章 越前名跡考 [著書] (文 化)

伊勢貞丈 安齋隨筆 [著書] (一)

伊藤篤太郎 天狗飯匙 多識 一ノ二三 (前二)

伊藤美介 日本産物志 [著書] (前 九)

シイボルドの話 名家 九ノ (前二九)

伊藤泰輔 信濃上伊那郡の遺跡 人誌 三七ノ三六 (大 二)

伊藤長胤 名物六帖 [著書] (一)

伊藤初太郎 根室半島の遺跡 北教 一五ノ五 (大 二五)

伊藤政治 チヤシに就て 秋考 一ノ四六 (大 一五)

伊能嘉矩 宜蘭地方にある平埔蕃の土器 人誌 一一ノ二三 (前二九)

荒川沿岸の石器遺跡遠足探究 人誌 一四ノ三六 (前三一)

武藏國分寺近傍石器遺跡の遠足探究 人誌 一四ノ三五 (前三一)

日本考古學概評 人誌 一四ノ三五 (前三一)

臺北の石器土器 人誌 一六ノ四六 (前三三)

臺灣に於ける堅穴住居の蕃人 人誌 二一ノ七〇 (前三四)

陸中のチャシコツ? 人誌 二二ノ二九 (前三九)

臺灣土蕃に傳ふる石器に就ての口碑 人誌 二二ノ二九 (前三九)

澎湖島に於ける石器の發見 人誌 二三ノ二三 (前四〇)

粘土の入らたる石器時代土器 人誌 二三ノ二三 (前四〇)

舊盛岡藩時に於ける石器の調査 人誌 二七ノ五七 (前四四)

舊記に著はれたる南部領内石器時代遺物 人誌 三二ノ四四 (大 六)

武蔵白岡貝塚	人誌三三ノ二四(大七)
猿ヶ石川域に於ける原住民の水上市居遺跡	岩手報三(大一一)
岩手縣上閉伊郡石器時代遺物發見地名表 (鈴木重男共)	[編纂] (大一一)
稲田養助 北朝鮮に於ける石器に就て	人誌二九ノ四九(大三)
朝鮮發見の石劍	考誌 五ノ五(大三)
羅津の石器	人誌三〇ノ七(大四)
『イ』稲田春水ヲモ見ヨ	
稲田春水 漢江流域に於ける石器時代の遺跡	考誌 三ノ七九(明四五)
平安南道龍岡郡に於ける貝塚の新發見	考誌 七ノ三三(大五)
『イ』稲田養助ヲモ見ヨ	
稲葉郡教會會 美濃國稻葉郡志(土岐琴川)	[著書] (大四)
稲葉宅藏 丹後網野附近遺跡探究紀行	人誌一三ノ三七(明三〇)
稲葉東園 丹波鹿野郡海部發見の瓢形大土器	人誌二五ノ三三(明四二)
稻村坦元 南多摩郡南村高ヶ坂に於ける石器	東府報 五(昭二)
時代聚落遺跡(後藤守一・田邊泰共)	人誌 二ノ三九(明一九)
犬塚又兵 岩代の石器古墳	人誌 四ノ四四(明二二)
鎌泉の如く凹みある石器の説	人誌 五ノ三九(明二二)
磐城の貝塚	
磐城行方郡小高村貝塚	人誌 六ノ三(明二三)
石鏡製遺場の話	人誌 八ノ二五(明二五)
安達ヶ原黒塚近傍は石世期人民の遺跡なり	人誌 九ノ三(明二六)
會津及安達郡の遺跡	人誌 九ノ二五(明二六)
岩代福島地方石器時代遺跡	人誌 九ノ四七(明二六)
越後國中蒲原郡程島村畜生原石器時代の遺跡發見に就て	人誌一〇ノ二九(明二八)
伊豫の石器	人誌一〇ノ二九(明二八)
伊豫松山地方の石器時代遺物	人誌一〇ノ二九(明二八)
三河國幡豆郡西の町貝塚に就きて	人誌一四ノ二四(明三一)
三河國渰美半島旅行	人誌一六ノ二四(明三三)
今泉勲 石器時代土器の研究法 一一二	人誌一八ノ二五(明三五)
今西龍 神生貝塚記事 一一四	人誌二二ノ二五(明三九)
金海貝塚の所在地土木峴に就て	人誌二二ノ二五(明三九)
朝鮮にて發見せる貝塚に就て	人誌二二ノ二五(明三九)
今村明恒 その後の大地震調査	人誌二二ノ二五(明三九)
岩井武俊 山城の石棒	科知 四ノ九三(大一一)
南河内地方旅行中の見聞 一一三	考界 五ノ一五(明三八)
古代の遺跡遺物	歴地一九ノ四四(明四五)
	[著書] (大一一)

紀和河泉諸國に於てなせし事共	人誌二二ノ二六(大七)
岩本嶺 佐渡郡石器時代遺跡	新潟報 (大一一)
岩澤正作 梅田村史蹟踏査雜記	上毛七三ノ六(大一一)
藤岡海老瀬兩貝塚の視察	上毛七四ノ八(大一一)
勢多郡東部の遺跡を尋ねて	上毛七九ノ七(大一一)
勢多郡資料踏査雜記 一一五	上毛 八三ノ七(大一一)
三山開臨時展覽會陳列品目錄	上毛九六ノ六(大一一)
兒玉郡々々資料視察雜記 一一二	上毛一〇六ノ三(大一一)
諸磯式土器について	上毛一〇七ノ三(大一一)
上毛に於ける石器時代土器各派に就て	上毛一四ノ一(大一一)
利根郡視察雜記	上毛二六ノ四(大一一)
岩手縣 岩手縣史蹟名勝天然記念物調査報告 一一五	上毛二四ノ三(昭二)
岩手縣上閉伊郡史蹟名勝天然記念物調査會	[編纂] (大一一)
史蹟名勝天然記念物第一	[編纂] (一一)
岩手縣教育會江刺郡部會 岩手考古圖集(小田島祿郎)	[圖錄] (大一一)
岩手縣教育會紫波郡部會 紫波郡誌	[編纂] (大一一)
岩手縣教育會下閉伊郡部會 岩手縣下閉伊郡	[編纂] (大一一)
印東丹靈 縣社木曾神社奉詔太古遺物採集記	[編纂] (大一一)
ウエダ、イ、エス 横濱富士塚貝塚	人誌 二ノ五(明一九)
上田英吉 下總國千葉郡介壇記	人誌 二ノ三六(明一九)
内耳鐃の事に付きて	人誌 三ノ七(明二〇)
上田三平 越前國丹生郡西安居村北堀の石器	考誌 七ノ四三(大五)
時代遺跡に就て	考誌 八ノ五五(大六)
再び越前北堀の貝塚に就て	歴地二九ノ二四(大六)
越前國東十郷村河和田及び其附近の彌生式遺跡に就て	歴地三〇ノ二五(大七)
大和國新海村一の彌生式土器遺跡管見	歴地三二ノ二五(大七)
越中氷見郡大境洞窟内の彌生式遺跡	人誌三三ノ二五(大七)
九頭龍川上流の石器時代遺跡	[編纂] (大九)
福井縣史蹟踏査報告一	考誌一〇ノ二七(大一一)
加賀能登の古代遺跡 一一二	考誌一六ノ二〇(大一一)
伊賀國で發見された石棒と彌生式土器	考誌一六ノ二〇(大一一)





「ハ」林魁一ヲモ見ヨ

江藤正澄 石廬丁 人誌 四ノ七二 (前二二)

石鋸 人誌 五ノ五九 (前二二)

石鋸 人誌 六ノ六二 (前二二)

奇品冠石考 人誌 一三ノ四六 (前三〇)

上代石鋸考 考界 四ノ四三 (前三七)

江原榮次郎 石器時代遺跡發見 人誌 一六ノ四三 (前三三)

江見水隆(忠功) 石器時代古墳時代遺物發見 地名表(神津猛・清野謙次共) 人誌 一九ノ三〇 (前三六)

有髯土偶か 考界 三ノ五一 (前三六)

海濱にて發見された石器時代の釣針 人誌 二一ノ七六 (前三八)

採集の時代別 人誌 二二ノ二五 (前三九)

故飯田東阜君の話 人誌 二四ノ六四 (前四二)

地中の秘密 (著書) (前四二)

貝塚に就て 人誌 三〇ノ四〇 (大八)

三千年前 (著書) (大六)

恵那郡教育會 恵那郡誌 (編纂) (大五)

揖斐郡教育會 揖斐郡誌 (編纂) (大三)

愛媛縣 愛媛縣史蹟名勝天然記念物調査報告 (編纂) (大三)

M・A エスジーマンロー君著「史前の日本」

紹介

M・M 下總加曾利貝塚行 人誌 二三ノ六八 (前四〇)

M・T 瓢形土器 人誌 四〇ノ四一 (六一九)

土版の一種 考界 六ノ九 (前三九)

考界 六ノ二五 (前三九)

オ・ラ

O・N 藕の木に挟まれたる石棒 人誌 二三ノ五五 (前三九)

大泉久四郎 大泉久四郎氏よりの報告 人誌 二九ノ二五 (大三)

石鏃に関する傳説 人誌 二九ノ四二 (大三)

越後に於ける石器時代遺跡遺物 人誌 三〇ノ四二 (大四)

越後國北魚沼郡に於ける石器時代遺跡遺物 人誌 三一ノ二九 (大五)

大井敏夫 越中氷見朝日貝塚人骨發掘豫報 (岡本規矩男・二井一馬共) 人誌 四二ノ二〇 (前二)

大川茂雄 文科諸雜誌索引歴史及地理の部 國院 二六ノ三三 (前四七)

(竹村五百枝共) 國院 二七ノ〇三 (大五)

大木金平 郷土史概論 (編纂) (大五)

大木台三郎 武藏兒玉郡松久村地方の古物遺

跡

大串菊太郎 津雲貝塚及國府石器時代遺跡に對する二三の私見 民歴 三ノ四 (大九)

大阪府 大阪府史蹟調査委員會報 一一五 (編纂) (大七五)

大阪府史蹟名勝天然記念物 一 (編纂) (前二)

大阪府學務部 大阪府史蹟名勝天然記念物第一册、南河内郡 (編纂) (前二)

大阪府泉北郡役所 泉北史蹟志料(豊田小八郎) (編纂) (大二)

大阪府南河内郡役所 河南の聚 (編纂) (大二〇)

大阪府立圖書館 大阪名家著述目錄 (編纂) (大三)

大阪毎日新聞社 大阪文化史 (編纂) (大四)

大里雄吉 水郷の有史以前 武藏 三ノ四 (大九)

東京市及び其附近に於ける石器時代遺物發見地名表 歴地 四三ノ二五 (大二三)

同訂正 歴地 四三ノ五三 (大二三)

武藏阿佐ヶ谷神明宮の神體に就て 歴地 四四ノ二五 (大二三)

評言に付谷川繁雄氏に警告す 考誌 一五ノ三〇 (大二四)

武藏國妙正寺の石棒 歴地 四五ノ七〇 (大二四)

武藏東部低地に存する石器時代遺物に就

て

陸奥國是川村中居石器時代遺跡發見の植物質遺物に就て 歴地 四六ノ二七 (大二四)

大野市平 余山貝塚に於ける多量の發見物 人誌 二四ノ二五 (大八)

大野一耶 下總常陸國石器時代遺跡地名表 考誌 一六ノ二七 (大二五)

北相馬・印旛・稻敷三郡に於ける貝塚の淡鹹及び土器の厚薄分布表 考誌 一七ノ七九 (前二)

大野雪外(延太郎) 武藏國北多摩郡國分寺石器時代遺跡 一一四 (鳥居龍藏共) 人誌 一〇ノ二五 (前二七)

秩父地方に於ける人類學的旅行 一一二 (阿部正功・鳥居龍藏共) 人誌 一〇ノ三〇 (前二七)

越前坂井郡に於ける石器時代遺跡 人誌 一一ノ二七 (前二八)

常陸國霞ヶ浦沿岸旅行談 一一二 人誌 一一ノ二八 (前二八)

曲玉に就て 人誌 一二ノ二二 (前二九)

土版と土偶との關係出所地名 人誌 一二ノ二二 (前二九)

本邦石器使用人民の美術思想 一一二 (下村三四吉共) 人誌 一二ノ二四 (前二九)

坂井郡坪江村字雀ヶ岡の遺跡 北人 一ノ三 (前二九)

坂井郡陣ヶ岡の石器 北人 一ノ三 (前二九)

羽後來信 人誌 一三ノ二四 (前三〇)

羽後國北秋田郡七座村大字麻生上の山遺

跡報告

岩盤も土偶に關係あり

羽後麻生發見の玉類

共同備忘録

旅中所見

香爐形土器に就て

常陸福田貝塚に於ける土器石器の包含

常陸吹上貝塚調査報告

石器時代土版・圖版解説

石竈に就て

覆面土偶首部

北海道旅行中の見聞記

羽後麻生村の石器時代土偶

石製人形及び石製模造品

越後旅行見聞録

磐城線十日の旅

三河國發見の鹿角器を見て

石器時代土偶系統品と模様の變化につい

人誌一三〇ノ二九(前三〇)

人誌一三〇ノ三五(前三〇)

人誌一三〇ノ三七(前三〇)

人誌一三〇ノ三九(前三〇)

人誌一三〇ノ四一(前三〇)

人誌一四〇ノ二五(前三一)

人誌一四〇ノ二七(前三一)

人誌一四〇ノ二九(前三一)

人誌一四〇ノ三一(前三一)

人誌一四〇ノ三三(前三一)

人誌一四〇ノ三五(前三一)

人誌一四〇ノ三七(前三一)

人誌一四〇ノ三九(前三一)

人誌一四〇ノ四一(前三一)

人誌一四〇ノ四三(前三一)

人誌一四〇ノ四五(前三一)

人誌一四〇ノ四七(前三一)

人誌一四〇ノ四九(前三一)

羽後國麻生發見の土偶

模様のくら

陸奥地方旅行見聞録

陸奥發見石器時代遺物圖説(松村瞭共)

子持曲玉

埴鏡土器の種類に就て

相模國中郡地方遺跡發見物

浮紋土偶の徳利

石器時代土製の猿

朱の附着せる石皿

陸奥龜ヶ岡發見の大土偶

男鹿半島の石器時代遺物

東北旅行中散見の遺物

根岸武香氏藏品圖版考説(柴田常嘉共)

武藏下沼部及下總結城の土偶

飛騨發見石器に就て

先史考古圖譜

覆面土偶に就て

彌之内貝塚發見の石角貝骨器の二三に就

人誌一六〇ノ四九(前三三)

人誌一七〇ノ二(前三四)

人誌一七〇ノ三(前三四)

人誌一七〇ノ五(前三四)

人誌一七〇ノ七(前三四)

人誌一七〇ノ九(前三四)

人誌一七〇ノ一一(前三四)

人誌一七〇ノ一三(前三四)

人誌一七〇ノ一五(前三四)

人誌一七〇ノ一七(前三四)

人誌一七〇ノ一九(前三四)

人誌一七〇ノ二一(前三四)

人誌一七〇ノ二三(前三四)

人誌一七〇ノ二五(前三四)

人誌一七〇ノ二七(前三四)

人誌一七〇ノ二九(前三四)

人誌一七〇ノ三一(前三四)

人誌一七〇ノ三三(前三四)

覆面土偶に就て

信濃發見の土偶

信州旅行調査報告

愛知縣下旅行調査報告

石斧の形式に就て

子持曲玉に就て

貝輪に就て

打製石斧の形式に就て

銅鏡に就て

埴鏡土器の名稱と其遺跡に就て

下總國海上郡余山の土偶

東京人類學會第三回遠足會の加會利貝塚

の概況

石劍の形式に就て

神宮境内發見の土器と埴鏡土器との關係

獨鈷石の形式分類に就て

子持曲玉に就て

靈宮の記

土偶の形式分類に就て

人誌二〇〇ノ二五(前三七)

人誌二〇〇ノ二七(前三七)

人誌二〇〇ノ二九(前三七)

人誌二〇〇ノ三一(前三七)

人誌二〇〇ノ三三(前三七)

人誌二〇〇ノ三五(前三七)

人誌二〇〇ノ三七(前三七)

人誌二〇〇ノ三九(前三七)

人誌二〇〇ノ四一(前三七)

人誌二〇〇ノ四三(前三七)

人誌二〇〇ノ四五(前三七)

人誌二〇〇ノ四七(前三七)

人誌二〇〇ノ四九(前三七)

人誌二〇〇ノ五一(前三七)

人誌二〇〇ノ五三(前三七)

人誌二〇〇ノ五五(前三七)

人誌二〇〇ノ五七(前三七)

人誌二〇〇ノ五九(前三七)

人誌二〇〇ノ六一(前三七)

彌面土偶に就て

獨鈷石机上之友一

石器時代の動物 机上之友二

越後國中頸城郡發見の遺物に就て

角鏡 机上之友三

有髻土偶に就て

越地七日の旅

ケールンに就て

志摩發見の石環に就て

北陸地方の古物遺跡に就て

先住民製作の土器紋様の分子に就て

埴鏡形紋様

相模國三の宮ケールン發見の遺物

米子旅行記

東海道一週目の行

膽振國虹田郡狩田村發見の石皿

海底發見の石器に就て

坪井博士が江見君の有髻土偶を否定せられし論文を讀む

山陰道旅行

人誌二六〇ノ〇九(前四三)

人誌二六〇ノ一一(前四三)

人誌二六〇ノ一三(前四三)

人誌二六〇ノ一五(前四三)

人誌二六〇ノ一七(前四三)

人誌二六〇ノ一九(前四三)

人誌二六〇ノ二一(前四三)

人誌二六〇ノ二三(前四三)

人誌二六〇ノ二五(前四三)

人誌二六〇ノ二七(前四三)

人誌二六〇ノ二九(前四三)

人誌二六〇ノ三一(前四三)

人誌二六〇ノ三三(前四三)

人誌二六〇ノ三五(前四三)

人誌二六〇ノ三七(前四三)

人誌二六〇ノ三九(前四三)

人誌二六〇ノ四一(前四三)

人誌二六〇ノ四三(前四三)

人誌二六〇ノ四五(前四三)



一郎共)	人誌四〇ノ三〇 (大一二)
H・シユミット博士「東亞の史前」を讀みて	人誌四〇ノ四八 (大一二)
木曾寢覺めの床の附近の遺跡	人誌四一ノ四六 (大一一)
東京府下調布村千島久保貝塚所見	人誌四一ノ四七 (大一一)
スエーデン皇太子殿下の御發掘に御供して	人誌四一ノ五三 (大一一)
考古趣味の學術化	中史三三ノ一四 (昭二)
神奈川縣新磯村字勝坂遺物包含地調査報告	〔著書〕 (昭二)
史前の研究	〔著書〕 (昭二)
石器時代の概要	〔著書〕 (昭二)
大山脚藏 横手附近の石器使用民族遺跡	横史 八ノ一 (昭二)
太田 半日閑話	〔著書〕 (昭和五)
太田天洋 朝鮮の堅穴に就て	人誌二九ノ三三 (大三)
太田賴實 能登名跡志	〔編纂〕 (安永六)
太安麻呂 古事記	〔編纂〕 (和蘭五)
丘淺次郎 久比里村貝塚	人誌二ノ三〇 (前一九)
日本貝塚の貝類	人誌一〇ノ三三 (前二九)
長門の石斧	人誌一一ノ三〇 (前二八)
岡 飛驒の石器	人誌 三ノ四 (昭二〇)
岡田 飛驒の遺跡	人誌 八ノ三六 (前二五)
常陸筑波郡貝塚發見二つ三つ	人誌 八ノ三五 (前二五)
下總西北部の貝塚略報	人誌 九ノ三四 (前二六)
岡田啓 新撰美濃志	〔編纂〕 (嘉永元)
岡部精一 武藏國岩槻地方石器時代遺跡探検記(武藏虎太共)	人誌 九ノ三三 (前二六)
房州旅行中所見	人誌 九ノ四六 (前二六)
岡村利平 飛驒編年史要	〔編纂〕 (天二〇)
岡本規矩男 越中氷見朝日貝塚人骨發掘豫報(大井敏夫・二井一馬共)	人誌四二ノ〇〇 (昭二)
岡山市役所 岡山市史	〔編纂〕 (天九)
小笠原謙吉(迷宮) 先住民族時代遺跡地	岩手報 三 (天二二)
五大堂繩紋土器遺跡	岩手報 三 (天二二)
白山村に於ける石器時代遺跡	岩手報 三 (天二二)
岩手縣紫波郡古館村堅穴出土の土器	考誌一四ノ五八 (天二二)
陸中國大ヶ生發見石皿	考誌一四ノ七七 (天二二)
岩手縣に於ける性的製作品の一二	考誌一四ノ七三 (天二二)
男根形の珍らしき土製品	人誌三九ノ二六 (天二二)
小川 美濃國羽澤庭田貝塚に就て	人誌二八ノ三七 (前四五)

岐阜縣史蹟報告 二

小川敬養 豊前の石斧	〔編纂〕 (天二二)
豊前の石鏡	人誌 七ノ二七 (前二四)
豊前國金敷郡石器時代遺跡	人誌 七ノ四五 (前二四)
豊前國石世遺跡	人誌 八ノ四七 (前二五)
豊前小倉近傍の石劍	人誌 九ノ二四 (前二六)
小川五郎 周防國吉敷郡秋穂二島村美能濱遺物包含地發掘調査報告	山高報 (天二四)
山口高等學校山陰旅行日記	防考 四ノ二〇 (天二四)
小川琢治 間宮林藏氏の樺太探検と近藤守重	防考 七ノ七 (天二四)
高橋景保兩氏の卓見(小林房太郎共)	地誌一七ノ五五 (前三八)
樺太經營家としての近藤守重(小林房太郎共)	地誌一七ノ六九 (前三八)
長崎縣雪の浦貝塚の石器時代人骨	地球 二ノ四四 (天二三)
小倉勉 諸陵寮所藏の勾玉管玉目錄	地誌三七ノ二五 (天二四)
小此木忠七郎 福島縣の小形石斧	人誌三八ノ二七 (天二二)
先史遺物に於ける土製動物に就て	人誌四二ノ二七 (昭二)
小田桐健兒 下總加曾利貝塚調査	人誌三〇ノ四三 (天四)
大野雲外氏の最近發行の人種紋様	人誌三一ノ四九 (天五)
北海道に於ける土偶の分布一―二	人誌三二ノ二七 (天六)
小田島允武 越後野志	〔編纂〕 (天二)
小田島藤郎 縣下に於ける堅穴及「チャシ」に關するもの 其一	岩手報 四ノ二 (天二三)
岩手考古圖集	〔圖録〕 (天二五)
小寺信正 思ひの儘の記	〔著書〕 (享保頃)
小山田與清 「タ」高田與清ヲ見ヨ	人誌一九ノ六六 (前三六)
織田慶二郎 京都府熊野郡の遺跡	〔編纂〕 (前四四)
越智熊太郎 乃萬村郷土誌	
カ・ガ	
海樂堂 「タ」耽奇會ヲ見ヨ	
考古學會 日本考古資料寫真集	〔圖録〕 (天二)
考古年表(沼田賴輔)	〔編纂〕 (天六)
考古學會創立二十五年記念圖集(永井幸一)	
耶)	〔圖録〕 (天九)
十二考古家資料寫真集 一集―三集	〔圖録〕 (一一)
考古學雜誌總目錄	〔編纂〕 (天二〇)
考古圖集第一期	〔圖録〕 (天二三)
同 第二期	〔圖録〕 (天二四)

高知縣 高知縣史要	〔編纂〕	(大二三)
高知縣教育會 土佐美術史(山本淳)	〔著書〕	(前二二)
香川縣 香川縣史蹟名勝天然記念物調査報告		
第一輯	〔編纂〕	(大一一)
香川縣三豐郡役所 三豐郡史	〔編纂〕	(大二〇)
柿崎宗隆 土器發掘して古蹟を知る	大洲二三三ノ九(前二九)	
鏡谷徳三郎 尾張國熱田高倉貝塚實査	人誌二三ノ七五(前四〇)	
尾張熱田高倉貝塚實査	考界 七ノ五(前四二)	
鶴岡橋夫 「サ」齋藤鶴機ヲ見ヨ	〔編纂〕	(大二三)
景浦稚桃 伊豫史精義	〔編纂〕	(大二三)
鹿兒島縣 鹿兒島縣史蹟名勝天然記念物調査		
報告 第一輯	〔編纂〕	(大一一)
鹿本郡役所(鹿兒島縣) 鹿本郡誌	〔編纂〕	(大二二)
笠井新也 石器時代の阿波	阿史	(前四二)
阿波國石器時代に關する研究	人誌二六ノ二(前四三)	
水上住居に就て	人誌二七ノ五三(前四四)	
日本の古史に現れたる水上住居	人誌二八ノ五七(前四五)	
日本の現在及過去に現れたる水上居住式		
建築	人誌二九ノ三三(大二三)	
豊行紀倭建命東征の條に見えたる水上住		

居神	人誌二九ノ四三(大二三)	
霞ヶ浦地方に於ける古代水上住居の遺風	人誌二九ノ五〇(大二三)	
に就て		
玉類齋瓮及び彌生式土器を混出する石器	三〇ノ四八(大三四)	
時代の遺跡 一一四	人誌三一ノ三三(大四五)	
琵琶湖々底の遺跡	人誌三一ノ九(大五)	
奥羽地方に於ける原史時代遺跡の概観		
一一三	考誌 八ノ三六(大六)	
陸奥國發見の石器時代の墳墓に就て	考誌 九ノ五五(大七)	
麻植郡誌	〔編纂〕	(大一一)
阿波國貝塚概説	阿名 二ノ六(大一一)	
阿名 二ノ七(大一一)		
笠井藍水 城山洞窟の成因に就て	阿名 二ノ七(大一一)	
柏木三郎 磐城國北標葉地方に於ける石器時	考界 六ノ五(前三七)	
代の遺跡に就て	人誌 一ノ二八(前一九)	
柏原屋而 駿河小鹿村にて獲たる石器の圖	〔編纂〕	(前四四)
春日賢一 和歌山縣地誌	〔編纂〕	(大一一)
勝浦郡役所(徳島縣) 勝浦郡誌	人誌二三ノ八九(前四〇)	
勝毛市五郎 石器採集日記 一一四	人誌二四ノ六八(前四〇)	
上川中學校内石器展覧會	人誌二四ノ三六(前四二)	
北海道に於ける新石器時代遺跡		

勝田長太郎 鳴神の貝塚	和歌報 六	(前二)
勝沼六郎 駿河杉原石器時代遺物	人誌四一ノ二七(大二五)	
肥前平戸大垣石器發見報告	長考 一ノ一(大二四)	
肥前東嶺野遺跡發見報告	長考 一ノ三(大二四)	
加藤喜八郎 本縣貝塚の發掘貝類に就て	長考 一ノ二(大二四)	
加藤三吉 沖繩考古土俗雜話	人誌一七ノ四三(前三四)	
沖繩通信	人誌一七ノ二九(前三四)	
加藤唯堂 民間信仰史	〔著書〕	(大一一)
加藤美心 石器時代住民と大食	民歴 一ノ三(大八)	
加藤六郎 凹石の遺跡	人誌四一ノ四九(大二五)	
金澤委園 但馬城崎郡日高村先住民遺跡	人誌三八ノ五(大二二)	
神社の境内から石器及土器を發見す	考誌一五ノ五五(大二四)	
金津秀邦 伊勢に於ける石器時代の遺物遺跡	考界 二ノ九(前三五)	
金九但馬 三重縣名勝舊跡天然記念物報告二	〔編纂〕	(大九)
甲野勇 相模國岡本村沼田石器時代遺跡	人誌三五ノ五(大九)	
「土器製作基礎的研究」紹介	人誌三八ノ六(大一一)	
武藏國橘樹郡生見尾村貝塚發掘報告	人誌三九ノ二八(大一一)	
所謂遮光器模様の他	人誌三九ノ二九(大一一)	
北海道室蘭郡輪西村發見の石器時代土偶	人誌四〇ノ三(大一一)	
神奈川縣中郡旭村萬田貝塚坂の石器時代		

遺跡(八幡一郎・中谷治字二郎共)	人誌四〇ノ二九(大一一)	
下總權橋貝塚遠足會の記・遺物	人誌四〇ノ四九(大一一)	
武藏國鶴見町二見臺の遺跡に就て(八幡		
一郎共)		
「人類學研究」紹介	人誌四一ノ二五(大二五)	
「先史及原史時代の上伊那」紹介	人誌四一ノ二八(大二五)	
「アイヌ文様」紹介	人誌四一ノ四三(大二五)	
「日本原始繪畫」紹介	人誌四二ノ四六(前二)	
鎌田春雄 木村兼霞堂 一一二	歴地二一ノ七(大二三)	
神戸市役所 神戸市史	〔編纂〕	(大一一)
神田孝平(淡庄) 日本太古石器考	〔著書〕	(前一九)
朝鮮にて掘出せる土器及石劔	人誌 二ノ五九(前一九)	
奥羽巡廻報告	人誌 二ノ六(前一九)	
内耳鐺の話	人誌 二ノ二六(前一九)	
第十三圖解	人誌 二ノ三三(前一九)	
曲玉圖解	人誌 二ノ三三(前一九)	
古土器圖解	人誌 二ノ三三(前一九)	
津輕の好古家藤田氏より送られたる古物	人誌 二ノ三三(前一九)	
の記	人誌 三ノ六(前二〇)	
瓶ヶ岡土偶圖解		

陸奥田名部中高皿	人誌 三ノ三 (前二〇)	(江見忠功・清野謙次共)	人誌 一九ノ三〇 (前三六)
飛騨高山長嶺亭所藏猪頭形石槌	人誌 三ノ三 (前二〇)	神原信一郎 自然科学より見たる日本神代史	[著書] (大八)
飛騨國水田氏所藏石冠	人誌 三ノ三 (前二〇)	上高井郡役所(長野縣) 上高井郡誌	[編纂] (大三)
御物大石器に似たる石器	人誌 四ノ五 (前二二)	菅野義之助 小山田村幡矢神社境内石棒に關する調	岩手報 三 (大一一)
史前器所藏之原由	人誌 四ノ三 (前二〇)	蒲生郡役所(滋賀縣) 蒲生郡志	[編纂] (大一一)
飛騨の古石器	人誌 四ノ四 (前二二)	賀茂郡教育會(静岡縣) 南豆風土記(足立嶽太郎)	[編纂] (大三)
東北地方の香爐形土器	人誌 四ノ四 (前二二)	茅原定 茅原漫錄	[著書] (文二)
曲玉の有無如何	大州 二四ノ (前二二)	榎本龜生 大和磯城郡平野村の勾玉出土の遺跡について	古研 一ノ五 (大二三)
飛騨國各種石冠略圖説明	人誌 五ノ三五 (前二二)	唐澤貞治郎 信濃國上伊那郡石器時代遺跡取調書	人誌 九ノ四六 (前二六)
第三十版圖版	人誌 五ノ三六 (前二二)	河上肇 人類原始の生活	歴史四七ノ三二 (大二五)
津輕花卷村發見大甕頭報並圖	人誌 六ノ三三 (前二二)	河倉亭 日本名石之圖	[著書] (前四二)
第三十二圖解(三頭雷斧)	人誌 六ノ三三 (前二二)	河島松太郎 越前陣ヶ岡遺物	[圖録] (寛一〇)
坪井君の問に答ふ	人誌 七ノ三三 (前二四)	河田彌 新編武藏風土記稿	北人 一ノ三 (前二九)
石槌の小なるもの	人誌 七ノ三三 (前二四)	惠羽觀蹟聞老志	史誌 五ノ四二 (前二七)
越後の石棒	人誌 七ノ三三 (前二四)		
土偶及土版	人誌 八ノ四二 (前二五)		
淡屋遺稿	人誌 一二ノ二九 (前二九)		
神田孝平略傳	[編纂] (前四三)		
神津鑑 石器時代古墳時代遺物發見地名表	[編纂] (前四三)		

河野常吉 信州見聞録

信濃奇蹟錄	史誌 六ノ五三 (前二八)
甲斐國志	史誌 六ノ七三 (前二八)
非コロポックル論	地誌 一ノ四六 (前二二)
コロポックル説の誤謬を論ず	地誌 一ノ四六 (前二二)
日本のストーンサークル	札博 一ノ一 (前三八)
北海道史蹟名勝天然記念物調査報告書	地誌 一八ノ五五 (前三九)
臺灣の土器に就て	人誌 二二ノ四〇 (前三九)
國産振興博覽會北海道歴史館陳列品解説	札博 二ノ一 (前四〇)
河村末吉 陸奥國三戸郡地方に於ける石器時代遺物に就て	歴史 二ノ四四 (前四一)
川上暎瀨 鷺崎貝塚の發見	歴史 二ノ四六 (前四一)
川角實吉 常陸龍ヶ崎近傍の石世遺跡	歴史 三ノ二ノ三六 (大七)
茨城縣下の石世遺跡	[編纂] (大二三)
下總印旛湖沿岸の石器	考誌 一五ノ六三 (大二四)
水戸地方石器時代の遺跡	人誌 一六ノ一七 (前三三)
下總立木貝塚略報	佐史 二ノ天 (前二)

キ・キ

結城近傍に於て發見せる土版	人誌 二ノ三九 (前一九)
共同備忘錄	人誌 一三ノ三九 (前三〇)
汀家漫錄 一一三	人誌 一三ノ三九 (前三〇)
常陸國福田貝塚發掘報告 一一二	人誌 一四ノ二八 (前三一)
青森縣羽黒平より新たに發見した土偶	人誌 三三ノ二六 (大一一)
汀家雜錄 一一四	秋考 一ノ三三 (大一一)
「テ」汀家ヲモ見ヨ	秋考 一ノ三三 (大一一)
木内石亭(重曉・小繁) 雲根志	[著書] (安二二)
石亭話談辨略	[著書] (寛政六)
鎌石考	[著書] (天明三)
曲玉問答	[著書] (寛政六)
木川齊次郎 信濃の石鏃	人誌 五ノ二六 (前二二)
木下彌七 越中下新川郡天神山に於ける石器時代遺跡	考界 四ノ三五 (前三七)
木村宇太郎 朝鮮城津發見の石斧	人誌 二六ノ二七 (前四三)
城津に於ける石器時代遺跡發見始末	考誌 四ノ五七 (大一一)
石器の磨製と裂製に就て	考誌 六ノ二三 (大一一)

石器時代の飾玉類	考誌 六ノ五七 (大 四)
石器時代の備	考誌 七ノ三九 (大 五)
域津市内の遺跡と遺物	考誌 七ノ四三 (大 五)
鏝石の形状	考誌 一ノ二〇二 (大 一〇)
石器時代の遺跡發見	考誌 一五ノ八六 (大 二四)
本村養藤堂(異書) 養霞堂雜錄	〔著書〕 (一頁三)
木村政五郎 眞砂樓遺稿	人誌 一ノ三三 (前一九)
菊岡沾涼 諸國里人談	〔著書〕 (享保三)
正續江戸砂子	〔著書〕 (享保三)
菊池山哉 東京の下町の地下に介城あり	人誌 三ノ三六 (大 五)
磯多族に関する研究	〔著書〕 (大 一三)
先住民族と賤民族の研究	〔著書〕 (昭 二)
岸上謙吉 原始民族の水産食料	中史 六ノ一〇二 (大 一)
北浦忠雄 越中高岡公園地石器時代遺跡	人誌 二四ノ三七 (前四二)
越中国北代村の貝塚	人誌 二五ノ二六 (前四二)
北桑田郡役所(京都府) 北桑田郡誌	〔編纂〕 (大 一)
北佐久郡役所(長野縣) 北佐久郡誌	〔編纂〕 (大 四)
北澤正誠 蝦夷評略考	地誌 二ノ一 (前二三)
北都留郡誌編纂會(山梨縣) 北都留郡誌	〔編纂〕 (大 一四)
北村勝雄 信濃上伊那の諸遺跡	人誌 三七ノ四六 (大 一)

北山眞正 能美郡の曲玉及石斧	北人 一ノ四三 (前一九)
越前國の石器土器類	北人 四ノ三三 (前三四)
喜田貞吉 日高見國と日高見川	歴地 九ノ七 (前四〇)
土蜘蛛種族論	歴地 九ノ一七 (前四〇)
蝦夷とコロボツクルとの異同を論ず	歴地 九ノ二六 (前四〇)
石器時代住民論上人骨比較研究の價値に	歴地 九ノ三三 (前四〇)
關する疑惑を論ず	歴地 一〇ノ一八 (前四〇)
土蜘蛛種族論に就て小林君の駁論に答ふ	東光 五ノ三六 (前四二)
一 一 二	〔著書〕 (前四五)
考古學と古代學 一 一 二	〔著書〕 (前四五)
讀史百話	〔著書〕 (前四五)
常陸風土記大櫛同なる大人尿穴及踐跡の	人誌 三〇ノ五九 (大 四)
大きさに就て	史誌 二七ノ三三 (大 五)
日本太古の民族に就て	〔編纂〕 (大 五)
大阪府史蹟調査員會報	〔編纂〕 (大 六)
武相郷土史論	歴地 三〇ノ三九 (大 六)
糸底ある土器の年代	歴地 三〇ノ七 (大 六)
磨製石鏝の年代	歴地 三〇ノ四七 (大 六)
年代を知る希望ある彌生式土器包含地	歴地 三〇ノ四七 (大 六)
彌生式土器の窯址	歴地 三〇ノ四七 (大 六)

蝦夷名義考・蝦夷考の一	歴地 三ノ二二 (大 七)
石器時代の墳墓に就て	考誌 九ノ二五 (大 七)
古代アイヌ族の墳墓	歴地 三ノ四三 (大 七)
北陸地方古代民族の消長に就て、越中水	歴地 三ノ四二 (大 七)
見那字波の洞窟に關聯して	歴地 三ノ四五 (大 七)
河内國府遺跡最古の住民	歴地 三ノ四五 (大 七)
茶臼の地名とチャシとに就てアイヌ語地	歴と 二ノ五七 (大 七)
名論者に告ぐ	筑史 一九ノ一 (大 七)
倭人とは何ぞや	〔編纂〕 (大 八)
攝津郷土史論	民歴 一ノ四 (大 八)
遺物遺跡と歴史研究	民歴 一ノ六 (大 八)
河内國府石器時代遺跡發掘の一種の土器	民歴 一ノ六 (大 八)
津雲貝塚發掘史(學窓日記)	民歴 二ノ五 (大 八)
石器時代のアイヌ民族に就て	民歴 三ノ四 (大 九)
本邦古代耳飾考	民歴 四ノ六 (大 九)
石鏝・如何に造られ如何に使用せられたか	民歴 四ノ九 (大 九)
少彦名命の研究	民歴 五ノ一 (大 一〇)
日本民族の成立 一 一 三	民歴 五ノ一 (大 一〇)
日鮮兩民族同系論	民歴 六ノ三 (大 一〇)
九州の古代民族に就て 一 一 三	民歴 六ノ三 (大 一〇)

珍らしい石器(學窓日記)	民歴 六ノ三 (大 一〇)
徳山舊城山岩窟内の遺跡	民歴 八ノ四六 (大 一)
庄内と日高見 一 一 二	社史 九ノ一 (大 一)
石器時代遺物遺跡の研究	社史 九ノ一 (大 一)
新庄在の珍しい土偶(學窓日記)	社史 九ノ一 (大 一)
蝦夷の住む日高見の國 一 一 二	社史 九ノ一 (大 一)
瀧田村の半日	社史 九ノ一 (大 一)
堅穴住居の址	中史 九ノ一 (大 一)
奥羽地方のアイヌ族の大陸交通は既に先	民族 一ノ三 (大 一)
秦時代にあるか	人誌 四ノ三三 (大 一)
羽後藤原の新發見	民族 二ノ一 (昭 二)
奥羽北部の石器時代文化に於ける古代支	史林 一ノ三 (一)
那文化の影響に就て	史林 三ノ一 (一)
歴史家の觀たる我が民族觀	〔編纂〕 (大 一四)
遺物遺跡より見たる九州古代の民族に就	
て	
河内國府石器時代遺跡發掘報告紹介	
「イ」助々子 「ロ」鹿鳴山人ヲモ見ヨ	
岐阜縣 岐阜縣史蹟名勝天然記念物報告第二	
輯	



岐阜縣教育會 濃飛兩國通史(阿部榮之助) [編纂] (大二三)  
 金田一京助 言語上より觀たる蝦夷とアイヌ 考誌一四ノ一(大二三)  
 京都帝國大學文學部考古學研究室 京都帝國大學文學部考古學研究報告 二一〇 [編纂] (大七二)  
 河内國府石器時代遺跡發掘報告(梅原末治・島田貞彦共) 京大報 二 (大七)  
 河内國南高安及喜志石器時代遺跡調查報告(梅原末治・島田貞彦共) 京大報 二 (大七)  
 河内國府肥後縣等にて發掘せる人骨に就て報じ併せて石器時代住民に及ぶ(鈴木文太郎) 京大報 二 (大七)  
 日本發見磨製石鏃及石劍聚成表(梅原末治・島田貞彦共) 京大報 二 (大七)  
 彌生式土器形態分類圖錄 京大報 三 (大八)  
 河内國府石器時代遺跡第二回發掘報告(濱田耕作・長馬悅藏共) 京大報 四 (大九)  
 河内國府石器時代人骨調査(長谷部言人) 京大報 四 (大九)  
 備中國淺口郡大島村津雲貝塚發掘報告(梅原末治・島田貞彦・清野謙次共) 京大報 五 (大九)  
 備中國淺口郡大島村津雲貝塚人骨報告

(清野謙次) 肥後國宇土郡轟村宮莊貝塚發掘報告(濱田耕作・梅原政職共) 京大報 五 (大九)  
 薩摩國出水郡出水町尾崎貝塚調查報告(濱田耕作・島田貞彦共) 京大報 六 (大一〇)  
 出水貝塚の貝殼獸骨及人骨(長谷部言人) 京大報 六 (大一〇)  
 薩摩國掛宿郡指宿村土器包含層調查報告(濱田耕作) 京大報 六 (大一一)  
 出雲上代玉造の研究(濱田耕作・梅原末治・島田貞彦共) 京大報一〇 (大一一)  
 日本發見磨製石鏃及石劍聚成表(梅原末治・島田貞彦共) 京大報一〇 (大一一)  
 京都府 京都府史蹟勝地調査報告 一一六 [編纂] (大一一)  
 京都府何鹿郡教育會 何鹿郡誌 [編纂] (大一一)  
 京都府熊野郡役所 京都府熊野郡誌 [編纂] (大一一)  
 京都府與謝郡役所 京都府與謝郡誌 [編纂] (大一一)  
 清野謙次 石器時代古墳時代遺物發見地名表(江見忠功・神津猛共) 人誌一九ノ三〇(明三六)  
 山城及駿河の石器時代遺物 人誌一九ノ三九(明三六)  
 河内國南河内郡國分村石器時代の遺跡に

就きて

六孔ある貝塚土器 考界 一ノ二七(明三三)  
 備前國にて發見せし彌生式土器 考界 四ノ三七(明三七)  
 日本石器時代の骨角石器の製法に就て 考界 五ノ五七(明三八)  
 備中國淺口郡大島村津雲貝塚人骨報告 人誌三〇ノ三三(大八)  
 備中國淺口郡大島村津雲貝塚發掘報告(島田貞彦・梅原末治) 京大報 五 (大九)  
 考古漫錄 一一〇 民歴 七ノ三ノ三(大一〇)  
 二百三十八體の人骨發掘 考誌一三ノ二六(大一一)  
 後藤守一氏の三河に於ける見聞と鳥居博士の備中國發見の十個記事に附記す 考誌一三ノ四七(大一一)  
 再度吉胡貝塚發掘に就て 考誌一三ノ五九(大一一)  
 化石病理學特に日本原住民族の骨疾病に就て(星島壽共) 日微一六ノ四(大一一)  
 清野博士の樺太に於ける活動 考誌一四ノ七九(大一二)  
 考古漫錄 一一二 歴地四三ノ二五(大二三)  
 樺太アイノに關する人類學的探究紀行 地球 二ノ四七(大二三)  
 一 一 一 地球 二ノ五七(大二三)  
 男女生殖器を示し且同時に交接を意味せる日本石器時代土製品 考誌一五ノ九一(大二四)

日本原人の研究 [著書] (大一一)  
 北海道に於ける石器時代人骨 人誌四〇ノ三九(大一一)  
 鮮滿旅行雜記 人誌四〇ノ四四(大一一)  
 後志國余市の貝塚外四編 民族 一ノ二六(大一一)  
 小金井博士の「人類學研究」を讀む 民族 一ノ三三(大一一)  
 研究旅行覺書 一一三 民族 一ノ三三(大一一)  
 津雲貝塚人々骨の人類學的研究(宮本博人共) 人誌四一ノ九六(大一一)  
 備後太田貝塚の發掘 人誌四一ノ二六(大一一)  
 國府石器時代人骨の人類學的研究(宮本博人共) 人誌四一ノ三九(大一一)  
 北海道に於ける貝塚の發掘 人誌四一ノ四二(大一一)  
 北海道貝塚發掘略記 人誌四一ノ四四(大一一)  
 石器時代人の頭部變形 人誌四一ノ四六(大一一)  
 清野博士の活動 考誌一六ノ四二(大一一)  
 津雲石器時代人はアイヌなりや(宮本博人共) 考誌一六ノ四三(大一一)  
 再び津雲貝塚石器時代人はアイヌ人に非ざる理由を論ず(宮本博人共) 考誌一六ノ五八(大一一)  
 研究旅行覺書 民族 二ノ三五(大一一)

足立博士の「人類學論文集」を讀む 民族 二ノ七五 (昭二)  
 佐渡紀行 民族 二ノ八三 (昭二)  
 日本石器時代に關する考説 民族 二ノ九〇 (昭二)  
 北海道東北部に於ける人類學的探究紀行 民族 二ノ九七 (昭二)  
 北千島の遺跡 人誌 四ノ一五〇 (昭二)  
 佐渡の石器時代遺跡 人誌 四二ノ九〇 (昭二)  
 薩摩西市來の貝塚 人誌 四二ノ九二 (昭二)  
 日本石器時代の穿頭頸環に就て (平井隆 共) 人誌 四二ノ三七 (昭二)  
 濟原貞雄 日本上代の文化 一七八 歴と 一ノ一八 (大六)  
 桐山力 飛騨遺業合府 〔著書〕 (大三)

**ク・ク**

意野甚太郎 常陸行方郡南部の遺跡 人誌 一六ノ四七 (前三三)  
 楠品文 三河國にて見聞せる古墳及び古物出 考會 一ノ四二 (前二九)  
 所 〔著書〕 (文化類)  
 工藤白龍 津輕俗説拾遺 人誌 四ノ五 (前二二)  
 工藤彦一郎 陸奥の珠玉 人誌 九ノ二七 (前二六)  
 工藤祐龍 龜ヶ岡の奇形石器 人誌 九ノ二七 (前二六)

小形の石棺 人誌 九ノ二八 (前二六)  
 龜岡發見の土偶及石鏃 人誌 二ノ九三 (前二九)  
 桑野禮治 外人の日本考古學に關する研究 考會 一ノ二七九 (前二九)  
 窪田五郎 三河國北設樂郡本郷町字櫻平石器時代遺跡に就て (夏目一平共) 考誌 一五ノ五三 (大二四)  
 熊本縣教育會史蹟調査部 熊本縣史蹟調査報告 告一 〔編纂〕 (大七)  
 熊本縣教育會五名郡支會 熊本縣玉名郡誌 〔編纂〕 (大二二)  
 熊本縣下益城郡教育支會 下益城郡誌 〔編纂〕 (大二二)  
 久米邦武 日本古代史 〔著書〕 (大四)  
 石碇銅鏃考並鍛冶の起原 史會 一ノ六〇七 (前三三)  
 郡上都教育會(岐阜縣) 郡上都史 〔編纂〕 (大二二)  
 群馬縣 群馬縣史 〔編纂〕 (昭二)  
 群馬縣群馬郡教育會 群馬縣群馬郡誌 〔編纂〕 (大二四)  
 群馬縣史蹟名勝刊行會 群馬縣史蹟名勝 (諸田八百七) 〔圖録〕 (大二五)  
 藏田茂樹 ひなのてふり 〔著書〕 (文三)  
 栗岩英治 伊那溪の史的な地方色 郷研 二ノ二三 (大三)  
 諏訪研究(信濃郷土史研究會) 〔著書〕 (大五)  
 栗田茂治 河邊郡に於ける出土物 秋考 一ノ一四 (大二四)

十代奥羽に於ける大和民族の發展 秋考 一ノ三〇 (大二四)  
 栗原保二郎 共同備忘録 人誌 一三ノ三三 (前三〇)  
 みつき船 人誌 一三ノ三五 (前三〇)  
 吳秀三 シーボルト 〔著書〕 (前二九)  
 シーボルト先生渡來百年記念論文集 〔編纂〕 (大二三)  
 シーボルト先生生涯及功業 〔著書〕 (大二五)  
 シーボルト先生生涯及功業 考界 六ノ四七 (前三九)  
 黒板勝美 考古學に對する余の雜觀 考會 二ノ二〇 (前三二)  
 黒川眞道 考古隨筆 考界 一ノ五八 (前三四)  
 考古學者としての伊藤東涯先生 〔著書〕 (前二二)  
 黒川眞彌 博物叢書穴居考 〔著書〕 (前二二)  
 博物叢書上代石器考 史誌 四ノ六六 (前二二)  
 穴居説 〔著書〕 (前二二)  
 黒川眞彌全集日本金工篇 東學 二ノ六三 (一一)  
 蝦夷の説 皇講 八四ノ一 (一一)  
 日本人種は蝦夷人種なりと云ふ説を辨す 〔著書〕 (一一)  
 黒田醫清(樂善) 本草啓蒙 〔編纂〕 (大二四)  
 會下山人 明石史資料(明石史談會)

**ケ**

溪淮 常陸南北遺跡めぐりの記 一一二 (訂 家共)  
 見學生 富山縣下に新發見の遺跡調査 考界 三ノ四三 (前三六)  
 養龍堂 「キ」木村養龍堂ヲ見ヨ 人誌 三三ノ三三 (大七)

**コ・コ**

小池典吉 會澤發見の石器時代の墳墓 考誌 一ノ一五 (大九)  
 北鮮太古の石器 〔編纂〕 (大二三)  
 小泉顯夫 大正十一年度古蹟調査報告(梅原 末治、藤田亮策共) 朝鮮報 〔著書〕 (大二二)  
 小泉秀雄 大雪山 〔著書〕 (大二五)  
 小岩井兼輝 大野大根布地質所見 北人 一ノ二五 (前二九)  
 小金井眞精 アイノの衣食住及び運命に就て 大衛 一ノ一 (前二二)  
 北海道石器時代の遺跡に就て 人誌 五ノ三三 (前二二)  
 本邦貝塚より出たる人骨に就て 人誌 六ノ四 (前二三)  
 アイヌの人種に就て 東醫 四ノ二 (前二三)  
 アイヌの話 地誌 一五ノ三三 (前二六)  
 アイヌの話 東藝 一ノ三六 (前二七)  
 島めぐり かげ草附 〔前三〇〕  
 下總國分村堀内貝塚所出の人骨に就て 人誌 二〇ノ五 (前三七)

日本石器時代の住民 一一二  
 日本最古住民に關する豫察と調査  
 日本石器時代の住民論追加  
 日本石器時代の住民  
 故坪井會長を悼む  
 滑車上孔に就て  
 河内國南河内郡道明寺村大字國府字乾の  
 石器時代遺跡より發掘せる人骨  
 日本石器時代に上犬齒を抜き去る風習  
 ありしことに就て  
 石器時代の遺跡より發掘せる人骨 抄録  
 日本石器時代の人の齒牙を變形する風習に  
 就て  
 日本石器時代の赤き人骨に就て  
 日本石器時代の埋葬狀態  
 日本石器時代の人の齒牙を變形する風習に  
 就ての追加  
 扁平尺骨と巨大胫骨  
 日本石器時代人骨の研究概要  
 人類學研究

東藝二〇ノ一七(前三六)  
 (著書)  
 太陽二〇ノ一八(前三六)  
 太陽二〇ノ一四(前三六)  
 (著書)  
 人誌二八ノ六七(天二二)  
 東醫二六ノ四(天四)

アイヌ民族其起源並に他民族との關係  
 小楠 北松浦郡に於ける先住民族の遺跡  
 小暮秀夫 兒玉郡誌  
 小鹽十一郎 三河に於ける石器時代遺物蒐集  
 三河に於ける人類學研究會  
 常陸國下妻町多寶院の遺跡  
 小杉通郎 考古の名義  
 小平高明 信濃大地誌(石川耕治共)  
 小平小平治 長野縣下佐久郡古墳及諏訪郡石  
 器時代遺物  
 小西孝四郎 姫路貝塚の發見  
 小林久壽雄 邑久郡誌  
 小林庄次郎 喜田文學士の十蜘蛛種族論を讀  
 む  
 日本人種概説 一一二  
 小林貞次郎 信濃國北佐久郡春日村の石器時  
 代發見品  
 小波徳助 利根郡一部地方の出土石器に就て  
 小林房太郎 榑太經營家としての近藤守重  
 (小川琢治共)

人誌四二ノ五九(天二二)  
 長考 一ノ一(天一四)  
 (編纂)  
 人誌一八ノ三九(前三五)  
 人誌一八ノ三九(前三五)  
 人誌二〇ノ七四(前三七)  
 考會 一ノ五五(前二九)  
 (著書)  
 人誌 九ノ二四(前二六)  
 人誌三一ノ五九(天五)  
 (著書)  
 (天六)  
 歴地 九ノ四四(前四〇)  
 龍誌 三三ノ一(一)  
 人誌一七ノ三四(前三四)  
 上毛 二六ノ三(天一五)  
 地誌一七ノ二九(前三八)

間宮林蔵氏の榑太探検と近藤守重高橋景  
 保兩氏の卓見  
 小林與三郎 下野國河内郡野澤村發見の土器  
 に就て(沼田頼輔共)  
 小牧實繁 肥前國有喜貝塚發掘報告(濱田耕  
 作、島田貞彦共)  
 沖繩縣島尻郡久米島仲里村真謝の石斧  
 日本海沿岸石器時代遺跡の地理學的考察  
 一一二  
 先史聚落地理  
 肥前國有喜貝塚發掘報告(濱田耕作、島  
 田貞彦共)  
 那霸市外城嶽貝塚發掘報告  
 小牧町史編纂 小牧町史(津田應助)  
 小松悦二 東京府荏原郡誌  
 小松眞一 古人骨に赤色々料の附着せる例  
 伊豆國遺跡調査記  
 栃木縣藤岡町に於ける淡水貝塚  
 伊豆海岸の石器時代遺跡に就て  
 越後發見の石皿

地誌一七ノ三四(前三八)  
 人誌一五ノ三九(前三三)  
 人誌四一ノ九(天一五)  
 人誌四一ノ五七(天一五)  
 史林一ノ一八(天一五)  
 地球 五ノ二六(天一五)  
 長崎報五ノ一(前二二)  
 人誌四二ノ二五(前二二)  
 (編纂)  
 (天一五)  
 (編纂)  
 人誌三五ノ二七(天七)  
 人誌三六ノ二〇(天一〇)  
 考誌一二ノ二〇(天一〇)  
 人誌三七ノ二六(天二二)  
 人誌三七ノ二六(天二二)

伊豆の遺跡補遺  
 日本に於ける貝塚調査の始まり  
 大山公爵 琉球伊波貝塚發掘報告  
 濱田博士新著「通論考古學」  
 神奈川縣川崎附近の遺跡  
 アイヌ土俗品展覽會  
 舊高島氏所藏石器時代遺物の展覽  
 榑狀耳飾を付せる石器時代土偶  
 「岩手縣上閉伊郡石器時代遺物發見地名  
 表」紹介  
 保土ヶ谷貝塚に於ける貝層  
 神道談話會に於ける島居博士の講演  
 最近の保土ヶ谷貝塚  
 小石川區高田老松町發見の獨鈷石  
 渥美郡史の出版  
 彌生式土器の異形小提瓶  
 金澤を出す堅穴遺跡  
 日向發見石鏃の或樣式  
 八王子研究旅行に於ける一二の考古學的  
 收穫

人誌三七ノ二九(天二二)  
 人誌三七ノ三三(天二二)  
 人誌三七ノ三三(天二二)  
 人誌三七ノ三七(天二二)  
 人誌三七ノ四四(天二二)  
 人誌三七ノ四五(天二二)  
 人誌三八ノ二(天二二)  
 人誌三八ノ二(天二二)  
 人誌三八ノ二(天二二)  
 人誌三八ノ二(天二二)  
 人誌三八ノ二(天二二)  
 人誌三八ノ二(天二二)  
 人誌三八ノ二(天二二)  
 人誌三八ノ二(天二二)  
 人誌三八ノ二(天二二)  
 人誌三八ノ二(天二二)  
 人誌三八ノ二(天二二)  
 人誌三八ノ二(天二二)  
 武藏 八ノ二四(天一五)

小松原遺跡 山陰の史蹟と遺物(足立正共) 山史 二ノ三〇一(大一五)  
 小南保之助 石器時代土器の製作に就て 人誌 一六ノ三五(前三三)  
 再び石器時代土器の製作に就て 人誌 一七ノ二五(前三四)  
 小宮山俊介 間宮林蔵遺事 皇譜 一四ノ一五(一)  
 間宮林蔵遺事追加 皇譜 一四ノ一(一)  
 小室龍之助 常陸國霞浦沿岸附近に於ける古跡 人誌 一〇ノ二七(前二七)  
 小柳一藏 嵐溪史 [著書] (前四五)  
 小山眞夫 信濃國小縣郡上古遺物發見地名表 考界 六ノ二九(前三九)  
 信濃小縣郡彌生式土器發見地名表 考誌 二二ノ四三(大二〇)  
 安政六年信濃の彌生式土器發掘 民歴 五ノ三三(大二〇)  
 小縣郡史 [編纂] (大一一)  
 信濃國武石村出土の巴形銅器 考誌 一七ノ三六(昭二)  
 小山眞太郎 武石沿革史 [著書] (前二七)  
 小山達 信州高地の石鏃新發見 人誌 三九ノ三三(大二三)  
 工藝美術研究會 原始文様集(杉山壽榮男) [圖録] (大二三)  
 アイヌ文様(杉山壽榮男) [圖録] (大二五)  
 日本原始工藝(杉山壽榮男) [圖録] (大二五)  
 絆間堂「タ」耽奇會ヲ見ヨ [著書] (昭二)  
 後藤龍堂 伊豆に於ける彌生式民族の分布 中史 二ノ三二六(大二五)

伊豆の上代文化相と鳥居博士 中史 三ノ五七(大二五)  
 考古學上富士山下民族分布論に就て 考界 一ノ二二(大二五)  
 後藤巳之吉 下總の石鏃 人誌 五ノ二六(前二二)  
 後藤守一 考古雜記 考誌 七ノ三九(大五)  
 銅鏃に就て 一六 考誌 一〇ノ二八(大八)  
 石器時代耳飾 考誌 一一ノ二八(大九)  
 「京大報告第六冊」紹介 考誌 一二ノ三〇(大二〇)  
 對島發見錄 一一二 考誌 一三ノ三三(大二〇)  
 佐渡國發見の彌生式土器 考誌 一三ノ三六(大二〇)  
 石器の發掘されし古墳 考誌 一三ノ三九(大二〇)  
 三河に於ける見聞 一一二 考誌 一四ノ三九(大二二)  
 陸前國寶ヶ峰發見土器 南多摩郡誌(大二二)  
 上古に於ける南高 東府報 四(大二五)  
 南多摩郡高ヶ坂石器時代住居址 東府報 五(昭二)  
 南多摩郡南村高ヶ坂に於ける石器時代聚落遺跡(稻村坦元・田邊泰共) [著書] (昭二)  
 日本考古學 考誌 一七ノ三三(昭二)  
 「出雲上代玉作遺物の研究」紹介 考誌 一七ノ三三(昭二)

サ

日本海々岸に於ける石器時代遺跡の形式 考誌 一七ノ三三(昭二)  
 近藤金次郎 岩手縣下石器土器出土地名 考會 一ノ二〇(前二五)  
 西邊寺遺遺(富水) 伊豫新居郡の貝塚 考誌 二ノ五七(大二〇)  
 伊豫古田發見の石劍 考誌 一三ノ四三(大一一)  
 伊豫山田村出土の石劍及砥石 考誌 一三ノ五五(大一一)  
 伊豫山田村の遺物 考誌 一三ノ五九(大一一)  
 忽那島出土石劍に就て 考誌 一三ノ六〇(大一一)  
 阿方の貝塚 愛媛報 (大二三)  
 埼玉縣 埼玉縣誌 [編纂] (大二)  
 埼玉縣史蹟名勝天然記念物調査報告 [編纂] (大二三)  
 一三三 [著書] (文二)  
 齋藤鶴藏 武藏野話 [著書] (文二)  
 齋藤秀平 越後國北蒲原郡金塚村貝塚石器時代遺跡 考誌 八ノ二五(大六)  
 代遺跡 [圖録] (天保七)  
 齋藤長秋 江戸名所圖繪 新海報 (大二四)  
 齋藤常平 牛の入石槍・玦(平野常吉共) [著書] (編五六)  
 齋藤彦彦 かたひさし [著書] (編五六)

齋藤恒 熱田高倉の石鏃發見 北人 二ノ四(前三二)  
 齋藤延正 奇なる土器 大洲 一七ノ四(前三四)  
 齋藤善堂 上代の石器に就て 大洲 二三ノ二(前二九)  
 飽海郡誌 [編纂] (大四)  
 齋藤妻次郎 石鏃に就ての一考察 考誌 一四ノ三三(大一一)  
 寶ヶ峰發掘土偶 考誌 一五ノ三三(大二四)  
 齋藤善基 能登旅行所見 北人 一ノ三(前二九)  
 越中國東礪波郡の石器 北人 四ノ三(前三四)  
 磯織一郎 津雲貝塚の介紹 動誌 二九ノ二八(大六)  
 氣仙郡介塚の介紹 動誌 二九ノ二八(大六)  
 相馬三願寺貝塚の貝類 動誌 三〇ノ三九(大七)  
 相原政職 相州東秦野に於ける石器時代遺物 考誌 八ノ六五(大六)  
 小田原在久野村字諏訪原に於ける彌生式土器の遺跡に就て 考誌 九ノ三八(大七)  
 相模國諸磯石器時代遺跡調査報告 考誌 一一ノ四四(大九)  
 久比里貝塚に就て 一三二 考誌 一一ノ六四(大九)  
 備中國淺口郡津雲貝塚發掘報告 京大報 五(大九)  
 肥後國宇土郡藤村宮莊貝塚發掘報告 京大報 五(大九)  
 (濱田耕作共)  
 相模足柄上郡の石器時代遺跡 人誌 三五ノ二五(大九)

石器時代土器の紋様に就て  
 遠江鯉塚に就て  
 有溝石斧の分類に就て  
 「遠江鯉塚に就て」の補稿  
 北太平洋文化説に就て 一一三  
 人類自然史  
 坂口徳太郎 奄美大島史  
 坂本眞鈴 甕棺埋没地の石斧  
 朝倉通信  
 佐賀縣 佐賀縣史蹟調査報告  
 佐久間義和 奥羽觀蹟聞老志  
 佐々木新七 七戸附近先住民族遺跡調査報告  
 佐々木忠次郎 常州陸平介城報告(飯島魁共)  
 モーリス先生發掘の大森貝塚の位置  
 モーリス先生發見の大森貝塚址の保存に  
 就て  
 佐々木彌四郎 美濃國惠那郡に於ける石器時  
 代遺跡  
 佐々木豊水 石鏡につきて  
 佐藤重一 尾張國熱田の貝塚より得たる日本

日本石器時代人骨に就て  
 佐藤藏太郎 佐伯志  
 佐藤小吉 山邊郡二階堂村平等坊石器遺跡  
 佐藤壽 陸奥國北津輕高野村狄館  
 高野村狄館石器  
 陸奥瓶ヶ岡にて獲たる土偶の圖  
 陸奥國津輕郡花卷村より出たる大甕  
 アイヌの口碑を駁し併せて本邦石器時代  
 の遺物遺跡はアイヌの物なるを論ず  
 佐藤壽 飛騨の石器  
 佐藤重紀 東北地方旅行見聞  
 アイノ澤遺跡探検記  
 陸奥國上北郡の堅穴  
 地名に就きて  
 堅穴チャシコツ  
 陸奥國上北郡の貝塚  
 コロボツクルの解  
 陸奥に於けるアイヌの記念  
 陸奥國上北郡アイヌ澤土器  
 佐藤重敏 陸奥國西津輕郡に於ける土器石器

の發見地(飯垣義彰共)  
 佐藤傳藏 石器表面の附着物  
 武藏北豐島郡中里村貝塚取調報告(島居  
 龍藏共)  
 常陸國福田村貝塚探検報告  
 常陸國浮島村貝塚探検報告(若林勝邦共)  
 石鏡形態論  
 陸奥國岡發掘報告  
 陸奥國中津輕郡紙漣澤村遺跡發掘報告  
 大隅國屋久嶋の石斧  
 陸奥國龜ヶ岡第二回發掘報告 一一二  
 墟塚層中石器時代の遺物  
 日本石器時代石棒頭部彫刻考  
 神保氏「日本地質學」中の人類學上の記事  
 を評す  
 椎塚介城發掘報告の翻譯  
 本邦石器時代の膠漆的遺物に就て  
 共同備忘録  
 コロボツクル人種に關する四問

陸奥國龜ヶ岡石器時代遺跡地勢地質及發見  
 品  
 太古の武藏野  
 相州諸磯式土器圖解説  
 佐藤理學士の古跡調査に就て  
 石器時代の遺跡より金鏝を發見す  
 石器時代の遺跡より製鐵の原料を發見す  
 本邦石器時代遺跡より發見せる土器の蓋  
 及蓋らしきもの  
 陸奥國床舞村發見の土偶に就て  
 日本々州に於ける堅穴發見報告  
 常陸福田村貝塚第二回發掘報告  
 古墳と骨鏡  
 肥前に於ける石器發見地  
 陸奥床舞より出たる奇品  
 サスカイト製の石鏡  
 相州カマヤ貝塚  
 陸奥床舞發見の石器時代遺物に就て  
 地質時代と石器時代との關係を論ず  
 日本々邦に於ける堅穴發見報告

九州に於ける石器時代人民 地誌一ノ一五(前三三)

北海道利尻島發見の石器及其碎屑の石質 人誌一五ノ一五(前三三)

裁籍上の龜ヶ岡 人誌一六ノ七(前三三)

龜ヶ岡より出る青石の原石産地 人誌一六ノ九(前三三)

臺北附近の石器時代遺跡 人誌一六ノ一六(前三三)

伊豆大島磐岩流下の人類遺跡に就ての疑問 人誌一七ノ四三(前三四)

コロボツクルに關するパチエラー氏の意見 人誌一七ノ四四(前三四)

山陰地方の石器時代遺跡 人誌一八ノ三三(前三五)

繪の具製造用の石器 人誌一九ノ一六(前三五)

藏王火山附近の石器時代の遺跡 人誌二〇ノ六(前三七)

美濃苗木附近石器類 地誌一九ノ七(前四〇)

故坪井會長を悼む 人誌二八ノ一七(大二)

阿蘇火山中の石器時代の遺跡 地誌二六ノ八(大二)

十三湯沿岸の貝塚 地誌三〇ノ二九(大七)

佐藤初太郎 男鹿半島古物探求誌 人誌一〇ノ四七(前二七)

北秋田郡七座村麻生及山本郡鶴形村遺物 考會一ノ五〇(前二九)

探究報告 人誌一三ノ三(前三〇)

男鹿半島角間崎の石器時代遺跡 人誌一三ノ一五(前三〇)

赤城及金澤と非鐵器時代 人誌一三ノ一五(前三〇)

石器土器に附着する膠漆様遺物に就ての意見 人誌一三ノ三〇(前三〇)

奇形の十個 人誌一九ノ一七(前三三)

魚形の鎌石手 人誌二〇ノ三七(前三七)

佐藤龍雄 大村灣南方海岸にて石鏡發見 考誌一四ノ三六(大一一)

肥前國西彼杵郡雪の浦村の貝塚に就て 考誌一四ノ三九(大一一)

肥前國御厨貝塚發見報告 長考一ノ五九(大一一)

佐藤勇太郎 越後三島百塚 人誌一ノ一六(前一九)

佐山郡司 珍らしき石器 人誌二六ノ三〇(前四三)

石槍と旭川町附近の石器發見地の地形 人誌二六ノ四四(前四三)

佐山融吉 佐山融吉氏よりの通信 人誌三八ノ三(大一一)

堺市役所 堺市史資料展覧會出品目録 〔編纂〕(大一一)

早良郡役所 早良郡誌 〔編纂〕(大一一)

櫻井鏡二 日本石器時代遺物發見地名表第四版緒言 〔編纂〕(大一一)

櫻井定太 河北郡横山附近の遺物遺跡 日石地表四(大四)

作山美八 磐城國木戸村に於る古器物の發見 北人一ノ一八(前二九)

札幌史學會 札幌沿革史 人誌一八ノ九(前三五)

山高郷土史研究會 山高郷土史研究會考古學研究報告書(小川五郎、三宅宗悦共) 〔編纂〕(前三〇)

三溪居士 天孫以前の原人 史海二〇ノ(前二六)

日本人種起源論批評 史海三八ノ(前二九)

シ・ジ

シーボルト・ヘンリー・ホン 考古略説 〔著書〕(前二二)

CN生 東京人類學會遠足發掘會見學の記 人誌三二ノ三六(大六)

十三史談會 相内地方史蹟案内 〔著書〕(大一一)

紫岳 本邦地誌類書目略解題 歴譜二ノ一〇(前三六)

史學會 史學雜誌索引 〔編纂〕(大二〇)

滋賀縣要太郎役所 近江粟太郡志 〔編纂〕(大一一)

滋賀縣坂田郡役所 近江坂田郡志 〔編纂〕(大一一)

滋賀縣野洲郡教育會 野洲郡史(橋川正) 〔編纂〕(前二二)

滋賀縣東淺井郡教育會 東淺井郡志 〔編纂〕(前二二)

重野安禮 北海道談 學士二〇ノ二(一)

繁林止一 廣島縣世羅郡西大田村の遺跡遺物 人誌三二ノ三六(大六)

備後國西大田村發見の石斧 人誌三三ノ二四(大七)

備後國西大田村所在石器發見地について 人誌三四ノ三九(大八)

史前研究會 神奈川縣新磯村字勝坂遺物包含地調査報告(大山柏著) 〔著書〕(前二二)

史前の研究(大山柏著) 〔著書〕(前二二)

石器時代の概要(大山柏著) 〔著書〕(前二二)

志太郎役所 靜岡縣志太郎誌 〔著書〕(前二二)

靜岡縣 靜岡縣史蹟名勝誌 〔編纂〕(大一一)

靜岡縣史蹟名勝天然紀念物調査報告一 〔編纂〕(大一一)

三(足立謙太郎、山崎常磐、堀田美櫻男、鷺山恭平) 〔編纂〕(前二二)

繁原坦 朝鮮發見の土偶 人誌二〇ノ二四(前三七)

信濃教育會上伊那郡會 先史及原史時代の上 〔編纂〕(大一一)

伊那(鳥居龍藏著) 〔編纂〕(大一一)

信濃教育會下伊那郡會 下伊那の先史及原史時代(鳥居龍藏著) 〔圖録〕(大一一)

信濃教育會諏訪郡會 諏訪史第一卷(鳥居龍藏著) 〔編纂〕(大一一)

信濃教育會東筑摩郡會 東筑摩郡誌 〔編纂〕(大一一)

信濃郷土史研究會 信濃郷土史研究叢書一 〔編纂〕(大一一)

諏訪研究(栗岩英治著) 〔著書〕(大五)

篠原市之助 山上にある貝塚 考界一ノ三(前三四)

柴田常惠 日本石器時代の赤塗遺物 人誌一五ノ四〇(前三二)

臺灣石器時代の有紋土器 人誌一六ノ二九(前三三)

- 共同備忘録 一六
- 根岸武香君小傳
- 圖版考説(大野雲外共)
- 上野武藏の古墳及先史遺跡
- 陸奥發見七偶の口繪説明
- 人類學寫真集日本石器時代十偶圖説
- 東北地方踏査概要
- 上野の石器時代遺跡及遺物
- 朝鮮金海の貝塚
- 上總君津郡青堀村發見の彌生式土器
- 石神問答紹介
- 遠野物語紹介
- 出雲雜記 一ノ四
- 常陸福田發見の石器時代土器
- 下總立木貝塚發見の朱塗土器
- 三河幡豆郡西尾町の彌生式貝塚
- 石器時代十偶の口繪説明
- 上總國市原郡市原村貝塚
- 下總國海上郡足洗村發見の奇形石器
- 下總立木貝塚の貝輪包含狀態

- 下總余山貝塚發見の土偶の口繪説明
- 下總海上郡余山貝塚發見土器
- 常陸國陸平貝塚發見の土器
- 下總印旛郡江原臺發見の土偶
- 飛騨國小坂町發見の奇形石器
- 陸前東宮貝塚發見の冠石形土製品
- 常陸國稻敷郡福田貝塚發見の土器
- 各種の勾玉
- 日本遺跡遺物圖譜の發行
- 美濃加茂郡河岐の石器時代遺跡
- 日本石器時代遺物發見地名表第四版增訂
- に就て
- 狹様の石製品に就て
- 麻布善福寺の貝塚
- 石棒の模造品
- 本州に残存するアイヌ
- 津輕地方の石器時代土器
- 越中國水見郡宇波村大境の白山社洞窟
- 室蘭より石器時代の土偶發見す
- 越中國東郷郡平村田向發見の石器

人誌二七〇/三〇 (前四四)  
 人誌二七〇/三一 (前四四)  
 人誌二七〇/三二 (前四四)  
 人誌二七〇/三三 (前四四)  
 人誌二七〇/三四 (前四四)  
 人誌二七〇/三五 (前四四)  
 人誌二七〇/三六 (前四四)  
 人誌二七〇/三七 (前四四)  
 人誌二七〇/三八 (前四四)  
 人誌二七〇/三九 (前四四)  
 人誌二七〇/四〇 (前四四)  
 人誌二七〇/四一 (前四四)  
 人誌二七〇/四二 (前四四)  
 人誌二七〇/四三 (前四四)  
 人誌二七〇/四四 (前四四)  
 人誌二七〇/四五 (前四四)  
 人誌二七〇/四六 (前四四)  
 人誌二七〇/四七 (前四四)  
 人誌二七〇/四八 (前四四)  
 人誌二七〇/四九 (前四四)  
 人誌二七〇/五〇 (前四四)  
 人誌二七〇/五一 (前四四)  
 人誌二七〇/五二 (前四四)  
 人誌二七〇/五三 (前四四)  
 人誌二七〇/五四 (前四四)  
 人誌二七〇/五五 (前四四)  
 人誌二七〇/五六 (前四四)  
 人誌二七〇/五七 (前四四)  
 人誌二七〇/五八 (前四四)  
 人誌二七〇/五九 (前四四)  
 人誌二七〇/六〇 (前四四)  
 人誌二七〇/六一 (前四四)  
 人誌二七〇/六二 (前四四)  
 人誌二七〇/六三 (前四四)  
 人誌二七〇/六四 (前四四)  
 人誌二七〇/六五 (前四四)  
 人誌二七〇/六六 (前四四)  
 人誌二七〇/六七 (前四四)  
 人誌二七〇/六八 (前四四)  
 人誌二七〇/六九 (前四四)  
 人誌二七〇/七〇 (前四四)  
 人誌二七〇/七一 (前四四)  
 人誌二七〇/七二 (前四四)  
 人誌二七〇/七三 (前四四)  
 人誌二七〇/七四 (前四四)  
 人誌二七〇/七五 (前四四)  
 人誌二七〇/七六 (前四四)  
 人誌二七〇/七七 (前四四)  
 人誌二七〇/七八 (前四四)  
 人誌二七〇/七九 (前四四)  
 人誌二七〇/八〇 (前四四)  
 人誌二七〇/八一 (前四四)  
 人誌二七〇/八二 (前四四)  
 人誌二七〇/八三 (前四四)  
 人誌二七〇/八四 (前四四)  
 人誌二七〇/八五 (前四四)  
 人誌二七〇/八六 (前四四)  
 人誌二七〇/八七 (前四四)  
 人誌二七〇/八八 (前四四)  
 人誌二七〇/八九 (前四四)  
 人誌二七〇/九〇 (前四四)  
 人誌二七〇/九一 (前四四)  
 人誌二七〇/九二 (前四四)  
 人誌二七〇/九三 (前四四)  
 人誌二七〇/九四 (前四四)  
 人誌二七〇/九五 (前四四)  
 人誌二七〇/九六 (前四四)  
 人誌二七〇/九七 (前四四)  
 人誌二七〇/九八 (前四四)  
 人誌二七〇/九九 (前四四)  
 人誌二七〇/一〇〇 (前四四)

- 日本考古學
- 琵琶湖底より土石器を發見
- 飛騨桐山發見の一石製品に就て
- 羽前最上郡豐里村發見の球形土製品
- 高少坂の石器時代住居址
- 石器時代住居址概論(谷川繁雄共)
- 新に發見したる多摩陵附近石器時代住居址
- 三河國櫻井村堀内貝塚
- 芝田清善 駿東郡の遺跡
- 澁谷町誌發行所(東京府) 澁谷町誌
- 鹽田弓吉 神威古潭の堅穴
- 石狩國一己村のチャシコツ?
- 銅路港に於けるチャシコツ及堅穴
- 銅路港茂尻貝塚發掘
- 「コロボクウングル」に就て(アイヌとの問答)
- 北海道に於ける石器時代遺跡遺物所在地
- 神居古潭なる堅穴より發掘したる鐵製鍋

- の破片
- 石器時代住民
- 北海道に於ける先史住民の風俗習慣
- 島倉龍治 沖繩一千年史(真境名實典共)
- 島田貞彦 河内國府遺跡發掘報告(梅原末治共)
- 日本發見磨製石鏃及石劍聚成表(梅原末治共)
- 近江國蒲生郡國城の彌生式土器
- 津雲貝塚の發掘
- 備中國淺口郡大島村津雲貝塚發掘報告(清野謙次・梅原末治共)
- 南陽に於ける二三の先史時代遺跡一―二
- 肥後國下益城郡當尾貝塚
- 京都市北白川町發見の石器時代遺跡
- 備前國兒島郡磯の森貝塚特に瓜形紋土器に就て
- 大隅國鹿屋町附近の先史時代遺跡地名
- 二個の原始的算繪土器と其の類例に就て

人誌二八〇/五〇 (前四五)  
 人誌二八〇/五一 (前四五)  
 人誌二八〇/五二 (前四五)  
 人誌二八〇/五三 (前四五)  
 人誌二八〇/五四 (前四五)  
 人誌二八〇/五五 (前四五)  
 人誌二八〇/五六 (前四五)  
 人誌二八〇/五七 (前四五)  
 人誌二八〇/五八 (前四五)  
 人誌二八〇/五九 (前四五)  
 人誌二八〇/六〇 (前四五)  
 人誌二八〇/六一 (前四五)  
 人誌二八〇/六二 (前四五)  
 人誌二八〇/六三 (前四五)  
 人誌二八〇/六四 (前四五)  
 人誌二八〇/六五 (前四五)  
 人誌二八〇/六六 (前四五)  
 人誌二八〇/六七 (前四五)  
 人誌二八〇/六八 (前四五)  
 人誌二八〇/六九 (前四五)  
 人誌二八〇/七〇 (前四五)  
 人誌二八〇/七一 (前四五)  
 人誌二八〇/七二 (前四五)  
 人誌二八〇/七三 (前四五)  
 人誌二八〇/七四 (前四五)  
 人誌二八〇/七五 (前四五)  
 人誌二八〇/七六 (前四五)  
 人誌二八〇/七七 (前四五)  
 人誌二八〇/七八 (前四五)  
 人誌二八〇/七九 (前四五)  
 人誌二八〇/八〇 (前四五)  
 人誌二八〇/八一 (前四五)  
 人誌二八〇/八二 (前四五)  
 人誌二八〇/八三 (前四五)  
 人誌二八〇/八四 (前四五)  
 人誌二八〇/八五 (前四五)  
 人誌二八〇/八六 (前四五)  
 人誌二八〇/八七 (前四五)  
 人誌二八〇/八八 (前四五)  
 人誌二八〇/八九 (前四五)  
 人誌二八〇/九〇 (前四五)  
 人誌二八〇/九一 (前四五)  
 人誌二八〇/九二 (前四五)  
 人誌二八〇/九三 (前四五)  
 人誌二八〇/九四 (前四五)  
 人誌二八〇/九五 (前四五)  
 人誌二八〇/九六 (前四五)  
 人誌二八〇/九七 (前四五)  
 人誌二八〇/九八 (前四五)  
 人誌二八〇/九九 (前四五)  
 人誌二八〇/一〇〇 (前四五)

琵琶湖底から発見された有史以前の遺物  
周防國吉敷郡見能ヶ濱遺跡  
肥前國埴野石器時代遺跡  
有史以前の近江一―二  
琵琶湖底発見の編紋土器―考古片録  
關ヶ原発見の石劍―考古片録  
伊豫國発見石劍―考古片録  
肥前國有喜貝塚發掘報告(濱田耕作・小牧實繁共)  
河内國中河内郡日下発見の貝塚に就て  
新例の二石劍  
肥前國有喜貝塚發掘報告(濱田耕作・小牧實繁共)  
島田増次郎 彫刻ある石斧  
本邦石器時代の磨製石鏃及角鏃に就て  
本邦石器時代に於ける容器的蓋に就て  
貝塚発見の廢物利用に就て  
常陸櫻川下流及附近発見の土器に就て  
鳥村孝三郎 岩手縣下の古墳及石器時代の遺跡

歴と一五ノ一 (大二四)  
考誌一五ノ七九 (大二四)  
人誌四〇ノ四〇五 (大二四)  
歴と一六ノ一五 (大二四)  
歴と一七ノ二二 (大二四)  
歴と一七ノ二六 (大二五)  
歴と一八ノ一六 (大二五)  
歴と一八ノ二七 (大二五)  
人誌四一ノ九 (大二五)  
人誌四一ノ六三 (大二五)  
考誌一六ノ六六 (大二五)  
長崎報 五 (報二)  
人誌一七ノ三三 (報三四)  
考界 一ノ五五 (報三五)  
考界 二ノ一六 (報三五)  
考界 二ノ一六 (報三五)  
考界 六ノ二二 (報三五)  
人誌 九ノ一七 (報二六)

陸前に於ける太古の遺跡  
共同備忘録  
清水養翁 北武八志  
清水元太郎 鳥居君の千鳥石器時代論に付て  
肥前國平戸附近石器時代遺跡及遺物  
新地村役場(福島縣相馬郡) 新地案内  
進藤和清 出羽國風土略記  
神風山人 コロボツクル果して内地に住せしや  
貝塚を貝塚村に探るの記  
コロボツクル果して内地に住みしや  
「シ」白井光太郎ヲモ見ヨ  
神保小虎 大宮郷の石斧  
黒曜石比較研究緒言  
陸中にて石鏃石棒を得たり  
下總國曾谷貝塚  
アイヌ研究に關する參考書  
カラフトに在りし博物館  
コロボツクル問題とアイヌ語の研究  
諏訪湖底の石器と湖上生活論と土地の陥

人誌 九ノ二九 (報二六)  
人誌 一三ノ三三 (報三)  
[著書] (報四〇)  
人誌 一七ノ一〇 (報三四)  
人誌 一八ノ一四 (報三五)  
[編纂] (大二三)  
[著書] (報四四)  
人誌 二二ノ二二 (報一九)  
人誌 二二ノ四九 (報一九)  
史海 二二ノ二二 (報二六)  
人誌 一ノ一四 (報一九)  
人誌 一ノ二二 (報一九)  
人誌 一ノ三三 (報一九)  
人誌 二ノ一六 (報一九)  
人誌 一ノ一九 (報一九)  
人誌 二ノ二二 (報四〇)  
人誌 二二ノ二二 (報四〇)  
人誌 二四ノ四九 (報四二)

人類學教室 「ト」東京帝國大學理學部人類學教室ヲ見ヨ  
下浦輝 鞍手古月の貝塚と附近の石器時代遺物  
物包含層とに就て  
下邊保躬 石の鞋草と稱する古石器  
下田江東 大里郡郷土誌  
下野史蹟會 下野考古學(田代黑瀧)  
栃木縣誌(田代黑瀧)  
下野之史蹟名所刊行會 下野之史蹟名所(森本樵作)  
下斗米秀二郎 南部樺太踏査  
下水内郡教育會(長野縣) 下水内郡誌  
下村武一郎 紀伊の遺跡並に遺物  
尾張知多半島の石器時代遺跡  
下村三四吉 二日の旅行(鳥居龍藏共)  
小豆澤紀行  
常陸國椎塚介塚發掘報告(八木柴三郎共)  
茨城縣下石器時代遺跡七ヶ所  
下總國香取郡阿玉臺貝塚探査報告(八木

考誌一四ノ三六 (大二二)  
人誌 二ノ一〇 (報一九)  
[編纂] (大八)  
[著書] (大二四)  
[著書] (報二)  
[圖録] (大七)  
人誌 二二ノ二二 (報三九)  
[編纂] (大二)  
人誌 一〇ノ三六 (報二七)  
人誌 一三ノ三三 (報三〇)  
人誌 八ノ三三 (報二五)  
人誌 八ノ三七 (報二五)  
人誌 八ノ三六 (報二五)  
人誌 八ノ四一 (報二五)

柴三郎共)  
下總阿玉臺貝塚より出たる獸骨(八木柴三郎共)  
本邦石器使用人民の美術思想(大野延太郎共)  
富山樓 「タ」耽奇會ヲ見ヨ  
守屋生 太古之遺跡を尋ねるの記  
首藤岩泉 凡字形石器に就て  
東京西郊の先史遺跡  
松露館 「タ」耽奇會ヲ見ヨ  
白井光太郎 木會略史  
貝塚より出でし土偶の考  
石鏃考  
中里村介塚  
日本博物館年表  
故坪井會長を悼む  
人類學會創立當時に於ける回顧  
「エ」M・S「シ」神風山人ヲモ見ヨ  
白井秀雄(眞澄) 「ス」官江眞澄ヲ見ヨ。  
白井賴吉 東京大久保の石棒

人誌 九ノ二五 (報二六)  
人誌 九ノ四六 (報二六)  
人誌 二二ノ二二 (報二九)  
人誌 四ノ一五 (報二二)  
武相 一ノ三三 (大二三)  
藝教 四ノ一六 (大二五)  
人誌 一ノ一 (報一九)  
人誌 一ノ二六 (報一九)  
人誌 一ノ四九 (報一九)  
人誌 一ノ六三 (報一九)  
[著書] (報二四)  
人誌 二八ノ六五 (大二三)  
中史 九ノ四一 (大二三)  
人誌 三ノ二九 (報二〇)





高川幼六 縣内外の貝塚古墳の發掘	筑史一〇ノ四〇 (大五)	大和國高市郡新澤村一石器時代遺跡	奈良報五 (大七)
高木文 採集家漫言	人誌 三ノ三三 (大六)	有孔石器	考誌一〇ノ五七 (大八)
高木利太 家藏日本地誌目錄	[編纂] (昭二)	東京彌生町發見土器	考誌一〇ノ五七 (大八)
高島多米治(唯孝) 貝塚叢話	考界 八ノ三七 (前四二)	銅鉾銅劍考十一	考誌一三ノ三三 (大一一)
石器時代土器	考誌 三ノ六三 (前四五)	銅鉾銅劍の研究	[著書] (大一一)
常陸國福田介城篇	人誌 三〇ノ三三 (大四)	日本原始繪畫	[著書] (昭二)
椎塚介城篇	人誌 三〇ノ三三 (大四)	日本歴史圖錄	[圖錄] (昭二)
高田與清(小山田與清) 相馬日記	人誌 三〇ノ三三 (大五)	日本太古に於ける青銅文化	考誌一七ノ三三 (昭二)
松屋策記	[著書] (文政二)	高橋正人 貝塚を掘る男の話	慶賢 六ノ (昭二)
高野榮明 山形縣飽海郡高瀬方面石世遺物展	[著書] (弘化)	高橋善吉 鴻之臺附近の貝塚	人誌 三三ノ三九 (大七)
覽會第一回概況	人誌 一四ノ四八 (前三二)	高橋城司 瀧澤石器時代遺跡調査雜記	上毛 二ノ一 (大一一)
高橋健自 大和國石器時代遺跡	考會 一ノ三六 (前二九)	高橋直一 河内北八下村の石器時代遺跡	考誌 一四ノ三〇 (大一一)
大和考古雜錄七	考會 二ノ三三 (前三二)	高畑宣一 石狩川沿岸穴居人種遺跡	人誌 一〇ノ二 (前二七)
神武陵西發見の石器時代土器	考界 四ノ四二 (前三七)	膽振國海岸古跡	人誌 一一ノ九 (前二八)
熱田貝塚の發見につきて	考界 七ノ三六 (前四二)	小樽港史	[著書] (前三二)
越前國甲樂城浦の史蹟に就きて	考界 八ノ二六 (前四二)	日本石器時代の住民	史誌 一八ノ三六 (前四〇)
石器時代の勾玉に就て	人誌 三三ノ三六 (大五)	高山建吉 經筒の發見地と石器時代の遺跡	考誌 一七ノ三〇 (昭二)
上古遺物研究の沿革	考誌 七ノ七四 (大五)	遠南白羽村に於ける石器時代遺物發見の概要	考誌 一七ノ三〇 (昭二)
熱田發掘土器面の赤色	考誌 八ノ三九 (大六)	多賀郡役所(茨城縣) 多賀郡史	[編纂] (大一一)
考古學	[著書] (大六)		

廣野秀雄 信濃東筑摩郡植原村地方の古物遺跡	人誌 八ノ二六〇 (前二五)	田中茂穂 記念遠足會採集品中動物諸類に就て	人誌 二〇ノ二二 (前三七)
磨製石録	人誌 八ノ四六 (前二五)	田中正太郎 飛騨石器	人誌 四ノ七四 (前二二)
信州の遺跡	人誌 八ノ四九 (前二五)	石鏡の先端を磨きたるもの	人誌 五ノ三二 (前二二)
田川辰一 越後の石器時代遺物札邊漫録	人誌 二五ノ二九 (前四二)	飛騨國の貝塚土器	人誌 六ノ二五 (前二二)
田邊金吾 攝津廣田神社附近に於ける石器時代の遺跡と遺物	考誌 五ノ七二 (大三)	飛騨國の石皿	人誌 六ノ二二 (前二二)
田代聖瀧 下野考古學	[著書] (大二四)	飛騨國石器時代遺跡の發見	人誌 六ノ二九 (前二二)
栃木縣誌	[著書] (昭二)	飛騨國石世期の遺跡	人誌 六ノ二六 (前二二)
田代安定(安) 沖繩縣八重山諸島婦人類飾珠の說	人誌 一〇ノ二三 (前二七)	石鏡の及部を磨きたるものに就て	人誌 七ノ三三 (前二四)
臺灣に於ける石器の發見	人誌 一六ノ二五 (前三三)	六頭雷斧につきて	人誌 七ノ三三 (前二四)
田代三 石廬丁	人誌 四ノ四〇 (前二二)	飛騨國吉城郡國府村石器時代遺跡	人誌 七ノ三三 (前二四)
田中阿歌 湖沼學上より見たる諏訪湖の研究(鳥居龍藏)	[編纂] (一一)	飛騨國より磨り截らんとせし痕を存する石斧顯る	人誌 七ノ三九 (前二四)
野尻湖の研究(鳥居龍藏・西村眞次)	[編纂] (大一一)	飛騨國の石器の一	人誌 八ノ二五 (前二五)
田中延文郎 土板の事	人誌 二ノ三二 (前一九)	飛騨國吉城郡國府村三川組エンダソラの遺跡	人誌 八ノ二五 (前二五)
田中喜多美 雫石峡谷に於ける石器時代の遺跡	中央三ノ一七 (大二六)	飛騨より磨り截りし痕を存する石器顯る	人誌 八ノ二五 (前二五)
田中啓爾 多摩御陵附近の地誌	[著書] (昭二)	越中旅行見聞錄	人誌 九ノ二五 (前二六)
		飛騨の石器	人誌 九ノ二六 (前二六)
		片及の石斧飛騨にあり	人誌 九ノ二六 (前二六)



玉田藥二郎 伊豫阿方貝塚  
 淡屋(淡岸迂夫) 『カ』神田孝平ヲ見ヨ。  
 耽奇會 耽奇漫録(山崎美成・好問堂・梅園・寫  
 山樓・松葉館・海愛菴・養谷・龍珠館・仙菴)  
 探古生 信濃國石鐵發見地  
 考誌 二ノ二八(前三二)

子

千葉縣 房總紀要  
 稿本千葉縣誌  
 千葉縣史蹟名勝天然記念物調査報告 二  
 一四  
 千葉縣安房郡教育會 千葉縣安房郡誌  
 千葉縣海上郡教育會 千葉縣海上郡誌  
 千葉縣君津郡教育會 千葉縣君津郡々誌  
 千葉星定 南豆傳説集  
 千代延尚書 石見に於ける石神  
 小縣郡役所(長野縣) 小縣郡史(小山真夫)  
 張朱綱 龍宮船  
 長生郡役所(千葉縣) 長生郡土史(林天然)  
 〔編纂〕 (前四四)  
 〔編纂〕 (大八)  
 〔編纂〕 (大二五)  
 〔編纂〕 (大六)  
 〔編纂〕 (前二二)  
 〔著書〕 (大二五)  
 〔編纂〕 (大九)  
 〔編纂〕 (大一一)  
 〔編纂〕 (前二二)

ツ

冢田虎 隨意録  
 月輪眞成 越前の遺跡遺物及別家稱呼村名  
 越前遺物遺跡表  
 辻善之助 白石先生手簡  
 辻武雄 茨城縣信太・河内兩郡に於ける石器  
 時代の遺跡  
 津田彌助 小牧町史  
 津田敬武 神道起源論  
 津田鑿二 肥前大野原及嶺野地方先住民の遺  
 跡を尋ねて  
 土屋彦六 東京駿河臺鈴木町にて貝塚土器を  
 拾ふ  
 遠江に於ける石器時代の遺物  
 遠江敷知郡入野村蜆塚より發見したる古  
 代の遺物  
 遠江國周智郡氣多村の石器  
 角田鑿彦 陸奥國東津輕郡石器時代の遺跡探  
 〔著書〕 (文政八)  
 人誌 六ノ三三(前二三)  
 北人 一ノ二〇(前二九)  
 史誌 一五ノ二七(前三七)  
 人誌 九ノ三三(前二六)  
 〔著書〕 (大二五)  
 〔著書〕 (大九)  
 長考 一ノ三(大二四)  
 人誌 六ノ三九(前二三)  
 人誌 八ノ三三(前二五)  
 人誌 八ノ三七(前二五)  
 人誌 八ノ三〇(前二五)

究報告

石應丁の類か  
 有孔貝塚土器に就きて  
 共同備忘録  
 角田俊次 故奥羽人類學會長松森氏を祭る文  
 角田政治 熊木縣誌  
 坪井九馬三 蝦夷考  
 太古に於ける北方移民の文化  
 太古の本邦民族に就て  
 坪井正五郎 十層塚考  
 東京近傍古跡探察の事  
 太古人種の遺跡  
 東京近傍貝塚總論  
 太古の土器を比べて貝塚と横穴の關係を  
 述ぶ  
 土偶圖解  
 土版圖解  
 東京近傍古跡指明圖付言  
 コロポツタル北海道に住みしなるべし  
 コロポツタル内地に住みしなるべし  
 人誌 六ノ三九(前二三)  
 人誌 八ノ二四(前二五)  
 人誌 八ノ二四(前二五)  
 人誌 一三ノ二六(前三〇)  
 人誌 九ノ三五(前二六)  
 〔著書〕 (大六)  
 考誌 四ノ二二(大二)  
 考誌 一三ノ三三(大一一)  
 社史 九ノ二七(大一一)  
 重藝 一ノ五五(前二六)  
 理協 二ノ三三(前二七)  
 學志 一六ノ三五(前二八)  
 地協 八ノ三三(前一九)  
 人誌 一ノ二二(前一九)  
 人誌 一ノ三六(前一九)  
 人誌 一ノ五五(前一九)  
 人誌 一ノ五九(前一九)  
 人誌 二ノ三三(前一九)  
 人誌 二ノ三七(前一九)

内側に耳ある鏝の事に付て神田孝平先生  
 に申す

北海道諸地方より出でたる古器物上に在  
 る異體文字  
 貝塚とは何であるか  
 石器時代の遺物遺跡は何者の手に成たか  
 石鏝略説及本邦石鏝出所名表  
 四足獸の浮き文様ある貝塚土器及粗造な  
 る内耳の土鏝  
 石器時代一―二  
 パリ―通信  
 北海道石器時代の遺跡に關する小金井良  
 精氏の説を讀む  
 曲玉か曲玉に似た物か  
 ロンドン通信一―七  
 繩紋土器に關する山中笑氏の説を讀む  
 重ねてアイヌ木具貝塚土器修繕法の符合  
 は貝塚土器のアイヌの遺物たるを證す  
 る力なき事を述ぶ  
 人誌 二ノ三九(前一九)  
 人誌 二ノ三〇(前一九)  
 人誌 三ノ三五(前二〇)  
 人誌 三ノ三三(前二〇)  
 理協 五ノ三四(前二〇)  
 人誌 四ノ三七(前二二)  
 大洲 二〇ノ一五(前二二)  
 人誌 五ノ三七(前二二)  
 人誌 五ノ二六(前二二)  
 人誌 五ノ二八〇(前二二)  
 五ノ二八〇(前二二)  
 人誌 六ノ三三(前二二)  
 人誌 五ノ三三(前二二)  
 人誌 五ノ三六(前二二)

曲玉に關する羽柴・三宅二氏の説を讀み  
再び思ふ所を述ぶ  
太古我日本島に住居したる石器時代の人  
民  
帝國大學の隣地に貝塚の跡あり  
コロボツクルといふ矮人の事を言ひて人  
類學者坪井正五郎大人に戯ると題する  
文を讀む一—二  
佐藤重紀氏の堅穴及チャシコツの記を讀  
む  
小金井博士の貝塚人骨論を讀む  
武藤留之助氏の北海道石器の報に就きて  
思ふ所を述ぶ  
日本の磨製石鐵とグリーンランドの磨製  
石鐵  
最近の木邦諸雜誌に載せられたる人類學  
上の材料  
常陸風土記に所謂「大人踐跡」とは堅穴の  
事ならん  
考古學と土俗學

人誌 五ノ七二 (前二二)  
理協 七ノ九 (前二二)  
東藝九ノ二五 (前二二)  
人誌 六ノ八九 (前二二)  
人誌 六ノ三三 (前二二)  
人誌 六ノ三三 (前二二)  
人誌 六ノ三三 (前二二)  
人誌 六ノ三三 (前二二)  
人誌 六ノ三三 (前二二)  
人誌 八ノ二六 (前二五)  
東藝 九ノ八 (前二五)

コロボツクル北海道に住みしなるべし  
コロボツクル内地に住みしなる可し  
日本全國に散在する古物遺跡を基礎とし  
てコロボツクル人種の風俗を追想す  
一—二  
石器時代の遺跡に關する落後生・三溪居  
士・柏木・久米四氏の論說に就きて數言  
を述ぶ  
コロボツクル所製器具圖解  
青山君の示されたる表中にある雷斧と云  
ふものに付き所思を述ぶ  
アイヌ文様と輻輪との關係  
貝塚土器底面の網代紋  
西ヶ原貝塚探察報告一—七  
石器時代人民に關するアイヌ口碑の總括  
日本に於て石器を採集し研究するに就き  
て注意すべき諸件一—二  
考古學者の所謂三時代の名稱に就て  
石器時代人民に關するアイヌ口碑の總括

史海 二ノ一七六 (前二六)  
史海 二ノ一八四 (前二六)  
史誌 四ノ一七三 (前二六)  
史誌 四ノ一七九 (前二六)  
史誌 四ノ三三 (前二六)  
史誌 四ノ五五九 (前二六)  
地誌 五ノ五六六 (前二六)  
人誌 一〇ノ二六 (前二七)  
人誌 一〇ノ三九 (前二七)  
人誌 八ノ二六 (前二七)  
人誌 九ノ二六 (前二七)  
史誌 一〇ノ二六 (前二七)  
史誌 五ノ四九 (前二七)  
史誌 五ノ五五 (前二七)  
史誌 五ノ五九 (前二七)  
東藝 一ノ二六 (前二七)

貝塚土器に於て見る所の廢物利用の數例  
貝塚土偶の面貌の奇異なる所以を説明す  
常陸國椎塚貝塚  
「コロボツクル」に付き  
石器時代遺跡の實踐は人類學上如何なる  
利益ありや  
北海道石器時代土器と本州石器時代との  
類似  
アイヌ文様と貝塚文様との比較研究  
骨器の用を明示する貴重なる遺物の發見  
古物面上の附着物  
日本石器時代人民の口邊裝飾  
異地方發見の類似土器  
考古學と土俗調査  
考古學の眞價  
北海道手宮に於て發見されたる古代彫刻  
石器時代總論要領  
信濃石器時代遺跡碑銘  
石・青・鐵の三時期  
日本の地に棲息せし石器時代人民

東藝 一ノ一八 (前二七)  
東藝 一ノ二五 (前二七)  
東藝 一ノ三九 (前二七)  
東藝 一ノ四三 (前二七)  
太陽 一ノ九三 (前二八)  
人誌 一ノ一八 (前二八)  
人誌 一ノ二二 (前二八)  
東藝 一ノ二四 (前二八)  
東藝 一ノ二六 (前二八)  
東藝 一ノ二九 (前二八)  
東藝 一ノ三二 (前二八)  
東藝 一ノ三五 (前二八)  
東藝 一ノ三九 (前二八)  
東藝 一ノ四三 (前二八)  
東藝 一ノ四七 (前二八)  
東藝 一ノ五一 (前二八)  
東藝 一ノ五五 (前二八)  
東藝 一ノ五九 (前二八)  
東藝 一ノ六三 (前二八)  
東藝 一ノ六七 (前二八)  
東藝 一ノ七一 (前二八)  
東藝 一ノ七五 (前二八)  
東藝 一ノ七九 (前二八)  
東藝 一ノ八三 (前二八)  
東藝 一ノ八七 (前二八)  
東藝 一ノ九一 (前二八)  
東藝 一ノ九五 (前二八)  
東藝 一ノ九九 (前二八)  
東藝 一ノ一〇三 (前二八)  
東藝 一ノ一〇七 (前二八)  
東藝 一ノ一一一 (前二八)  
東藝 一ノ一一五 (前二八)  
東藝 一ノ一二 (前二八)  
東藝 一ノ一六 (前二八)  
東藝 一ノ二〇 (前二八)  
東藝 一ノ二四 (前二八)  
東藝 一ノ二八 (前二八)  
東藝 一ノ三二 (前二八)  
東藝 一ノ三六 (前二八)  
東藝 一ノ四〇 (前二八)  
東藝 一ノ四四 (前二八)  
東藝 一ノ四八 (前二八)  
東藝 一ノ五二 (前二八)  
東藝 一ノ五六 (前二八)  
東藝 一ノ六〇 (前二八)  
東藝 一ノ六四 (前二八)  
東藝 一ノ六八 (前二八)  
東藝 一ノ七二 (前二八)  
東藝 一ノ七六 (前二八)  
東藝 一ノ八〇 (前二八)  
東藝 一ノ八四 (前二八)  
東藝 一ノ八八 (前二八)  
東藝 一ノ九二 (前二八)  
東藝 一ノ九六 (前二八)  
東藝 一ノ一〇〇 (前二八)  
東藝 一ノ一〇四 (前二八)  
東藝 一ノ一〇八 (前二八)  
東藝 一ノ一一二 (前二八)  
東藝 一ノ一一六 (前二八)  
東藝 一ノ一二〇 (前二八)  
東藝 一ノ一二四 (前二八)  
東藝 一ノ一二八 (前二八)  
東藝 一ノ一三二 (前二八)  
東藝 一ノ一三六 (前二八)  
東藝 一ノ一四〇 (前二八)  
東藝 一ノ一四四 (前二八)  
東藝 一ノ一四八 (前二八)  
東藝 一ノ一五二 (前二八)  
東藝 一ノ一五六 (前二八)  
東藝 一ノ一六〇 (前二八)  
東藝 一ノ一六四 (前二八)  
東藝 一ノ一六八 (前二八)  
東藝 一ノ一七二 (前二八)  
東藝 一ノ一七六 (前二八)  
東藝 一ノ一八〇 (前二八)  
東藝 一ノ一八四 (前二八)  
東藝 一ノ一八八 (前二八)  
東藝 一ノ一九二 (前二八)  
東藝 一ノ一九六 (前二八)  
東藝 一ノ二〇〇 (前二八)  
東藝 一ノ二〇四 (前二八)  
東藝 一ノ二〇八 (前二八)  
東藝 一ノ二一二 (前二八)  
東藝 一ノ二一六 (前二八)  
東藝 一ノ二二〇 (前二八)  
東藝 一ノ二二四 (前二八)  
東藝 一ノ二二八 (前二八)  
東藝 一ノ二三二 (前二八)  
東藝 一ノ二三六 (前二八)  
東藝 一ノ二四〇 (前二八)  
東藝 一ノ二四四 (前二八)  
東藝 一ノ二四八 (前二八)  
東藝 一ノ二五二 (前二八)  
東藝 一ノ二五六 (前二八)  
東藝 一ノ二六〇 (前二八)  
東藝 一ノ二六四 (前二八)  
東藝 一ノ二六八 (前二八)  
東藝 一ノ二七二 (前二八)  
東藝 一ノ二七六 (前二八)  
東藝 一ノ二八〇 (前二八)  
東藝 一ノ二八四 (前二八)  
東藝 一ノ二八八 (前二八)  
東藝 一ノ二九二 (前二八)  
東藝 一ノ二九六 (前二八)  
東藝 一ノ三〇〇 (前二八)  
東藝 一ノ三〇四 (前二八)  
東藝 一ノ三〇八 (前二八)  
東藝 一ノ三一二 (前二八)  
東藝 一ノ三一六 (前二八)  
東藝 一ノ三二〇 (前二八)  
東藝 一ノ三二四 (前二八)  
東藝 一ノ三二八 (前二八)  
東藝 一ノ三三二 (前二八)  
東藝 一ノ三三六 (前二八)  
東藝 一ノ三四〇 (前二八)  
東藝 一ノ三四四 (前二八)  
東藝 一ノ三四八 (前二八)  
東藝 一ノ三五二 (前二八)  
東藝 一ノ三五六 (前二八)  
東藝 一ノ三六〇 (前二八)  
東藝 一ノ三六四 (前二八)  
東藝 一ノ三六八 (前二八)  
東藝 一ノ三七二 (前二八)  
東藝 一ノ三七六 (前二八)  
東藝 一ノ三八〇 (前二八)  
東藝 一ノ三八四 (前二八)  
東藝 一ノ三八八 (前二八)  
東藝 一ノ三九二 (前二八)  
東藝 一ノ三九六 (前二八)  
東藝 一ノ四〇〇 (前二八)  
東藝 一ノ四〇四 (前二八)  
東藝 一ノ四〇八 (前二八)  
東藝 一ノ四一二 (前二八)  
東藝 一ノ四一六 (前二八)  
東藝 一ノ四二〇 (前二八)  
東藝 一ノ四二四 (前二八)  
東藝 一ノ四二八 (前二八)  
東藝 一ノ四三二 (前二八)  
東藝 一ノ四三六 (前二八)  
東藝 一ノ四四〇 (前二八)  
東藝 一ノ四四四 (前二八)  
東藝 一ノ四四八 (前二八)  
東藝 一ノ四五二 (前二八)  
東藝 一ノ四五六 (前二八)  
東藝 一ノ四六〇 (前二八)  
東藝 一ノ四六四 (前二八)  
東藝 一ノ四六八 (前二八)  
東藝 一ノ四七二 (前二八)  
東藝 一ノ四七六 (前二八)  
東藝 一ノ四八〇 (前二八)  
東藝 一ノ四八四 (前二八)  
東藝 一ノ四八八 (前二八)  
東藝 一ノ四九二 (前二八)  
東藝 一ノ四九六 (前二八)  
東藝 一ノ五〇〇 (前二八)  
東藝 一ノ五〇四 (前二八)  
東藝 一ノ五〇八 (前二八)  
東藝 一ノ五一二 (前二八)  
東藝 一ノ五一六 (前二八)  
東藝 一ノ五二〇 (前二八)  
東藝 一ノ五二四 (前二八)  
東藝 一ノ五二八 (前二八)  
東藝 一ノ五三二 (前二八)  
東藝 一ノ五三六 (前二八)  
東藝 一ノ五四〇 (前二八)  
東藝 一ノ五四四 (前二八)  
東藝 一ノ五四八 (前二八)  
東藝 一ノ五五二 (前二八)  
東藝 一ノ五五六 (前二八)  
東藝 一ノ五六〇 (前二八)  
東藝 一ノ五六四 (前二八)  
東藝 一ノ五六八 (前二八)  
東藝 一ノ五七二 (前二八)  
東藝 一ノ五七六 (前二八)  
東藝 一ノ五八〇 (前二八)  
東藝 一ノ五八四 (前二八)  
東藝 一ノ五八八 (前二八)  
東藝 一ノ五九二 (前二八)  
東藝 一ノ五九六 (前二八)  
東藝 一ノ六〇〇 (前二八)  
東藝 一ノ六〇四 (前二八)  
東藝 一ノ六〇八 (前二八)  
東藝 一ノ六一二 (前二八)  
東藝 一ノ六一六 (前二八)  
東藝 一ノ六二〇 (前二八)  
東藝 一ノ六二四 (前二八)  
東藝 一ノ六二八 (前二八)  
東藝 一ノ六三二 (前二八)  
東藝 一ノ六三六 (前二八)  
東藝 一ノ六四〇 (前二八)  
東藝 一ノ六四四 (前二八)  
東藝 一ノ六四八 (前二八)  
東藝 一ノ六五二 (前二八)  
東藝 一ノ六五六 (前二八)  
東藝 一ノ六六〇 (前二八)  
東藝 一ノ六六四 (前二八)  
東藝 一ノ六六八 (前二八)  
東藝 一ノ六七二 (前二八)  
東藝 一ノ六七六 (前二八)  
東藝 一ノ六八〇 (前二八)  
東藝 一ノ六八四 (前二八)  
東藝 一ノ六八八 (前二八)  
東藝 一ノ六九二 (前二八)  
東藝 一ノ六九六 (前二八)  
東藝 一ノ七〇〇 (前二八)  
東藝 一ノ七〇四 (前二八)  
東藝 一ノ七〇八 (前二八)  
東藝 一ノ七一二 (前二八)  
東藝 一ノ七一六 (前二八)  
東藝 一ノ七二〇 (前二八)  
東藝 一ノ七二四 (前二八)  
東藝 一ノ七二八 (前二八)  
東藝 一ノ七三二 (前二八)  
東藝 一ノ七三六 (前二八)  
東藝 一ノ七四〇 (前二八)  
東藝 一ノ七四四 (前二八)  
東藝 一ノ七四八 (前二八)  
東藝 一ノ七五二 (前二八)  
東藝 一ノ七五六 (前二八)  
東藝 一ノ七六〇 (前二八)  
東藝 一ノ七六四 (前二八)  
東藝 一ノ七六八 (前二八)  
東藝 一ノ七七二 (前二八)  
東藝 一ノ七七六 (前二八)  
東藝 一ノ七八〇 (前二八)  
東藝 一ノ七八四 (前二八)  
東藝 一ノ七八八 (前二八)  
東藝 一ノ七九二 (前二八)  
東藝 一ノ七九六 (前二八)  
東藝 一ノ八〇〇 (前二八)  
東藝 一ノ八〇四 (前二八)  
東藝 一ノ八〇八 (前二八)  
東藝 一ノ八一二 (前二八)  
東藝 一ノ八一六 (前二八)  
東藝 一ノ八二〇 (前二八)  
東藝 一ノ八二四 (前二八)  
東藝 一ノ八二八 (前二八)  
東藝 一ノ八三二 (前二八)  
東藝 一ノ八三六 (前二八)  
東藝 一ノ八四〇 (前二八)  
東藝 一ノ八四四 (前二八)  
東藝 一ノ八四八 (前二八)  
東藝 一ノ八五二 (前二八)  
東藝 一ノ八五六 (前二八)  
東藝 一ノ八六〇 (前二八)  
東藝 一ノ八六四 (前二八)  
東藝 一ノ八六八 (前二八)  
東藝 一ノ八七二 (前二八)  
東藝 一ノ八七六 (前二八)  
東藝 一ノ八八〇 (前二八)  
東藝 一ノ八八四 (前二八)  
東藝 一ノ八八八 (前二八)  
東藝 一ノ八九二 (前二八)  
東藝 一ノ八九六 (前二八)  
東藝 一ノ九〇〇 (前二八)  
東藝 一ノ九〇四 (前二八)  
東藝 一ノ九〇八 (前二八)  
東藝 一ノ九一二 (前二八)  
東藝 一ノ九一六 (前二八)  
東藝 一ノ九二〇 (前二八)  
東藝 一ノ九二四 (前二八)  
東藝 一ノ九二八 (前二八)  
東藝 一ノ九三二 (前二八)  
東藝 一ノ九三六 (前二八)  
東藝 一ノ九四〇 (前二八)  
東藝 一ノ九四四 (前二八)  
東藝 一ノ九四八 (前二八)  
東藝 一ノ九五二 (前二八)  
東藝 一ノ九五六 (前二八)  
東藝 一ノ九六〇 (前二八)  
東藝 一ノ九六四 (前二八)  
東藝 一ノ九六八 (前二八)  
東藝 一ノ九七二 (前二八)  
東藝 一ノ九七六 (前二八)  
東藝 一ノ九八〇 (前二八)  
東藝 一ノ九八四 (前二八)  
東藝 一ノ九八八 (前二八)  
東藝 一ノ九九二 (前二八)  
東藝 一ノ九九六 (前二八)  
東藝 一ノ一〇〇〇 (前二八)

主要なる日本石器時代人民とアイヌとの  
人種的關係の有無一—三  
石器時代の假面一—二  
日本に於ける石器時代遺物發見地の種類  
古守島土人と石器時代問題  
日向に於ける先史原史の古遺跡  
下總國手賀沼近傍の古物遺跡  
日本石器時代の網代形編み物  
貝塚土偶の男女  
佐久間象山舊藏の製磨石斧  
三河國石器時代遺跡發見の珍物  
打製石斧最大最小の兩例  
日向の古物遺跡  
コロボツクルの宗教的遺物  
太古と雖も日本種族の石器を實用に供し  
たる證據無し  
日向高千穂の石器  
北海道利尻貝塚發見の海獸牙製の人形  
大腿骨形繰り返し筋違ひ模様  
模様のくら序

東藝 一ノ四 (前二七)  
東藝 一ノ一五 (前二七)  
東藝 一ノ二六 (前二七)  
東藝 一ノ三七 (前二七)  
東藝 一ノ四八 (前二七)  
東藝 一ノ五九 (前二七)  
東藝 一ノ七〇 (前二七)  
東藝 一ノ八一 (前二七)  
東藝 一ノ九二 (前二七)  
東藝 一ノ一〇三 (前二七)  
東藝 一ノ一四四 (前二七)  
東藝 一ノ一五五 (前二七)  
東藝 一ノ一六六 (前二七)  
東藝 一ノ一七七 (前二七)  
東藝 一ノ一八八 (前二七)  
東藝 一ノ一九九 (前二七)  
東藝 一ノ二一〇 (前二七)  
東藝 一ノ二二一 (前二七)  
東藝 一ノ二三二 (前二七)  
東藝 一ノ二四三 (前二七)  
東藝 一ノ二五四 (前二七)  
東藝 一ノ二六五 (前二七)  
東藝 一ノ二七六 (前二七)  
東藝 一ノ二八七 (前二七)  
東藝 一ノ二九八 (前二七)  
東藝 一ノ三〇九 (前二七)  
東藝 一ノ三二〇 (前二七)  
東藝 一ノ三三一 (前二七)  
東藝 一ノ三四二 (前二七)  
東藝 一ノ三五三 (前二七)  
東藝 一ノ三六四 (前二七)  
東藝 一ノ三七五 (前二七)  
東藝 一ノ三八六 (前二七)  
東藝 一ノ三九七 (前二七)  
東藝 一ノ四〇八 (前二七)  
東藝 一ノ四一九 (前二七)  
東藝 一ノ四三〇 (前二七)  
東藝 一ノ四四一 (前二七)  
東藝 一ノ四五二 (前二七)  
東藝 一ノ四六三 (前二七)  
東藝 一ノ四七四 (前二七)  
東藝 一ノ四八五 (前二七)  
東藝 一ノ四九六 (前二七)  
東藝 一ノ五〇七 (前二七)  
東藝 一ノ五一八 (前二七)  
東藝 一ノ五二九 (前二七)  
東藝 一ノ五四〇 (前二七)  
東藝 一ノ五五一 (前二七)  
東藝 一ノ五六一 (前二七)  
東藝 一ノ五七二 (前二七)  
東藝 一ノ五八三 (前二七)  
東藝 一ノ五九四 (前二七)  
東藝 一ノ六〇五 (前二七)  
東藝 一ノ六一六 (前二七)  
東藝 一ノ六二七 (前二七)  
東藝 一ノ六三八 (前二七)  
東藝 一ノ六四九 (前二七)  
東藝 一ノ六六〇 (前二七)  
東藝 一ノ六七一 (前二七)  
東藝 一ノ六八二 (前二七)  
東藝 一ノ六九三 (前二七)  
東藝 一ノ七〇四 (前二七)  
東藝 一ノ七一五 (前二七)  
東藝 一ノ七二六 (前二七)  
東藝 一ノ七三七 (前二七)  
東藝 一ノ七四八 (前二七)  
東藝 一ノ七五九 (前二七)  
東藝 一ノ七七〇 (前二七)  
東藝 一ノ七八一 (前二七)  
東藝 一ノ七九二 (前二七)  
東藝 一ノ八〇三 (前二七)  
東藝 一ノ八一四 (前二七)  
東藝 一ノ八二五 (前二七)  
東藝 一ノ八三六 (前二七)  
東藝 一ノ八四七 (前二七)  
東藝 一ノ八五八 (前二七)  
東藝 一ノ八六九 (前二七)  
東藝 一ノ八八〇 (前二七)  
東藝 一ノ八九一 (前二七)  
東藝 一ノ九〇二 (前二七)  
東藝 一ノ九一三 (前二七)  
東藝 一ノ九二四 (前二七)  
東藝 一ノ九三五 (前二七)  
東藝 一ノ九四六 (前二七)  
東藝 一ノ九五七 (前二七)  
東藝 一ノ九六八 (前二七)  
東藝 一ノ九七九 (前二七)  
東藝 一ノ九九〇 (前二七)  
東藝 一ノ一〇〇一 (前二七)  
東藝 一ノ一〇一二 (前二七)  
東藝 一ノ一〇一三 (前二七)  
東藝 一ノ一〇二四 (前二七)  
東藝 一ノ一〇三五 (前二七)  
東藝 一ノ一〇四六 (前二七)  
東藝 一ノ一〇五七 (前二七)  
東藝 一ノ一〇六八 (前二七)  
東藝 一ノ一〇七九 (前二七)  
東藝 一ノ一〇九〇 (前二七)  
東藝 一ノ一〇九九 (前二七)  
東藝 一ノ一一〇〇 (前二七)  
東藝 一ノ一一〇一 (前二七)  
東藝 一ノ一一〇二 (前二七)  
東藝 一ノ一一〇三 (前二七)  
東藝 一ノ一一〇四 (前二七)  
東藝 一ノ一一〇五 (前二七)  
東藝 一ノ一一〇六 (前二七)  
東藝 一ノ一一〇七 (前二七)  
東藝 一ノ一一〇八 (前二七)  
東藝 一ノ一一〇九 (前二七)  
東藝 一ノ一一一〇 (前二七)  
東藝 一ノ一一一一 (前二七)  
東藝 一ノ一一一二 (前二七)  
東藝 一ノ一一一三 (前二七)  
東藝 一ノ一一一四 (前二七)  
東藝 一ノ一一一五 (前二七)  
東藝 一ノ一一一六 (前二七)  
東藝 一ノ一一一七 (前二七)  
東藝 一ノ一一一八 (前二七)  
東藝 一ノ一一一九 (前二七)  
東藝 一ノ一一二〇 (前二七)  
東藝 一ノ一一二一 (前二七)  
東藝 一ノ一一二二 (前二七)  
東藝 一ノ一一二三 (前二七)  
東藝 一ノ一一二四 (前二七)  
東藝 一ノ一一二五 (前二七)  
東藝 一ノ一一二六 (前二七)  
東藝 一ノ一一二七 (前二七)  
東藝 一ノ一一二八 (前二七)  
東藝 一ノ一一二九 (前二七)  
東藝 一ノ一一三〇 (前二七)  
東藝 一ノ一一三一 (前二七)  
東藝 一ノ一一三二 (前二七)  
東藝 一ノ一一三三 (前二七)  
東藝 一ノ一一三四 (前二七)  
東藝 一ノ一一三五 (前二七)  
東藝 一ノ一一三六 (前二七)  
東藝 一ノ一一三七 (前二七)  
東藝 一ノ一一三八 (前二七)  
東藝 一ノ一一三九 (前二七)  
東藝 一ノ一一四〇 (前二七)  
東藝 一ノ一一四一 (前二七)  
東藝 一ノ一一四二 (前二七)  
東藝 一ノ一一四三 (前二七)  
東藝 一ノ一一四四 (前二七)  
東藝 一ノ一一四五 (前二七)  
東藝 一ノ一一四六 (前二七)  
東藝 一ノ一一四七 (前二七)  
東藝 一ノ一一四八 (前二七)  
東藝 一ノ一一四九 (前二七)  
東藝 一ノ一一五〇 (前二七)  
東藝 一ノ一一五一 (前二七)  
東藝 一ノ一一五二 (前二七)  
東藝 一ノ一一五三 (前二七)  
東藝 一ノ一一五四 (前二七)  
東藝 一ノ一一五五 (前二七)  
東藝 一ノ一一五六 (前二七)  
東藝 一ノ一一五七 (前二七)  
東藝 一ノ一一五八 (前二七)  
東藝 一ノ一一五九 (前二七)  
東藝 一ノ一一六〇 (前二七)  
東藝 一ノ一一六一 (前二七)  
東藝 一ノ一一六二 (前二七)  
東藝 一ノ一一六三 (前二七)  
東藝 一ノ一一六四 (前二七)  
東藝 一ノ一一六五 (前二七)  
東藝 一ノ一一六六 (前二七)  
東藝 一ノ一一六七 (前二七)  
東藝 一ノ一一六八 (前二七)  
東藝 一ノ一一六九 (前二七)  
東藝 一ノ一一七〇 (前二七)  
東藝 一ノ一一七一 (前二七)  
東藝 一ノ一一七二 (前二七)  
東藝 一ノ一一七三 (前二七)  
東藝 一ノ一一七四 (前二七)  
東藝 一ノ一一七五 (前二七)  
東藝 一ノ一一七六 (前二七)  
東藝 一ノ一一七七 (前二七)  
東藝 一ノ一一七八 (前二七)  
東藝 一ノ一一七九 (前二七)  
東藝 一ノ一一八〇 (前二七)  
東藝 一ノ一一八一 (前二七)  
東藝 一ノ一一八二 (前二七)  
東藝 一ノ一一八三 (前二七)  
東藝 一ノ一一八四 (前二七)  
東藝 一ノ一一八五 (前二七)  
東藝 一ノ一一八六 (前二七)  
東藝 一ノ一一八七 (前二七)  
東藝 一ノ一一八八 (前二七)  
東藝 一ノ一一八九 (前二七)  
東藝 一ノ一一九〇 (前二七)  
東藝 一ノ一一九一 (前二七)  
東藝 一ノ一一九二 (前二七)  
東藝 一ノ一一九三 (前二七)  
東藝 一ノ一一九四 (前二七)  
東藝 一ノ一一九五 (前二七)  
東藝 一ノ一一九六 (前二七)  
東藝 一ノ一一九七 (前二七)  
東藝 一ノ一一九八 (前二七)  
東藝 一ノ一一九九 (前二七)  
東藝 一ノ一二〇〇 (前二七)

- 考古學とは何ぞや  
主要なる日本石器時代人民とエスキモーとの類似  
伊豆大島磐岩下遺物問題(鳥居龍藏共)  
コロボツクルに關するパチエラー氏の意見に付いて  
コロボツクル論に關する濱田氏の疑問に付いて  
石器時代人民の交通貿易  
再び石器時代人民に關する濱田氏の間に付いて  
コロボツクル・エスキモー相似説一根據を増す  
日本石器時代人民の模様とアイヌの模様との異同  
先史考古圖譜序  
日本石器時代人民論  
紀念遠足堀内貝塚實査に付いて  
日本主要石器時代人民遺跡發見十偶容貌相互の比較研究
- 考古 一ノ六ノ一(前三三)  
東藝一七ノ二六(前三三)  
人誌一七ノ七(前三四)  
人誌一七ノ四六(前三四)  
人誌一七ノ四三(前三四)  
東藝一八ノ三三(前三四)  
人誌一八ノ七三(前三五)  
人誌一八ノ七三(前三五)  
人誌一九ノ三六(前三六)  
人誌一九ノ七六(前三六)  
東藝二〇ノ三三(前三七)  
人誌二〇ノ九(前三七)  
人誌二〇ノ三三(前三七)

- 日本最古住民に關する豫察と精査  
石器時代遺跡の存在を告ぐる地名  
曲玉製造法  
日本石器時代人民棲息當時の地理  
日本石器時代土偶總説  
日本に於ける貝塚の數  
日本石器時代人民の耳飾り  
諸人種耳飾り分類上日本石器時代人民所用品の位置  
常陸飯出貝塚發見の所謂有髻土偶と其類品  
東京府管内太古遺物  
假稱みづく土偶の全形  
東京人類學會遠足會園生行の効果  
東京府管内太古遺物陳列場  
東京人類學會第三回遠足會一遠足會の結果  
下總余山發見の有髻土偶  
カラフト石器時代遺跡發見の鳥骨管一
- 太陽二ノ一八五(前三七)  
歴史 六ノ二〇(前三七)  
集古 五ノ三(前三七)  
歴史 七ノ二〇(前三八)  
日石土偶一(前三八)  
人誌二一ノ二〇(前三八)  
人誌二一ノ二五(前三八)  
人誌二一ノ二九(前三八)  
人誌二一ノ四三(前三八)  
東藝二一ノ四三(前三八)  
人誌二二ノ四九(前三九)  
人誌二二ノ四九(前三九)  
人誌二二ノ五八(前四〇)  
人誌二二ノ四〇(前四〇)  
人誌二二ノ四〇(前四〇)  
人誌二二ノ四〇(前四〇)

- 陸前名取郡地方に於ける見聞  
東京市内及近郊に存する太古遺跡  
人類學上より觀たる東京博覽會  
古今の石器時代人民  
日本太古時代の生活狀態  
古今の石器時代人民一―二  
ダイダラボウシの足跡と火の穴  
土製滑車形耳飾り  
石器時代枕上住居の跡は我國に存在せざるか  
諏訪湖底石器時代遺跡の調査一―四  
樺太に於ける石器時代人民に關する研究  
日本石器時代の地理  
日本人種の起源一―三  
人類學雜記  
日本石器時代人民使用耳飾りの種類及相互の關係  
諏訪湖底石器時代遺物考追記一―四  
越後發見の石器時代火焚き場  
越後中頸城郡太古遺跡踏査旅行
- 人誌二二ノ三三(前四〇)  
東京案内 八九(前四〇)  
東光 二ノ三七(前四〇)  
人性 三ノ三三(前四〇)  
太陽三ノ三六(前四〇)  
東藝二四ノ三三(前四〇)  
東藝二五ノ二〇(前四〇)  
人誌二四ノ三三(前四〇)  
人誌二四ノ三六(前四二)  
人誌二四ノ三六(前四二)  
史誌一九ノ七〇(前四二)  
史誌一九ノ七〇(前四二)  
歴講 七ノ二二(前四二)  
東光 三ノ六六(前四二)  
人誌二五ノ二九(前四二)  
人誌二五ノ三三(前四二)  
人誌二五ノ三三(前四二)  
人誌二五ノ四二(前四二)  
人誌二五ノ四二(前四二)  
人誌二五ノ四九(前四二)

- 陸前の石器時代遺跡一机工漫録  
カラフトに於ける大貝塚所在の地名  
鯨捕りの有様を彫刻した石器時代の遺物  
日本に於て始めて發見されたる湖底の石器時代遺跡  
日本に於ける湖底の石器時代遺跡の發見に就て  
石製棍棒頭に付て  
日本石器時代遺跡の種類  
裂製動物形石製品  
頭部の碗形に凹んだ石器時代土偶  
日本石器時代人民と諸地方現存石器時代人民  
石器時代の區分と石器の様式  
石器時代の區分と石器の様式  
坪井理學博士より興學會員への書簡  
故坪井教授記念事業  
青梅近傍の發見物  
越後及常陸の古物  
日向の遺跡
- 人誌二五ノ四九(前四二)  
歴史 一ノ一(前四二)  
東藝二六ノ二〇(前四二)  
東藝二六ノ四七(前四二)  
人性 五ノ二〇(前四二)  
人誌二六ノ二七(前四三)  
東光 五ノ七六(前四三)  
人誌二七ノ三三(前四四)  
人誌二七ノ三三(前四四)  
東光 六ノ一七三〇(前四四)  
人性 七ノ三六四(前四四)  
東藝二八ノ二〇(前四四)  
東藝二八ノ五五(前四四)  
東藝三一ノ二五(大三)  
學士 九一ノ一(一)  
學士 九一ノ一(一)  
學士 九一ノ一(一)



土岐箕虫 陸奥瓶岡にて未曾有の發見  
 秋田縣下の古物に付て  
 貝塚土偶  
 徳島生 貝塚祭  
 徳富蘇峰 武蔵野話  
 徳富萬熊 岡山縣に於ける考古學上の調査  
 外崎覺齋 陸奥國津輕郡湯口村奇品を出す  
 共同備忘録九ノ一一八  
 戸田慶城 帝室博物館保管本縣古墳其他發掘  
 品一覽一一二  
 榑太より第二信  
 栃木縣 栃木縣史蹟名勝天然記念物調査報告  
 一一二  
 遠敷郡役所(福井縣) 若狭遠敷郡誌  
 宮岡龍藏 九州北部に於ける銅劍銅鉞及彌生  
 式土器と併出せる古鏡の年代に就て  
 宮澤利男 東京近郊に於ける石器土器採集  
 富田景周 三州志  
 富田茂三郎 石器製造の遺跡を發見  
 富田徳造 但馬の石棒

富永道人 伊豫姫原出土の石器  
 富松正雄 長崎市城山貝塚に就て  
 富山縣 富山縣誌要  
 富山縣史蹟名勝天然記念物調査報告一  
 八 (大村正之・林喜太郎)  
 富山縣下新川郡役所 下新川郡史稿  
 登米郡役所(宮城縣) 登米郡史(藤原相之助)  
 豊國覺堂 本縣石器時代の本場  
 本縣考古界の一大偉觀  
 豊島郷土史料研究會 東京豊島史  
 豊田伊三美 豊橋市内石塚貝塚  
 豊橋市内に於ける貝塚發見報告  
 豊田小八郎 泉北史蹟志料  
 鳥居邦太郎 日本考古提要  
 鳥居龍藏 阿波の石棒  
 上總國殖生郡に石器時代の遺跡あり  
 梅澤・横濱貝塚探見記(井上喜久治共)  
 二日の旅行(下村三四吉共)  
 麴町の貝塚  
 貝塚七ヶ所の記(井上喜久治共)

人誌 二ノ三三 (前一九)  
 人誌 三ノ二六 (前二〇)  
 人誌 七ノ六 (前二四)  
 人誌 三八ノ二六 (大二二)  
 武蔵 八ノ二九 (大二五)  
 人誌 三二ノ三三 (大六)  
 人誌 四ノ二五 (前二二)  
 人誌 一五ノ二九 (前二二)  
 上毛 七三ノ二二 (大二二)  
 上毛 七四ノ二五 (大二二)  
 上毛 一〇七ノ二五 (大二四)  
 [編纂] (大二五)  
 [編纂] (大二二)  
 考誌 八ノ五三 (大六)  
 人誌 一五ノ八四 (前二二)  
 [編纂] (前二七)  
 上毛 九四ノ四 (大二四)  
 人誌 二二ノ二〇 (前二九)

武蔵國在原郡調布村下沼部貝塚 (内山  
 九三郎共)  
 鶴見川沿岸貝塚探見の記(井上喜久治共)  
 武蔵北足立郡貝塚村貝塚内部の狀態  
 琉球に於ける石器時代の遺跡  
 琉球諸島女子現用のヘダダマ及同地方掘  
 出の曲玉  
 本邦石器時代の勾玉  
 武蔵北豊島郡中里村貝塚取調報告(佐藤  
 傳藏共) 一一三  
 曲玉形状の比較  
 アイヌの木偶と云へる物  
 秩父地方に於ける人類學的旅行一一二  
 (阿部正功・大野延太郎共)  
 武蔵國北多摩郡國分寺石器時代遺跡(大  
 野延太郎共) 一一四  
 發火用紐錐に就ての二事實  
 東部臺灣阿眉種族の石器製造に就て  
 鳥居龍藏氏よりの通信  
 常陸吹上貝塚より發見の人類大腿骨に就

千島に關する人類學上の參考書一一二  
 臺灣に於ける有史以前の遺跡  
 千島の土人に就て  
 埔里社方面にて調査せし人類學的事項  
 臺灣阿里山蕃の土器作り  
 日光華嚴瀑布の石斧に就て  
 北千島に存在する石器時代遺跡遺物は抑  
 も何種族の殘せるものか  
 北千島以外に内耳土器の種類は存在する  
 乎  
 伊豆大島燔岩流下遺物問題  
 伊豆大島燔岩流下の石器時代遺跡  
 北千島に存在する石器時代遺跡遺物は抑  
 も何種族の殘せしもの歟一一二  
 伊豆大島燔岩流下の石器時代遺跡  
 千島アイヌ  
 唐太島の内耳土器  
 コロボツクルに就て坪井小金井兩博士の  
 意見を讀む

人誌 一四ノ二二 (前二二)  
 人誌 一四ノ二六 (前二二)  
 地誌 九ノ五三 (前二〇)  
 地誌 一ノ六三 (前二二)  
 人誌 一五ノ四六 (前二二)  
 人誌 一六ノ二九 (前二二)  
 人誌 一六ノ二五 (前二二)  
 人誌 一七ノ五 (前二四)  
 人誌 一七ノ六 (前二四)  
 人誌 一七ノ七 (前二四)  
 人誌 一七ノ三〇 (前二四)  
 地誌 一三ノ三六 (前二四)  
 地誌 一四ノ二七 (前二五)  
 [著書] (前二六)  
 人誌 一九ノ二八 (前二六)  
 太陽九ノ三三〇 (前二六)





武蔵野及其周圍  
臺灣の古代石造遺物に就て  
先史時代のアイヌ人と我が祖先の先驅者  
先史人類學より見たる野尻湖  
先史及原史時代の上伊那  
武蔵野會成立當時の回顧  
余が先輩山中先生  
北九州のアイヌ人と關東の薄手派  
兒玉の有史以前  
美保の關の先史時代と原史時代  
日本の古い巨石遺跡に就て  
朝鮮の有史以前に於ける朝鮮と北鮮  
上代の東京と其周圍  
山陰の巨石遺跡  
日本人類學の發達  
鳥取縣 鳥取縣下に於ける有史以前の遺跡(梅原末治)  
鳥羽源藏 陸前國氣仙郡の石器時代遺跡  
岩手縣氣仙郡に於ける石世期人類の遺跡  
陸前國氣仙郡小友村發見の遺物に就て

陸前國氣仙郡末崎村細浦上の山貝家の貝類  
陸前國氣仙郡細浦貝塚發見貝類追加  
内藤岩雄 日野川流域の先史時代原史時代に於ける遺跡について  
内藤十壽 鹿角志  
内務省 新編武蔵風土記稿  
多摩の御陵を繞る史蹟  
直夏信夫 但馬播磨發見のアイヌ式遺物に就て  
化學的に見たる日本石器時代遺物  
實驗化學の立場より見たる本邦の石器時代狀態について一―二  
筑前福田村發見甕棺内の貝輪に就て  
石器時代に於ける土器の發明とその推移  
發達  
德島の石器時代遺物に就て

石器時代末期に於ける南方文化の輸入に就て  
榑太本斗町發見の遺物に就て  
近畿地方に於ける繩文土器の研究一―三  
貝塚の研究一―三  
石器時代に於ける日本の林相について  
石器時代に於ける日本の研究一の一 播磨國明石郡垂水村山田大歳山遺跡  
石器時代に於ける日本の研究一の二 武藏國豐多摩郡武蔵野村井之頭池畔遺跡之一遺物  
石器時代に於ける日本の研究一の三 中の御堂砂丘遺跡  
「ム」村本信夫ヲモ見ヨ  
永井幸一郎 考古學會創立二十五年記念圖集  
永井潜 太古の日本住民につきて  
永倉茂 下總印旛沼の南方に存する貝塚と古墳  
永濱宇平 遺跡遺物より見たる上世の丹後丹後に於ける石槌

長崎縣 長崎縣史蹟名勝天然記念物調査報告 一―五 (内山芳郎・濱田耕作・小牧實繁・島田貞彦)  
長根助八 榑太土人の生活  
長野縣 長野縣史蹟名勝天然記念物調査報告 一―八  
長野縣北安曇郡役所 北安曇郡志  
長野縣南安曇郡役所 南安曇郡志  
長野市役所 長野市史  
長山源雄 松山市及附近出土の彌生式土器  
豐後國直入郡柏原村の石器時代遺物  
豐後國直入郡柏原村の石鏡に就て  
平城貝塚調査報告  
豐後國直入郡地方の石器時代遺跡と遺物  
中井伊與太 琉球諸島發見の曲玉と阿波國發見の曲玉  
中川泉三 伊吹山下の石器  
雲根志の著者木内石亭  
珍らしき彌生式土器  
中澤澄男 北海道旅行中人類學上の見聞

常南總北の遺跡 共同備忘録 日本考古學(八木英三郎共)	人誌一四ノ四九(前三二) 人誌一五ノ六六(前三三) 〔著書〕 (前三九)
中島悦次 考古學的遺物と神話	中史二ノ二〇(六一五) 武藏八ノ四九(六一五)
中島利一郎 地名のアイヌ語について	史誌一八ノ八二(前四〇)
中田薫 喜田學士の土蜘蛛及コロボツタルに 關する所説を評す	考誌一七ノ六五(前二二) 人誌二七ノ六九(前四四)
中根君郎 武藏國在原郡池上村久ヶ原に於け る彌生式土器遺跡	〔著書〕 (前四二) 民族 二ノ三三(六一五)
中根清平 遠江國磐田郡西貝村の貝塚	人誌一四ノ二九(前三二) 人誌一七ノ四三(前三四)
中原敬藏 越後傳説四十七不思議	人誌一七ノ四三(前三四) 考外 二ノ六六(前三五)
中道等 菅江眞澄が事ども	考外 三ノ二六(前三六) 考外 三ノ三三(前三六)
中村啓二郎 陸奥國西津輕郡森田村より發見 されたる金滓様の物質に就て	考外 三ノ三三(前三六)
中村士徳 墓標に利用したる石棒	
石器時代人民遺物發見地名表拾遺	
石器土器遺物の二度探し	
由來の面白き石器拾得	
關西學院の考古學參考品	
第三版日本石器時代人民遺物發見地名表	
以外發見地名報告	考外 三ノ四四(前三六)
三河國發見の有髯石器時代土偶に就きて	考外 三ノ五二(前三七)
日本考古學表解	考外 四ノ七七(前三七)
考古學研究法(八木英三郎共)	〔著書〕 (前三八)
中村觀樂 福島縣安積郡石鏡	人誌 一ノ三九(前一九)
中村徳五郎 日本開闢史	〔著書〕 (前四三)
中村夏之進 折會の關・青森縣西津輕郡大戸	
瀨村郷土史	〔著書〕 (六一)
青森縣中津輕郡藤代村郷土史	〔著書〕 (六一)
青森縣南津輕郡石川町郷土史	〔著書〕 (六一)
青森縣中津輕郡船場村郷土史	〔著書〕 (六一)
中目覺 北海道手宮洞穴の靺鞨語墓誌銘に就 て一一二	〔著書〕 (六一)
我國に保存せられたる古代土耳其文學	〔著書〕 (六一)
中谷治宇二郎 石川縣江沼郡作見村字片山津 の彌生式遺跡	〔著書〕 (六一)
東大人類學會庫跡より發見された二個の 石器に就て	〔著書〕 (六一)
常陸稻敷地方旅行覺書	〔著書〕 (六一)
谷川君へ(石角石斧に就て)	〔著書〕 (六一)
博多津遺跡に關する私見	〔著書〕 (六一)
彌生式土器關係遺跡の位置	〔著書〕 (六一)
彌生式土器關係の部落跡と墓地	〔著書〕 (六一)
太宰府南方の彌生式土器關係の遺跡	〔著書〕 (六一)
銅銹銅鐵發見地と彌生式關係の遺跡	〔著書〕 (六一)
所謂彌生式土器に對する私見	〔著書〕 (六一)
九州に於ける彌生式土器と貝塚土器	〔著書〕 (六一)
肥後國宇土郡花園村岩古所字會畑貝塚の 土器	〔著書〕 (六一)
貝塚土器と彌生式土器の古さに就て	〔著書〕 (六一)
銅銹銅鐵發見地の遺物一―四	〔著書〕 (六一)
貝塚土器の藤紋と其類似紋	〔著書〕 (六一)
貝塚土器の繩紋と古瓦の繩紋	〔著書〕 (六一)
九州北部に於ける曲線紋様土器遺跡の有 無	〔著書〕 (六一)
銅銹銅鐵發見地と彌生式土器遺跡	〔著書〕 (六一)
鐵滓を出す彌生式遺跡	〔著書〕 (六一)
九州北部の彌生式土器遺跡と支那古銅鐵 遺物上より見たる古代の北九州文化	〔著書〕 (六一)
土器の有無未詳なる石器時代の遺物	〔著書〕 (六一)

石匙に對する二三の考察	人誌四〇ノ二四(六一四)
神奈川縣中郡旭村萬田貝殼坂の石器時代 遺跡(八幡一郎・甲野勇共)	人誌四〇ノ二五(六一四)
相模國中郡旭村萬田貝殼坂遺跡(山崎直 方・八幡一郎共)	人誌四〇ノ二五(六一四)
陸前沼津貝塚を掘る	人誌四〇ノ二六(六一四)
注口土器の分布に就て	人誌四一ノ二四(六一五)
石巻に石器時代遺物陳列所開設	人誌四一ノ二五(六一五)
注口土器の分類と其の地理的分布	東大編四 (前二)
南伊豆に於ける考古學的資料	人誌四二ノ二五(前二)
濱田梅原島田共著「出雲上代玉遺物の 研究」	人誌四二ノ二六(前二)
上野國吾妻郡先史考古學的考察	人誌四二ノ二六(前二)
柴田常惠・谷川磐雄著「石器時代の住居 址」	人誌四二ノ二六(前二)
菊池山哉著「先住民と賤民族の研究」	人誌四二ノ二六(前二)
中山平次郎 筑前國絲島郡今津の貝塚	考誌 六ノ三三(六一四)
筑前筑紫郡雜餉隣附近傍の堅穴	考誌 七ノ三三(六一五)
九州北部に於ける先史原史兩時代中間期 間の遺物に就て一―四	考誌 七ノ三三(六一五) 考誌 八ノ三三(六一六)
博多津遺跡に關する私見	歴地二七ノ三七(六一五)
彌生式土器關係遺跡の位置	歴地三〇ノ三九(六一六)
彌生式土器關係の部落跡と墓地	歴地三〇ノ三九(六一六)
太宰府南方の彌生式土器關係の遺跡	歴地三〇ノ三九(六一六)
銅銹銅鐵發見地と彌生式關係の遺跡	歴地三〇ノ三九(六一六)
所謂彌生式土器に對する私見	考誌 八ノ六六(六一六)
九州に於ける彌生式土器と貝塚土器	考誌 八ノ六六(六一六)
肥後國宇土郡花園村岩古所字會畑貝塚の 土器	考誌 八ノ七三(六一六)
貝塚土器と彌生式土器の古さに就て	考誌 八ノ七三(六一六)
銅銹銅鐵發見地の遺物一―四	考誌 八ノ七三(六一六)
貝塚土器の藤紋と其類似紋	考誌 八ノ七三(六一六)
貝塚土器の繩紋と古瓦の繩紋	考誌 八ノ七三(六一六)
九州北部に於ける曲線紋様土器遺跡の有 無	歴地三一ノ一八(六一七)
銅銹銅鐵發見地と彌生式土器遺跡	歴地三一ノ一八(六一七)
鐵滓を出す彌生式遺跡	歴地三一ノ一八(六一七)
九州北部の彌生式土器遺跡と支那古銅鐵 遺物上より見たる古代の北九州文化	歴地三一ノ一八(六一七)
土器の有無未詳なる石器時代の遺物	考誌 一〇ノ四七(六一八)

大甕を發見せる古代遺跡一―三 考誌一〇ノ三(大九)

繩紋の裏目 考誌一〇ノ三(大九)

大刀洗飛行場發見の石鏡 考誌一〇ノ四(大九)

考古雜錄・硅化木製の磨製石鏡 考誌一〇ノ六(大九)

考古雜錄・鐵片嵌入を示せる有孔石器 考誌一〇ノ六(大九)

考古雜錄・頗る細長なる磨製石斧 考誌一〇ノ六(大九)

絲島郡小富士村大字御床字松原の貨泉發見地 考誌一三ノ七(大二)

勾玉管玉考 歴と 九ノ六(大二)

勾玉管玉考 筑史二七ノ一(大二)

石器時代の石甕製造所發見 史蹟五ノ二(大二)

鳩米を出せる竅穴址 考誌一四ノ二(大二)

井尻の彌生式遺跡 考誌一四ノ七(大二)

筑前絲島郡今山に於ける石斧製造址 考誌一四ノ八(大二)

福岡城西大堀發見のアイヌ式土器片 考誌一六ノ七(大二)

井尻及寺福童の甕棺 考誌一七ノ七(大二)

夏目一平 三河國北設樂郡上津具村鞍舟石器時代遺跡に就て(窪田五郎共) 考誌一四ノ四(大二)

三河國北設樂郡本郷町字櫻平石器時代遺跡に就て(窪田五郎共) 考誌一五ノ五(大二)

北三河遺跡一―二 考誌一六ノ六(大二)

奈良縣史蹟勝地調査報告一―八(高橋健自・佐藤小吉) 考誌一六ノ六(大二)

橋本遺跡 土蜘蛛民族と石甕 山珠 六ノ五(大八)

橋本竹造 氣高郡史考 〔著書〕 (大二)

鳴門漁長 北陸地方人類學雜俎 北人 二ノ三(前三)

西春日井郡(愛知縣) 西春日井郡誌 〔編纂〕 (大二)

西川五壺 利根川古今の研究 上毛 九八ノ四(大二)

西加茂郡教育會(愛知縣) 西加茂郡誌 〔編纂〕 (大二)

西田源藏 青森縣史 〔著書〕 (大二)

西津輕郡役所(青森縣) 西津輕郡史 〔編纂〕 (大二)

西宮市武庫郡神職會 武庫地方郷土史料目錄 (吉井太郎) 〔編纂〕 (大二)

西宮神社々務社(兵庫縣) 西宮小志 〔編纂〕 (大二)

西村眞次 小谷沼發見の列舟に就て 人誌三一ノ三(大五)

日本船舶史の曙 歴と 四ノ一(大八)

大和時代・國民の日本史一 〔著書〕 (大二)

原始時代の交通

日本の神話と宗教思想

野尻湖船舶の工藝學的考察

仁科善男 山梨縣北都留郡に於ける史前遺物發見地名表

新潟縣 新潟縣史蹟調査報告(平野常吉・齋藤常平・岩本廣)

新潟縣佐渡郡役所 佐渡國誌

新國西賞 楕圓或は圓形にして小穴ある石器の考

古器物展覽會第一回

坪井羽柴兩氏の御參考に供す

警城國田村郡遺物出所村名表

又

沼田頼輔 美作に於ける石世期人種の遺物

亞米利加式の石鏡に付きて

把手の分類一―四

下野國河内郡野澤村發見の土器に就て

ニ(仁・新) 又(沼)

(小林與三郎共)

史前の日本一―七

日本人種論

茨城縣新治郡中家村貝塚發見の遺物に就きて

石器時代土器把手の分類

共同備忘録一―四

原街夜話

考古學上術語の命名法に就きて

日本考古學批評の擲筆に就きて

考古學入門

日本人種新論

稿本考古年表

古傳説に見えた但馬民族

日本人種の研究

歴史上より觀たる程ヶ谷の變遷

ネ

三〇三

根岸武香 人類學會報告石器學報により投書  
 石劍及石の船 人誌 二ノ四七(前一九)  
 箕の形せる石器 人誌 二ノ三二(前一九)  
 根本藥 武藏北多摩郡三鷹村發見の石鏃 人誌 八ノ九(前二五)  
 人誌 二四ノ三九(前三一)

野中完一 常陸椎塚第四回の發掘

共同備忘録 人誌 一三ノ三六(前三〇)  
 本邦石器時代遺跡より發見されたる紡錘 人誌 一三ノ三二(前三〇)  
 車 人誌 一四ノ三三(前三〇)  
 瓶廬舎雜記一 人誌 一四ノ三六(前三一)  
 有孔石器中の異品に付て 集古 四ノ三(前二二)  
 信濃國發見の貝塚土偶 人誌 一六ノ三六(前三三)  
 再び信濃國發見の貝塚土偶に就て 人誌 一六ノ四〇(前三三)  
 武藏に於ける片及の磨石斧 人誌 一六ノ四四(前三三)  
 日本考古學批評 考古 一ノ五七(前二二)  
 常陸・駿河・三河の三ヶ國發見の素焼土器 人誌 一七ノ五九(前三四)  
 石器時代土器の把手 人誌 一九ノ五五(前三四)  
 國分村掘の内貝塚の土器類 人誌 二〇ノ二七(前三七)

石器時代遺物新發見地名表

ハ・バ

梅園 「タ」耽奇會ヲ見ヨ。  
 萩野由之 佐渡遺事 北溪 一ノ(前二二)  
 函館協贊會 開道五十年紀念北海道博覽會五  
 稜廓内歴史館陳列品目錄 [編纂] (大八)  
 函館考古會 北海道に於ける新發見の石器時  
 代遺跡 人誌 二三ノ四九(前四〇)  
 橋川正 野洲郡史 [著書] (昭二)  
 羽柴雄輔 兩羽四郡に於て古物搜索の經歷略  
 記 人誌 一ノ二八(前一九)  
 管玉曲玉の新説 人誌 一ノ二六(前一九)  
 漆液の附着せる石鏃及天狗の飯ひ 人誌 二ノ二八(前一九)  
 石鏃中に他の石器を混同せる説 人誌 二ノ四三(前二〇)  
 柄を具せる石斧 人誌 二ノ五五(前二〇)  
 三頭雷斧初めて莊内に顯る 人誌 三ノ三六(前二二)  
 漆液の如きものを附着せる磨石斧 人誌 三ノ三九(前二二)  
 石棒の用途 人誌 三ノ四三(前二二)

細紋土器を比較して本邦の古代に大移轉  
 の動亂ありしを知る

方形有足の貝塚土器 人誌 四ノ三三(前二二)  
 人誌 四ノ四六(前二二)  
 凹みある石器の用途に就きて 人誌 四ノ五二(前二二)  
 石鏃と名付たき石器 人誌 五ノ五(前二二)  
 石鏃破片 人誌 五ノ二九(前二二)  
 曲玉に就て 人誌 五ノ三九(前二二)  
 鶴後國岩船郡上の山石世期の遺跡 人誌 五ノ三六(前二二)  
 羽前念珠岡村石世期遺跡 人誌 五ノ三七(前二二)  
 坪井君の曲玉定義に就き默するを得ず 人誌 六ノ三(前二二)  
 磨製石鏃に就き 人誌 六ノ二三(前二二)  
 羽前國最上郡岩丸及上治の石世期遺跡 人誌 六ノ二六(前二二)  
 坪井君の曲玉定義に就き尙默することを  
 得ず 人誌 六ノ二六(前二二)  
 羽後國飽海郡田澤村高畑の石世遺跡 人誌 六ノ二六(前二二)  
 豊後の磨製石鏃 人誌 七ノ三六(前二二)  
 手斧の頭部に似たる石器に就き 人誌 七ノ三六(前二二)  
 青龍刀石に就き 人誌 七ノ三三(前二二)  
 羽後飽海郡箕輪丸池近傍の石器 人誌 八ノ元(前二五)  
 羽前最上郡津谷村の遺跡遺物 人誌 八ノ二三(前二六)

羽後飽海郡尾瀨伏山及増川上山の遺物  
 羽前國西田川郡火打崎の遺跡實踐談  
 石器に於ける廢物利用の例

共同備忘録 人誌 九ノ四六(前二七)  
 水滴形貝塚土器 人誌 一〇ノ四七(前二八)  
 羽後國飽海郡生石村願瀨の大石器 人誌 一二ノ二九(前二九)  
 根本編 諏訪湖底より石器を發見す 人誌 一三ノ四四(前三一)  
 諏訪湖底のソネに就て 考界 一ノ四三(前三四)  
 長谷川忠崇 飛州志 人誌 一三ノ四四(前三一)  
 長谷川忠崇 飛州志 [著書] (昭和三)  
 長谷川忠崇 飛州志 人誌 三二ノ三五(大六)  
 長谷川忠崇 飛州志 人誌 三二ノ三五(大六)  
 蝦夷はアイヌなりや 人誌 三三ノ二二(大七)  
 人骨変位の狀況 人性 一四ノ三四(大七)  
 蝦夷は「アイヌ」なりや 人誌 三四ノ五九(大八)  
 陸前國細浦上の山貝塚の環狀列石 人誌 三四ノ七六(大八)  
 羽後吹浦一本木貝塚 人誌 三四ノ七六(大八)  
 上鶴外切齒を欠く貝塚頭蓋 人誌 三四ノ七六(大八)  
 陸前國宮城郡多賀城村大代橋本剛貝塚 人誌 三四ノ七六(大八)  
 石器時代遺跡に於る糞石 人誌 三四ノ七六(大八)  
 石器時代人の抜齒に就て 人誌 三四ノ七六(大八)  
 石器時代住民と現代日本人 人誌 三四ノ七六(大八)  
 歴史 三ノ二五(大八)

石器時代遺跡行脚  
 宮戸島里濱貝塚の土器に就て  
 宮戸島里濱介塚試掘土器調査  
 河内國府石器時代人骨調査  
 石器時代の葬儀に就て  
 出水貝塚の貝殻骨及人骨  
 石器時代土偶の所謂遮光器に就て  
 石器時代に外聽道骨痛の見えるること附  
 鼓上骨  
 陸前名取郡増田村下増田經の塚出土鹿角  
 製刀器具に就て附石器時代鹿角製腰飾  
 日本石器時代の猿に就て  
 石器時代の野猪に就て  
 日本石器時代家犬に就て  
 石器時代の馬に關して  
 陸前氣仙郡大船渡灣附近の石器時代人骨  
 外聽道骨腫多し  
 陸前大洞貝塚發掘調査所見  
 骨角七  
 下總濱橋貝塚の猿下顎骨

村本氏に答ふ  
 葬儀の起原に就て  
 燕形銘頭  
 燕形銘頭とキテ  
 本輪西貝塚の鹿角製銘頭  
 圓筒土器文化  
 石器時代の死産兒葬  
 先史學研究  
 パチエラー・チヨン アイヌ人と其説話  
 瑞比古 國學院大學近傍で發見した堅穴  
 羽田一成 甲斐通信一―四  
 神社と石器との關係  
 萬代勝 萬代博物館創設誌  
 濱田耕作(青陵) 考古材料  
 和泉に於ける石器  
 南河内地方に於ける石器時代遺跡と古墳  
 日本石器時代人民に就きて余が疑ひ  
 再び石器時代人民に就きて  
 日本石器時代人民の紋様とアイヌの紋様に就て

考誌一五ノ一〇三(大二四)  
 考誌一五ノ三〇(大二四)  
 人誌四一ノ二四二(大二五)  
 人誌四一ノ三三三(大二五)  
 人誌四一ノ四二二(大二五)  
 人誌四二ノ二六(昭二)  
 人誌四二ノ三九(昭二)  
 [著書]  
 [著書]  
 武藏八ノ三六(大二五)  
 考誌一六ノ四四(大二五)  
 考誌一七ノ三九(昭二)  
 中史三三ノ二〇三(昭二)  
 [著書]  
 人誌一三ノ四二二(昭三)  
 人誌一四ノ三三(昭三)  
 人誌一五ノ四八(昭三)  
 人誌一七ノ四九(昭三五)  
 人誌一八ノ七(昭三五)  
 人誌一九ノ五(昭三六)

日本石器時代人民の模様とアイヌの模様  
 に就て坪井博士に答ふ一―三  
 アイヌ石鏃使用の一記事  
 考古學上利器の材料による時代の區分に就て  
 河内國府發掘石器時代人骨  
 河内國府遺跡發掘報告  
 遺物遺跡と民族  
 河内國府遺跡第二回報告(長馬悅藏共)  
 肥後國宇土郡森村宮莊貝塚發掘報告(楠原政職共)  
 遺物遺跡から見た上代近畿地方  
 大正九年度古蹟調査報告(梅原末治共)  
 貝輪を容れた素焼壺  
 考古學上より見たる九州の古代民族  
 通論考古學  
 薩摩國掛宿郡指宿村土器包含層調査報告  
 考古學近時の趨勢  
 考古學上及美術史上より觀たる大阪地方  
 石金兩時代の過渡期の研究に就て

長崎小話  
 肥前國有喜貝塚發掘報告(小牧實繁・島田貞彦共)  
 瑞典皇儲殿下の事ども  
 肥前國有喜貝塚發掘報告(小牧實繁・島田貞彦共)  
 鐘秀嶺日本石器時代土器選集  
 出雲上代玉作遺物の研究  
 伴信友 比古婆衣  
 早川莊作 縣間の遺物  
 石冠の用途に就て  
 越中石器時代民族遺跡遺物  
 早坂一郎 宮戸島先史住民遺跡概報  
 再び宮戸島の遺跡に就て  
 林魁一 石鏃に付  
 美濃國加茂郡石器時代遺跡  
 美濃國發見の石器及土器  
 余の所有する美濃國の石鏃  
 集古雜談  
 美濃國諸地方の古物遺跡

長考 一ノ二二(大二四)  
 人誌四一ノ九(大二五)  
 中史 三三ノ二(昭二)  
 長崎報五ノ二(昭二)  
 [圖録]  
 京大報一〇(昭二)  
 [著書]  
 考誌一三ノ五三(大二四)  
 考誌一三ノ五八(大二四)  
 [著書]  
 現科 七ノ一六(大八)  
 現科 七ノ四八(大八)  
 華陽  
 人誌一三ノ三二(昭二)  
 人誌一四ノ二〇〇(昭三)  
 人誌一四ノ三三(昭三)  
 華陽一九(昭三)  
 人誌一五ノ三三(昭三)

美濃國上郡地方古物及土俗	人誌一五〇三九(前三三)	片及の磨製石斧	考誌一〇三二(大九)
美濃國發見磨製石斧圖解	人誌一六〇二五(前三三)	美濃國加茂郡大田町及古井町の彌生式遺跡	人誌三七〇四七(大一一)
美濃國可兒郡土田村石器時代遺物	人誌一七〇三三(前三四)	美濃國稻葉郡各務野近傍の古跡及遺物	人誌四一〇三八(大一一)
美濃國可兒郡ソデウラの石器時代遺物	人誌一八〇二八(前三五)	美濃通信一四・一五	考誌一六〇六〇(大一一)
美濃國加茂郡古跡案内	考誌一〇六(前三三)	尾張國丹羽郡西成村大字馬見塚發見の石器及彌生式土器	考誌一七〇四七(大一一)
美濃國に於ける石器時代遺跡及遺物	人誌二九〇二四(大三)	伊勢國蠟塚新田の貝塚小發掘	人誌四二〇六六(大一一)
美濃國加茂郡富田伊深地方の古跡	人誌三〇〇六(大四)	伊勢大山田村貝塚	考誌一七〇三六(大一一)
美濃國稻葉郡各務野近傍遺物	人誌三〇〇三〇(大四)	伊勢大山田村貝塚	考誌一七〇五一(大一一)
美濃太田町大塚發見各種の遺物に就き	人誌三一〇三三(大五)	林喜太郎 朝日貝塚發掘調査報告(大村正之共)	富山報六(大一一)
美濃國加茂郡古井村二つ塚近傍の石器時代遺跡及遺物	人誌三二〇三七(大六)	平野石器時代遺跡	富山報七(大一一)
美濃國太田町に於ける石器時代遺跡遺物	考誌八〇七六(大六)	朝日先住民族遺跡	富山報八(大一一)
三河國平井貝塚發見の曲玉	考誌八〇五一(大六)	林五策 武藏北足立郡安行村字領家貝塚發見結城及足利行略	人誌一五〇三六(前三三)
飛騨國小坂町發見の珍石斧	考誌九〇五一(大七)	貝輪の用途と其分布	人誌一五〇七七(前三三)
美濃國加茂郡太田町字宮の内石器時代の遺跡に就て	考誌九〇六〇(大七)	東京府下大森附近古物採集記	人誌一六〇六八(前三三)
岐阜考古史談會の展覽會	人誌三三〇三三(大七)	武藏國在原郡調布村字峯發見の土偶に就て	人誌一六〇三三(前三三)
美濃國金山町近傍に於ける石器時代遺跡遺物	人誌三四〇二四(大八)	共同備忘録	人誌一六〇三三(前三三)
美濃太田町地方に於ける遺跡	人誌三五〇三〇(大九)		

石器時代遺跡調査遠足	人誌一六〇三五(前三三)	演習日記摘要	
石器時代土器製法に就て	人誌一七〇三七(前三四)	河内の遺物	人誌一六〇三八(前三四)
林自見 市井雜談集	〔著書〕(一頁四)	張替清治 下總國弓馬田沓掛に於ける石器時代の遺跡(須藤清平共)	考界 一〇五三(前三四)
林子平 三國通覽圖說	〔圖録〕(天明五)	東春日井郡役所(愛知縣) 東春日井郡誌	〔編纂〕(大一一)
林晃 相模厚木町附近遺跡	人誌一九〇三三(前三六)	東筑摩郡教育會(長野縣) 東筑摩郡誌	〔編纂〕(大八)
林天然 長生郷土誌	〔編纂〕(大一一)	比企忠 鎗石は天然物なり	人誌一二〇二九(前三九)
林若吉 予が得たる石器時代曲玉	人誌一一〇三四(前三八)	樋口清之 大和三輪山麓の石器時代遺跡	考誌一五〇六九(大一一)
下總香取郡白井及貝塚村貝塚探究報告		大和發見の特殊石廬丁と石錐用石鎌	人誌四一〇四三(大一一)
(八木英三郎共)		大和國發見一石器に就て	考誌一六〇三〇(大一一)
原勝郎 日本民族史の研究に就て	人誌一二〇四(前三九)	伊豫に於けるアイヌ系土器發見の二遺跡	考誌一六〇六六(大一一)
原宏平 矢の根石	民歴 二〇四(大九)	大和雜報一―四	考誌一七〇三三(大一一)
原忠五郎 禮文島の石器時代遺跡	大洲三二〇三三(前三三)	實驗的土器製造法	考誌一七〇三三(大一一)
原秀四郎 我國原史時代及有史以前のある期間に於ける文明形式の變遷を論ず	東光四〇三七(四二)	福畑雲湖 石斧に就て	考誌一八〇四六(大一一)
越智郡郷土誌料	〔著書〕(大一一)	日高重考 大隅福山の古代遺物に就て	歴地三五〇三三(大九)
原田龍雄 勢多郡誌編纂資料展覽會出品目録	上毛九三〇二六(大一一)	日夏繁高 兵家茶話	〔著書〕(章保)
原田長治 川邊郡誌	上毛二〇〇(大一一)	平井隆 日本石器時代の穿頭蓋に就て(清)	
原田正彦 共同備忘録	〔著書〕(大一一)		
臺灣圓山貝塚石斧	人誌一五〇三〇(前三三)		





日本石器時代  
池袋村貝塚發見玉類の數—考古雜綴  
東京帝室博物館歴史部上古遺物の部案内  
記一—一八

旅順發見石器時代遺物  
異形石器  
考界 一ノ四三 (前四三)

瓶堂居士 共同備忘録  
日本に於ける石器使用の最終時期  
福田の貝塚  
人誌 一三ノ六 (前三〇)

ホ

豊國史談會 佐伯志(佐藤藏太郎)  
北海道廳 北海道名勝志  
北海道史  
〔編纂〕 (大三)

北海道史蹟名勝天然記念物調査報告書 〔編纂〕 (大三)

星島壽 化石病理學特に日本原住民族の骨疾  
病に就て(清野謙次共)  
日微 一六ノ四 (大一一)

星野又三 人形石器發見  
考誌 七ノ三三 (大五)

上野國の石器時代遺物遺跡の見聞  
考誌 一〇ノ六九 (大八)

保科五無齋 諏訪湖ソネに關する憶説  
信博 三四ノ三〇 (前四二)

細木松之助 東海道地方にて人類學に關する  
略報  
人誌 一ノ二三 (前一九)

堀田美櫻男 南豆の遺跡遺物について (足立  
嶽太郎共)  
靜岡報 三 (昭二)

堀内清 但馬の新貝塚  
歴地 二三ノ三 (大三)

堀内千重藏 一種の合口甕を出したる松本市  
宮淵遺跡に就きて(兩角守一共)  
考誌 一七ノ七六 (昭二)

本郷狂人 池袋貝塚  
人誌 八ノ四九 (前二六)

上總の遺跡  
人誌 八ノ四九 (前二六)

本庄榮次郎 日本經濟史文獻  
〔著書〕 (大二三)

日本經濟史文獻續篇  
〔著書〕 (昭二)

前田毅 肥前御厨貝塚發見報告  
前田長三郎 石器時代の製陶所の遺跡?  
前田謙次郎 武藏國北豐島郡池袋に於て新貝  
塚發見

彌生式土器  
共同備忘録  
有孔貝器  
人誌 一ノ二五 (前二八)

長野市に於ける彌生式土器の發見一—二  
人誌 一七ノ二五 (前三四)

關東平野に於ける石器時代の朱  
人誌 一七ノ二九 (前三四)

彌生式土器と共に貝を發見せしに就て  
人誌 一七ノ三三 (前三四)

大野雲外氏の埴鏡說に就て  
人誌 一七ノ三六 (前三四)

彌生式に就て再び大野氏に質す  
人誌 一八ノ二四 (前三五)

埴鏡と彌生式土器との區別  
人誌 一九ノ二六 (前三七)

日本石器時代人民の交通  
人誌 二〇ノ二八 (前三七)

埴鏡名實典 沖繩一千年史(島倉龍治共)  
〔著書〕 (大一一)

置崎勇助 秋田縣鐵石產地一覽表  
人誌 二ノ三三 (前一九)

古代土偶圖  
人誌 二ノ三五 (前一九)

漆液の附着せる石斧  
人誌 三ノ二九 (前二〇)

秋田縣石鐵出所  
人誌 四ノ三四 (前二二)

麻生紀行  
考會 二ノ二六 (前三二)

堀井經夫 上總與津町附近自然洞穴發掘報告  
考誌 一七ノ七六 (昭二)

益子鶴來也 和泉出土の特殊なる土器に就て  
考誌 一六ノ九五 (大一一)

松井勝三郎 高平村土器  
上毛八九ノ五 (大二三)

松浦武四郎(弘) 唐太日記  
〔著書〕 (安政七)

十勝日誌  
〔著書〕 (萬延二)

納紗布日誌  
〔著書〕 (萬延二)

久摺日誌  
〔著書〕 (文久二)

西蝦夷日誌  
〔著書〕 (文久三)

東蝦夷日誌  
〔著書〕 (文久三)

再航蝦夷日記  
〔著書〕 (明一五〇)

撥雲餘興  
〔著書〕 (明一五〇)

松岡信正 讚岐國名勝圖會  
〔著書〕 (嘉永六)

松岡調 讚岐國の石鏡  
地協 二ノ三三 (前二三)

松下正影 目黒東山堅穴群  
考誌 一六ノ五四 (大一一)

松平定能 甲斐國志  
〔著書〕 (文久二)

松田鏡 岩澤先生に  
上毛 二二ノ一九 (大一一)

松田又彦 羽後國本莊町附近の石器時代遺跡  
〔著書〕 (阿部正巳共)

松崎祐藏 後志國島歌村のチャシ  
人誌 三九ノ三 (大二三)

松村禮 東京府下大森附近古物採集記(林五  
考誌 一一ノ九五 (大九)

- 策共)
- 陸奥地方旅行見聞録(大野雲外共)  
陸奥発見石器時代遺物圖説(大野雲外共)  
アイヌのコロボツクルに關する口碑  
貝塚發掘記事・銚子紀行  
コロボツクルなる語の奇怪なる解釋  
第三回石器時代遺物展覧會  
二條公爵家の陳列館  
四千尺の高原にて石鏃を採集す  
Kalinouye, K. [Prehistoric Fishing in  
Japan] 紹介  
坪井先生最後の遺跡調査  
日本石器時代人民遺物發見地名表紹介  
越中大塚洞窟内發見の人骨  
『京都文科大學考古學研究報告』第二册  
鳥居龍藏氏著、有史以前の日本』紹介  
柴田常惠氏著、日本考古學』紹介  
新發見の洞窟内遺跡  
琉球款貝塚  
琉球の貝塚
- 人誌一六ノ六(前三三)  
人誌一七ノ二(前三四)  
人誌一七ノ五(前三四)  
人誌一八ノ五(前三五)  
人誌二〇ノ四(前三七)  
人誌二二ノ六(前三九)  
人誌二四ノ三(前四一)  
人誌二五ノ二七(前四二)  
人誌二七ノ七(前四四)  
人誌二八ノ四三(前四五)  
人誌二八ノ七二(大二)  
人誌三二ノ四〇(大六)  
人誌三三ノ三六(大七)  
人誌三三ノ三三(大七)  
人誌三三ノ三五(大七)  
人誌三三ノ三五(大七)  
人誌三三ノ三五(大七)  
東大報三ノ一(大九)  
人誌三五ノ四(大九)

- モールス先生の人類學上に於ける功績  
大森貝塚とモールス教授の研究  
最近の大森貝塚  
下總古作貝塚發見の人骨と骨角製裝飾品  
陸奥三厩發見の三角形石製品  
臺灣恒春縣丁庄貝塚  
松本友雄 壹岐國考古通信  
松本彦七郎 介塚の猪及鹿に二型あり  
予の新石器時代觀  
郷澤介塚の人骨  
郷澤介塚の猪及鹿  
氣仙郡集の人骨  
貝塚に犬の二型あり  
郷澤古人類は津雲人種か  
津雲人種及アイヌの眉  
日本在來馬の數特徵  
北海道の貝塚に蛤あり  
北海道の古今の猪  
日本の新石器時代  
北海道に類彌生式土器
- 民族 一ノ五五(大二)  
人誌四一ノ七(大二五)  
人誌四一ノ三九(大二五)  
人誌四二ノ四(昭二)  
人誌四二ノ三三(昭二)  
人誌四二ノ三七(昭二)  
考誌一七ノ一六(昭二)  
考誌一七ノ三二(昭二)  
動誌二九ノ三九(大六)  
動誌二九ノ三〇(大六)  
動誌二九ノ三六(大六)  
動誌二九ノ四九(大六)  
動誌二九ノ一八〇(大六)  
動誌二九ノ一八〇(大六)  
動誌二九ノ一八〇(大六)  
動誌二九ノ三〇(大六)  
動誌二九ノ三三(大六)  
動誌三〇ノ三〇(大七)  
動誌三〇ノ三〇(大七)  
現科 六ノ一(大七)  
人誌三三ノ三六(大七)

- 日本石器時代人類に就て  
海馬島産海馬鈿  
陸前國寶ヶ峰遺跡の分層的小發掘成績  
宮戸嶋瀆貝塚の分層的發掘成績一—二  
陸前宮戸嶋の古人骨發掘につきて  
日本先史人類論  
宮戸島瀆貝塚人骨の埋葬狀態  
宮戸島及瀆澤貝塚の土器特に土器紋様論  
金海貝塚出土獸骨調査報告  
宮戸島瀆及氣仙郡瀆澤貝塚の石器  
二三石器時代遺跡に於ける拔齒風習の有  
無及様式に就て  
二三石器時代古式遺跡に於ける拔齒風習  
の有無及様式に就て  
陸前國氣仙郡蛇王洞窟の石器時代遺跡  
間宮倫宗 北蝦夷圖説  
マンロー・エヌ・ジ (Munro, N. G.) 後石器時  
代の頭蓋骨  
大野氏之地産説を讀む  
アイヌ模様と石器時代模様
- 人誌三三ノ三四(大七)  
人誌三四ノ五(大八)  
人誌三四ノ二六(大八)  
人誌三四ノ二五(大八)  
人誌三四ノ三三(大八)  
歴と 三ノ一(大八)  
歴と 三ノ二(大八)  
現科 七ノ五(大八)  
現科 七ノ五(大八)  
現科 七ノ五(大八)  
朝鮮報 一ノ五(大九)  
現科 九ノ二(大九)  
人誌三五ノ六(大九)

- コロボツクルに就て  
環状石籬と古代建設の方位(水上久太郎)  
太古の大和民族と土蜘蛛  
丸山瓦全 下野國遺跡遺物の概要  
栃木縣下都賀郡三鴨村發見の列舟に就て  
丸山之繩 越後名寄  
丸山太一郎 下野國足利郡内石器時代遺跡と  
遺物  
下野國に於ける石器時代の遺跡と遺物
- 人誌三三ノ三三(前四〇)  
考界 六ノ一(昭三)  
考界 七ノ一(昭三)  
考誌 六ノ一五(大八)  
上毛八〇ノ二九(大二)  
上毛九〇ノ一八(大二)  
上毛九一ノ一六(大二)  
〔著書〕  
考誌 一ノ六三(前四三)  
考誌 三ノ七三(前四五)  
下教 三三ノ二(大六)
- 三浦敏 日向に於て始めて發見された貝塚  
三重縣 三重縣史蹟名勝舊蹟天然記念物調査  
報告一—六(金丸但馬・鈴木敏雄)  
三村清三郎 伊勢安濃郡垂水村千歳山の石ヒ  
三宅宗悦 考古遺跡概説  
三宅長策 清水貞吉氏より人類學會へ寄送に  
係る石棒の由來
- 人誌一七ノ三三(前三四)  
〔編纂〕  
人誌二七ノ五〇(前四四)  
山高報  
人誌 七ノ三六(前二四)

遼州長上郡有玉村の遺跡及遺物 人誌 八ノ二二(前二五)  
 三宅米吉 日本史學提要 [著書] (明一九)  
 曲玉か 人誌 五ノ五五(前二二)  
 堅穴を遺すべき家屋の構造 人誌 五ノ五九(前二二)  
 隨筆ぬきがき 人誌 五ノ三五(前二二)  
 石鏃につき 人誌 六ノ五五(前二二)  
 新石器古石器 人誌 六ノ五三(前二二)  
 雜案數件 人誌 七ノ五八(前二四)  
 本邦に於ける史前及舊石器時代考古學の進歩  
 本會(考古學會)の過去十年 考會 一ノ六(前二九)  
 我邦に於ける考古學の進歩 考界 五ノ一(前三八)  
 故坪井會長を悼む 考界 六ノ四四(前二九)  
 日本考古學發達の概略 人誌 二八ノ六二(大二二)  
 三輪書之助 武藏國分寺發見の土器 考誌 七ノ七五(大五)  
 三輪常松 石器時代樂器 考誌 三ノ七四(大一一)  
 水上久太郎 環狀石籬と古代建設の方位(マシロー著)一ノ五 考界 六ノ九六(前二九)  
 水鏡正義 武藏國南多摩郡堺村に於て發見の 考界 七ノ二〇(前二九)

石世期遺物並に古墳に就て 人誌 一四ノ四三(前三二)  
 地理學的多摩の横山探見の主體並に方法 人誌 一五ノ三七(前三二)  
 水谷乙次郎(幻花) 荏原權現臺貝塚の大發掘 人誌 一四ノ六八(前三二)  
 採集經驗錄 一ノ三 人誌 二二ノ三三(前三九)  
 常陸國稻敷郡福田發見土盤 人誌 二二ノ三三(前三九)  
 常陸國稻敷郡福田發見土偶 人誌 二二ノ四四(前三九)  
 足付土器に就て 人誌 二八ノ九五(前四五)  
 印旛湖畔の石器時代遺跡 古蹟 三ノ四(一)  
 南葛飾郡役所(東京府) 南葛飾郡誌(後藤守一) [編纂] (大二二)  
 南佐久郡役所(長野縣) 南佐久郡誌 [編纂] (大八)  
 南設樂郡教育會(愛知縣) 南設樂郡誌 [編纂] (大二五)  
 箕田山人「ト」上岐義蟲ヲ見ヨ [編纂] (大二五)  
 宮坂光次 長野縣北安曇郡鼠穴の遺跡 人誌 三七ノ三三(大六)  
 三河國保美貝塚に於ける人骨埋葬の狀態 人誌 四〇ノ三四(大二四)  
 北海道の環狀石籬 考誌 一五ノ二七(大二四)  
 下總姥山貝塚發掘調査豫報(八幡一郎共) 人誌 四二ノ一(昭二)  
 宮崎縣 宮崎縣史蹟調査報告三(島居龍藏) [編纂] (大七)  
 宮崎縣史蹟調査 [編纂] (大一一)  
 第一 宮崎郡之部 [編纂] (大一一)  
 第二 西諸縣郡之部 [編纂] (大一一)

第三 西臼杵郡之部 [編纂] (大一一)  
 第四 兒湯郡之部 [編纂] (大一一)  
 第五 東諸縣郡之部 [編纂] (昭二)  
 宮澤甚三郎 人類學者の初陣 人誌 一一ノ七二(前二八)  
 北信地方の石器時代遺跡 人誌 一二ノ七二(前二九)  
 宮原數 臺灣臺北圓山に於ける巨大なる砥石並に貝塚に就て 人誌 三四ノ二二(大八)  
 臺中州水底寮の石器時代遺跡 人誌 四一ノ二五(大二五)  
 宮本摺衣 石鏃と神軍 人誌 二八ノ四七(前四四)  
 宮本博人 津雲貝塚人の拔齒風習に就て 人誌 四〇ノ二七(大一一)  
 津雲貝塚人人骨の人類學的研究(清野謙次共) 人誌 四一ノ九五(大二五)  
 國府石器時代人人骨の人類學的研究(清野謙次共) 人誌 四一ノ三五(大二五)  
 肥前國北高來郡有喜村字六本松貝塚より發掘せられたる人骨に就て 人誌 四一ノ七〇(大二五)  
 津雲石器時代人はアイヌ人なりや(清野謙次共) 考誌 一六ノ四三(大二五)  
 再び津雲貝塚石器時代人はアイヌ人に非ざる理由を論ず 考誌 一六ノ六六(大二五)

武藏一郡 羽後河邊郡小阿地村其他の遺跡に就て 人誌 三三ノ七七(大七)  
 秋田縣仙北郡強首野に於ける石器時代の遺跡に就て 人誌 三五ノ三三(大九)  
 羽後國男鹿半島角間崎貝塚研究報告 人誌 三七ノ五(大一一)  
 男鹿灣西村角間崎字岡見澤貝塚調査報告 秋田報 一(大一一)  
 石椁に現れたる割禮の痕跡に就て 考誌 一四ノ三六(大一一)  
 仙北郡六郷東根村史蹟調査記 秋考 一ノ二五(大一一)  
 羽後山本郡荷上場村上の岱石器時代遺跡 秋考 一ノ四七(大一一)  
 秋田考古會總會並に郊外研究記事 秋考 一ノ四八(大一一)  
 十瀬青層内の石器時代遺物 秋考 一ノ五九(大一一)  
 羽後國新屋濱砂丘遺跡に就て 秋考 一ノ六二(昭二)  
 武藏鐵城 田澤湖を繞ぐる石器時代遺跡の群 [著書] (昭二)  
 石小刀の研究 [著書] (昭二)  
 武藏留之助 北海道上川原野の石器 人誌 六ノ七(前二二)  
 有孔雷斧の一種 人誌 七ノ三五(前二四)  
 武藏虎太 武藏國岩槻地方石器時代遺跡探検 人誌 七ノ三五(前二四)

記(岡部精一共)

- 武藤四万作 大泉齋聞 [著書] 九ノ三三(前二六) (文化類)
- 無名子 採集かばん 人誌一四ノ二五(前三三) (二三三)
- 無量却道人 「日本人種起源論」批評 史海三七ノ(前二九)
- 村岡格 北海道渡島國森村發見の石器時代遺物 人誌一八ノ二五(前三五)

- たる沿岸の沖積層に就て 歴地四五ノ四五(大一一)
- 「ナ」相良信夫ヲモ見ヨ。
- 毛和權藏 上野國志 [著書] (安政四)
- モールズ・エドワード・エス 大森介城古物編 [著書] (前一一)
- 本山彦一 遠州濱名湖畔先住氏の遺跡 人誌三〇ノ三三(大四)
- 彌生式の甕棺 山史三ノ三三(昭二)
- 森丑之助 臺灣に於ける石器時代遺跡に就て 人誌一八ノ八九(前三五)
- 森敏介 徳島縣に於ける大形石器の發見 人誌三七ノ四五(大一一)
- 徳島縣板野郡の石斧 人誌三八ノ九(大一一)
- 香川縣の遺跡 人誌三八ノ二四(大一一)
- 阿波に杭上生活と覺しき遺跡の發見 人誌三八ノ二八(大一一)
- 徳島市水道三谷瀧池に於ける原始獨木舟發見の顛末 人誌四〇ノ二六(大一一)
- 森納次 臺北臺中の間に於て石器時代遺物有るべき地 歴と一八ノ三三(大一一)
- 人誌一六ノ七(前三三)

- 村上五郎 攝津國武庫郡高羽村遺跡調査報告 [著書] 八ノ二五(前四二)
- 村上三郎 日黒町誌 [著書] (大一一)
- 村瀬橋亭 藝苑日涉 [著書] (文化四)
- 村高幹博 三千尺の高所に於て石鏃發見 人誌三〇ノ四七(大四)
- 村本信夫 貝類學的に觀たる石器時代の東京附近 考誌一四ノ八二(大一一)
- 石器時代土器の二三の事實について 考誌一四ノ八二(大一一)
- 日黒の上高地に於ける先史人類遺跡遺物 社史二〇ノ三三(大一一)
- 及文化の化學的考察一―二 歴地四四ノ二二(大一一)
- 日本石器時代の貝器 考誌一五ノ五(大一一)
- 氣候と貝類の分布に就て長谷部博士の御教示を願ふ 人誌四〇ノ四(大一一)
- 石器時代の朱について 人誌四〇ノ四(大一一)
- 石器時代より現代に至る間に於て堆積し

- 千葉地方貝塚探究報告一―二 人誌 八ノ三三(前二五)
- 常陸國椎塚介塚發掘報告(下村三四吉共) 人誌 八ノ三三(前二五)
- 埼玉縣大宮公園より出所の土器 人誌 八ノ五三(前二五)
- 本邦諸地方より發見せる石器の種類 人誌 九ノ二八(前二六)
- 本邦發見石鏃形状の分類一―三 人誌 九ノ二八(前二六)
- 下總國香取郡阿玉臺貝塚探究報告(下村三四吉共) 人誌 九ノ二五(前二六)
- 椎塚介塚第二回の發掘中に獲たる土偶に就て 人誌 九ノ三〇(前二六)
- 下總阿玉臺貝塚より出たる獸骨(下村三四吉共) 人誌 九ノ四六(前二六)
- 相模の石器時代遺跡 人誌 九ノ四六(前二六)
- 伊豆地方の遺跡遺物 人誌 一〇ノ二七(前二七)
- 琉球本島にて發見の石斧 人誌 一〇ノ四四(前二七)
- 下總香取郡白井及貝塚村貝塚探究報告(林若吉共) 人誌 一二ノ四(前二九)
- 北陸地方に於ける人類學上の所見一―四 人誌 一二ノ九(前二九)
- 相州諸磯石器時代遺跡の土器 人誌 一三ノ六(前三〇)
- 馬來形式の新遺物發見 人誌 一三ノ七(前三〇)
- 共同備忘録 人誌 一五ノ三三(前三〇)

森口多里 原始時代の工藝

森田俊左久 廣島縣小誌

森本權作 下野之史蹟名所

森本六爾 大和に於ける石器時代遺物發見地名表

原始的繪畫を有する彌生式土器に就て

大和大淀町の石器時代遺跡

大和に於ける史前の遺跡一―三

日本石器時代の繪畫と其の示現する生活

西日本の彌生式土器の木體について一

日本上代文化の考究(中村久四郎共)

兩角守一 信州諏訪丸山壑穴遺跡

一種の合口甕を出したる松本市宮瀨遺跡

に就きて(堀内千萬藏共)

諸田八百七 群馬縣史蹟名勝

八木繁三郎(冬嶺) 貝塚土器の縁に存する複環の種類

ヤ

モ(森・兩・諸) ヤ(八)

人誌 七ノ三〇(前二四)



安田精一 大井町誌 [著書] (大一二)

矢田部興市 大島郡小松町出土彌生式土器 防考 四〇/四九 (大一二)

矢田部真吉 大森介城古物編(モールス著) [著書] (前一二)

矢田甫田 介類語話 [著書] (大一二)

矢野寛 阿高貝塚 熊本報一 (大七)

谷井清一 高橋健自著「考古學」 考誌 四ノ四 (大一二)

柳田國男 遠野物語 [著書] (前四三)

山形縣 山形縣史蹟名勝天然紀念物調査報告 第一輯 [編纂] (大一二)

山口縣 防長志要 [編纂] (前四〇)

山口高等學校歴史教室 山口高等學校歴史教 室陳列品目錄 [編纂] (大一五)

周防國熊毛郡上代遺物發見調査報告書 [著書] (前二)

「サ」山高郷土史研究會ヲモ見ヨ。

山崎五十壺 アイヌ式彌生式土器及石器等を 包含する遺跡 考誌 八ノ四九 (大六)

鹿兒島縣下土器分布と民族移住の方向 考誌 八ノ四九 (大六)

薩摩國掛宿郡瀧娃村仙田の石器時代遺跡 に就て 人誌 三三ノ五 (大七)

彌生式土器遺跡と墳墓との關係 考誌 一〇ノ六 (大八)

大隅國福山村石器時代遺跡より發見した る石偶に就て 考誌 一〇ノ三五 (大八)

薩摩國出水貝塚に就て 考誌 一一ノ三 (大九)

再び薩摩國出水貝塚に就て 考誌 一一ノ三六 (大九)

薩摩國日置郡西市來村貝塚に就て 考誌 一一ノ三七 (大九)

鹿兒島縣出水の貝塚 民歴 四ノ四 (大九)

又も薩摩の貝塚發見 民歴 五ノ五 (大九)

山崎重四郎 信濃の石廬丁 人誌 八ノ四 (前二五)

石器に關する質問 人誌 八ノ二〇 (前二五)

信濃國八幡村の異形石棒 考會 二ノ三〇 (前三二)

信濃松本發見の石器時代土器 考會 二ノ三九 (前三二)

山崎常盤 八幡神社貝塚(鷺山恭平共) 靜岡報二 (大一二)

岡崎石鏡散布地(鷺山恭平共) 靜岡報二 (大一二)

山崎直方 日光二荒山神社什物石器 人誌 一ノ三 (前一九)

永田町の貝塚土器 人誌 四ノ三三 (前二二)

河内國に石器時代遺跡を發見す 人誌 四ノ四三 (前二二)

好古日録所載の土器 人誌 五ノ六 (前二二)

伊勢の石器 人誌 六ノ六 (前二二)

伊勢の銅塚 人誌 六ノ六 (前二二)

河内に於ける石器の新發見地 人誌 七ノ五 (前二四)

山城の石鏡 人誌 七ノ三三 (前二四)

京畿地方古蹟指明圖に就て 人誌 八ノ六 (前二五)

下總曾谷千葉の二貝塚に就て 人誌 八ノ三九 (前二五)

下總貝塚遺跡圖解 人誌 八ノ三九 (前二五)

貝塚は何れの時代に造られしや一―二 人誌 九ノ三〇 (前二六)

堀の内貝塚の位置と形狀 人誌 二〇ノ二〇 (前三七)

東京人類學會遠足會・下總園生貝塚地理 人誌 二二ノ二六 (前三九)

故坪井會長を悼む 人誌 二八ノ六五 (大二)

理學博士坪井正五郎君を悼む 東藝 三〇 三九 (大二)

史前時代以來上總東南海岸の昇降につき て 地球 三ノ七 (大二三)

上總守谷洞窟に於ける史前時代遺跡に就 きて 人誌 四〇ノ七 (大二四)

相模國中郡旭村萬田貝殼坂遺跡(八幡一 中谷治字二郎共) 人誌 四〇ノ五 (大二四)

モールス先生を偲びて 人誌 四一ノ五九 (大二五)

山崎春雄 阿高貝塚人骨 熊本報一 (大七)

阿高貝塚より出でたる人骨に就て 鑛醫 二五 (大五)

山崎美成 海録 [著書] (文政三)

耽奇漫錄 武相 一ノ三 (大一二)

山田角次郎 香取郡誌 [編纂] (文政七)

山田藏太郎 利根灣と多摩灣一―二 武相 一ノ三 (大一二)

山田孝助 信濃國諏訪郡西山田發見遺物に就 て 人誌 一七ノ三 (前三四)

山田新一郎 神代史と中國鐵山 歴地 二九ノ三 (大六)

山田傳 池の阪貝塚 武相 二ノ一 (大一二)

山田生 王子西ヶ原貝塚を見るの記 名家 二五ノ六 (前三〇)

山田都右衛門 信濃國諏訪郡發見の古土器 人誌 一七ノ三 (前三四)

山田和一郎 武相考古遺物集一―二 武相 一ノ三 (大一二)

山高空平 石鏡の屑 多識 二ノ九 (前二三)

山路愛山 日本古代民族史 獨評 (大三)

山中樞 南大和の石器時代遺跡 考界 五ノ四 (前三八)

山中笑(共古) 繩紋土器はアイヌの遺物なら ん 人誌 五ノ三 (前二二)

甲斐の石棒 人誌 一ノ三 (前二八)

甲斐の落葉 人誌 一八ノ五 (前三五)

彌生式土器に就て [著書] 繩紋書 (大一五)

江戸に於ける石棒 人誌 二〇ノ六 (前三七)

武藏 八ノ三 (大一一)

- 山内清男 磐城國新地村小川貝塚發掘略記 人誌三九ノ三三 (大二三)
- 磐城國三貫地貝塚發見石器の摺糸紋 人誌四〇ノ七三 (大二四)
- 石器時代にも稻あり 人誌四〇ノ八二 (大二四)
- ボー氏の日本史前遺品蒐集 人誌四一ノ四九 (大二五)
- 山本淳 土佐美術史 〔著書〕 (昭二)
- 山本木石 下總結城郡菅原村金戸貝塚 人誌一八ノ四三 (前三五)
- 石器時代研究資料 人誌一九ノ四四 (前三六)
- 石鐮形状考 考界 三ノ五二 (前三六)
- 山本頼輔 岡山縣下に於ける貝塚發見報告 人誌二二ノ三三 (前三〇)
- 彌生庵 共同備忘録 人誌一六ノ六七 (前三四)

ヨ

- 彌地石太郎 伊豫國温泉郡より出たる石器 人誌一六ノ二七 (前三三)
- 伊豫國發見の石器 人誌一六ノ二九 (前三三)
- 吉井太郎 攝津甲山附近の遺跡 考誌 四ノ三二 (大二三)
- 武庫郡地方郷土史料目録 〔編纂〕 (大二五)
- 吉澤庄作 越中下新川郡に於ける石器時代の遺跡 人誌二四ノ五五 (前四一)

- 吉澤義則 藤貞幹に就て一五 藝文二一三ノ三三 (一)
- 吉田宇太郎 大和新澤石器時代遺物圖集 〔圖録〕 (大二三)
- 吉田郡役所(福井縣) 吉田郡誌 〔編纂〕 (前四二)
- 吉田繁 筑前糟屋郡大川村の石器時代遺跡 人誌二一ノ二七 (前三八)
- 吉田十一 日本旅行史 〔著書〕 (昭二)
- 吉田東伍 貝塚人種と食糧人及巨人 人誌 四ノ四四 (前二二)
- 貝塚人種と巨人 人誌 四ノ四六 (前二二)
- 越後國北蒲原郡安田村ツベタ岡古代石器 人誌 四ノ四四 (前二二)
- 北海道美國に古き跡尋るの記 人誌 六ノ三三 (前二三)
- 日韓古史斷 〔著書〕 (前二六)
- 吉田美風 日本原始神道に於ける我國石器時代 代先住民族宗教思想の影響梗概一―二 人誌三一ノ二五 (大五)
- 吉田文俊 下總關宿石器時代遺跡 人誌一八ノ四四 (前三五)
- 常陸筑波郡石器時代遺跡 人誌一八ノ四九 (前三五)
- 常陸那珂郡地方の石器時代遺跡 人誌一九ノ五三 (前三六)
- 石器時代遺物發見地名表 人誌一九ノ五七 (前三六)
- 共同備忘録 人誌一九ノ四三 (前三六)
- 堀の内貝塚發見品目録 人誌二〇ノ二五 (前三七)
- 下總猿島郡地方遺跡踏査 人誌二〇ノ二八 (前三七)

日本石器時代土器内部の繩紋に就て

信濃諏訪郡湯川發見石器時代土器の把手

・口繪説明

信濃飛騨甲斐地方の古物遺跡一―二

日本石器時代人民の頭髮・日本主要石器

時代遺跡發見土偶の研究第一回一―四

日本海方面の貝塚

東京灣附近に於ける有史以前の日本人遺跡

京大の石器時代遺跡研究

吉田吉助 秋田縣山本郡上の岱採集報告

吉野益見 廣島附近の貝塚一―三

吉見芳孝 美濃の石器

米澤安立 越中利賀村發見の石器

・十字形石器の類品に就て

及の缺損せる石斧を槌に用ひたる一例

樂石生 遺物の偽造

ラ

- 人誌二〇ノ二六 (前三七)
- 人誌二〇ノ四九 (前三七)
- 人誌二〇ノ五〇 (前三七)
- 人誌二〇ノ五三 (前三七)
- 人誌二一ノ二二 (前三八)
- 人誌二一ノ二四 (前三八)
- 人誌二一ノ二六 (前三八)
- 人誌二二ノ一五 (大六)
- 人誌二二ノ二五 (大六)
- 人誌二二ノ二七 (大六)
- 考誌一五ノ七三 (大二四)
- 考誌一六ノ七三 (大二四)
- 人誌 四ノ三三 (前二二)
- 人誌 二五ノ四三 (前四二)
- 人誌 二七ノ二七 (前四四)
- 人誌 二八ノ二六 (前四五)
- 中史一三ノ二七 (大二六)

「タ」谷川磐石ヲ見ヨ。

リ

龍珠館「タ」耽奇會ヲ見ヨ。

レ

歴史參考圖行會 日本歴史圖録(高橋健白)〔圖録〕

(昭二)

鹿嶋閉人 吻々齋閑話・夷人藤原秀衡

歴地二〇ノ二五 (前四五)

羽後仙北堅穴郡・隨筆日録

歴地四四ノ四三 (大二三)

美術工藝と民族・隨筆日録

歴地四四ノ四三 (大二三)

石器の厚手薄手論・隨筆日録

歴地四四ノ二六 (大二三)

土蜘蛛の穴

歴地四三ノ六六 (大二三)

石器時代民族の厚手薄手派といふ事

歴地四三ノ七二 (大二三)

「イ」吻々子「キ」喜田貞吉ヲモ見ヨ。





和歌山縣 和歌山縣史蹟名勝天然記念物調査

報告第一一第六

和歌山縣史蹟名勝

和田千吉 荏原郡上日黒村の石棒

中國人類學會設立趣意書(井田堅藏共)

播磨國遺物遺跡概報

下總國海上香取兩郡旅行中の見聞

石器時代遺物陳列室

和泉國發見の石器時代土器

和田雄治 朝鮮仁川にての石斧の發見

朝鮮の先史時代遺物に就て

江華島の石器時代遺物

鷲山恭平 八幡神社貝塚(山崎常盤共)

岡崎石鏡散布地巾(山崎常盤共)

渡瀬莊三郎(庄三郎) 札幌近傍ピット其他古

跡のこと

北海道後志國に存する環狀石籬の遺跡

渡邊市太郎 常陸福田徳林寺石器時代遺跡

渡邊正樹 有孔石斧

渡邊義顯 小椋區史

〔編纂〕 (大一二)

〔編纂〕 (大二五)

人誌 一ノ五 (前一九)

人誌 一ノ二〇五 (前二八)

北人 二ノ二七 (前三一)

考界 四ノ五七 (前三七)

考界 八ノ二〇三 (前四二)

考誌 一ノ二七六 (前四三)

人誌 二八ノ三三 (前四五)

考誌 四ノ二五 (大 二)

人誌 二九ノ四五 (大 三)

靜岡報 二 (大 一五)

靜岡報 二 (大 一五)

人誌 一ノ五 (前一九)

人誌 一ノ三 (前一九)

人誌 一〇ノ二六四 (前二七)

北人 二ノ四九 (前三一)

〔著書〕 (大 三)

不詳 (人事・學界消息・紹介記事ヲ除ク)

渡島筆記

曳馬拾遺

人類學雜誌

上州にて石鏡を拾ふ

常陸阿波貝塚發見の土偶・圖版解説

赤塗りの土器の圖版・卷末圖解説

信濃發見の石器時代土器・卷末圖解説

相模三の宮の石器時代遺物

石器時代土製假面・卷末圖解説

信濃諏訪郡神明原石器時代遺跡

伊豆諸島の石器時代遺跡

溶岩層間の石器時代遺物

子持勾玉と云ふ名に付て

新編武藏風土記稿に記されたる貝塚土偶

出所の面白き石鏡

大なる石皿

下總遺跡及遺物

〔著書〕 (正徳三)

〔著書〕 (寛政頃)

人誌 一四ノ七 (前三一)

人誌 一四ノ二〇 (前三一)

人誌 一五ノ二七 (前三一)

人誌 一五ノ二九 (前三一)

人誌 一五ノ二九 (前三一)

人誌 一五ノ二九 (前三一)

人誌 一五ノ二九 (前三一)

人誌 一五ノ二九 (前三一)

人誌 一五ノ二九 (前三一)

人誌 一五ノ二九 (前三一)

人誌 一五ノ二九 (前三一)

人誌 一五ノ二九 (前三一)

人誌 一五ノ二九 (前三一)

人誌 一五ノ二九 (前三一)

人誌 一五ノ二九 (前三一)

人誌 一五ノ二九 (前三一)

人誌 一五ノ二九 (前三一)

羽後南秋田郡大久保村新開菅原氏所藏石

器時代土偶・口繪

石器時代土偶の頸部・口繪

貝塚發見の角器とアラスカの鈎針

石器時代土盤・口繪説明

石器時代土製假面・口繪説明

下總國分寺堀の内貝塚の景・口繪

武藏國下沼部貝塚發見の顔面模形香爐形

土器・口繪

信濃國伊那町發見の土器

下總國余山貝塚・口繪

成田近傍の太古遺跡一―二

神生貝塚の發掘

岩代北會津郡の石器時代土偶

奥羽に於ける石器時代二三の遺物

常陸國飯出貝塚發見の所謂有髣土偶と其

類品・口繪

貝輪製作の順序・口繪

朝鮮に貝塚を發見す

石器時代遺跡新地名

人誌 一九ノ四〇 (前三六)

人誌 一九ノ三三 (前三六)

人誌 一九ノ二九 (前三六)

人誌 一九ノ二九 (前三六)

人誌 一九ノ二九 (前三六)

人誌 一九ノ二九 (前三六)

人誌 一九ノ二九 (前三六)

人誌 一九ノ二九 (前三六)

人誌 二〇ノ四 (前三七)

人誌 二〇ノ二七 (前三七)

人誌 二〇ノ四三 (前三七)

人誌 二一ノ二六八 (前三八)

人誌 二一ノ二六八 (前三八)

人誌 二一ノ二六八 (前三八)

人誌 二一ノ二六八 (前三八)

人誌 二一ノ二六八 (前三八)

人誌 二一ノ二六八 (前三八)

人誌 二一ノ二六八 (前三八)

人誌 二一ノ二六八 (前三八)

人誌 二一ノ二六八 (前三八)

新發見の石器時代遺跡

滑車形土製品一對揃ひて發見さる

石器時代土偶研究展覽會

石器時代土偶及土版・口繪説明

陸前桃生郡前谷地村及附近の石器時代遺

跡に於ける坪井理科大學教授の調査

人面を附せる石器時代土器把手

上總市原郡市原發見の石器時代遺物

播磨國掛保郡太田村の石器時代遺跡

下總余山貝塚發見の土器・口繪説明

下總余山貝塚發見の滑車形土製品・口繪

常陸稻敷郡福田貝塚發見土器・口繪説明

故坪井正五郎君小傳

故坪井理學博士論文目錄

太古の塗と漆

石器製作地の發見

下總國東葛飾郡國分寺村堀之内貝塚發掘

・口繪説明

神奈川縣保土ヶ谷に於ける新貝塚の發掘

相模浦賀町貝塚の石器時代人骨

人誌 二四ノ三三 (前四一)

人誌 二四ノ三三 (前四一)

人誌 二五ノ三三 (前四二)

人誌 二五ノ三三 (前四二)

人誌 二五ノ三三 (前四二)

人誌 二五ノ三三 (前四二)

人誌 二五ノ三三 (前四二)

人誌 二五ノ三三 (前四二)

人誌 二五ノ三三 (前四二)

人誌 二五ノ三三 (前四二)

人誌 二五ノ三三 (前四二)

人誌 二五ノ三三 (前四二)

人誌 二五ノ三三 (前四二)

人誌 二五ノ三三 (前四二)

人誌 二五ノ三三 (前四二)

人誌 二五ノ三三 (前四二)

人誌 二五ノ三三 (前四二)

人誌 二五ノ三三 (前四二)

人誌 二五ノ三三 (前四二)

人誌 二五ノ三三 (前四二)

武藏國保土ヶ谷町帷子貝塚・口繪説明	人誌三八ノ三(大二)
青森縣北津輕郡相内村より人骨發見	人誌三九ノ三(大二三)
群馬縣吾妻郡の高地で石鏃發見	人誌三九ノ七(大二三)
朝鮮金海の竪穴住居・口繪説明	人誌三九ノ三九(大二三)
日本石器時代遺物・口繪説明	人誌三〇ノ三二(大二三)
上總興津洞窟遺跡の發見	人誌四〇ノ三(大二四)
安房神戸村より古人骨發見	人誌四〇ノ三(大二四)
神奈川縣鶴見町二見臺の發掘	人誌四〇ノ三(大二四)
横濱市外子安町貝塚より人骨發見	人誌四〇ノ三(大二四)
陸奥是川石器時代遺跡發見木製品・口繪	人誌四二ノ四(大二)
紀伊に於ける石器時代遺跡の新資料	人誌四二ノ三(大二)
武藏に於ける先史住居址發見	人誌四二ノ三(大二)
大阪市内に貝塚	人誌四二ノ三(大二)
考古學會雜誌	考會 一ノ四三(前二九)
淡路の石槍	考會 一ノ四三(前二九)
有孔の石斧	考會 二ノ二五(前二)
筑前國の石斧	考會 二ノ二五(前二)
武藏國の磨製石鏃	考會 三ノ九(前三)
日向國の遺物	考會 三ノ九(前三)
徳利形石器時代土器	考會 三ノ九(前三)

考古界	考界 一ノ二二(前三四)
武藏國三方寺池畔の石鏃	考界 一ノ二七(前三四)
紀伊國日高郡の土器	考界 八ノ五(前四二)
二條家陳列の石鏃石鏃	考誌 三ノ五(前四五)
考古學雜誌	考誌 三ノ五(前四五)
西ヶ原貝塚	考誌 五ノ五(大二三)
小田原發見の石器土器	考誌 七ノ四(大五)
巨大の土偶	考誌 八ノ一(大六)
石器時代土偶・口繪説明	考誌 八ノ一(大六)
甲斐國東八代郡黒駒村字上黒駒發掘石器	考誌 八ノ七(大六)
時代土偶・口繪	考誌 一〇ノ四(大八)
石劍及伴出土器	考誌 一〇ノ四(大八)
伊豫國發見の石鏃	考誌 一四ノ八(大二三)
相模浦賀町鴨居の洞窟	考誌 一四ノ八(大二三)
集古會誌	集古 四ノ一(前三)
石器時代寫真説明・口繪	集古 四ノ一(前三)
歴史地理	集古 四ノ一(前三)
土蜘蛛蝦夷コロボツクル論文年表	集古 四ノ一(前三)
朝鮮遺跡調査略報告	集古 四ノ一(前三)
彌生式土器の發掘	集古 四ノ一(前三)

石鏃と勾玉の發見	歴地 二七ノ三(大五)
郡縣村志解題一―四	歴地 二八ノ三(大二〇)

地理學雜誌

秋田縣の土瀝青層中に土器を發見す	地誌 一七ノ三(前三七)
諏訪湖底の石器時代遺物	地誌 二一ノ四(前四二)
北海道有珠村の貝塚	地誌 二二ノ七(前四四)
東洋學藝雜誌	東藝 一ノ二五(前一五)
函館古石器發掘	東藝 一ノ二五(前一五)
貝塚の縱斷面を示す裝置	東藝 一ノ二五(前一五)
海中の石斧	東藝 一〇ノ四(前二六)
東京市中に存する石器時代遺跡	東藝 一〇ノ四(前二六)
土器の押し形の元を示す便法	東藝 一〇ノ四(前二六)
塚穴と石器	東藝 一一ノ二〇(前二八)
石器時代遺跡の溝渡ひ	東藝 一一ノ二〇(前二八)
日本石器時代研究上二三の最新發見	東藝 一一ノ二〇(前二八)
コロボツクルの名義	東藝 一五ノ一五(前三二)
貝塚發見の人骨	東藝 一五ノ一五(前三二)
打製石斧製造所	東藝 一六ノ四〇(前三三)
伊豆七島に於ける石器時代遺物	東藝 一八ノ二五(前三四)
石器時代人形の一新例	東藝 一八ノ二五(前三四)

伊豆國利島及大島の石器時代遺物	東藝 一八ノ二五(前三四)
石器時代遺物存在の地層	東藝 一八ノ二五(前三四)
太古土製品中獸類の形せるもの	東藝 一八ノ二五(前三四)
石器時代土製の猿	東藝 一九ノ三(前三五)
大島遺跡新發見物	東藝 一九ノ三(前三五)
龜形土器	東藝 一九ノ三(前三五)
足下の古物	東藝 二二ノ三(前三八)
貝塚の好標本	東藝 二二ノ三(前三八)
石器時代の利器製造場	東藝 二二ノ三(前三八)
日本に於ける淡水貝塚の好例	東藝 二二ノ三(前三八)
石器時代の火焚き場	東藝 二二ノ三(前三八)
現代之科學	現科 一〇ノ三(大二〇)
本邦石器時代人骨の赤色に就て	現科 一〇ノ三(大二〇)

書  
名  
解  
題

會津石譜 (會津石譜) 田邨三省 (寫) 會津圖書館藏

上下二卷あり、四部百二十七條より成る。曰く寵愛、奇異、取用、像形、この内寵愛の部に石弩、神代石の二條あり。石弩の條に於ては孔子家語を引き、美濃信濃等にもありても之を發見する由を記し、會津附近の發見地數十箇所を擧げたり。文中美濃の鐵石亭、飛驒の長嘯亭等の名の見えたるは、その玩石家としての交遊の廣さを示すべく、又「會津の中石弩を産する地は必烏古瓦の欠あり。……頃日蝦夷の矢を見るに角の鐵なり」云々の句はその觀察の凡ならざりしを示す。神代石の條には挿繪一あり、石棒車輪石子持勾玉等の圖に並べて異様なるものゝ形を描きし事當時の弄石家流に等し。  
三省清次史衛門と稱す、享保十九年寅年十月十三日生、文化三年五月七十三歳を以て歿す。土木勲業の吏として會津侯に諫す同藩諸士系譜に曰。

- 一、寛政五年十二月所持の珍石數々差上入御覽候付御内々御酒被下置候事
- 一、享和三年六月地志御編集に付右御用懸被仰付候事

アイヌ人と其説話 (アイヌ説) バチエラー 大正十四年

John Batchelor の The Ainu and Their Folk-lore の譯第一章第二章に於て舊アイヌとして先住民の事を記す。

アイヌ文様解説 (アイヌ文) 杉山壽榮男 大正十五年

工藝美術研究會より出版せる圖集「アイヌ文様」の解説にして、「アイヌ文様の發達に就て」の條に於て石器時代土器のそれと比較して類似なしと云ふ。本書圖版四六倍版六十八葉アイヌの土俗品を収めたり。

〔紹介〕 甲野勇 人類學雜誌四十一卷四百六十三頁

奥羽觀蹟聞老志 (奥羽觀蹟) 佐久間義和 享保四年

全二十卷二十冊、内第六卷上に神鐵石の條あり。白石館腰地より之を得る事を云ひ三代實錄の記事を引く。又磐城宇都郡手長明神の條に貝塚居の事を記し鹿狼山の巨人を採りて食ふ由見えたり。この地今の相馬郡新地村小川貝塚に當ると。

同書は仙臺藩の命を受けて撰せるものにして明治十六年に至り宮城縣廳より出版さる。

〔紹介〕 橋本經亮 橘窓自語九卷

青森縣誌 (青森縣誌) 西田源藏 大正十五年

菊版一冊本、比較的沿革、名勝舊蹟の條に力を致せるが、その一編一章に先住民族の學説を紹介し蝦夷肅慎の事を記す。

青森縣史蹟名勝天然記念物調査報告 (青森報) 青森縣 一輯一

三輯 大正十三年—昭和二年

第一輯頁三十八に北津輕郡相内村遺跡の記事あり。  
第三輯は七戸町附近先住民族遺跡調査報告と題し、調査委員佐々木新七の署名あり(奥付を欠く)。同町附近の堅穴を記載し發掘記録實測圖分布圖を附す。

青森縣中津輕郡藤代村郷土史 (青森藤代) 中村良之進 大正

十二年

一、二ヶ所同村内に遺物發見の由を記せり。

青森縣中津輕郡船澤村郷土史 (青森船澤) 中村良之進 昭和

二年

二章、有史以前の遺跡と奈良朝頃の遺跡の記事あり。

青森縣西津輕郡大戸瀨村郷土史 「オ」折會の圖ヲ見ヨ。

青森縣南津輕郡石川町郷土史 (青森石川) 中村良之進 大正

十四年

所々遺物發見の記事あり。

明石史資料 (明石資料) 明石史談會 大正十四年

諸氏の文を編纂せるもの。會下山人の「古墳と石器時代の遺跡、明石郡大久保魚住の史蹟」なる報文あり、又明石史蹟地圖を附す、石器時代遺跡をも含む。

秋田考古學會々報 (秋考) 秋田考古學會 大正十四年—昭

和二年

會報として年二三回不定期に刊行す、一卷一號は謄寫版二號より活版となる。二號大正十四年十一月刊行、昭和二年末までに第六號發行。

秋田縣下の考古學的郷土史の記事を收む、中石器時代關係のもの毎號一二あり。

〔紹介〕 人類學雜誌四十卷四百七十二頁

秋田縣史蹟名勝天然記念物調査報告 (秋田報) 秋田縣 一輯大

正十一年

第一輯に武藤一郎氏の男鹿湯西村角間崎岡見澤貝塚の調査報文あり、人類學雜誌三十七卷三十九頁掲載のものとは同文。

飽海郡誌 (飽海郡誌) 齋藤美澄 大正四年

この書早く齋藤氏の稿本ありしも刊行を見しは大正四年郡制廢止に先立つの日なり發行部數至つて少し。第二章土蜘蛛と蝦夷の條にコロボツクル、アイヌに關する各氏の説を引き、又羽柴雄輔氏作製の遺跡分布表を添ふ。その郡發行。

渥美郡史 (渥美郡史) 愛知縣渥美郡役所 大正十二

本文及附圖より成る。先史原史時代の記述に力を致し、郡内貝塚遺跡等を一々に就き記載せり、又一般記述は柴田常憲氏の指

導により、同氏日本考古學の組織に習ふ。但本書はそれに先んずる事一年にして出版されたり。其後郡誌の先史時代を記載するもの多くこれに習へり。

〔紹介〕 小松眞一 人類學雜誌三十九卷九十五頁

阿波史 (阿波史) 手束愛次郎 明治四十四年

先史時代なる條下に少々記載せり。

阿波名勝 (阿名) 阿波名勝會 大正十一年—絶

阿波の名勝史蹟を顯すを以て目的とせる雜誌、年三回。大正十一年二月初號を出す。二號は貝塚號とし、城山公園の貝塚洞窟等の記事を多く載せたり。三四號にて止む。

相生集 (相生集) 藤原義鳴 天保十二年

全二十卷、二本松藩封内の地誌。引用書目甚だ多し。卷十五に箭鐵石の一項あり。この書大正八年刊行の、岩野史料叢書下卷に收めらる。

近江蒲生郡志 (近江蒲生) 滋賀縣蒲生郡役所 大正十一年

全十冊より成る、第一卷に石鐵發見の記事少々あり。

近江栗太郡志 (近江栗太) 滋賀縣栗太郡役所 大正十五年

五卷二十冊より成る、一卷二篇を石器及古墳とし、石器の遺物彌生式土器、郡内發見石器表、石器圖等を二三頁載せたり。

近江坂田郡志 (近江坂田) 滋賀縣坂田郡役所 大正二年

全三卷、中卷第一篇上古史の部に彌生式土器の記事あり。

奄美大島史 (奄美大島) 坂口徳太郎 大正十年

第二節大島人の祖先の條に於て、我國の先住民はアイヌ多し、大島にもアイヌ人住居せり、南島にもアイヌの遺跡及び血統を認む、等の項を記す。

安齋隨筆 (安齋隨筆) 伊勢貞丈 (寫) 帝國圖書館藏

十卷二十冊より成る、三十一神代の矛盾なる記事あり。

イ・キ

何鹿郡誌 (何鹿郡誌) 京都府何鹿郡教育會 大正十五年

沿革・舊蹟等に稍詳し。上代の何鹿郡なる條あり多少石器時代關係の事を記す。

倭調葉 (ヤ) 倭調葉ノ條ヲ見ヨ。

石川縣史蹟名勝調査報告 (石川報) 上田三平 一輯大正十三年

本報告は石川縣内の石器時代古墳時代の遺跡に就きて記述せしものにして、第一編石器發見の遺跡に於て、四五ヶ所主要なる遺跡の記載をなし、後石器時代概觀をなす。圖版多し。

石小刀の研究 (石小刀研) 武藤鐵城 昭和二年

磨寫版、石匙の用法につきアメリカインディアン等の例を引きて

考察せるもの。

岩手考古圖集 (岩手考古) 岩手縣教育會江刺郡部會 大正十五年

主として岩手縣下發見の考古學的遺物を圖版として示せるものにして、中に石器時代關係のもの多く三十數葉あり、小田島祿郎氏の詳細なる解説を添ふ。四六倍版假綴。

〔紹介〕 八幡一郎 人類學雜誌四十一卷四百二十五頁

岩手縣上閉伊郡史蹟名勝天然記念物 (岩閉史) 岩手縣上閉伊郡

史蹟名勝天然記念物調査會 第一編

内務省よりの通達に基き郡内史蹟名勝天然記念物を記入せり、第九類先住民族遺跡の條に地名表あり。

岩手縣上閉伊郡石器時代遺物發見地名表 (岩手閉地) 伊能嘉矩

鈴木重男 大正十二年

同郡内に於ける遺物發見の地名を羅列せる小冊子。小型なれども範を東京帝國大學のそれにとり、よく調査されたり。

〔紹介〕 小松眞一 人類學雜誌三十八卷百三十頁

岩手縣史蹟名勝天然記念物調査報告 (岩手報) 岩手縣 大正十年—十四年

大正十年度より毎年度一回、十四年に限り二回發行せり。中十二年度報告には小笠原謙吉氏等の先住民族遺跡地の記載四五散

見す。十三年度報告は小田島祿郎氏の手に成り、「縣下に於ける堅穴及チャシに關するものの一」と題せらる。この地方の堅穴の年代は同書云ふ如く必しも石器時代を當つる可からず。たゞ東北地方堅穴年代の明瞭を欠く今日參考として重要な一文獻たり。

岩手縣下閉伊郡志 (岩手下閉) 岩手縣教育會下閉伊郡部會

大正十一年

二章沿革二上代の項にコロボツクルの記事あり、別に附録として石器時代遺跡考を附す。本郡石器時代遺跡分布梗概と地名表を記したり。

遺物遺跡より見たる日本先住民族の研究 (遺物日本) 大野延太郎

大正十五年

全篇を遺跡の分布、風俗、體質、食物、漁獵、武器、器具、裝身具、土器製造、石器角器製造法、原始的宗教、埋葬法、船舶結論の十四章に分ちて記載す。挿繪多し。

伊豫史精義 (伊豫精義) 景浦稚桃 大正十三年

緒論郷土史の意義より筆を起し、各年代に互りて詳説す、第一編有史以前は二章に分ち、前章に於ては文獻上より伊豫の成立を説き後章に有史以前の伊豫を記す。石器時代の遺物、彌生式土器の發見等あり。

入間郡誌 (入間郡誌) 安部立郎 大正一年

第三節郷土の沿革の一章に有史以前の記載あり。

ウ

卯花園漫錄 (卯花漫錄) 石上宣績 文化六年

矢の根石降る、雷の爪、天狗の爪、霹靂斧等の記事あり、この書新燕石十種第三に收めらる。

雲根志 (雲根志) 木内石亭 明和二年—享和一年

雲根志は前後三の三編より成る。各卷奇石の事を録し我國弄石書中の王座を占むるもの。前編は明和二年に後編は安永八年に第三編は享和元年の序文を附して世に出づ。同書後編卷之四に鐫刻類廿四種を擧ぐ曰、鐵石、曲玉、紋附石、觀音石、蜻蛉石、屏風石、千佛石、駒形石、佛足石、刀痕石、石鏡、天狗飯七、景清牢石、神代石、雷杖、雷環、笛石、畫撥石、石彈子、糸巻石、銀石、神ノ鏡、石墨、炭化石、内八種は石器時代遺物なり。第三編卷之五に同じく鐫刻類十五種あり。曰、曲玉、車輪石、神代石、神代石、石銅頭、神代石、神代筒石、神代手斧石、石刀、狐鉈石、狐鑿石、異志都々伊、青龍刀石、石鏡、神代石、附録諸家所藏神代石圖。

この書神代石の名を繰返し掲げしは、各々指す所の種類を異にせる故にて、當時この名を以て呼ばれしものに、獨鉈石、鞆形石、琴柱石、石棒、石冠等のありしを知る。雲根志はたゞ石器の名を擧げ俗説を述べし當代の書の範を出でよく全國に類品を求めて正鵠の記載をなせり。故に久しく世の弄石家の指導書となり、石器を記載するもの皆石亭を以て理想とせり。

エ・エ

永祿日記 (永祿日記) 津輕藩 (寫) 元和九年

津輕藩帖日記の中、永祿日記、元和九癸年正月二日の條に、「近江澤御城築之事相止此所城下相成候はゞ龜ヶ岡と申可由此所より奇代之瀬戸物掘り出し候所也、其形皆々かめの形にて御座候

大小御座候へ共皆水を入るかめに御座候昔より多く出でる所也云々」とあり。恐らく本邦に於て石器時代土器の文獻に見えたる最初か。

蝦夷島奇觀 (蝦夷奇觀) 村上島之丞 寛政十二年

往昔穴居せし跡より礫石雷斧を出す由見ゆ。署名泰槍丸とあり

穢多族に関する研究 (穢多研究) 菊池山哉 大正十三年

穢多族を先住民の遺存せるものと見地より出發し東京の沖積地に積成されし貝塚ある由を記す、又此貝塚を積成せる人種に及び彌生式土器の製作者、コロボツクル等を論じたり。此書發賣を禁止されしが後「先住民と賤民族の研究」と改題して出づ。

越後古代史の研究 (越後古代) 池田雨工 大正十四年

越後の古代史を、遺跡、古地圖、文獻、神社の位置等より論じたるものにして、石器時代遺跡の分布と海岸線の關係、文獻に現れたる先住民等の記事あり。

越後傳説四十七不思議 (越後傳説) 中原敬藏 明治四十一年

地名傳説を記せる小冊子、矢の根石の記事少々あり。

越後名寄 (越後名寄) 丸山之純 (寫) 新潟圖書館藏

全三十一卷、卷三十石部に箭根石の項あり、曰「此は何方となく山野中みなあり、國俗に神軍のやしりなりと云へり、形の似たるを以てなり、かりまたとかり平根かふら黒黄赤斑等悉く

美なり、大てい寸にはすぎず、まれに二寸に及ぶものあり云々」と。著者は寶曆八年に歿せし人。

越後野志 (越後野志) 小田島允武 文化十二年

十九卷より成る、卷十一古墳の部中、朝日原百塚附近より礫石を出す由を記せり。

越前名蹟考 (越前名蹟) 井上翼章 (寫) 文化十二年

寫本十四卷より成る。坂井郡濱坂山上に石鏃ある由見えたり。

越中石器時代民族遺跡遺物 (越中石器) 早川莊作 大正十五年

越中發見の遺物を例證として、我國石器時代一斑に関する説明を試みしもの。内越中に於ける石器時代遺跡遺物の説明、遺跡分布圖、挿繪數十葉あり。

江戸砂子 (江戸砂子) 菊岡沾涼 享保十七年

六卷六冊より成り江戸砂子温故名跡志とも稱す。別に續編あり。本書卷之五、白銀日黒の條に土器塚の名見ゆ。

江戸名所圖會 (江戸圖會) 齋藤長秋 天保七年

在原郡駒場野の項に土器塚の名見ゆ、又同所天満宮に石器を收む由あり。豊島郡石神井明神祠の條に「石神井村にあり、三寶院奉祀す、神體は一顆の靈石にして往昔井を穿とて其土中には

を得たりとなり、依石神井の地名こゝに起るし云々とし、割註して、世に云所の石鏃にして、上代の古器雷槍杯いへる類ひなりとあり。

惠那郡史 (惠那郡史) 惠那郡教育會 大正十五年

口繪に郡内發見石器圖あり、本文二章は先住民と遺物の事を記し遺物發見地圖を添ふ。

蕪美草 「ヒ」 郡ノ手振ヲ見ヨ。

揖斐郡誌 (揖斐郡誌) 揖斐郡教育會 大正十三年

郡内石器發見地名表あり。

愛媛縣史蹟名勝天然記念物調査報告 (愛媛報) 愛媛縣 大正十三年

西邊寺源善氏の筆に成る阿方貝塚の記事あり。

オ・ヲ

麻植郡誌 (麻植郡誌) 阿波國麻植郡教育會 大正十一年

笠井新也氏の編するところ、全篇を地理篇歴史篇とし、歴史篇一章に遺物及遺跡の事を記したり。

邑久郡誌 (邑久郡誌) 小林久磨雄 大正六年

四頁太古の住民の項に沼田氏の人種新論を引用して多少の記載

をなす。

岡山市史 (岡山市史) 岡山市役所 大正九年

發掘物に関する記事多少あり。

沖繩一千年史 (沖繩千年) 島倉龍治・眞境名實興 大正十二年

第一篇古代紀、一章沖繩人の始祖なる條に人種説を述べこの地にアイヌ先住せる由を云へり。

小樽區史 (小樽區史) 渡部義顯 大正三年

百三十五頁より百四十五頁にかけて石器時代の事を敘し、コロボツクル人種の遺物及遺跡、愛奴種人の事を記せり。

小樽港史 (小樽港史) 高畑宣一 明治三十二年

環狀石鏃、古代文字の記事あり。

小樽史蹟 (小樽史蹟) 寺田貞次 大正十年

手宮古代文字の事を記す。

越智郡土誌材 (越智郷土) 原秀四郎 大正三年

講演筆記、伊豫越智郡の事にかゝる。二十三頁より五頁にかけて先史原史時代の遺物遺跡、石器土器の記事あり。

大井町誌 (大井町誌) 安田精一 大正十二年

東京市外大井町の町誌、上編は小松眞一氏の筆になり、一節有史以前の大井、二節を原史時代の大井とす。

大阪府史蹟調査委員會報 (大阪會) 大阪府 一輯一五輯 大

正五年—大正七年  
 第四輯大正六年三月發行の分に、喜田貞吉氏の南河内郡古代遺跡に就ての記事あり、石器發見の事を報ず。  
**大阪府史蹟名勝天然記念物** (大阪史) 大阪府學務部 一輯昭和二年

第一冊南河内郡十一石器時代遺跡地として道明寺國府の記載あり、その文獻を擧ぐ。

**大阪文化史** (大阪文化) 大阪毎日新聞社 大正十四年  
 大毎社主催の講演會筆記なり、中に濱田耕作氏の「考古學上及美術史上より觀たる大阪地方」なる文あり、石器時代の大阪、石器時代の工業地、河内國府の遺跡の項に就きて記す。

**大阪名家著述目錄** (大阪目錄) 大阪府立圖書館 大正三年

木村巽齋 (養正堂) 等の著述目錄あり。

**大里郡郷土誌** (大里郡誌) 下田江東 大正八年

武藏國大里郡誌沿革の中石器時代の住民なる項あり。

**大森介遺古物編** (大森介遺) モールス著・矢田部良吉譯 明治十二年

有名なるモールスの Shell Mounds of Omori を矢田部良吉氏口譯し、寺内章明氏の筆記せるもの。この書本邦貝塚研究の嚆矢とすべく、而もその學說の今日尙支持されるもの多し。東京

大學法理文學部の出版にかゝる。

**大八洲** (大洲) 大八洲社 明治十九年—絶  
 明治十九年七月創刊號を發行す。本書はその百號までを收めた。この内約七八篇の關係論文あり。

**思ひの儘の記** (思ひの儘) 小寺信正 (寫) 光丘文庫藏

出羽庄内附近の舊聞、異事を記せるもの、内に神矢の根なる記あり、曰「出羽館海郡島海山西の麓吹浦村の海邊は甚雨疾雷の後石磯をあめふらす其形實に矢の根の如し——庄内二郡の内に往々降る所あり土俗傳て魔王と神明と戦ふ時ふり下る也と云々小寺氏は道五享保時代の人鶴岡藩の藩士たり、別に庄内物語の著あり。

**折會の關** (折會の關) 中村良之進 大正十一年

青森縣西津輕郡大戸瀬村郷土史、村内二三遺物發見の個所を録せり。

**カガ**

**介類叢話** (介類叢話) 矢田甫田 大正十一年

舞子に貝類館を開ける氏の説論を集めしもの。この内貝類學と貝塚の具、貝製勾玉の研究の二項あり。

**海録** (海録) 山崎美成 文政三年

江戸耽奇會の一員たりし氏の隨筆集、二十卷より成る。卷八に石器考あり。この書國書刊行會本第四冊に收めらる。

**考古** (考古) 考古學會 明治三十三年

考古學會雜誌の改題、明治三十三年四月一編一號を出し、同年十一月一編七號を出して後考古界と改題さる、總て一編七冊あり。「カ」考古學雜誌ヲモ見ヨ。

**考古界** (考古界) 考古學會 明治三十四年—四十二年

考古學會刊行の月刊雜誌「考古」を改題せるものにして明治三十四年六月第一編一號を出し、八編十二號明治四十三年三月に至りて現在の考古學雜誌と改題す。總て八編九十六冊あり。「カ」考古學雜誌ヲモ見ヨ。

**考古學** (考古學) 高橋健自 大正六年

大正二年第一版を出す。二版大正六年出版改訂なし、前篇を先史時代又石器時代とし遺跡遺物の一般に就て説明あり、文化、先住民族論を附す。後篇は原史時代、別に考古學研究法大要を附録とす。説明の簡明挿繪の多きを特徴とす。

[紹介] 谷井濟一 考古學雜誌四卷四十六頁

**考古學會雜誌** (考會) 考古學會 明治二十九年—三十三年

明治二十九年考古學會の設立さる、や、機關雜誌として本誌を

月刊す。一編一號は二十九年十二月、二編一號は三十一年一月に出づ。三編四號明治三十三年二月に至り考古と改題し、今日考古學雜誌として繼續せらる。本誌總て三編二十八冊あり。「カ」考古學雜誌ヲモ見ヨ。

**考古學會創立二十五年記念圖彙** (考記念圖) 考古學會 大正九年

題名の如き記念出版、内彌生式土器、人骨伴出石劍、有孔石器等の關係圖版一二あり。

**考古學講座** 國史講習會 大正十五年—續

この講座大正十五年に始り昭和三年に至りて終る、内先史時代遺跡の項あり。「セ」先史時代遺跡ヲ見ヨ

**考古學研究** (考研) 考古學研究會 昭和二年—續

昭和二年七月創刊年四回發行す。古墳時代關係の論文を主とせり。昭和三年末に到り休刊す。

**考古學研究法** (考古研究) 八木英三郎・中村士徳 明治二十八年

中澤・八木氏の日本考古學に少しく先んじて刊行されし書、主として考古學の取扱方を論ぜり。本邦考古學の發達、人種調べに於ける効果、石器時代の大意、その研究法、土蜘蛛種族(彌生式)の遺跡遺物研究法等の項あり。



考古學雜誌 (考誌) 考古學會 明治四十三年一續

明治二十九年考古學會の創立さるゝや機關雜誌として考古學會雜誌を月刊し、會員其他の論説を掲載せるが、三編四號二十八冊にして考古と改題し、一編七冊を出せり。後更に考古界と改め、八編十二號全九十六冊を出し、三度改めて考古學雜誌と稱し今日に及べり。考古學雜誌は第一卷一號を明治四十三年九月に發行し、昭和二年十二月までに、十七卷百九十七冊を出す。内十四卷は大正十二年九月一號を出し、十月震災の爲休刊十三年十二月に十五號を出し後月と號とを一致せしむ。考古學會は東京人類學會に連るゝ事十年にして興り、關係學會としては歴史の書き事第二位にあり。その誌載する所、原史、歴史の考古學を主とするも、尙石器時代に關する論説は殆ど毎號之を見るべく、特に近時主要なるもの多し。

考古學雜誌總目錄 (考誌目錄) 考古學會 大正十年

考古學會創立滿二十五年を記念して出版されしもの。明治二十九年十二月發行の考古學會雜誌一編一號より、大正八年八月考古學雜誌九卷十二號に至るまで二百三十九冊に登載されし論文の目錄を、甲著者の部、乙件名の部として索引を便にせり。尙考古學雜誌十卷の目錄を附録とす。

考古說略 (考古說略) ヘンリー・シーボルト 明治十二年

考古學一般に互りて記載されしものにして、恐らく本邦に於ける考古學汎論出版の嚆矢ならん。著者は大シーボルトの次男、當時埃太利匈牙利國公使館屬を勤務す。本書は同氏英文 *Notes on Japanese archaeology with special reference to the bronze* に先立つ二年、邦文和装にて世に出でしものにして本文三十二頁、圖六葉より成る。記載は主として舊石器以後世界全般の考古學的事實にあれど、尙先住民としての蝦夷、東京附近の貝塚、日本に考古學研究の必要なぞに及べり。

考古圖集 (考古圖集) 考古學會 第一期—第二期 大正十三年—十四年

第一期は四六版コロマイブ圖版三十六集三百六十五圖より成り合本して上下の軌に入れり。第二期は菊版圖版十二集百二十圖より成る。この内石器時代關係のもの約五十圖あり。

考古年表 (考古年表) 沼田頼輔 大正六年

稿本として刊行されしもの。慶長元年より大正六年までに起れる重要な考古學的象人事を年表式に記入せり。

考古の葉 (考古の葉) 八木冬嶺 明治三十七年

學生指導の爲にのされし小冊子、遺跡の種類、遺物總論等を記せり。

(紹介) 人類學雜誌十九卷二百八十五頁

好古日録 (好古日録) 藤原貞幹 宣政九年

當時考古學者として第一人者の位置にありし著者の見聞考證を收めしもの、好古小録の姉妹篇に當る。上下二卷より成り、下卷に京都岡崎村土中瓦器の圖あり、集古圖記載のものに同じ。

高知縣史要 (高知史要) 高知縣 大正十三年

藩政前、藩政、維新後の三編より成る、一編二章考古學上より見たる土佐の條に、石器時代貝塚の記事少々あり。

上野國志 (上野國志) 毛呂念往 明治四十三年

新田郡の農民學者毛呂義孝の著、安永三年の序あり。明治四十三年毛利權藏の校にて出版さる。十六頁高岡村の條に矢の根出づの記事あり。

稿本千葉縣誌 (稿本千葉) 千葉縣 大正八年

上下二卷、下卷三編沿革の條に、一章太古の住民、二章本縣に於ける遺跡遺物の記事あり、遺物發見地、同分布表等を記す。又口繪に太古住民の遺跡分布圖、遺物圖あり。

稿本美濃誌 「ミ」 美濃誌ヲ見ヨ。

香川縣史蹟名勝天然記念物調査報告 (香川報) 香川縣 第一輯

大正十一年 第一輯附録として、香川縣石器時代古墳時代遺跡發見地名表を添ふ。

香取郡誌 (香取郡誌) 山田角次郎 明治三十三年

貝塚墳墓考の條に貝塚の記事少々あり。

可觀小説 (可觀小説)

加賀能登地方の地誌なる如し、未詳。卷十四能登羽咋郡阿岸村に宿斧を出すとあり。

學士會院雜誌 (學院) 學士會院

二十號に重野氏東海道談を載す、手宮古文字の事あり。

學士會月報 (學會) 學士會

坪井正五郎氏の石器時代關係文獻二三あり。

學誌志林 (學志) 東京大學 明治十年—絶

東京大學編纂にかゝる雜誌にして明治十年八月創刊せり。明治十六年十三號に富士谷氏の中村塚穴考あり。邦人の手に成る貝塚の研究としては最も早期に屬す。

鹿兒島縣史蹟名勝天然記念物調査報告 (鹿兒報) 鹿兒島縣 第一輯 大正十五年

掛宿郡掛宿包含層の報文あり。

鹿角志 (鹿角志) 内藤十瀧 明治四十年

陸中鹿角郡の私撰郡誌、一—三丁に埴輪圖即ち石器時代土偶土器圖・雷撥、石鏡圖等あり。

鹿本郡誌 (鹿本郡誌) 鹿本郡役所 大正十二年

熊本縣鹿本郡の郡誌、第八節古器物古美術古文書の條にアイヌ式土器云々の記事あり。

家藏日本地誌目録 (家藏地誌) 高木利太 昭和二年

甲斐高木氏所藏地誌類の目録。國別にして解説を附したり。約二千種に及ぶ。徳川期のもを主となす。

河素武都奇保齋 (河素武都) 「マ」 眞澄遊覽記ヲ見ヨ。

かたひさし (傍廂) 齋藤彦齋

石の礎を出羽庄内の人より貰ひし記事あり圖を附す。この書收めて百家説林卷二にあり。

勝浦郡誌 (勝浦郡誌) 勝浦郡役所 大正十二年

徳島縣勝浦郡内の具塚の記事あり。

神戸市史 (神戸市史) 神戸市役所 大正十一年

全九冊より成る。内別録一第三章武庫地方上代の遺物遺跡なる項あり。石器時代の遺跡遺物と古代民族、武庫地方石器時代遺跡の分布、彌生式分布、遺物遺跡より見たる武庫地方の古代住民等を記せり。

神奈川縣教育 (神教)

大正十四年四月號石野氏の文を載す。

神奈川縣新磯村勝坂遺物包含地調査報告 「シ」 史前報一ヲ見ヨ。

神津矢根之説 (神津矢根) 張朱鱗 (寫) 寶曆三年

この書龍宮船と題さるゝ寫本の一部、同書目次に卷之一龍宮城之説、巖氣樓臺之説、神津矢根之説、東國影沼之説とし、寶曆癸酉孟春東都張朱鱗編とあり。

神津矢根之説は出羽庄内飽海の神軍と佐渡鹿伏の神軍の事を記し、予も此矢の根奥州より五つ六つ持來りしを親く見しが……いづれも人作にあらずとし、西國にあるを雷乃爪、天狗の爪等と稱する由を記せり。又阿波國津田山に雷落ちたるあとに霹靂斧などを得る由をも述ぶ。

神田孝平略傳 (神田略傳) 神田乃武 明治四十三年

我國石器時代研究の先驅者たる淡崖神田氏の公人としての傳を記せり。

河南の菜 (河南の菜) 大阪府南河内郡役所 大正十年

國府の遺跡の事を記す。

河倉亭石器圖 「ニ」 日本名石圖ヲ見ヨ。

河内國府石器時代遺跡發掘報告 第一回、第二回 「キ」 京都帝國大學文學部考古學研究報告ヲ見ヨ。

川邊郡誌 (川邊郡誌) 原田長治 大正三年

攝津川邊郡の郡誌。先史時代、遺物の上より見たる最古の在住民族等を記せる一項あり。

加能紀要 (加能紀要) 石川縣 明治四十二年

前田藩々政末までの史誌、文中東京帝國大學發行の石器時代地名表を再録して遺物の種類と遺跡の事を述べ、又白石神書を引きて白石の石器論を紹介せり。

甲斐國志 (甲斐國志) 松平定能 文化十一年

松平伊豫甲府勤番支配たりし時、十年を費して本書を成す。この地に地誌なきを慨してなり。全百二十三卷、提要、國法、村里より人物、士庶の部に及ぶ、別に附録五卷あり。明治十五年、この地書肆より和製二十七冊として出づ。卷之百二十三、附録之五産物及製造部に矢の根石、落星石の項あり。落星石はホシクソイシと訓し土俗黒曜石破片の事を指す。

甲斐古蹟考 (甲斐古蹟) 須田宇十 大正八年

甲斐の傳説を考證せんとせしもの、湖邊に於ける土窟及民族の條あり少々石器時代の事を記す。土窟とあるは古墳横穴の事か

甲斐の落葉 (甲斐落葉) 山中共古 大正十五年

共古山中笑氏が明治二十年前後甲斐在住中、土俗的見聞を録せるもの。内石棒を祭る事など見えたり。嘗て人類學雜誌に連載されし事あるものを體邊叢書の一として刊行す。

上高井郡誌 (上高井誌) 長野縣上高井郡役所 大正三年

石器時代及古墳時代の項あり。

閑窓隨筆 (閑窓隨筆) 鈴木忠侯 文政八年

二ノ一神矢の根の項に出羽吹浦に石礎降るの事を記し三代實錄を引けり。

樺太土人の生活 (樺太土人) 長根助八 大正十四年

建築に造詣ある氏の現土人を主とせる考察。一編アイヌ二章考古方面の條にチャシ、堅穴、石器、土器の事を記せり。

唐太日記 (唐太日記) 鈴木重尙 安政七年

松浦弘(竹四郎)の詳註を附して出づ上下二冊より成る。挿圖は竹四郎、橋本玉蘭等の手に成る。上篇十五丁に石鍋の圖あり開道五十年記念北海道博覽會五種廳歴史館陳列品目録 (開北博目)

函館協賛會 大正八年

石器時代資料目録あり。

キ・ギ

北安曇郡志 (北安曇志) 北安曇郡役所 大正十二年

長野縣北安曇郡の郡志、第二編歴史、第一章上古二節石器時代の項に於て、前住民の遺跡、遺物等あり。

北蝦夷圖説 (北蝦夷圖説) 間宮倫宗・秦貞廉 安政二年

この書一名銅柱餘録と稱す。間宮倫宗の口述秦貞廉の編に成る四卷あり。二卷十二丁に内耳土鍋の圖、四卷七丁に穴居の記事

あり。

北桑田郡誌 (北桑田誌) 京都府北桑田郡役所 大正十二年

上古の北桑田郡なる條に一二行關係記事あり。

北佐久郡誌 (北佐久誌) 北佐久郡役所 大正十四年

歴史編に二三石器時代の記事あり。

北千鳥調査報文 (北千報) 高岡直吉 明治三十四年

高岡直吉氏他数氏の調査にかゝる報告にして、各方面の記事の中、北千鳥土人使用の古器物、主として骨角器類の記事あり。

北都留郡誌 (北都留誌) 北都留郡誌編纂會

山梨縣北都留郡誌、口繪に古代遺物石器の圖を、第二十九章に同記事を載せたり。

橋本自語 (橋本自語) 橋本經亮 享和—文化

卷之九に奥羽觀蹟問老志の紹介あり、この書享和より文化頃までの間に成りしものにして、著者は有職故實に究しき人。日本隨筆大成一期二卷に收めらる。

岐阜縣史蹟名勝天然記念物調査報告 (岐阜報) 岐阜縣 第二

輯 大正十四年

第二輯に海津郡下の三貝塚に関する記事あり。

金海貝塚發掘調査報告 「テ」 朝鮮古蹟調査報告大正九年度一ヲ見

計測表を比較し、前者のむしろ現代アイヌよりは日本人に似たるを説けり。

本書圖版二十四、本文七十六頁、別に英文抄録あり。本邦石器時代遺跡發掘研究上一時期を劃せると共に、又今日の發掘報告書記載形式を制定せるものと云ふべし。

〔紹介〕 松村瞭 人類學雜誌三十三卷二百三十三頁。吉田文俊 人類學雜誌三十二卷百八十二頁。喜田貞吉 中央三卷四號

第三冊、彌生式土器形式分類圖錄

附錄として掲載す、四圖版あり。實測圖と發見地名を録す。

第四冊、河内國府石器時代遺跡第二回發掘報告、濱田耕作、辰馬悅藏。

前回の發掘につき、その經過、發見遺物の一々を記載し、層位的發掘による土器様式の相關々係を記す。又本邦石器時代人骨に屈葬の風あるを説き、土器と時代、人種問題に及べり。

河内國府石器時代人骨調査、長谷部言人

採集人骨目録、頭蓋、骨性脊柱、胸廓、四肢の計測、各部の比例等を記載し、その現代アイヌに近似せるを説けり。

この書計測表二十五、圖版十五、英文抄録を附す。

第五冊、備中國淺口郡大島村津雲貝塚發掘報告、島田貞彦、清野謙次、梅原末治

京都史蹟地調査報告 (京史報) 京都府 大正八年—十四年

第一冊大正八年刊行、竹野郡發見遺物、

第二冊大正九年刊行、何鹿郡遺跡、函石濱遺跡、

第三冊大正十一年刊行、何鹿、天田郡の石器、函石濱遺跡

第四冊大正十二年六月刊行、愛宕、與謝、熊野郡等發見石器

第五冊大正十二年十二月刊行、京都大學並丹後に於ける二三の遺跡

第六冊大正十四年刊行、北桑田、竹野、中郡の石器等を記す。

京都帝國大學文學部考古學研究報告 (京大報) 京都帝國大學

大正七年—昭和二年

第二冊、河内國府石器時代遺跡發掘報告、濱田耕作

發掘經過と發見遺物、石器土器人骨等に對する一々の記載あり。後論としてこの地發見の大形粗石器の形式の歐洲舊石器に似たること、土器系統の原始繩紋土器より發して、アイヌ繩紋土器及び彌生式土器を分岐せしこと、國府發見の人骨と人種問題に關する考説あり。

河内國南高安及び喜志石器時代遺跡調査、梅原末治、島田貞彦兩遺跡發見遺物を國府のそれに比較す。

河内國府肥後遺跡發見遺物を國府のそれに比較す。

時代の住民に及ぶ、鈴木文太郎

壽、津雲、國府、發見石器時代人と現代日本人、現代アイヌの

發掘略史、經過、發見遺物、土器の文様、その層位等を記し人骨の屈葬、各年代土器の混在等を述べ。

備中國淺口郡大島村津雲貝塚發掘報告、清野謙次

人骨出土の状態より埋葬法を説く。

肥後國宇土郡壽村宮莊貝塚人骨報告、濱田耕作、梅原政職

發掘と發見遺物の事を記し土器の記載にくはし。

本書圖版五十一。人骨出土の状態を撮れるもの多く、別に英文抄録あり。

第六冊、薩摩國出水郡出水町尾崎貝塚調査報告、濱田耕作、島田貞彦。

發掘及貝塚の構成を述べ土器を論ぜり。

出水貝塚の貝殼骨及び人骨、長谷部言人

人骨片と馬齒を記述し貝殼を分類せり。人骨計測表四、この結論に於て本邦關西以西石器時代のアイヌ祖先に地方的差異ある由を述べ。

薩摩國指宿郡指宿村土器包含層調査報告、濱田耕作

遺物は火山灰下であり、下層より曲線紋式を、上層より彌生式、祝部土器を出す由記さる。本書圖版三十四、英文抄録あり。

〔紹介〕 後藤守一 考古學雜誌十二卷三百四頁

京都府熊野郡誌 (京都熊野) 京都府熊野郡役所 大正十二

年  
先史時代遺跡、函石濱石器時代の遺跡を記す。  
京都府與謝郡誌 (京都與謝) 京都府與謝郡役所 大正十二年

下巻七編史蹟名勝の項に與謝郡發見の石器の記事あり圖を附す。

郷土研究 (郷研) 郷土研究社 大正二年—六年

郷土研究を目的とせる雜誌にして、民族學的なる記事多し。大正二年三月創刊、第四卷六年三月に休刊す。「民族」の前身に當る。二卷六一三頁に栗岩氏の關係文獻あるのみ。

郷土史概論 (郷土概論) 大木金平 大正十年

越後國北蒲原郡紫雲寺村を中心とせる郷土史にして、主として歴史地理學的方法を執れり。北蒲原郡の石器時代の遺跡遺物、貝塚時代の海岸線、同遺算年數、郷土に於ける先住民等の項あり。

ク・ケ

久摺日誌 (久摺日誌) 松浦竹四郎 安政六年

松浦氏蝦夷地取調日誌中の一、明治六年に至り上梓す。銅路國

川上郡銅路東岸フシコチウニチヤシコツの事を記し、内耳鍋、發火器の圖を附す。

熊本縣誌 (熊本縣誌) 角田政治 大正六年

五章貝塚の條に於て縣内貝塚數ヶ所を記せり。

熊本縣史蹟調査報告 (熊本報) 熊本縣教育會史蹟調査部 第一冊大正七年

矢野氏阿高貝塚、山崎氏阿高貝塚の事あり。同縣にはこの他大正十一年以降昭和二年までに縣發見の史蹟名勝天然記念物調査報告四冊あり、關係記事なし。

熊本縣玉名郡誌 (熊本玉名) 熊本縣教育會玉名郡支會 大正十二年

四編通史二節考古學上石器時代の玉名人の項あり。

郡上郡史 (郡上郡史) 郡上郡教育會 大正十一年

美濃郡上郡の郷土史、延寶、寶曆の有名なる農民騷動の叙述に多く力を注げるが、上古の條に石器時代の遺跡、前代の住民等一二の記載あり。

群馬縣群馬郡誌 (群馬郡誌) 群馬縣群馬郡教育會 大正十四年

一四一二頁に遺物の條あり、概説と町村別發見遺物一覽を記す。別に圖あり。

群馬縣史 (群馬縣史) 群馬縣 昭和二年

全四卷、第一卷に上古の上毛なる項あり先住民の事を少々記す。

群馬縣史蹟名勝 (群馬名勝) 諸田八百七 大正十五年

群馬縣下に於ける史蹟名勝を和裝四六倍版のコロタイプ圖版にて示せるものにして、稍詳細の解説を附す。内海老瀬貝塚、遺物圖數葉あり。

黒川眞頼全集 「二」 日本金工黨ヲ見ヨ

科學世界 (科界) 科學世界社

三の十、六の八に坪井氏の報文あり。

科學知識 (科知) 科學知識普及會 大正十年—續

大正十三年九月號。今村氏文中關係記事一ヶ所あり。

蕪陽 (華陽) 岐阜中學校々友會

岐阜中學の校友會誌。明治二十八年八月と第十九號に林魁一、の石器時代報文あり。

ケ・ゲ

藝苑日涉 (藝苑日涉) 村瀬栲亭 文化四年

十二卷十三に石器の項あり、津輕に石器を産する由見ゆ。

藝術教育 (藝教) 藝術教育社

ク・ケ・ゲ (書名 解題)

四卷二號に限り一二關係論文あり。

慶尚南北道忠清南道古蹟調査報告 「テ」 朝鮮古蹟調査報告大正十一年度一ヲ見ヨ。

慶大醫學部三四會雜誌 (慶醫) 慶應醫學部三四會

六號に高橋氏上沼部貝塚發掘記事あり。

京阪文化史論 (京阪史論) 史學地理學同政會 大正九年

大正八年京都に開かれし講演會「文化史上より見たる京阪地方」の筆記、中に濱田耕作氏の「遺物遺跡から見た上代の近畿地方」なる文あり。

教育畫報 (教畫) 教育畫報社

松村森本氏等一二關係文獻あり。

教育事報 (教事) 教育事報社

坪井氏の報文二三あり。

氣高郡史考 (氣高郡史) 檜柴竹造 大正十三年

先住民遺跡につき多少記載せり。

穴居考 (穴居考) 黒川眞頼 明治十二年

文部省發行的博物叢書中の一、上古人穴居の概略なる記述あり。

葦葎堂雜錄 (葦葎雜錄) 木村葦葎堂 安政三年

この書は葦葎堂の歿後鳴鐘成撰して公にせるものなり。すべて五卷、日本隨筆大成卷七に收めらる。書中寶曆十三年四月京都

東山の産物會の目錄を記し、雷刀、石鏃等の名見えたり。  
**原始時代之研究 (原始研究)** 國史講習會 大正十二年  
中央史壇増刊原始時代號一—六卷一號大正十二年一月發行、同  
二六—卷五號十二年五月發行の二冊を合本せるもの。一二關係  
の文獻あり。

(紹介) 人類學雜誌三十八卷五十一頁、百七十六頁  
**原始文藝集 (原始文様)** 工藝美術研究會 大正十二年

大正十二年十一月より同十二年十月に互りて出版せし圖集、十  
二集百二十一枚より成る。すべて我國石器時代の土器石器土偶  
骨角器類をコロタイプ圖版にて示せるものなり。四六倍版。後  
藤守一、杉山壽榮男氏の解説を附す。

**現代之科學 (現科)** 現代之科學社 大正二年—絶

松本氏早坂氏等の貝塚發掘の報告あり、この雜誌十數卷に至り  
て中絶す。

**玄同放言 (玄同放言)** 瀧澤馬琴 文政元年

二卷より成る。卷之一天象部に星限如雨なる項あり、鐵石の事  
を記す。

コ

**皇典講究所講演 (皇講)** 皇典講究所

八十四號に黒川氏の人種論あり。

**國學院雜誌 (國院)** 國學院大學 明治二十七年—續

明治二十七年に創刊されし國學院大學の月刊雜誌、近時谷川氏  
等の關係論文二三あり。

**國家教育 (國教)** 國家教育社

五十二號に坪井氏の文あり。

**國産振興博覽會北海道歴史館陳列品解説 (國博北歴)** 河野常吉

大正十五年

大正十四年夏札幌市に開催されし博覽會歴史館の陳列品解説、  
北海道發見石器時代品目錄あり。

**國民の日本史 (ヤ)** 大和時代ヲ見ヨ。

**古事記 (古事記)** 大安麻呂 和銅五年

神武天皇條に伊弉諾々伊の名見ゆ。

**古蹟 (古蹟)** 帝國古蹟取調會 明治三十五年—絶

帝國古蹟取調會は今の史蹟名勝天然記念物調査會の前身。明治  
三十五年十月會報を出せるが、三十六年二月に至り古蹟と改題  
す。毎月一回發行。この内三卷二、四號に一二關係の文あり。

**古代日本遺物遺跡の研究 (古代研究)** 大野延太郎 大正十四  
年

人類學雜誌、民族と歴史等に掲載されたる著者の論文中、古代  
日本—原史時代のものを中心として集めしものにして、中絶生式  
土器、石器一般に關する論文をも含めり。

**古代の遺跡遺物 (古代遺跡)** 岩井武俊 大正二年

鳥津製作所標本部に於て標本模型を作れる時、その解説として  
書かれしもの。二卷先史時代の部に於て遺物一般の記載をなす。

**古代文化研究 (古研)** 古代文化研究會 大正十二年

奈良を中心とする古代文化研究の雜誌、一二號にして止む。一  
二關係の文獻あり。

**湖沼學上より見たる諏訪湖の研究 (湖沼諏訪)** 田中阿歌麿

上下二卷より成る。下巻二章湖畔住民の條は第一節を有史以前  
住民とし鳥居龍藏氏の筆に成れり。第一有史以前諏訪湖畔の住  
民、第二諏訪湖々底石器時代遺跡、第二に於ては人類學雜誌信  
濃博物館雜誌の文を再録す。

**小牧町史 (小牧町史)** 津田應助 大正十五年

愛知縣小牧町の郷土史、沿革並行政の章—先史時代あり、土器  
石器等の圖三葉を添ふ。

**昆陽漫錄 (昆陽漫錄)** 青木昆陽 寶曆三年

博學多聞なる著者先生の東西古今の典籍を見聞に従ひ抄記せる  
もの。寶曆十三年再校して六卷となる。別に續、續補あり。本

書卷之二石磐の記あり。羽州佐州の海濱にて拾ふと。この書百  
家説林卷八日本隨筆大成一期十卷に收めらる。

サ

**齊諧俗談 (齊諧俗談)** 大關東華 寶曆八年

和漢の書中より怪異談を蒐集せるもの。卷一降石鏃の條に三代  
實錄の記事を引き、出羽國秋田城並飽海に石の鐵降る事を記せ  
り。この書日本隨筆大成一期十卷にあり。

**再航蝦夷日記 (再航日記)** 松浦竹四郎

松浦氏蝦夷地取調日誌の一、渡島松山郡江差町蝦夷館より古器  
並矢根石雷斧石等を掘出す由見ゆ。又後志國奥尻郡赤石村の地  
のチャシの記あり。

**採集鑑定便覽 (採集便覽)** 富士川滋 昭和二年

岩石、礦物、化石、地形、貝塚、土器、石器、骨器等の採集鑑定  
法を記せるもの。石器時代遺跡遺物の説明、發見地名表あり。

**埼玉縣誌 (埼玉縣誌)** 埼玉縣 大正元年

二冊、上巻は徳川末までを、下巻は明治以後を記す。上巻三節  
古墳其他の遺跡の條に石器時代の人民、遺跡の記事あり。

**埼玉縣史蹟名勝天然記念物調査報告 (埼玉報)** 埼玉縣、第一—

第三 大正十二年—十五年  
 第一輯大正十二年發行、史蹟の部に貝塚三ヶ所の記あり。第三輯大正十五年發行に貝塚二ヶ所を記す。  
 齋藤報恩會時報 (齋報) 齋藤報恩會 大正十五年—續  
 二號に喜田氏の民族論を載す。  
 相内地方史蹟案内 (相内案内) 十三史談會 大正十二年  
 原人クルミ族云々の短文あり。  
 相馬日記 (相馬日記) 高田與清 (寫) 帝國圖書館藏  
 文政元年の序あり。考古家として命名ある著者が、國書の巡回講義をなしつつ、下總北部を旅行せし際の紀行、傳稱見聞を摘記せり。内一ノ五に神代の石劍を神體とする項あり、四神地名錄を引きて武藏國石神井村の事を記せり。  
 堺市史資料展覽會出品目錄 (堺史目錄) 堺市役所 大正十三年  
 第二門發掘物及拓本の目錄に石器時代遺物あり。  
 早良郡誌 (早良郡誌) 福岡郡早良郡役所 大正十二年  
 原始時代の早良郡なる條下に石器の記事少々あり。  
 札幌沿革史 (札幌沿革) 札幌史學會 明治三十年  
 札幌地方穴居址の記事あり。  
 札幌博物館會々報 (札幌博) 札幌博物館會 明治三十八年

一卷一號—二號に河野常吉氏ツヤシの論文あり。  
 薩摩國出水郡出水町尾崎貝塚發掘報告 「キ」 京都帝國大學文學部  
 考古學研究報告ヲ見ヨ。  
 佐賀縣史蹟名勝天然記念物梗概 (佐賀梗) 佐賀縣 一輯大正十三年  
 第一輯に古代石器貝塚の事あり。  
 佐渡志 (佐渡志) 田中美清 明治二十二年  
 本書は文化年間佐渡の吏員田中奏國の撰せるもの。明治十八年より二十二年に至る間に和裝十五卷五冊として公刊さる。内信の部三に鮮麗磁方言雷斧石、山中雷後に得、石鏡方言矢の根毎年二月十日空中より降る云々の文あり。  
 佐渡國誌 (佐渡國誌) 新潟縣佐渡郡役所 大正十一年  
 石器時代の條に遺跡、地名表、使用民族に關する舊記傳説を擧げ白石神書を引けり。  
 佐渡史苑 (佐史) 佐渡史苑社 大正十五年—續  
 佐渡一國の史蹟研究雜誌、一年一回刊行、石器時代關係の文あり。  
 佐伯志 (佐伯志) 佐藤藏太郎 大正三年  
 毛利藩たる豊後海部郡の沿革地誌。一六六頁に土器屋の稱及古市とあり。

讃岐國名勝圖會 (讃岐圖會) 松田信正 嘉永六年  
 讃岐五郡の記五卷七冊よりなる。一卷に海上網を擧げて石劍を得たる由の記見ゆ、但このもの、記は、既に藤井貞幹の集古圖に收めらる。  
 讃岐通史 (讃岐通史) 會川壽吉 大正十五年  
 讃岐發見石器時代遺物の口輪あり。本文一章に有史以前の讃岐を記し、住民の生活文化を述べたり。  
 山陰珠璣 (山珠) 山陰珠璣社 大正八年—絶  
 一二關係報文あり。  
 山陰史蹟 (山史) 山陰史蹟協會 大正十四年—  
 山陰地方の史蹟研究雜誌、二卷二號を特別號として「山陰の史と遺物」を出せり。足立正、小松原眞琴兩氏の筆になる石器時代關係の記事多し。  
 山陰の史蹟と遺物 「サ」 山陰史蹟ヲ見ヨ。  
 山高郷土史研究會考古學研究報告 (山高報) 山口高等學校郷土史研究會 大正十四年  
 考古遺跡概説、遺跡地名表、周防吉敷郡美能遺跡發掘報告、佐渡郡高井遺跡調査報告、片山遺跡報告等を收む  
 「ス」 周防國熊毛郡上代遺跡報告ヲモ見ヨ。  
 「紹介」 八幡一郎、人類學雜誌四十一卷二百八十七頁

三國通覽圖說 (三國通圖) 林子平 天明五年  
 三國通覽は隣邦朝鮮、琉球、蝦夷の地理、物産、風俗を明にせるもの。幕府有司の忌む所となり、梓を毀ち著者は禁錮の厄に遭へり。その圖說中に蝦夷の矢の根は鹿の足骨を用ふとあり。  
 三州志 (三州志) 富田景周 明治十七年  
 加越能三ヶ國の地誌書。文化二年前田藩の儒官たりし氏が藩公に獻ぜるもの、漢文を以て記さる。三十三卷六冊あり。内、來因概覽卷一羽咋郡神野に石鏡を出す記事あり。  
 三千年前 (三千年前) 江見水蔭 大正六年  
 江見氏の考古小説なれど、所々遺物の考證あり。又附録として太古遺跡探検法、太古遺物發見法を添ふ。  
 三代實錄 (三代實錄)  
 陽成天皇元慶八年九月、十月の條。光孝天皇の仁和元年十一月、二年四月の條に出羽國司石鏡降りたる由を言上せる記録あり。  
 茶話摘要 (茶話摘要)  
 この書未詳、木内石亭の鐵石考に引用して出羽館海佐渡鹿伏の神軍の記事ある由を云へり。

シーボルト (シーボルト) 吳秀三 明治二十九年

大シーボルト氏の傳記。

シーボルト先生其生涯及功業 (シーボルト) 吳秀三 大正十五年

年

幕末本邦に渡來し自然科学的啓蒙と自覺を興へ、又著書「日本」等によりて、その民族を世界に紹介せるシーボルト氏の研究全傳とも云ふ可きもの、甲乙二編より成る。甲編に於て同氏の歴史地理人種學的研究の紹介をなして、その材料蒐集の事を記せり。

シーボルト先生渡來百年記念論文集 (シーボルト) 吳秀三等 大正十二年

正十二年

史海 (史海) 田口鼎軒編 明治二十四年—二十九年

史學關係の雜誌。明治二十四年五月創刊、二十九年七月にして止む。坪井氏神風山人等の文あり。

史學會雜誌 (史會) 「シ」 史學雜誌ヲ見ヨ。

史學雜誌 (史誌) 史學會 明治二十二年—續

明治二十二年十二月創刊、初め史學會雜誌と呼ばれ後改題す。早き頃坪井氏等の論文多少あり。

史學雜誌索引 (史誌索引) 史學會 大正十年

一卷より三十卷までの論說・雜錄・考證・解題・説林等を圖版

部、件名部、著者部に分けて五十音引とせるもの。

史蹟名勝天然記念物 (史蹟) 史蹟名勝天然記念物保存協會

大正七年—續

この雜誌初めは菊倍新聞紙型にて出で、大正七年創刊大正十二年六卷に及びて中止さる。然るを大正十五年一月、體裁を改め同名のまま創刊號を出して今日に及びり。但この間協會は南奏文庫内より内務省に移されたり。第二期のものに關係論文あり。

史前研究會小報一 神奈川縣新磯村勝坂遺物包含地調査報告

(史前報一) 大山柏 昭和二年

相模平地の地形と遺跡より發見遺物の一々に及び、特に粗製打石斧の形状と用法とを論じ、土俗的考察等より土掘き具の存せし事を述ぶ。

(紹介) 八幡一郎 人類學雜誌四十二卷三百七十頁

史前の研究 (史前研究) 大山柏 昭和二年

大山氏史前研究會のパンフレット一、史前學は如何に研究すべきかを説く。

史林 (史林) 史學研究會 大正五年—續

京都帝國大學文學部内、史學研究會より年四回發行す。喜田氏等一二の關係論文あり。

四神地名錄 (四神地名) 古川古松軒 寛政六年

古松軒古川辰が幕府の命を受けて江戸四州の地を調査して録せる本書は、所々に古蹟古墳の記述をなせるが、内在原郡鴉ヶ森の條に雷斧を、豊島郡下石神井村の條に石劍を祭るを、多摩郡大森村の補に石器を拾ふを、芝崎村の雷斧を、又葛飾郡立石村の石劍の事どもを記せり。以後關東地方の地誌隨筆等にこれを引用せるもの多し。

市井雜談集 (市井雜談) 林自見 寶曆十四年

上卷十一雷斧の條に上州榛名山權現の寶物に雷の鞭ある事を、同十二矢根石は奥羽又は信州鳥居峠にある由を言へり。

自然科學 (自然) 改造社 大正十五年—續

年四回發行の學術雜誌、鳥居氏の文一二あり。

自然科學より見たる日本神代史 (自然神代) 神原信一郎 大正八年

所謂富士文書を辯護せるもの、有史以前研究に基く古代日本民族の條に鳥居氏一有史以前の「日本」の一節を引きて富士文書に及ぶ。

七戸附近先住民族遺跡調査報告 「ア」 青森縣史蹟名勝天然記念物

調査報告第三輯ヲ見ヨ。

静岡縣史蹟名勝 (静岡名勝) 静岡縣 大正十一年

同縣縣政資料第二、二三八頁磐田郡西貝村貝塚、二六九頁濱名郡親塚貝塚の記事あり。

静岡縣史蹟名勝天然記念物調査報告 (静岡報) 静岡縣 大正十五年—昭和二年

第二輯大正十五年發行、静岡附近の先史原史時代、遺物遺跡調査、八幡神社貝塚、岡崎石鏡散布地。第三輯昭和二年發行、足立、堀田氏南豆の遺物遺跡の報文あり。

静岡縣志本誌 (静岡志本) 志太加役所 大正五年

六合村の條に石器時代遺跡の事を記す。

静岡市史編纂資料 (静岡資料) 静岡市役所 昭和二年

足立銀太郎氏の記するところ。第一巻口繪に安倍郡青山村杉磯村並に志太郡六合村の遺跡遺物圖あり。本文二章、考古學上よりの調査の條に、アイヌ式彌生式の遺物遺跡を記す。

信濃奇蹟錄 (信濃奇蹟) 井出道貞 天保五年

五卷五冊より成る。著者は佐久郡白田の村究、よく國內の奇觀、産物、風俗等を收めたり。内卷一、二十一頁に鈍石二個野尻湖水の祠中にある由を言ふ。又卷四、三十一頁に神代石(石冠)誕生石(獨鈷石)霹靂石(石棒)の圖を、卷五、二十二頁に鐵石、瓜石、筋石(石斧?)等の圖を記せり。圖は孫通の手に成る。

信濃大地誌 (信濃地誌) 石川耕治・小平高明 明治三十八年

石器時代住民並遺物發見の地圖を添ふ。

信濃博物學雜誌 (信博) 信濃博物學會

三十四號に橋本、保科氏の論説あり、何れも諏訪湖底ソノの遺跡に關するもの。この文田中氏著諏訪湖の研究中に鳥居氏全文を引用せり。

紫波郡誌 (紫波郡誌) 岩手縣教育會紫波郡部會 大正十五年

一章總説の部二節に有史以前の條あり。紫波郡内の石器土器、先住民族等の事を記せり。

集古會誌 (集古) 集古會 明治三十一年一絶

談笑の裡に考古歴史に關する智識を増すを目的として生れし會にして、隔月一回例會を開き時々會誌を出す。明治三十七年頃に到り年五回發行となる、これ以後石器時代關係記事を見ざる如し。二三輯の頃は坪井氏其他の記事あり。

集古圖 (集古圖) 藤井貞幹 (寫) 帝國圖書館藏

好古日録の著者の手になるもの。よく考古學的資料を蒐め、圖を描き彩色を施して各々多少の説明を加へたり。

第十圖讀岐海中出鉾、第十二圖能登飛驒其他發見石器、第十三圖山城國愛宕郡岡崎土中所出瓦器あり、中第十三圖は好古日録所出のものと同じ。

十二考古家資料寫真集 (十二資料) 考古學會

全三輯あり、每輯徳川以降の考古家十二人の肖像を収め略傳を附す。

澁谷町誌 (澁谷町誌) 澁谷町誌發行所 大正三年

本邦最大の町たる東京市外澁谷町誌、二章地理上の變遷、三章澁谷の有史以前を記す。

鹽尻 (鹽尻) 天野信景 明治四十年

信濃國の地誌、百卷あり。明治四十年に到り翻刻されて二冊本となり。

卷八三河碧海郡龍興禪寺の什物に雷槌ある事、土佐(佐渡)の誤か)鹿伏明神の鐵石等の記事あり。

新古説書類之圖 (新古説書) 菅江眞澄 (寫) 著者藏

眞澄遊覽記を遺せる著者が、東北地方を主として、土中より發掘されし、繩紋土器、祝部、古陶器類を集めて圖せるものにして各説明を附す。圖する所三十七、所藏家出所をも併記せり。説明文に繩紋土器を繩部と稱し、蝦夷の遺せるもの、由を云ふ。「マ」眞澄遊覽記ヲモ見ヨ。

新撰美濃志 (新撰美濃) 岡田啓 萬延元年

この書文岡田啓の撰にかゝる。萬延元年未定稿として遺りしを、明治三十三年神谷道一補遺して公刊す、三十卷一冊本なり

人種紋様 (人種紋様) 大野延太郎 大正五年

先住民族の部。我國石器時代遺物に現はれし文様を集めし圖譜著者の序あり。

(紹介) 小田桐健兒 人類學雜誌三十一卷百四十九頁

人性 (人性) 裳華房 明治三十八年一絶

人類の體質性行に關する記事を集めし雜誌。明治三十八年四月創刊、十二卷に至りて止む。大野氏報文、人類學雜誌抄録等あり。

人類學教室寫真集 「三」日本石器時代土偶ノ部ヲ見ヨ。

人類學研究 (人類研究) 小金井良精 大正十五年

小金井博士が四十年に餘る學究生活中のされし邦文の論文を聚めしものにして、四十篇中半以上は本邦石器時代人の研究にかゝれり。

(紹介) 甲野勇 人類學雜誌四十一卷百六十六頁 清野謙次

民族一卷七百三十五頁

人類學會報告 「ジ」人類學雜誌ヲ見ヨ。

人類學雜誌 (人誌) 東京人類學會 明治十九年一續

明治十九年東京に於て人類學會創立、二月より機關雜誌「人類學報告」を月刊す。動物學並古物學上人類の研究を目的とし、各國風俗、習慣、方言、史前の遺跡、古物學等の記事を掲載し始む。本邦人類學會の嚆矢たり。一卷五號、明治十九年六月

中美濃國不破郡赤坂町赤坂山に磨石斧を出す由記事あり。

新地案内 (新地案内) 相馬郡新地村役場 大正十三年

奥羽觀蹟開老志に貝塚居の記事ある磐城新地村にて選せる村誌小川貝塚と同地鑿穴の記事あり。

新編會津風土記 (新編會津) 會津藩地誌局 明治二十七年

保科氏撰する寛文の會津風土記に對し、補正を加へて文化六年この書稿成る。公刊を見しは明治二十七年なり。和裝百二十卷十二冊本。各町村の項に石鏃を出す由一二散見せり。

新編武藏風土記 (新編武藏) 内務省地理局 明治十七年

本書は徳川幕府の官撰本。文化の初地誌編纂局の設けあり、間宮士信頭取となりて文政七年に到り武藏一國の稿成る。明治十七年内務省地理局に於て和裝二百六十五卷八十冊本として公刊す。郡別村邑の部足立郡貝塚村の條、豊島郡石神井村の條、葛飾郡立石村の條に各石器の記事あり。

此書近時考古學會より考古學關係記事を抄録して謄寫版に附し刊行しつゝあり、すべて十二冊。

神道起源論 (神道起源) 津田敬武 大正九年

我國宗教の起源を考古學的遺物の上より論ぜしものにして、第一編を日本石器時代宗教思想とす、その文化、民族を説き、土偶石棒、彩色遺物等より當時の宗教思想に及ぶ、挿圖あり。



に至り會を東京人類學會と改稱し、雜誌を「東京人類學會報告」と改む。但巻號數は前者を追へり。二卷十八號(當時號は通編を以て呼ぶ)明治二十年八月以降雜誌名を「東京人類學會雜誌」とす。降つて明治四十四年四月、二十七卷通編三百一號より、人類學雜誌、巻號、年號對照表

卷	號	年	號	卷	號	年	號
1	1-8	明	19.9-19.10	22	247-258	39.10-	40.9
2	9-19		19.11-20.9	23	259-270	40.10-	41.9
3	20-31		20.10-21.9	24	271-282	41.10-	42.9
4	32-43		21.10-22.9	25	283-294	42.10-	43.9
5	44-54		22.10-23.9	26	295-300	43.10-	44.3
6	55-66		23.10-24.9	27	301-309	44.4-	44.12
7	67-78		24.10-25.9	28	310-320	45.1-	大(1.10 2.12
8	79-90		25.10-26.9	29	321-332	3.1-	3.12
9	91-102		26.10-27.9	30	333-344	4.1-	4.12
10	103-114		27.10-28.9	31	345-356	5.1-	5.12
11	115-126		28.10-29.9	32	357-368	6.1-	6.12
12	127-138		29.10-30.9	33	369-380	7.1-	7.12
13	139-150		30.10-31.9	34	381-392	8.1-	8.12
14	151-162		31.10-32.9	35	393-404	9.1-	9.12
15	163-174		32.10-33.9	36	405-416	10.1-	10.12
16	175-186		33.10-34.9	37	417-428	11.1-	11.12
17	187-198		34.10-35.9	38	429-434	12.1-	12.6
18	199-211		35.10-36.9	39	435-446	13.1-	13.12
19	212-222		36.10-37.9	40	447-458	14.1-	14.12
20	223-234		37.10-38.9	41	459-470	15.1-	昭1.12
21	235-246		38.10-39.9	42	471-482	2.1-	2.12

通編を廢し「人類學雜誌」と改題して今日に及べり。昭和二年十二月四十二卷十二號。何れの改題時にも巻號數を新にせず。本誌は本邦人類學の母體としてその職分を盡し來れるが、特に石器時代の研究論文に至りては數量共に優に他誌著書の全量にも必敵し、關係論文に千篇を超えたり。

人類原始の生活 (人類生活) 河上肇 明治四十二年

法律學經濟學研究叢書第二冊として、京都法學會より刊行す。我國石器時代の例を一二引けり。

人類自然史 (人類自然) 榊原政職 大正十二年

若く近ける著書の遺稿、Obaku of Old Stone Age等を基として舊石器以降人類の自然史を編めり。文中日本に於ける人種の移動を論ず。

下伊那の先史及原史時代 (下伊那史) 鳥居龍藏 大正十三年

信濃國下伊那郡内に於て發見せられし考古學的遺物遺跡を圖版にて示せるもの、石器時代關係のもの遺跡十二、遺物四十六葉、他に分布地圖あり。この書の本文未だ公刊を見ず。信濃教育會下伊那郡會に於て發行せるものなり。

下新川郡史稿 (下新川史) 富山縣下新川郡役所 明治四十二年

上下二卷あり、内上巻村邑を記せる個所に遺跡の記事數ヶ所あり。

下野考古學 (下野考古)

田代黑龍 大正十四年  
考古學全般に對する簡單なる記述、多少の例を下野發見品に就きり。

下益城郡誌 (下益城誌)

下益城郡教育支會 大正十一年  
熊本縣下益城郡の郡誌。史蹟調査と本郡の條に阿高貝塚と發見人骨の計測表あり。

下野教育 (下教)

下野教育會  
二百三號に丸山氏の下野に於ける地名表を載す。

下野之史蹟名勝 (下野史蹟)

下野之史蹟名所刊行會 大正七年  
森本樵作氏の編にかゝる、一の四に鹿沼町の先住民遺跡の項あり。

下水内郡誌 (下水内誌)

下水内郡教育會 大正二年  
信濃國水内の郡誌、第一編に石器時代の遺跡なる項あり。

上古神器及鐵石略圖 (上古鐵石)

木内石亭 (寫) 寛政六年  
鐵石考の異寫本にして寛政六年九月の奥書あり。前半には古墳發見の遺物の事を記し後半は全く鐵石考に同じ、奥書にも鐵石考と同じく石亭直筆校合云々の記見えたり。林良幹氏所藏本。

上代石器考 (上代石器)

黒川眞頼 明治十二年  
穴居考と等しく博物叢書中の一書。太古の石器財の條に、石劍、

上代の東京と其周圍 (上代東京)

鳥居龍藏 昭和二年  
東京附近の考古學的記載。上代文化史上より見たる上野臺、芝公園の貝塚、震災と東京府下の先史原史時代遺跡等の項あり。

上毛及上毛人 (上毛)

上毛郷土史研究會 大正五年續  
上毛を中心とする郷土雜誌、大正五年より月刊して今日に及ぶ特に郷土史に力を致し、七十號以降毎號一二石器時代關係文獻あり。

尙古 (尙古)

廣島尙古會  
廣島地方の郷土雜誌、七十一號に中目氏手宮の記事あり。

庄内政府見聞私記 (庄内見聞)

杉山宜袁 (寫) 光丘文庫藏  
この書一名大泉事蹟考と稱す。出羽國風土略記、庄内物語、庄内雜記等より抄書して、これに宜袁が見聞を附記せり。この内神矢の根の項あり、飽海吹浦濱の石鐵の記事を載す。

社會史研究 (社史)

「ミ」民族と歴史ヲ見ヨ。  
若越小誌 (若越小誌) 福井縣 明治四十二年

宗教研究 (宗研)

宗教研究會 大正八年續  
第二編沿革の項第一章石器時代あり、遺跡分布を記す。

大正八年創刊年四回發行、四卷十六號五卷十七號に鳥居氏の文あり。大正十三年に至り同名のまゝ、巻数を改め隔月發行となる新輯のもの關係文獻なし。

**鐘秀館藏日本石器時代土器選集** (鐘秀土器) 鐘秀館 昭和二年  
昭和二年舊高島多米治氏蒐集の石器時代遺物は今下郷共済會の手に入り、近江長濱の鐘秀館にあり。昭和二年スエーデン皇太子の御來朝に際し、同館は京都大學考古學教室に囑して、優秀なる土器數十個を選び、英文の解説を添へて印刷に附し献上せり。濱田耕作氏の序あり。鐘秀館は同會陳列館の名なり。

**續日本後紀** (續日後紀)

卷八承和六年冬十月の條に出羽國に石鐵降る由見ゆ。

**諸國里人談** (諸國里人) 菊岡沾涼 寛保三年

五卷本、神祇、釋教、奇石、妖異、山野、光火、水邊、生殖、氣形、器用の十部より成る。諸國の奇聞異事を録せるもの。内一卷一部神祇の部に、飽海神軍鹿伏神軍の事を記す。この書載せて續帝國文庫二十編紀行文集にあり。

ス・ズ

**隨意錄** (隨意錄) 冢田虎 文政八年

八巻より成る。五卷三十八に豊陵の名あり、陸奥津輕龜岡を指せり。又六卷ノ三に出羽遊佐濱に鐵石降るの由を記す。

**垂仁天皇紀** (垂仁皇紀)

三年春三月、新羅王子天日槍出石鉾を持來るの文見ゆ。

**周防國熊毛郡上代遺跡發見地調査報告書** (周能報) 弘津史文 昭和二年

山口高等學校歴史教室より、研究報告中の一として發行せるもの大野村馬出、田布施町、周防村門前等の遺物包含層を記す。

**諏訪研究** (諏訪研究) 栗岩英治 大正五年

信濃郷土史研究叢書中の第一編。上巻諏訪土俗考に穴居の遺風存する由を云ひ、千鳥、樺太等のものに比したり。又この地石神崇拜の遺風ある由を述べて、アイヌの殘香ありと云ふ。

**諏訪湖の研究** 「コ」湖沼學上より見たる諏訪湖の研究ヲ見ヨ。

**諏訪史第一卷** (諏訪史一) 鳥居龍藏 大正十三年

信濃諏訪郡教育會が、鳥居博士に囑して郡内先史原史時代の研究をなせるもの。郡内一々の遺跡遺物に就き、圖版を添へて記載を詳にし、又人種其他あらゆる問題にふれて論述せり。今日出版の地誌類中、考古學的記載をなせるものとしては、同國上伊那下伊那發行のものと共に歴大その比を見ず。

**栖家の山** (栖家の山) 「マ」眞澄遊覽記ヲ見ヨ。

セ

**石器時代に於ける日本の研究** (石器日本) 直良信夫 大正十五年—昭和二年

直良石器時代文化研究所より出せる騰寫版の小冊子、

一編第一輯 播磨國明石郡垂水村山田大歲山遺跡の研究、

〔紹介〕 八幡一郎 人類學雜誌四十一卷二百八十八頁

一編第二輯 武藏國豊多摩郡武藏野村井ノ頭池畔遺跡の一遺物について、

〔紹介〕 歴史地理四十七卷四百四十五頁

一編第三輯 中ノ御堂砂丘の遺跡。

**石器時代の概要** (石器概要) 大山柏 昭和二年

史前研究會パンフレットの第二、石器時代の區分その研究法等を説く

**石器時代の住居址** (石器住居) 柴田常惠 谷川磐雄 昭和二年

考古學研究録第一輯。柴田氏の石器時代住居址概論、谷川氏の南豆見高石器時代住居址の研究を収む

〔紹介〕 中谷治字二郎 人類學雜誌四十二卷四百七十四頁

**石事話談辨略** 木内石亭 (寫) 寛政六年

雲根志の著者が稿本のまゝ世に残せるもの。目次には曲玉問答

龍骨之辨、舍利辨考、天狐爪石奇談、鐵石考を収むる由見ゆれど、曲玉問答、石鐵考の手寫されて世に傳はれるを知るのみ。

或は上古神器及鐵石略圖等はこの異本の一ならん。年號寛政六年とせるは鐵石考の奥書によれり。

〔ソ〕鐵石考「マ」曲玉問答ヲモ見ヨ。

**攝津郷土史論** (攝津史論) 日本歴史地理學會 大正八年

大正七年日本歴史地理學會が神戸に於てせる講演筆記に、一二の論文を附加して公刊せるもの。喜田博士の上代の武庫地方、豊島地方の古代、三島地方の古代の三編何れも筆を石器時代民族に起せり。

**先住民族と賤民族の研究** (先住賤民) 菊池山哉 昭和二年

著者が先に公刊して發賣禁止の厄に會へる「穢多族に關する研究」の改題再版にして内容前と大差なし。

〔紹介〕 中谷治字二郎 人類學雜誌四十二卷四百七十六頁

**先史及原史時代の上伊那** (先史上伊) 鳥居龍藏 大正十五年

上伊那地方の自然界より筆を起し、その先史原史時代の遺物遺跡を詳細に論述せしものにして、文中創見に富む。圖版分布圖又完備至らざるなし。信濃教育會上伊那部會の發行にかゝれり。

〔紹介〕 甲野勇 人類學雜誌四十一卷二百八十八頁

先史學研究 (先史研究) 長谷部言人 昭和二年

長谷部博士が嘗てのされし邦文論說中、先史時代關係のものに限りて、一括されしものにして、舊石器人類、日本石器時代住民、同遺物、古墳遺物並人骨に關するもの五十數篇、内本邦石器時代關係のもの四十篇に及ぶ。小金井博士の「人類學研究」と共に貴重なる文獻集なり。

〔紹介〕 八幡一郎 人類學雜誌四十二卷四百七十三頁

先史考古圖譜 (先史圖譜) 大野延太郎 明治三十七年

我國先史時代の遺物遺跡の種類全豹に互れる圖譜。石器時代遺跡分布略地圖、總説を添ふ。別に坪井博士の序あり。

先史時代遺跡 (先史遺跡) 八幡一郎 大正十五年 昭和二年

國史講習會編纂の考古學講座中に收録されしもの。一、遺跡地より、二十八先史時代遺跡研究略史に到る各項、すべて遺跡に關する記述をなしよくその全豹に互れり。

東北史蹟志料 (東北志料) 豊田小八郎 大正十二年

大阪府東北郡役所より發行せり。上巻濱寺町の條に石鏃出づる由を記す。

リ

鐵石考 (鐵石考) 木内石亭 寛政六年 (寫) 林魁一藏

石亭話談辨略とあるもの、一章、或は雲根志豫報せる矢之根石考の稿本をなすものか。本邦石鏃の發見地を記し古文獻を引き、武用辨略鐵之形を圖す。奥附に寛政六年七十翁木内重曉誌とあり、後文化十三年に至りて自ら寫本を校合せる由見ゆ。別に異本上古神器及鐵石略圖一本あり。

夕

大正十一年度古蹟調査報告其一 「ナ」朝鮮古蹟調査ヲ見ヨ。

大雪山 (大雪山) 小泉秀雄 大正十五年

北海道一の高山たる大雪山の研究書。第九章大雪山と石器時代なる條に、五千尺の高所に於て石器を發見する由見えたり。

大泉舊聞 (大泉舊聞) 武藤四方作 (寫) 光丘文庫藏

本書は庄内の歴史に關する記載中特に土俗に關係あるものを多く收む。神矢の根の條に飽海の神軍の事を云ひ、三代實錄を用せり。著者は文化文政の頃の人なり。

大泉靈志 (大泉靈志) 小寺信正 (寫) 光丘文庫藏

庄内地方の舊記傳唱を收めたるもの、九石鏃の條に吹浦の神軍を云ひ 三代實錄、本草綱目を引く。

太陽 (太陽) 博文館 明治二十七年一續

一卷一號より十六卷頃までの間に、坪井、鳥居氏の石器時代に關する文獻十篇程あり。

多賀郡史 (多賀郡史) 茨城縣多賀郡役所 大正十二年

石器時代の記事あり、地名表並に遺物圖を添ふ。

多識會誌 (多識) 多識會 明治二十一年一絶

田崎、伊藤篤太郎等主となりて、臨時博物館古器物等を持寄りその目錄を刊行したるもの。徳川期の物産會の延長と見る可し。第一輯二十一年十二月、二輯二十三年十二月に出す。内、伊藤、田中氏等一二の關係報文あり。

多摩御陵附近の地誌 (多摩地誌) 田中啓爾 昭和二年

大正天皇多摩陵附近の地誌に添へ、原住民族の居住地を記す。又多摩地方遺跡分布圖あり。

多摩の御陵を繞る史蹟 (多摩史蹟) 内務省 昭和二年

歴史時代の史蹟を主とする本書中、峰開戸の石器時代遺跡記事一あり。

田澤湖を繞ぐる石器時代遺跡の群 (田澤遺跡) 武藤鐵城 昭和二年

著者自刊の小冊子、羽後田澤湖附近の遺跡に就きて一々の記載をなす。

淡崖遺稿 (淡崖遺稿) 神田孝平 明治四十三年

淡崖神田孝平氏の著作一斑を編せるものにして、男乃武氏の手に成れり。曲玉、内耳銅等人類學雜誌より再録せる一二の關係文あり。

耽奇漫錄 (耽奇漫錄) 耽奇會 (寫) 帝國圖書館藏

本書二十集五卷より成る。文政七年八月より八年十一月に互り江戸の好事家山崎美成、瀧澤馬琴、屋代輪池等十數氏毎月相合し、耽奇會と名づけて各々所藏の珍品奇物を持寄りて展覽し圖と考説とを録して本書を作る。各員に題覽するを目的とするものなり。書中、

寫山樓の伊那郡々伊、雷斧、鐵石、管石、龍珠館の大和の古壺、佛菴の石劍石斧、梅園の奇石、松蘿館の雷斧、鐵石、土偶人、好問堂の雷斧石、石劍頭、曲玉、海棠菴の古磁器、石劍、臺谷の陸奥龜岡の古陶器等を記す。

この書久しく寫本として世に傳りしも、近時日本隨筆大成一期十二卷に收めらる。但圖書寮藏馬琴本に據れり。帝國圖書館藏するは山崎美成本とす。

丹後竹野郡誌 (丹後竹野) 竹野郡役所 大正四年

石器時代遺跡及古墳なる條下に少々記載あり。

チ

**中央史壇 (中史)** 國史講習會 大正九年—續  
 大正九年四月創刊。六卷一號、五號を特別號として原始時代號を、九卷四號を臨時増刊として「土中の日本」を出し、各々後に至り單行本の體裁を裝つて出づ。又十三卷一號を「趣味の考古學」號とす。その他にも間々關係の文獻あり。  
**中央公論 (中公)** 中央公論社 明治三十年—續  
 初に坪井氏の文一二あり。  
**注口土器の分類と其の地理的分布** 「ト」東京帝國大學理學部人類學教室研究報告四ノ見ヨ。  
**地學雜誌 (地誌)** 東京地學協會 明治二十二年—續  
 明治二十二年創刊、鳥居、佐藤氏等の報文多少散見す。  
**地球 (地球)** 地球學園 大正十二年—續  
 清野、山崎氏等の文獻二三あり。  
**地中の秘密 (地中の秘)** 江見水蔭 明治四十二年  
 石器時代遺物發掘の記事を物語風に録せるもの。武藏下總常陸地方貝塚の發掘記事多し。  
**地理學評論 (地評)** 日本地理學會 大正十四年—續

地形と貝塚を記せる論文等一二あり。  
**千島アイヌ (千島アイ)** 鳥居龍藏 明治三十六年  
 初めて北千島の住民を調査せる著者が、この地の石器時代遺物を殘せる人種を論じ、本邦先住民アイヌ説に功獻せし文獻。この地の貝塚、石器土器等に関する一々の記載あり。  
 (紹介) 史學雜誌十四卷千九十一頁  
**千葉縣誌** 「カ」稿本千葉縣誌ヲ見ヨ  
**千葉縣安房郡誌 (千葉安房)** 安房郡教育會 大正十五年  
 第一章沿革の條に於て有史以前の概説を試み、稿本千葉縣誌より地名表を再録せり。  
**千葉縣海上郡誌 (千葉海上)** 千葉縣海上郡教育會 大正十六年  
 十五章名勝舊蹟の條に余山貝塚の事を言ひ、人類學雜誌報文を再録せり。  
**千葉縣君津郡誌 (千葉君津)** 千葉縣君津郡教育會 昭和二年  
 二卷より成る。上卷に先史時代の記事あり、發見遺物の地名表、遺跡表等を分類記載し、口繪に遺物を載す。  
**千葉縣史蹟名勝天然記念物調査報告 (千葉報)** 千葉縣 第一輯—第四輯 大正十四年—昭和二年、  
 第二輯大正十五年三月に貝塚、丸木舟、洞穴遺跡を、第四輯昭和

二年三月に貝塚洞穴の事を記せり。  
**千葉縣長生郷土誌 (千葉長生)** 千葉縣長生郡役所 昭和二年  
 古代史は林天然氏の記すところ、郡内遺跡及遺物に就ての記事あり。  
**小縣郡史 (小縣郡史)** 長野縣小縣郡役所 大正十一年  
 小山眞夫氏の編するところ、正篇に石器發見遺跡、彌生式土器發見の遺跡の事を記す。  
**鎮西醫報 (鎮醫)** 熊本醫學專門學校  
 熊本醫專の機關紙 百六十五號に山崎氏阿高人骨の記事見ゆ。

ツ

**通論考古學 (通論考古)** 濱田耕作 大正十一年  
 主として史前考古學の研究法を述べしものにして、考古學の定義より初め、その目的、他學科との關係、資料の取扱方、發掘方、出版に關する注意、保存、修理法にまで及べり。直接本邦石器時代に關するは人類學と考古學、層位學的方法等の條下に例證とせるに止まれど、研究法を説ける書として完好のもの也  
 (紹介) 小松眞一 人類學雜誌三十七卷三百二十三頁 小酒井儀三、歴史と地理十卷四百七十二頁

**津輕俗説後拾遺 (津輕拾遺)** 工藤白龍(寫)  
 天狗の鐵斧等を記せる條あり。  
**追柯呂能遺度 (追柯呂能)** 「マ」眞澄遊覽記ヲ見ヨ。  
**月の出羽路 (月の出羽)** 「マ」眞澄遊覽記ヲ見ヨ。  
**筑紫史談 (筑史)** 筑紫史談會 大正四年—續  
 筑紫地方の史實史蹟を明らかにするを目的とせる年四回刊行の雜誌關係文獻少々あり。

テ・テ

**帝室博物館年報 (帝博報)** 帝室博物館 大正十四年—續  
 大正十四年度以降博物館に收藏されたる物品の目錄に圖版を添ふ。十四年度玦狀耳飾、勾玉類、十五年度越中湯町の遺物等を圖示せり。  
**朝鮮古蹟調査報告 (朝鮮報)** 朝鮮總督府 大正九年—續  
 大正九年度古蹟調査報告其一 金海貝塚發掘調査報告とす。京都大學梅原末治、濱田耕作氏の手になり、遺跡の位置發掘狀態より各種遺物の説明を試み考説として貝塚の示現する文化、貝塚構成の年代と人種を記す。又朝鮮石器時代及金石併用期遺物發見要覽と、松本彦七郎氏の手になる金海貝塚出土獸骨